

UFOと宇宙

UFOs & SPACE
隔月刊・1976・10月号

UFOと宇宙科学

No.20

増
ページ

Color Photos

- 誌上初公開 / NHK 16ミリカメラの快挙
- クローズアップ! 火星の大地
- トラビス・ウォルトン事件現地カラー報告



NHK撮影班がUFOをとらえた! (詳細口絵)

- 現地完全報告 / *from Arizona, U.S.A.*
トラビス・ウォルトン事件の真相 / 富川正弘
- UFOインタビュー / 久里洋二
「ミクロ宇宙人だっているぞ!」
- 本誌東北特別取材
大接近UFO, 自動車4台急停止! / ほか
- 連載科学記事(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3) / L・クランプ

UFOと地球大陰謀作戦

喜多要光著
定価 九〇〇円

UFOと地球文明の驚くべき

秘密のすべてをここに公開する!

世界を震撼させる歴史的記録の新発見から、UFOの出没と古代文明にからまる驚くべき数々の謎を解明する。ここに定説よりはるかに古い地球人類の秘密を公開すると同時に、地球の支配権をめぐる大陰謀の恐るべき実体をとらえた注目の好著。 B 6判

世界のUFO写真集

高梨純 一著 一五〇〇円

世界各国で撮られた驚異のUFO写真三〇〇枚を収録し、体系的に構成すると共に、それぞれに詳細正確な解説を付した、UFO写真集の総まとめ的決定版。

好評の空飛ぶ円盤シリーズ!

- 黒沼 健著 九五〇円
空飛ぶ円盤と宇宙人
- 黒沼 健著 九八〇円
空飛ぶ円盤の謎と怪奇
- A・ミツシエル・田辺訳 九〇〇円
空飛ぶ円盤は実在する
- 高梨純一著 九〇〇円
空飛ぶ円盤実在の証拠
- 高梨純一著 九〇〇円
空飛ぶ円盤騒ぎの発端
- 高梨純一著 八五〇円
空飛ぶ円盤の跳梁
- アダムスキ・久保田訳 九〇〇円
空飛ぶ円盤の真相
- 久保田八郎編 九八〇円
空飛ぶ円盤とアダムスキ
- ベサラム・久保田訳 八〇〇円
空飛ぶ円盤の秘密
- アダムスキ・レスリー著 九八〇円
空飛ぶ円盤実見記
- 平野・荒井編 九〇〇円
アポロと空飛ぶ円盤
- G・パーカー著 九五〇円
空飛ぶ円盤ミステリ

●東京都文京区本郷5-30 振東6-141750 ●

高文社

●京都市左京区百万遍 振京23523 ●

知識欲、好奇心を満足させる地人書館の天文図書

太陽黒点の予言

解明された気候変動の謎 ● 須田滝雄著

B 6 / 192頁 / 定価1,200円 / 千160円

不順気候期がくると、ここ数年来、警告しつづけてきた筆者が、農作物の不作による政治的経済的変動を防止するため、なぜ不順気候期がくるのか、太陽黒点から気候変動のメカニズムを本書で明らかにし、食糧自給率の低いわが国関係者に、対策の検討を訴える!

好評発売中

天文の基礎教室

子供の素朴な質問を180項目のQ&Aにまとめた図書館協会選定図書 土田嘉直著 A 5判・195頁・¥1,200・千200

ほしぞらの探訪

望遠鏡をのぞき星や雲星団をさがす楽しさを育てる図書館協会選定図書 山田卓著 A 5判・320頁・¥1,800・千200

パロマ天体写真集

上: ¥750・千160
下: ¥700・千160

上: わか銀河系 下: 100億光年のかなた B 4・60頁 へ
ール天文台の大望遠鏡がとらえた宇宙の姿を大沢清輝が解説

天体望遠鏡入門

天体望遠鏡を上手に使うために性能や機構をやさしく解説した望遠鏡解説書 太田健太郎著 B 5判・120頁・¥800・千160

彗星の観測ガイド

天文ファンが知りたい新彗星発見法を発見者の体験から詳しく解説 天文と気象編集部編 B 5判・104頁・¥750・千160

天体写真講座

全4巻 ● 広瀬秀雄監修
各巻 ¥1,500・千200

天体写真の基本

撮影イメージを忠実に映像化し、撮影領域を広げるため、撮影の基礎知識をあつめた入門書 下保茂著 A 5判・240頁

天体写真の写し方

観賞写真や観測写真など天体写真を初めて写す人を対象に書かれた撮影テクニックガイド 香西洋樹著 A 5判・244頁

天体写真のDPE

写真を生かすも殺すも暗室しだい。写真の仕上げを自分でするためのDPE図解ハンドブック 兼茂著 A 5判・240頁

天体写真の応用と工作

天体写真の高度な技術と天体写真の撮影にかかせない付属品の自作ガイドブック 香西洋樹・兼茂著 A 5判・240頁

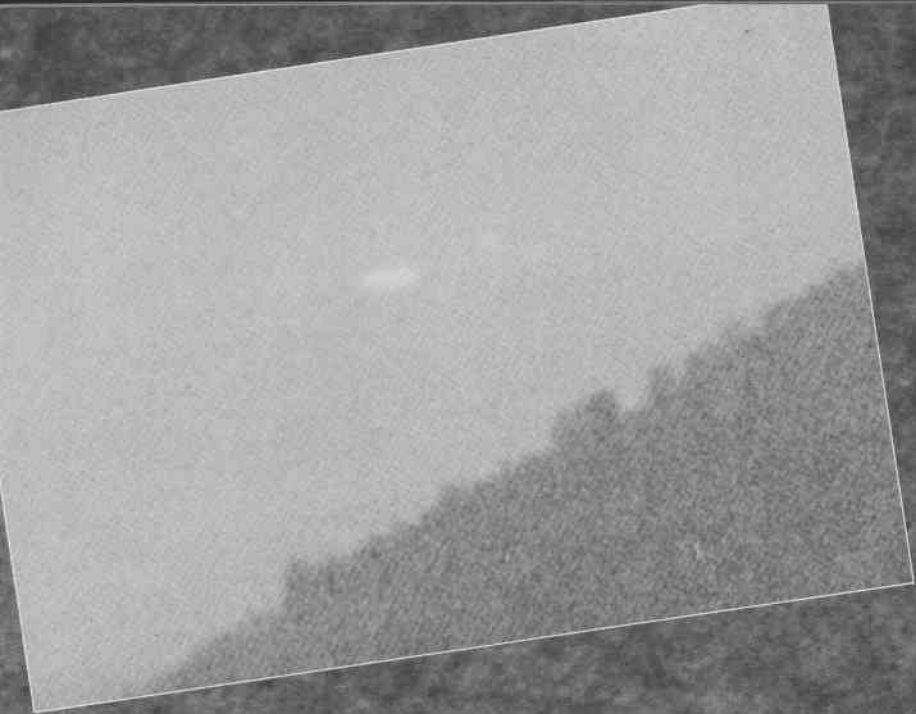
NHKカメラがとらえた

大雪山中の光体

16ミリカメラで3分間にわたってとらえられた光体。この貴重なフィルムがNHKの資料の中に眠っていた。

札幌オリンピック直前の1971年7月、シリーズ「大雪の自然」でヒグマを撮影するためNHK撮影班は大雪山白雲岳を登っていた。一行はプロデューサー、北海道大学熊研の学生2名、それにカメラマン大江謙次郎さんの4人。山の中腹で休憩のために腰を下ろした一行の視界に突

如明るく光る物体が入ってきた。4人はほとんど同時に光体を目撃。大江さんはすくさま16ミリカメラで光体を撮影した。音は無く、形は波打っているかのように見えたという。大きな光体の右方には別の小型の光体も見える。光体は出現した位置から移動せず、間もなく消滅したというが、大雪山の奥深く、いったい何が光を発し、そして消えていったのであろうか――。





バイキング1号が着陸直前の7月3日に2200kmの高度から撮影した火星表面。画面左右の距離は約280km。



クローズアップ!

火星の大地



火星に軟着陸したバイキング1、2号は数億キロの宇宙のかなたから多数の科学データを地球に送ってきた。中でも火星地表面のカラー電送写真は地球上のありふれた景色と大きな違いはないように見える。NASAの科学者カール・サガン博士は“地球の地質学者、生物学者が火星と知らずにこれらの写真を見ればただちに200~300種の生物

存在の可能性を指摘するだろう”とコメントしている。右下の写真の左端には話題になった“2BG”が見える。気象現象か太陽光のイタズラ、ということになったが、確認はされていない。火星探査はバイキング計画によって端緒についたばかりである。“謎の火星”がすっかりベールを脱ぐのはもう少し先になりそうである。

Photo UPIサン-共同, WWF

続報

トラビス・ウォルトン事件

カラー現地報告(米国アリゾナ州ヒーパー)

AP (1976)



マイケル・ロジャーズの筆による「トラビスがUFOの怪光線に打ち倒されるところ」

本誌18号既報の“トラビス・ウォルトンUFO同乗事件”はその後アメリカの二大UFO研究団体APROとGSWの間に激しい真偽論争を引き起こした。そこで、在アメリカの本誌レポーター富川正弘氏が現地でトラビス本人を始め関係者に密着取材し、このほどカラー写真と詳細な最新レポートを送ってきた。(本文P.10参照)



「ウォルトンはうそを言っているようには思えない」というハイネック博士の意見を伝える3月23日付フェニックス・ガゼット紙。



上 左からマイケル・ロジャーズ、トラビス・ウォルトン、マイケルの妹ダナ。後の小型トラックは事件当日7人の若者達が乗っていた車。

中、下 事件を報じるフェニックスのテレビ。

上 アリゾナ州ヒーバー村。トラビスはUFOから地上に戻された深夜、写真左のエクソンのガソリン・スタンドにある公衆電話ボックスで発見された。

中 事件現場の空地に立つ本誌レポーター。彼の立っている場所でトラビスがUFOの怪光線を浴びた。

下 トラビス・ウォルトン事件を報じるフェニックス市のテレビニュース



上 テレビに出演して体験談を話すトラビス。

中右 カリフォルニア大学工学部教授でAPRO
コンサルタントのハーダー博士。

中左 「ウォルトン事件はうそだ」と語ったピー
ター・ハーコス（フルコス）。

右 フェニックスのテレビ。



UFOと宇宙

UFOs & SPACE
隔月刊

No. 20 October 1976 目次

〈口絵写真〉誌上初公開／NHK16ミリカメラの快挙
●カラー クローズアップ！ 火星の大地
トラス・ウォルトン事件現地カラー報告

現地完全報告／アリゾナ州ヒーバー

トラス・ウォルトン 事件の真相

富川正弘 10

今、アメリカのUFO研究界は大揺れに揺れている。でっちあげかほんものか、真偽論争はいよいよエスカレート

≡東北地方UFO事件特別取材

最近、東北地方一带にUFOの出現が激増。そこで多数の目撃事件の中から、特に興味深い幾つかを徹底的に調査し、紹介する。

- 1. フタ付きドンプリ型円盤蔵王山麓に出現 25
- 2. UFO大接近 自動車4台急停止！ 30
- 3. 旋回する3機のUFOを連続撮影 34

■UFOインタビュー／久里洋二

ミクロ宇宙人だっているぞ！ 38

—アポロ計画で判明した驚異的実態—

月世界はUFOの中継基地か⁽¹⁾

月には異星人が建造した空洞の天体？ ドン・ウィルソン 44

韓国上空のUFO嵐

ロナルド・ドラッカー 52

空飛ぶ円盤による北東アジアの“真珠湾”に備え、軍部も警戒を続けている！

マイナス科学は存在するか 小久保秀三 60

イオンクラフト浮上実験成功！ 菊地喜三 62

未来の宇宙空間飛行の推進力アイデアとなるか

UFO目撃レポート 70 UFO情報 76 科学ニュース 82

連載科学記事

レナード・クランプ

(続)宇宙引力・空飛ぶ円盤⁽³⁾ 89

空飛ぶ円盤は重力場推進方式で飛ぶ！ 英国の科学者クランプが画期的な推進法を発見、見事な理論を展開した。

声—OPINIONS 100 蚤の市 (売ります・買います) 106

モニター発表 110



「東北地方UFO事件特別取材3. (P34)」より

題 字 渡辺達雄
本文イラスト 松岡吉樹
芝岡友衛
石坂 清

FO研究界は揺れに揺れている。ほんものか

偽論争はいよいよエスカレート——

ホルトン事件の真相

アメリカのUFO研究界は、昨年暮以来トラビス・ウォルトン事件の真偽をめぐって大揺れに揺れている。

この事件(本誌18号既報)は昨年十一月はじめにアリゾナ州のヒーバーという山村で起こった。トラビス・ウォルトンという二十二歳の青年が六人の目撃者の見ている前でUFOから発射された青緑の怪光線によって地上に打ち倒され行方不明となってしまう、数日後に現れて「UFOに連れて行かれ

本誌18号に高梨純一氏のレポート「トラビス・ウォルトンのUFO同乗事件」を掲載した。同事件は発生以来、アメリカの二大UFO研究団体の大論争をひきおこしており、未だ決着をみていない。この記事は本誌レポーター、在アメリカUFO研究家富川正弘氏が事件とその波紋の詳細を直接取材したもので、同事件に関する最新情報である。

たが、再び地上に戻された」という体験談を語ったために世間の注目を浴びることとなった。また多数の目撃者がいるなかで起こったUFOによる誘拐事件というUFO研究史上でも非常に珍しいケースであるため、UFO研究者たちの間で特別な関心ももたれたのであった。

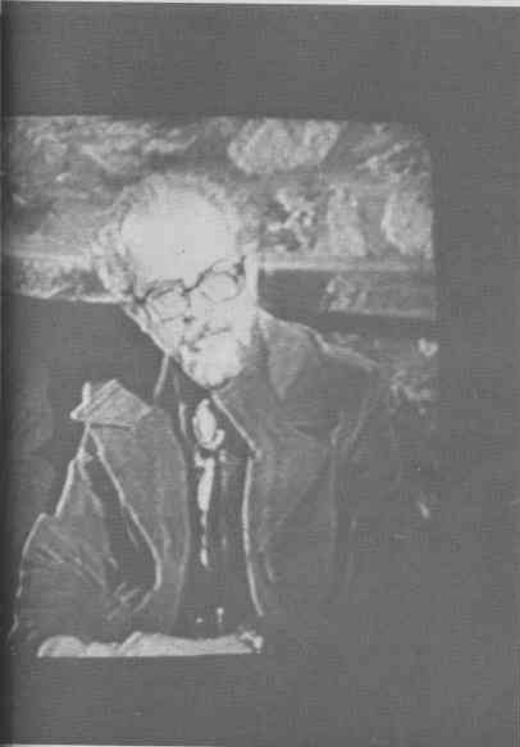
アリゾナ州には、APROとGSWという二つの世界的に名の知られたUFO研究団体がツーソン市とフェニックス市にそれぞれ本部を構えている。両団体とも、おひざもとのアリゾナ州で起こった事件だけにそれぞれ腕によりをかけた熱心な調査を行ったわけだが、日頃「科学的UFO研究」をモットーとしている両団体の調査結果が真つ向から衝突してしまつたから事はや

やこしくなつた。

GSW側が、「この事件はデッチあげで科学的UFO研究に対する冒瀆である」と発表すれば、一方のAPRO側は、「とんでもない。当事件は本物でUFO研究史上に残る最も重要なケースのひとつだ」と主張し、論争は感情的対立にまで発展してお互いの機関誌で相手を激しく攻撃し合うところまでエスカレートしてしまつた。

筆者は十数年来UFOに興味をもつて研究を続けてきたのだが、たまたま昨年九月からアリゾナにある大学院に在学していたために幸運にもトラビス・ウォルトン事件を事件発生の直後から詳細に追いかけることができ、トラビスや他の目撃者をはじめ、APROやGSWの当事者たちからも直接詳しい話を聞くことができた。

この事件の詳細については、本誌十八号で高梨純一氏が主としてAPRO側の発表にもとづく記事を書いておられるし、「文芸春秋デラックス」の七月号には筆者の一文が載っている。ここでは重複をなるべく避け、筆者が実際に眼で見た現場の状況や関係者た



●テレビ出演中のトラビスとハイネック博士

☆アリゾナ州ヒーバー☆ 現地完全報告

今アメリカのU

でっちあげか、真

トラビス・ウ

ちの横顔、それに最近の同事件の進展

トラビスが怪光線に 打ち倒された事件現場に立って見た

トラビス・ウォルトンが昨年十一月五日の夕方UFOからの怪光線に打たれた現場は、アリゾナ州ナバホ郡ヒーバー村からでこぼこの林道を南へ約二十キロメートル程入ったアパッチ・シトグリーブス国有林の中にある。

アリゾナ州と聞くと読者の皆さんはサボテンの荒野とインディアン、それにカウボーイだけを想像されるかもしれないが、アリゾナ州には立派な森林もあるのだ。

事件の起こった場所はアリゾナ州を西北部から南東部にかけて斜めに横切っている大高地帯上にあり、松林が見渡す限り続いていて、冬は深い積雪に覆われるところだ。

アリゾナの州都フェニックス市から車に乗ってサボテンが点々と生えている丘陵地帯を越えて八十七号線を北へ進むと、やがて植物相が次第に変わって松林となり、ベイソンという町に着く。ここから右折して二百六十号線に入り国有林の中を東へ向かうと、ヒーバー村に着く。フェニックス市から約

状況等を報告しよう。

三時間の行程だ。ヒーバー村は林業と牧畜で生活している小さな山村である。

ヒーバー村から目指す現場まで行く林道はほりがもうもうとたつ砂利道となるが、途中までは普通の車でもなにか入って行ける。しかし現場までもう少しというところからは、コッペパン程もある石がごろごろした狭い曲がりくねった山道になるので、腰の高い小型トラックかジープでないと、とても入れなくなる。

現場は口絵写真(P7)のように小さな空地となっており、切り倒した木や枝を積み重ねてある。写真では現場のまわりの木立が比較的まばらに見えるが、これは事件後若木の間引き作業が行われたためで、事件発生当時はもつと木がたくさん茂っていた。

トラビスが怪光線に打ち倒されたというちょうど同じ場所に立って空を見上げてみると今にもUFOが再び現れてきそうな気がする。事件当日、トラビスたち七人の若者は現場からほど遠



からぬ林の中で松の若木の間引き作業をしていた。その日の仕事を終え、一行の責任者マイケル・ロジャーズの運転するおんぼろの小型トラックに七人がぎゅう詰めになってガタンガタン揺れながら石ころだらけの山道を上がって来たとき、この空地の上空、木の梢の高さくらいのとこに音もなく浮かんでいたUFOを見たのだ。すでに夕日は西南の山陰に沈んだあとで、あたりは夕闇に包まれ始めていたがUFOは黄白色に光っていたという。そこでトラビスは助手席から飛び降りると仲間が止めるのもきかずUFOの方に走って行った。この先に何が起こったかはすでに前述の誌上で詳しく述べたので、ここでは省略させていただきます。

事件の現場から南へ約一、二キロメートルのところは、この国有林の西北部から南東部にかけて延々と続く高い崖になっており、この崖から南はアパッチ・インディアン^のの居留区である。そして、これまであまり報道されていないと思うが、実はこの崖のあたり一帯にはウラニウムの鉱脈があるのだ。事件現場でもよく注意して足元を見れば黒みがかったウラニウム鉱の石、ごろが落ちてくるよ、とマイケル・ロジャーズが教えてくれた。アリゾナ州はアメリカでも有名な銅の産地であり、筆者はUFOと銅鉱脈、あるいはウラニウム鉱脈とは何かの関連があるかもしれないと考えている。

事件関係者の横顔

トラビス・ウォルトン

事件当時二十二歳、現在無職だが彼の体験談を執筆中だ。事件がおこるまでは無名の貧しい田舎青年だったが事件後は一躍有名になり、サンフランシスコやカナダのテレビに出演したり、UFO研究者たちの訪問を受けたりすつかり忙しくなったようすだ。マイケル・ロジャーズの妹と婚約しており熱々の仲。

(余談だが、一体にアメリカ人は人前でも平気で愛情を表現するから彼らと一緒にいると、ときどきこちらの方が照れくさくなってくる)

トラビスは近くのカレッジでの講習会でマイケルと一緒に二年間ほど空手を習っていたという。トラビスの眼は大きくてじっと見つめられると催眠術にでもかかりそうな感じだ。事件当時ははやしていなかったが今では赤茶色の口ヒゲをはやしている。

高校時代に測定した際の知能指数は百四十二だったというから頭の回転はよさそうだ。

ウォルトンの家族

トラビスは六人きょうだいの下から二番目だが、きょうだいは皆なかなか頭がよいらしい。母親のケレット夫人(トラビスたちの父の死後再婚したため姓が違う)もなかなかの才女のようにだが、長女も頭がよく、十六歳で高校を卒業し大学を三年間で終了したとかで現在はフェニックス市で銀行に勤めている。

長男はスノーフレックの営林署の職

員、次男のデュエインはグレンデール市で馬蹄屋という変わった商売、次女はテラー村のグラント・ネフに嫁いでいる。五番目がトラビスでその下の弟は今軍隊に行っている。

次男のデュエインは子供のときから大変大人びていて、きょうだいの中でのもっと役をやっていたそうだが、これまた大変頭の回転が早そうで事件発生後しばらくの間トラビスがマスコミから逃げるために潜伏中はもっぱらウォルトン一家のスポークスマンをつとめていた。ボクシングをやっており非常によい体格をしている。筆者はたまたまデュエインの家の近くに住んでいるので事件発生時から連絡をとって詳しい話を聞くことができた。

マイケル・ロジャーズと他の目撃者たち

マイケル・ロジャーズは二十八歳、トラビスと同じスノーフレックの町に住む。熱心なモルモン教徒で女の子が四人もいるが不景気のために定職がなく、営林署の請負仕事をしたり町の看板書きのアルバイトをしたりして生活はあまり楽でもないようだ。事件当時は営林署と契約して若木の間引き作業を請負い、若者たちを雇って仕事をしていた。芸術の才能に恵まれていて独学で画を学んだ。トラビスが怪光線に打ち倒される光景を描いた絵(口絵P6)は実際の目撃者である彼が描いた絵だけに、とても迫力がある。マイケルは現在、トラビスの体験談にもとづいてトラビスが執筆中の本の挿絵をせっせと制作しているので、本が出版されるのが楽しみだ。

他の目撃者たちは今、ほとんどヒーパー地区にはいない。ケネス・ピーターソン(二十五歳)はメキシコに働き

(ちなみに、筆者は例のパミューダ・トライアングルの一端をなすプエルトリコ島に約一年間ほどいたことがあるが、銅鉱脈のある地点でなぜかUFOの目撃報告が多かった)

このあたり一帯はUFOの目撃が比較的多いところで、中でもヒーパー村の四百キロメートルほどのチャイルドというところは異常に多く、UFO研究者たちの注目を浴びている。また、三、四年前には、ヒーパー村から東へ約五十キロメートルのスノーフレック

大御所APROと

新興勢力GSWの激しい対立

APRO

APROはUFOの研究者ならだれでも知っている世界的なUFO研究団体であるから詳しい説明は省く。

多数の科学者たちが顧問として名を連ねており、UFOの科学的研究をモットーとしている。会員数約四千人、

世界中に連絡員がいる。代表者のジム・ロレンゼンの本職はオルガン屋さんで、息子さんと一緒にツーソン市でオルガンの商売をやるかたわら、夫人とともにAPROの運営に力を注いでいる。ロレンゼン氏は今年の春、心臓病の手術を受けたが無事退院した。夫人のコーラル・ロレンゼンは一九五二年にAPROを創立した人で、有名なUFO研究者として知られている。つい最近も夫妻共著で「UFO乗組員との

(この町にトラビスやマイケル・ロジャーズたちが住んでいる)で、スクール・バスに乗った児童たちが夕陽のような赤色の巨大なUFOを目撃して一騒動あったこともあり、このへんの人々にとってUFOの目撃はそれほど珍しいことではないらしい。また、筆者はつい最近トラビスがUFOからの怪光線に打ち倒されたのと同じ夜に、現場から南東へ約七十キロの部落で十七歳の若者がUFOを見たという未確認情報を得たので現在調査中である。

遭遇」という新著を出した。

世界一のUFO研究団体を自負しているだけに自信も強く、トラビス・ウォルトン事件に関してもハイネック博士を批判したりGSWを激しく攻撃したりしている。

GSW

一方のGSW(Ground Saucer Watch)は会員数約三百人、APROと比較するとずっと小粒だが、なかなかどうしてピリリと辛い内容をもっている。というのもAPROが会費を納めたものほだれでも会員になれるという方針をとっているのに対し、GSWは少数精鋭主義をとっていて所定の講義を受けてテストをパスし、活発にUFOの研究活動を行うと認められた者し

に行っており、またデュエイン・スミス(十九歳)はフェニックス市、ジョン・グレット(二十一歳)はアリゾナ州の西はずれにあり、アラン・ダリス(二十一歳)は行方不明、最年少のスティーブ・ピアス(十七歳)のみスノーフレックの隣、テイラー村にいる。

事件がおこった際、六人の仲間たちが怪光線に打たれて倒れたトラビスを置き去りにして一目散に逃げ去ってしまったため、トラビスの兄のデュエインは「友達甲斐のないやつらだ」と怒ったということだが、事情が事情だけにそれもやむを得なかっただろう。当夜、保安官たちを現場に案内する際にはマイケル・ロジャーズとアレン・ダリス、それにケネス・ビーターソンのみ同行し、残りの三人は恐れて現場へ戻るのを拒否したという。その後、六人も嘘を言っていないことを証明するためポリグラフ・テストを受け、アレン・ダリスを除き全員パスした。アレンは興奮し過ぎて結果が出なかった。

事件後行われたトラビスの捜索で、マイケル等の仲間達は警察犬を使ってトラビスの行方を探してくれるよう申し入れたが、なぜかこの要求は無視されたそう、もしあのとき警察犬を使

って探していれば彼がどこかに隠れていたのか、あるいは本当にこの地上にいないか、あるいはまたのかはつきりさせることができたのにと残念がっている。また、事件後、現場での残留放射能の測定は管林署のある男が行ったがこの測定はかなりのいかげんなものだったらしい。このうちのは、小型トラックや目撃者たちが着ていた衣類などは調べてみせ、マイケルたちのかぶっていたヘルメットから、まわりの土地よりも四倍くらい強めの値が出たらもう神経質になってしまう、それだけ

で測定をやめてしまったということだ。UF Oによる残留放射能の測定は事件発生後十二〜十六時間以内に行わないと消滅してしまうといわれているので、もしこんないかげんな測定が本当に行われたとするならば実に残念なことである。

なお、UF Oとの遭遇時によく報告される電磁効果はこのケースの場合報告されておらず、マイケルは小型トラックで現場から逃げた際も別にエンジンが止まったりしなかったと言った。

ガレスピー保安官

この事件を取り扱ったナバホ郡保安官マーリン・ガレスピーは、「当初六人の目撃者たちの話はつじつまが合っていない。ポリグラフ・テストの結果も白と出ており、私はほとんど信じかけている」と言っていたが、その後トラビスと会って体験談を開いた頃から、「どこがどうと詳しく言えないが何となく一杯噴わされているような気がする」と言いだし、トラビスが約束のポリグラフ・テストに出て来なかったことを理由として当事件の捜査を打ち切ってしまった。

トラビスたちの説明によると、実はガレスピー保安官は以前にUF Oを二、三度見たことがあり個人的にはUF Oの存在もトラビスたちの話も信じているし、身内や親しい人たちは内々にそのことを洩らしているのだが、保安官として自分の選挙の得票を気にして公式にUF Oを信じていることをあかささないのだからである。筆者はガレスピー保安官に会って真偽をたしかめたいと思っているが、残念ながらまだその機会に恵まれていない。

かメンバーに加えないからだ。

多数の科学者(特に航空宇宙関係)、技術者、各分野の専門家を中核メンバーとしており、「科学的裏付けのあるデータ以外は一切相手にしない」として、第二次大戦以後観測された信頼のおけるUF O関係のデータ以外はとりあげないという徹底的な科学主義をとっている。

一九五七年に設立されたが、設立当初は世間一般のUF Oに対する無理解を避けるため地下活動を行っていたという。グラランド・ソーサー・ウォッチという変な名前はこのときの名残りであるそう。

代表者のビル・スポールディングの本職はフェニックス市にある航空宇宙工学関係の会社のエンジニアであるが、まだ三十歳代という若さにものをいわせて職務のかたわら猛烈なUF O研究活動を行っている。フェニックス市では、市で行う成人教育の課目に正式に「UF O学」ととりいれているが、スポールディング氏は講師としてこれを教えており、その他あちこちで頻繁に行うUF O講演会を数えると一年の半分くらいはUF Oの講義をして

いることになるという。彼はまるで「歩くコンピュータ」といった感じで、ひとたび口を開くとよく通る早口で次から次へとUF Oに関するデータが飛び出してくる。

GSWはテキサス州に本部をもつM

UF ON(相互UF Oネットワーク)の姉妹機関となっていて情報交換を行っており、スポールディングもMUF ONアリゾナ支部長を兼ねているが、GSWはGSWとしての独自の活動を行っている。

また、GSWはハイネック博士の主宰するCUFOS(UF O研究センター)とも連携している。このため、GSWの精神心理学コンサルタントであり今回のトラビス・ウォルトン事件の渦中の人であるスチュアート博士は、同時にMUF ONのコンサルタントを兼ね、CUFOSとも協力関係にあるわけだ。そのスチュアート博士が事件直後トラビスと会って、「麻薬、特にLSDによる幻覚のようだ」と診断したために、それらのアメリカの主要なUF O研究団体がからんでトラビス・ウォルトン事件がかくまでも大きな波乱を呼び起こすことになったのだ。

GSWはまた、最近の航空宇宙工学の新技术を利用して、従来困難とされてきたUF O写真の真偽の鑑定をコンピュータを使用して行うという画期的な方法を開発して話題をよんでいる。これについては、イギリスで出版されている世界的に定評のある「フライング・ソーサー・レビュー」誌も最近の号(VOL. 22, No. 1, 1976)でこれをとりあげているからご覧になった読者もあるだろうと思う。

さらにGSWはアメリカ政府、特に

CIAがウォーターゲート事件以上の規模でもってUFOに関する証拠を隠滅してきたとして訴訟をおこし、アメリカのマスコミの注目を集めている。これまで述べてきたことから、GSWという団体が小粒ながらもいかにピリリと辛く、科学的でエネルギー的な団体であるかおわかりいただけただけだと思う。

たとえていえば、GSWはUFO研

GSW側を窮地に陥し入れた ハイネック博士の声明

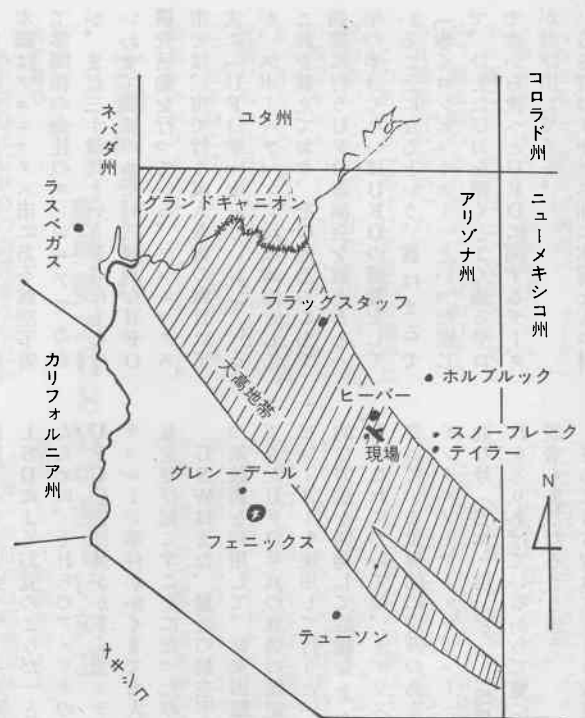
およそUFOに関心をもって研究している人でハイネック博士の名を知らない人はまずあるまい。元オハイオ州立大学天文学教授でマクミラン天文台長をしていたが、一九四九年に米空軍のUFO調査機関、プロジェクト・サイインからの依頼でコンサルタントをひき受けて以来、プロジェクト・ブルックのコンサルタントとしても長年活躍してきた。この人は、はじめは完全なUFO否定論者であったが、多数の信頼に価する証人たちの真面目な目撃報告に接しているうちに意見を変え熱心なUFO肯定論者となり、UFOを否定する空軍と袂を分かった。現在はノースウェスタン大学天文学部長の要職のかたわらCUFOS(UFO研究センター)を主宰しており、アメリカのUFO研究界でも最も信頼されている科学者である。

究界の大御所であるAPRO一家に挑戦する新興勢力であり、APROから見れば「こしやくなGSWの若僧め」といったところであろう。この二つの団体が同じアリゾナ州の中にそれぞれ本部を構えており、その地元でウォルトン事件が起こったのであるから、騒ぎが大きくなったのも無理からぬことである。

このハイネック博士は、ウォルトン

事件を調査するためにCUFOSと協力関係にあるGSWのスポールディングを通して、トラビスが発見された直後の十一月十三日フェニックスに来てトラビスと会見することになっていた。ところが、トラビス側はハイネック博士がUFO研究界でそれほど有名で影響のあることは知らなかったらしく、GSWとの感情のこじれからハイネック博士との会見の約束も突然キャンセルしてしまつた。

以後しばらく、ハイネック博士は当事件のなりゆきを静観していたのだが、二月七日に行われたAPROによるポリグラフ・テストの結果が白と出、アメリカの有名雑誌「プレイボーイ」から当事件に関して記事を書いてほしいと依頼されたためか、APROからの呼びかけもあつてトラビスに



直接会ってみることにきめた。そこで、今回はGSWのスポールディングを通さず、APROを通してトラビスに会うことにし、三月二十三日フェニックスに来てトラビスと会見したのである。

トラビスと会った後ハイネック博士は記者会見を行い、「トラビスは嘘を言っているようには思えない。もっと詳しい調査を続行すべきだ」と発表した。このため、これまでおもにGSW側の意見に同調して、ウォルトン事件を黙殺することにしていたマスコミは態度を変え、三月二十三日付の夕刊紙「フェニックス・ガゼット」は一面でこ

の発表を大きくとりあげて報道した。「ウォルトンは嘘を言っていないUFOの権威語る」と題するこの記事の隣には「カミカゼ・パイロット、暗殺に失敗」として日本の児玉邸事件が報じられていたのが眼をひいた。

このハイネック博士の声明でGSW側は窮地に陥つてしまった。なぜなら、GSWはこれまでハイネック博士を含むGSW—MUFON—CUFOS連合軍の代表のつもりで行動し、発言していたので、すっかり面目を失った形になってしまったからである。スポールディングは早速ハイネック博士に、「一体どういうことなのだ」と電

APPRO側の主張

APPROの主張（筆者のインタビュー及びAPPRO会報 VOL. 24, No. 5, 6, 9にもとづく）

1、APPROの調査員は事件直後目撃者たちに会って、彼らは嘘を言っていないとの印象を受けた。

2、六人の目撃者のうち五人までが事件直後アリゾナ州公衆安全局の専門家によって行われたポリグラフ・テストをパスしている。

3、トラビスとデュエインも今年二月七日にフェニックス市のイーゼル・ポリグラフ研究所で行われたポリグラフ・テストをパスした。また、母のケレット夫人も三月二十二日にテストを受けてパスした。

4、GSWのステュアート博士は、「十一月十一日朝九時半から十一時半までの二時間くらいトラビスを診断したが多分LSDによる幻覚だ」と発表したが、これに対してトラビスたちは、九時半から十五分くらいしか博士のオフィスにいなかったと主張しており、このことはAPPROのロレンセン夫人が十時四十七分頃デュエイン宅に電話をしたらトラビスと一緒に博士のオフィスにいたはずのデュエインが電話にでたことから証明できる。

5、ステュアート博士の学位を調べてみたら、カリフォルニア・ウェスタン大学という聞いたこともないような小さな通信教育の学校でとったPh.D（哲学博士号）で、M.D（医学博士号）ではないということ

がわかった。これでは信頼に値しない。（注・ステュアート博士はこれに對し名誉毀損で訴えるとしている）

6、一方、十一月十一日の午後トラビスを診断したフェニックス市の二人の内科医、ケンドール博士とソール博士は立派な医学博士である。また、信頼すべきクリニクで行った十一日午後採取の尿と、十三日午後採取の血液の検査及びEKG、EEGなどの脳波テストでも、麻薬、EGなどはアルコールの服用を示す結果は出なかった。

7、APPROのコンサルタントでカリフォルニア大学工学部教授であるハーダー博士は事件後、興奮しているトラビスに催眠療法を施したが嘘を言っているようではなかった。さらにローゼンバウム博士、ゴーマン博士もトラビスを診断して同じ印象を受けた。

8、生理学者でAPPROの超心理学のコンサルタントであるカーン博士は、ロールシャッハ・テストの結果「トラビスは暗示にかかりにくく性格は正常」と診断した。

9、心理学修士のマコーネル氏は十二月十六日のミネソタ式多相性格テスト(MMPIテスト)の結果「性格は正常で幻覚性向は見られない」と診断した。このテスト結果は更にAPPROの心理学コンサルタントのスプリング博士によって吟味され同様の結果が得られた。

10、精神分析医のローゼンバウム博士は、もしトラビスが事件直後に保

安官の要請によって予定されていたポリグラフ・テストを受けていたとしても無意味であったらうと語った。なぜなら、ポリグラフ・テストは嘘を測定するのはなく、質問に反応する「精神的な圧迫感」を測定するのであるからトラビスはその当時、事件のショックとマスキミなどからの強い精神的な圧迫感を受けて混乱状態にあったからだ。

11、ウォルトン事件が起こる約三ヶ月前の八月十三日に隣のニューメキシコ州アラモゴードのホルマン米空軍基地近くの砂漠で、三十二歳のムーディー軍曹がやはりUF0に連行されるという事件が起こったが、UF0内の宇宙人たちの描写などトラビスの語った内容と驚くほど一致している。しかも、このニューメキシコの事件は事件発生後約九ヶ月間も公表されていなかったで、トラビスがこの話を真似たということに絶対的であり得ない。この点からもトラビスの話の真実性がわかる。

12、トラビスの話の起る前にある放送局に電話して「UF0について話すから自分を出演させないか」などと言ったというNICAPの報告は、調べてみたが事実無根である。

13、この事件がデッチあげであると主張する六人、すなわちガレスビー保安官と二人の部下、GSWのビル・スポールディングとステュアート博士、それにフィリップ・クラス（注・UF0否定論者として有名）は、トラビスや目撃者たちが受けたようにポリグラフ・テストを受けたべきである。APPROは喜んでテストの費用一切を負担する。

話を聞いたが、博士の返事は「完全に肯定したわけではないが、否定もしきれない。たとえ実際に体験していないとしても心理的に実体験をしたと思いを続けるべきだと思ふ」というものであった。

ハイネック発言を聞いてAPPRO側は当然喜んだが、コラル・ロレンセン夫人は「ハイネック博士はずるい。APPROの仲介でトラビスに会えたのに、まるで自分一人で会ったようなことを言っている」と批判しているから世の中は難しい。

「デッチあげ」を主張するフィリップ・クラス

クラス

フィリップ・クラスはUF0否定論者として有名で「UF0 Explained (UF0は解明された)」という本を書いている。また、もし本当にUF0が存在するということを経験できたなら一千万ドルの賞金を出すといつて話題をまいたことがある。彼はあの有名なパスカグーラ事件も、今回のウォルトン事件もUF0に関する事件はすべて錯覚、幻覚の産物か、デッチあげであると主張しているのだが、日頃UF0の存在につきクラスと正反対の意見をもっているGSWのスポールディングが、パスカグーラ事件とウォルトン事

GSW側の主張

GSWの主張(筆者のインタビュー及び、GSW会報七六年六、七月号にもとづく)

1、現場からは残留放射能は検出されなかった。ただし、事件発生後GSWが通知を受け、現場に到着するまでには時間が経過し過ぎていたので放射能の検出はともども無理であった。UFOの着陸を示す痕跡も見つからなかったが、不思議なこと現場の木の幹の、地上から十メートルくらいの高さで十ガウスという異常に高い残留磁気が検出された。(アニス・ガウスメーター#55を使用) どうして木から磁気が検出されたのかは不明である。

2、六人の目撃者のうち、だれもトラビスが実際にUFOの内部に入るのを見ていない。したがって、トラビスはどこかに隠れることができたはずだ。

3、ウォルトン一家は昔からUFOマニアだった。以前も十〜十五回UFOを見たことがあると言っているが、これは異常に多すぎる経験だ。

4、トラビスがまだ見つかる前、デュエインはGSWの調査員に「トラビスは今にきつと見つかる。なぜならUFOは友好的だからだ」と言っ

た。そこでGSW側が「どうしてトラビスが見つかるかわかるのか?」と問うと、デュエインは「そういう気が強くなるからだ」と答えた。そこで、「では、トラビスがもどされる際にはその偉大な瞬間をカメラにおさめてみないか」と聞いてみたところ、「いや、もしカメラを持って行くと彼らはもどって来ないからダメだ」と答えた。(注・デュエインはこの点に関して「きつともどつて来ると言ったのは母親を安心させるためだ」と言っている)

5、ケレット夫人はトラビスの失踪を少しも心配せず、「UFOはトラビスを傷つたりしない。彼はきつと帰ってくる。私たちはこれまでに何度もUFOを見た」と言った。

6、もし真実の体験なら、すぐに驚くべき体験を保安官なり記者たちに語り、いろいろな科学的テストを受けて信じてもらおうとするのが普通であるのに、トラビスの場合は約束のポリグラフ・テストもすっぱかして逃げまわっていた。

7、トラビス兄弟は「体験談」を高値でナショナル・エンクァイラー紙に売りつけた。七人がUFOを見たところまでは本当に起こったことかもしれないが、それから先はトラビスとデュエインがたくらんだ金もつけ目当ての作り話にちがいない。

8、トラビスを診断したスチュワード博士は精神分析の専門家であると同時に麻薬関係の専門家であり、フエニックス市警から頼まれ何人も麻薬患者を取扱っている。スチュワード博士が麻薬でもエキスパートであることを知って、トラビスたちは二度と寄りつかなくなったのだ。

9、なお、スポールディングは十一日の朝、勤務している会社の事務所から九時四十分頃と十一時頃とにスチュワード博士のところへ電話してデュエインとも話したから、トラビスたちはたしかに博士の事務所に行ったのだ。したがって十五分くらいしかいなかったというのは嘘である。

10、ポリグラフ・テストというのはそれほど信頼できるものではない。しかし、もしAPRO側がGSWのスポールディングもテストを受けなければならないのなら、いつでもそうする用意がある。そのかわり、ナショナル・エンクァイラー紙等の後援などなしに、科学的信頼のおける技師のもとにロレンゼン夫妻、トラビス・ウォルトンも同時にテストを受けることを条件とする。

11、トラビス・ウォルトン事件とミシシッピのバスカグーラ事件に関しては、デッチあげであるとするフリップ・クラスの調査結果に全面的に同意する。

件に関してはクラスの調査結果を100%支持すると言っているから面白い。クラスは六月二十六日付で「トラビス・ウォルトンのUFO誘拐事件がでつち

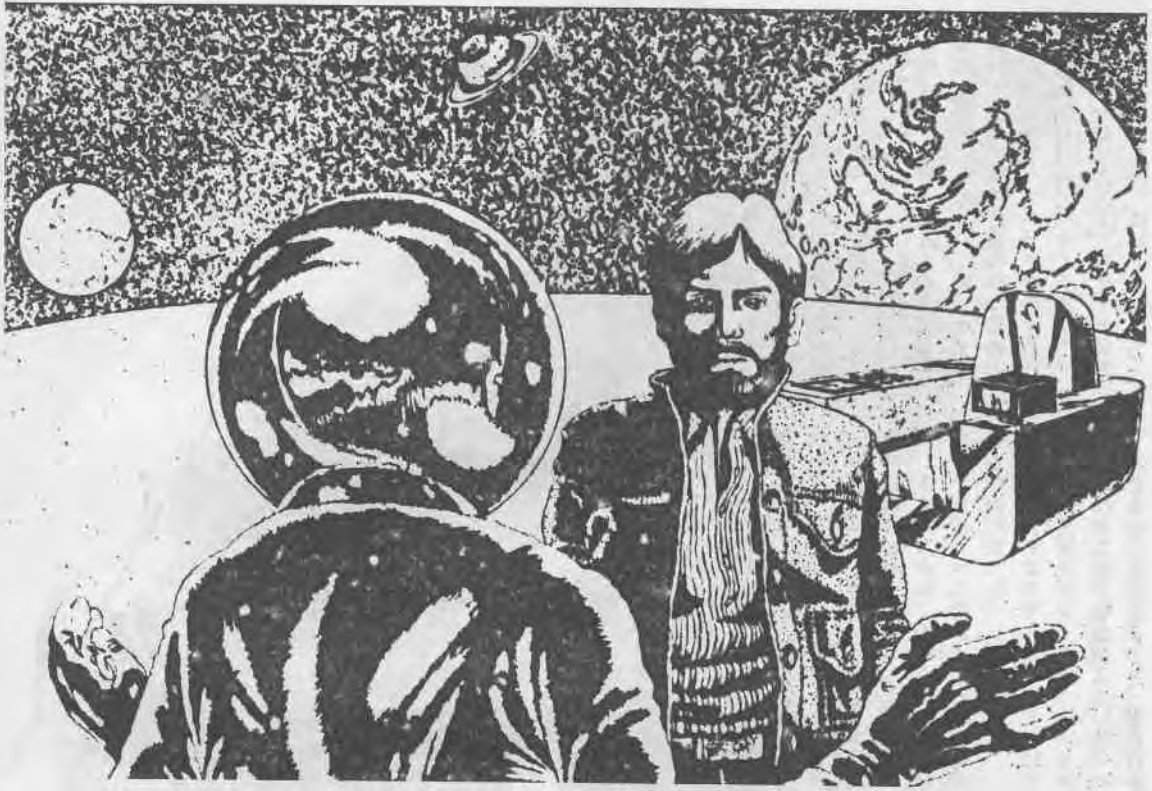
主張点は次のようなものである。あげである新しい証拠」という詳細なレポートを発表しているが、その主な

1、事件直後の十一月十五日にAPROとナショナル・エンクァイラー紙との依頼によってフエニックス市のアリゾナ・ポリグラフ・ラボラト

リーのマカーシー技師(二十年近くの経験をもつ)がトラビスのポリグラフ・テストを行ったという証拠があるが、その結果はクロであった。ところが、APROと同紙はこの結果をにぎりつぶしてしまい公表していない。マカーシー技師は、トラビスは嘘を言っていると判断したが、テストの依頼主のナショナル・エンクァイラー紙がテスト結果を公表しないように言ったので沈黙していた。

2、それから三カ月後にイーゼル・ポリグラフ研究所で行われ、トラビスがパスしたというテストの結果をAPROは大袈裟に発表しているが実は、このテストを行ったファイファー技師は二年ほどの経験しかなく、またテストの質問はトラビスたちの側から与えられたものでテスト結果は無効にすべきだと所長のイーゼル氏が言っている。

3、ガレスビー保安官の要請で十一月十日ギリソン技師によって行われ、五人の目撃者がパスしたポリグラフ・テストはトラビスが仲間たちに殺害されたかどうか主眼をおいたテストであつて、UFOに関する質問は一つもなかった。しかも、「トラビスがいなくなった際、UFOを見たというのとは本当か」という簡単な質問だけで、UFOから怪光線が発射されたか? とか、その怪



光線によりトラビスが倒れたか？
などという質問はされていなかったから不適當である。

4、トラビスの経歴を調べてみたところ、事件の四年ほど前にマイケル・ロジャーズの弟のチャールズと二人でアルバイト先の会社の小切手を盗み出し、偽のサインをして現金を引き出したかどで二年間の執行猶予を受けてる。

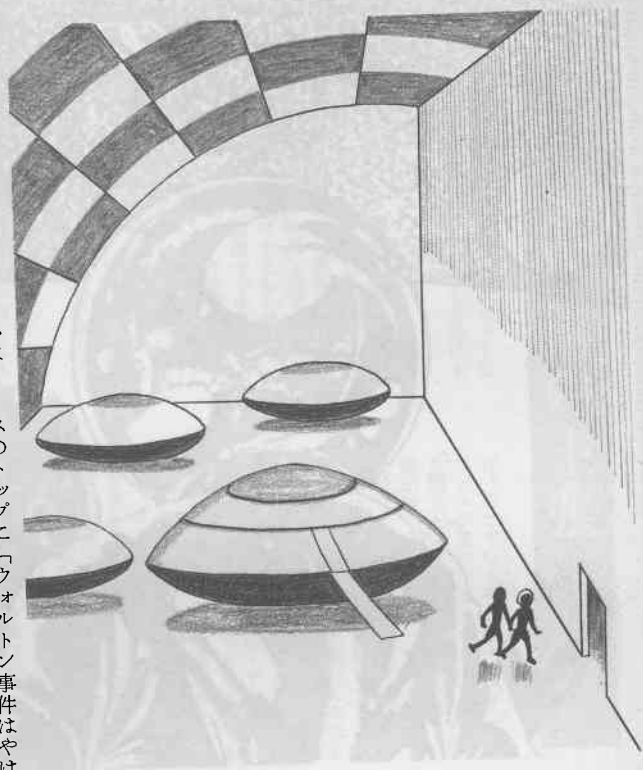
5、また、トラビスは事件の以前にLSDなどの麻薬をやった経験があるとマカーシー技師に語っている。事件直後にトラビスをみたスチュアート博士はトラビスの右腕の内側に注射をした跡のような傷があったと言っている。

6、これまで、目撃者たちには嘘をつく何の動機もないとされてきたが実は大きな経済的動機があったのだ。マイケル・ロジャーズは営林署との契約で十一月十日までに若木の間引き作業を完了できなかった場合には罰金を払う約束になっていたが、大幅に仕事が遅れ困っていた。そこで彼らは十月二十日にNBCテレビで放送された「ベティとバーニー・ヒル事件」にヒントを得てUFO騒動をデッチあげ、期限内に仕事を完了できないことへの言いわけにしようとしたのちがいない。現に、十一月十八日マイケルは営林署に、皆こわがって現場にもどりが

らないからと申し出て、契約の遂行を免除してもらっている。

7、トラビスの失踪中、ケレット夫人をはじめ兄のデュエインもマイケル・ロジャーズも、トラビスがUFOからの怪光線にあたってひどいケガをしたり死んだりしていないだろうかという心配は全くせず、彼はかならず無事にもどって来ると言っており、まるでトラビスがどこにいるか知っているような落ち着いた様子だった。また、トラビスが見つかったという深夜、もしトラビスの身体が本心に心配ならスノーフレックから南へ二十五キロメートルほどの町に診療所があるから、そこへかつぎ込むべきなのに、わざわざ車で三、四時間もかかるグレンデールへ行っている。

8、十一月十一日の午後、APROのケンドール博士とソールツ博士がトラビスを診察した際、彼の話を信用している両博士たちでさえトラビスの写真を写したりその話を録音したりすることを拒否された。さらに、これがトラビスの尿だといってデュエインが容器を渡したというがそれがたしかにトラビスの尿だったという証拠はない。この尿中には普通人が数日間飲まず食わずだったとすれば当然検出されるはずのアセトンが検出されなかった。トラビスは五日間以上も飲まず食わずだったは



ずだからこれはおかしい。あるいはまた、尿中から麻薬使用の証拠が出るのを恐れて兄のデュエインの尿を渡しことも考えられる。とにかく、ケンドール博士はこのテスト結果をAPPROに報告したが、APPROからは公表されていない。

このフィリップ・クラスの主張をGSWは全面的にとり入れ、ウォルトン事件がデッチあげである明白な証拠としてAPPROやハイネック博士たちへ大反撃を行うべくマスコミに流した。

七月十一日、アリゾナのテレビ局K T A R (N B C系) はローカルニュー

スのトップに「ウォルトン事件はやはり嘘だったことが立証された。トラビスはポリグラフ・テストに失敗していたし目撃者たちにも騒ぎをたくらむ動機があった!」と大々的に報じた。これを皮切りに七月十二日のテレビ、ラジオ、新聞もいつせいに「ウォルトン事件は嘘だった」と報道した。このため、多くの人々は、やはりあの事件はデッチあげだったのか——という印象をもつにいった。

だが、APPROやトラビスたちは当然このGSW及びフィリップ・クラスの攻撃に対し怒りを表明している。

APPROの説明によると、事件直後

のトラビスは精神的に非常な混乱状態にあったので、ローゼンバウム博士、ハーダー博士、ローレンゼン氏等はポリグラフ・テストを行っても意味がないと主張した。が、それにもかかわらずナショナル・エンクワイラー紙が、独占記事にする価値があるかどうか試すためにはどうしてもポリグラフ・テストを受けさせたいと主張したので、やむなく、結果がどう出ても公表しないことを条件に行ったところ、やはりトラビスが興奮し過ぎていて嘘を言っているような結果が出てしまった。しかし、このテストはもともと行う時期が悪く意味がないので発表しなかったのだが、マカーシー技師が約束を破ってフィリップ・クラスに話してしまったのだという。

また、二月七日に行われたファイブ・ファイ技師によるポリグラフ・テストの件では、「テストの前に大体どういう範囲の質問をするか当事者側と話し合うのは一般的に行われていることだ」とファイブ・ファイ技師は反論している。

さらに、マイケル・ロジャーズは、クラスの攻撃に対し、「事件の前にも七年間も営林署の仕事をしており、その間約束の期間内に完了できなかったのは六年間に一度あっただけで、これ

その他の雑誌、団体も

つぎつぎと見解を発表した

1、NICAPは今年の一月号の会

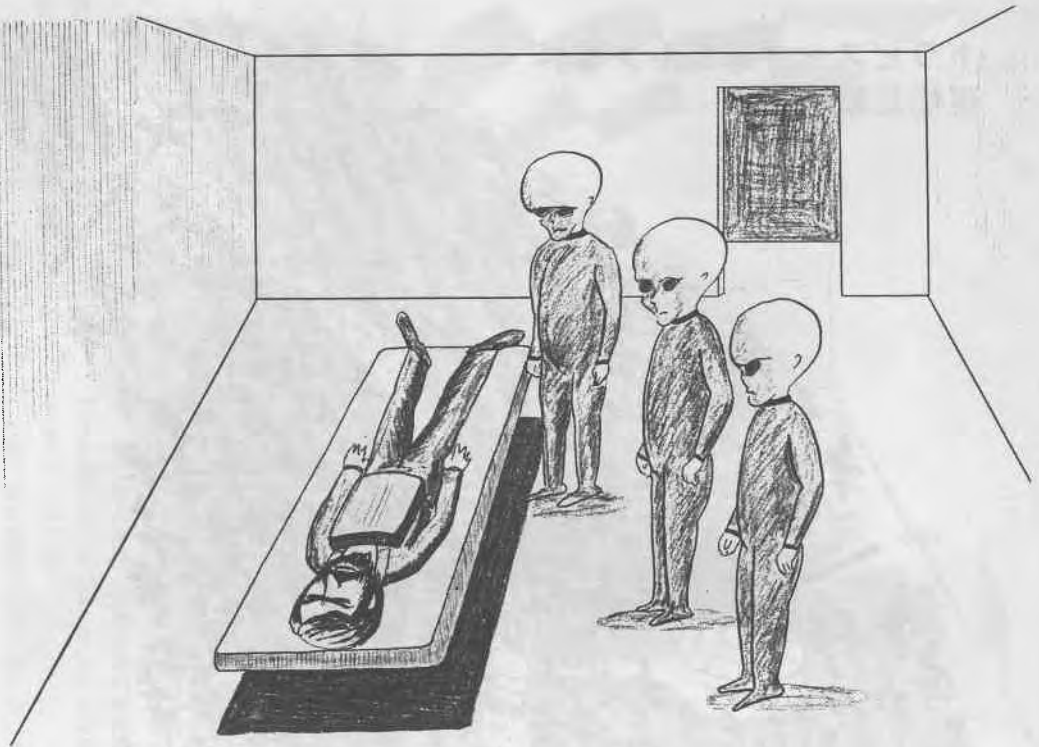
もその後の契約にはいっそう影響せず仕事をできていた。事件のあったときもチームのメンバーにきちんと給料は支払っていたし、あともう少しで仕事も完了するところだった。クラスの攻撃はとんだ言いがかりだ」と反論している(注・マイケルは間もなく営林署の次の請負仕事を始めることになっている)。そして、「フィリップ・クラスの方こそこの事件を否定したがる経済的動機がある。なぜなら、彼はUFOの存在を証明した人には一千万ドルの賞金を出すと約束しているから、どうしてもUFOの存在を否定する必要があるわけだ」と語っている。

トラビスとマイケル・ロジャーズは七月十四日、フェニックス市のK T V K (A B C系) テレビに出演して、GSWやクラスの攻撃に対する反論を行い、「もし、クラスが応ずるなら、だれもが信頼をよせる第三者のポリグラフ・テスト機関で再度テストを受けるから、もし我々が見事パスしたらテスト費用は全部クラスがもて」と挑戦を行った。クラスの方も新聞で、「彼らから正式に挑戦状を送ってくれば挑戦に応ずる」と発表している。今後の展開が注目される。

報で当事件に対し、調査員の報告と

トラビス・ウォルトン事件 現場見取図





して、
⑦トラビスは以前からUFOマニアだった。

⑧事件が起こる前に、あるラジオ局に電話して出演させると頼んだところ頭がおかしいと言われたの

で事件後再び電話し、「さあ、ど
つちの頭がおかしい？」と言った
……と、ある保安官から聞いた。
と、疑惑的な報告をしたが、その後
APPROからの攻撃にあつて当事件
に関しては沈黙を続けている。

2、MUFONはGSWと姉妹関係
にあるが、機関誌「スカイルック」
の十二月号でGSW、APPRO、N
ICAPとその他の意見を載せ、中
立の立場をとった。そして、今年の
二月号では更に詳しく前記三団体の
調査結果を報じ、三月号ではトラビ
スがポリグラフ・テストをパスした
ことを、四月号ではトラビスの手記
とマイケル・ロジャーズの描いた画
(口絵P6)を載せている。このよ
うにMUFONはGSWと深い関係
にありながらも、ウォルトン事件に
関しては一貫して中立的な立場をと
っている。

3、イギリスのUFO雑誌「フライ
ング・ソーサー・レビュー」は今年
二月に発行されたVOL. 21, No. 5
で、やはりウォルトン事件に関し賛

様々な角度からの

徹底的チェックと批判を

これまで筆者はウォルトン事件をめ
ぐる賛否両論を紹介してきた。で

は、はたしてこの事件の真相はどうで
あったのだろうか？

否両論を紹介している。
4、アメリカのUFO雑誌「オフィ
シャル・UFO」は今年の七月号で
当事件特集を組み、詳しい記事を載
せた。

5、有名な「ブレイボーイ」誌は九
月号で当事件を大きく取りあげる予
定である。

6、透視能力者として有名なピータ
ー・ハーコス(ピーター・フルコス)
は、この事件が起こつて間もなく、
たまたまフェニックス市を訪れたが
当事件の真实性をどう思うかとの記
者団の質問に答えて「この事件は嘘
だ。私はUFOの存在を信じている
し、政府も本当はUFOの存在を知
っている。しかし、この事件は嘘だ。
だれかの幻想だろう」と述べた。

7、ゼロックス社で出しているアメ
リカ人学生の英語教育のための小冊
子「READ」は三月号でこの事件
を取りあげ「果たして本当だろう
か？」と疑問を呈示している。



筆者がトラビス・ウォルトンやマイケル・ロジャーズと直接何度も会って話を聞いた印象では、彼らは嘘を言っていないように思われる。もちろん、筆者は専門の心理学者ではなく、透視能力ももち合わせていないので、もしも入念に仕組まれた嘘を聞かされれば信じこんでしまう可能性は十分ある。

しかし、彼らと何度も会って教時間を一緒に過ごし、彼ら同士が何気なく話す冗談や、新聞、雑誌等で報道されている彼らの体験に関する間違った情報を見つけて憤慨しているようすを横から見ていると、どうしても彼らが嘘をデッチあげているように思えないのだ。

筆者はGSWの科学的な能力、業績を高く評価している。前述したコンピュータによるUFO写真の真偽鑑定法の開発などは、UFO研究における画期的な進歩だ。

また、スポールディングやスチュアード博士とも何度も会って彼らの考え方も詳しく聞いた。彼らのUFO研究に対する態度は真剣でUFO研究を冷笑黙殺しがちな科学者たちをなんとか納得させ得る「純粹に科学的な」研究をしようとする努力を重ねている態度には尊敬の念を覚える。

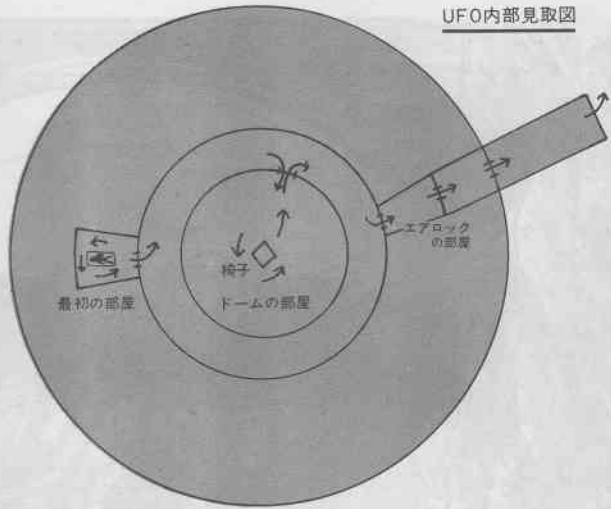
しかし、ウォルトン事件に関してはこの、あまりに「科学的」態度に固執したがゆえに、人間関係の面で何か忘れたものをしたのではないかという気が

する。というのは、もし筆者がトラビスと同じような体験をしたと仮定してみると、わけのわからない怪光線をUFOから浴び、変な検査らしきものをされた可能性が濃厚で、釈放されてからもひどい頭痛と吐気を催し、体重は五日のうちに五キロも減っている―とすれば何よりもまず信頼のおける内科医に精密検査をしてもらい、身体に異常がないかチェックをしてもらいたいのが人情というものであろう。兄のデュエインも、もちろん弟の身体が心配だから、どこかよい医者はいないかと考える。そういえばトラビスを探しているときに会ったGSWのスポールディングは、何か援助できることがあったら連絡してくれと言っていた。そこで、スポールディングに電話してみた。スチュアード博士を紹介された。ふらふらのトラビスをつれて行ってみると、スチュアード博士は内科医ではなく、ただちにトラビスを催眠術にかけて本当のことを言っているかどうか調べると言う。しかも、スポールディングの話と違って、身体検査を受けるには金がかかるが知っている医者を紹介してやってもよいと言う。

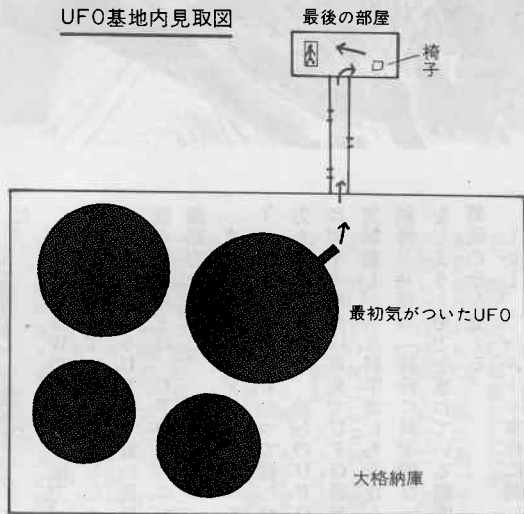
これでは、血の気が多いデュエインがカッとして、トラビスをつれて帰ってしまったとしても不思議はない。

(注・ご存知の方も多いかと思うが、アメリカでは医療費が非常に高い) その後、APROから電話があった

UFO内部見取図



UFO基地内見取図



医者代も、トラビスがしばらく隠れているあいだのホテル代も提供するからの申し入れがあれば、APROにまかせてみようという気になったのも当然だろう。

筆者は、ウォルトン事件騒動の原因はこのへんにあつたのではなからうかと考えている。

しかし反面、前述したように、トラビスやマイケルたちが入念に仕組んだデッチあげに筆者もまた一杯乗せられている可能性も全くないとは言いきれ

ない。

GSWやフィリップ・クラススの主張するいくつかの不審な点に対しても、いまだ完全な解答がなされているわけではないからだ。

APROがこれまでの調査の過程でウォルトン事件に疑問を感じたとしても、当初からこの事件は真実だと主張してきた行きがかり上やGSWとの対立上から、都合の悪い部分は隠して公表しないということもあり得るだろう。

筆者は、UFO事件に対する調査は

けつして遊び半分や、団体の面子を云々するようなことであってはならないと考える。重要な事件であればあるほど様々な観点からのチェックや批判を徹底的に試み、不審な点がすべて取り除かれ明らかにされてこそこの事件の科学的な価値が増すからだ。したがって、UFO事件の研究には、研究団体の感情的対立をなるべく避け、情報を交換し合い、オープン・マインドな態度で真相を究明する努力が絶対に必

要である。

この点で、このウォルトン事件も先入観やグループ意識はなるべく避けて、よりいっそうの真相究明が行われることを切望する。

では、事件が真実起こったことだと仮定すると、トラビスはなぜUFOから怪光線を浴び、そして一体どこへ連れて行かれ、なぜ再び釈放されたのだろうか？

残念ながら、トラビスはUFO内部で会った「宇宙人」に話しかけてみたが、先方はただ微笑みだけで何も応えてくれなかったという。実際に何の会話もなかったのか、あるいは記憶が消去されているために思い出せないのかわからないが、もし「失われた記憶」があるとすれば専門家による逆行催眠テスト等の結果を待つより方法がない。

それではトラビスがなぜ、どこへ連れて行かれたのか筆者の想像を述べてみよう。

これまでに起こったいろいろなUFOの目撃事件を調べてみると、UFOが静止状態から動きを始める際には、そのまわりに強烈なフォース・フィールドのようなものが発生するらしいことが報告されている。トラビスは大胆にも、空中に静止していたUFOの真下まで走って行ったというから、多分あまりにも近寄り過ぎたのだろう。U

F Oの乗員としては、この向こう見ずな若者を殺さずにU F Oを発進させるためには彼を気絶させて仲間につれて行かすか、または仲間が逃げ出すのを待つ必要があったのではないか。そして、トラビスに光線をあてて気絶させたところ、仲間たちは泡をくって一目散に逃げてしまったのでトラビスを介抱してやる必要を感じ、U F O内部に運び入れて基地へ帰ったのではないだろうか。

トラビスのつれて行かれたところにはP 18の図のように大きな格納庫のような部屋があつてU F Oが数台パークしており、そのうちの一つのU F O内部の小部屋でトラビスは最初気がついたという。この格納庫の形はご覧のように屋根が半円を描いて一方の壁に達しているの、まるで円筒を四分の一に仕切つたようだ。この形から想像すると、地球を回る軌道上に滞空しているといわれている例の葉巻型大母船の中にでもつれて行かれたのではないだろうか。

あるいは、もしかしたらアリゾナ州、ユタ州、ネバダ州、ニューメキシコ州、カリフォルニア州といった地域のどこかにあるのではないかといわれているU F Oの大秘密基地内だったのかもしれない。

トラビスが最初気がついたU F O内部の空気はとて暑く息苦しかったが、そのU F Oの外に出ると格納

庫内の空気は冷たく、楽に呼吸できたというし、最初のU F O内にいた三人の小さな、胎児のような顔をした真白な皮膚の「宇宙人」と、後からトラビスをつれに来た体格のよい、浅黒い顔で、金魚鉢を逆さまにしたようなヘルメットをかぶつた「宇宙人」とは明らかに人種、ユニフォームが違つていたというから、その基地内には少なくとも二種類の異なる「宇宙人」達がいたと考えてよいだろう。

筆者の考えでは、気絶したトラビスを一生懸命介抱してやってやつと気がついたらと思つたら、感謝するどころか飛び起きて手近にあつた棒を手にして暴れそうな気配を見せるし、一人にしておいたら勝手に部屋に入り込んでボタンやレバーを押したりムチャをするので、これはもう地上にもどしてしまつた方がよいと判断したのではないか。

そして意識を失わせ、現場近くのヒーパー村の明りが見える路上にトラビスをもどしたのではないだろうか。以上はいくまでも筆者の想像にすぎないということをおこわりしておこう。

とにかく一日も早くこの事件の「謎」が解明されることを願つてやまない。

鷹書房“空とぶ円盤”シリーズ 宇野哲二著

B 6判 ¥780

空とぶ円盤

古代文明と宇宙人

出版社の取材旅行に同行した著者が、インクランド、アルターニユの巨石文化遺跡に見たものは何であつたか。異遊星人の痕跡は、イースター島にもギョレメにもパピロンにもモヘンジョ・ダロにもおつた。古代史を引き考古学に照らし、空とぶ円盤への旅を語るこれは、U F O エッセーに新分野を開いた推理的紀行といわれる。他に「モンテビデオの円盤基地」「円盤の殺人」「洞窟にすむもの」等海外円盤リポートを収める。

“円盤”大陸

アフガニスタン農村調査隊に参加した著者が見た、パミール高原の燦然と、遊牧民が描いた黒い円盤とは関係がないか。シルクロードにかつてすんだと伝えられる「驚獅子」の出土にふれた著者がたどる、チベット地底伝説―南極極地化異変―アマゾナ洞窟都市のコンテニティが語るものは何だろうか。円盤人の可能性を試みた立論として注目されるシリーズII。他に、十字軍にかかわる円盤リポート、大戦秘話に関する円盤リポート、地中海・中東における円盤リポートを収める。

地下のU F O 海のU F O

タッシリの「顔のない岩絵」はサハラ地下海から来たもののモニュメントではないか。エトシヤ大湿地の砂クラゲと水惑星との関係！ サハラ洞窟人とクラゲ形巨石との関係！ 地底と宇宙との逆説的相関を示唆する事件の顛末を語るサハラ・ルポ。北スコットランドの一孤島の旅に始まる、北海の葉巻形U F O とバイキングのU F O に関する歴史のエッセー。パルミーユ島の「少女の死」事件を手がかりに構成する「海のU F O」。リ東京・文京 後楽二丁四一―
鷹書房
電話〇三二八二五五三三
振替東京二二五三三

私は円盤に乗った！

B 6判
272頁
¥ 750
〒 160

驚異のホワイトサンズ事件

ダニエル・フライ著／久保田八郎訳



一九五〇年七月四日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを三十分間で往復する！ その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるといふこの驚異的事実物語は、本誌第二号に掲載されて当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る！ UFO研究者必読の書。

付・宇宙人アランのメッセージ／進歩の曲がり道／原子・銀河系・理解

パプア島の円盤騒動

B 6判
268頁
¥ 750
〒 160

宇宙人の劇的出現事件

ノーマン・クラットウェル神父著／増野二郎訳



ニューギニア島パプアで一九五九年に一大UFO出現ブームが発生した。島内の各所に円盤が低空で降下し、堂々と姿を現したが、特にボイアナイにおける現は劇的であった。地上数十メートルの位置に停止した円盤の上部から、数名の「人間」が、歓声をあげて手を振る島民たちに手を振ってこたえる。この驚異的事実を現地在住のクラットウェル神父が徹底的に調査報告し、大事件の全貌を克明に伝えたすばらしいドキュメント！ 更にフランスで発生した「火の玉UFO事件」と「多条光線を放つ円盤」他四篇を掲載した！

付・フランスの怪奇・火の玉UFO事件／多条光線を放つ円盤

ユニバースUFOシリーズ

ユニバースUFOシリーズ

書店にない場合はユニバース出版社へ直接ご注文ください。

東北地方

UFO事件特別取材

最近、東北地方一帯にUFOの出現が激増している。そこで、40余りの目撃事件の中から、特に興味を引いた幾つかの事件を徹底的に現地調査、ここに紹介する。

フタ付きドンブリ型円盤

蔵王山麓に出現

蔵王山の東、遠刈田温泉とちかたに太陽の五倍もある大きな「フタ付きドンブリ型」の円盤が出現、真近に見た小林キクさん(当時七十一歳)は自宅の廊下から約二十五秒間じつくりとこの素晴らしい物体を観察。それから一カ月間だれにも話さずに「幸せ」を胸に秘めていた。ひとたび円盤について語ったおばあさんは、同時目撃者探しに積極的であった。夏の夜八時頃、温泉街にはぼ平行に低空低速で飛び、明るくオレンジ色に輝く不思議な物体は何をしていたのだろうか。目撃者は何人いるのだろうか。目撃後のおばあさんは円盤に魅せられ、恋焦がれている。「どんな画家でもあの美しい円盤の色は出せませんよ。あんな素晴らしい円盤を見られて幸せですね。今度また来たら気違いと思われたっていいから大声を出してきつと乗せてもらいたいですね」と言う。目撃後、おばあさんは不思議な「夢」を見る。それは円盤と関係あるのだろうか。

蔵王山の麓、宮城県・遠刈田温泉の街から徒歩で十分くらいのところにおばあさんの住んでいる別荘地蔵王苑がある。

小林家はここに四十九年の六月に引越してきた。二十年以上住んだ仙台は長男家族に残し、隠居を楽しむといた格好だ。もつとも仙台まで車で二時間、行来は頻繁にあるようだ。

キクおばあさんが円盤を見た日(四十九年八月六日火曜)おじいさんは仙台に用事で出かけていた。蔵王苑には当時、まだ週末利用者がいたが、住みついていたのは小林家と管理人だけだったのである。その日は仙台七夕にしては珍しい星空の美しい日で、風がな

く三十度を越える暑さだった。以下はキクおばあさんとの対話。

フタ付き

ドンブリ型円盤目撃

「上の方を初めひょっと見たときは、葉巻型円盤かと思いましたが、やっぱり葉巻型ではないですよ。その型(図1を示しながら)ですよ」

「やはりおかま型というか、この絵のように……」

「ええ、下が丸くね」

「目撃はどのような」

「ガラスの中から二十秒ぐらいね、円盤が過ぎてしまつてから窓を開けて見たんですが、それは5秒位ね」



小林家

●写真1 おばあさんが円盤を目撃したのはここ



●写真2 万物に感謝する生活をしているという小林キグさん

——同時目撃者は今のところ確認されていないということですね。

「そうね私だけです。この広い蔵王苑で見たというのも、でも円盤を見たという人はこの近くにいますよ」

——方向は。

「東からズーッと西の方へ飛んでいったんですよ。私ね、いつも見てるけど太陽の出る方向は夏と冬では随分違うんですよ」

——角度は

「四十五度って書いてないですか」
(と記者の手にしている資料をのぞきこむ)

——三十二度って書いてます。

「これね。うちの主人が軍隊で飛行機に乗っていたでしょう。だから、それで見してくれたのよね」

——だいぶ近いというより、むしろ低いということですね。円盤までの距離はどのくらいですか。

「まあこっちへ来てみて下さいよ。(と窓ぎわに立つ) あの山(指差す)のちょ

っと手前で、少し高かったでしょうね。

円盤までは二百メートルはあるでしょうね。ここに飛行機が飛んでいるときなんか「だいたいどのくらい」って主人に距離なんか聞くんですよ。近いなあーと思って四百か五百でしょ。主人

がいたらあれが何百ってすぐ分かったでしょうね」

——大きさは。

「飛行機は細長いですよ。でもこれはとにかくマールインですよ。下が丸いんですよ。マールインですよ。オレンジで、燃えるようなオレンジでしょう。そうとう大きかったですね。とにかくこの室(笑う)をスッポリもち上げたぐらいの。十メートルはあるでしょうね」

——大きいですね。

「だから私こんなに近くで見た人は私だけだと思って」(楽しそうに笑う)

——速さは。

「ヘリコプターより遅いような感じでしたすけど。音がなくて」

フタは薄い灰色

——見かけの大きさは。

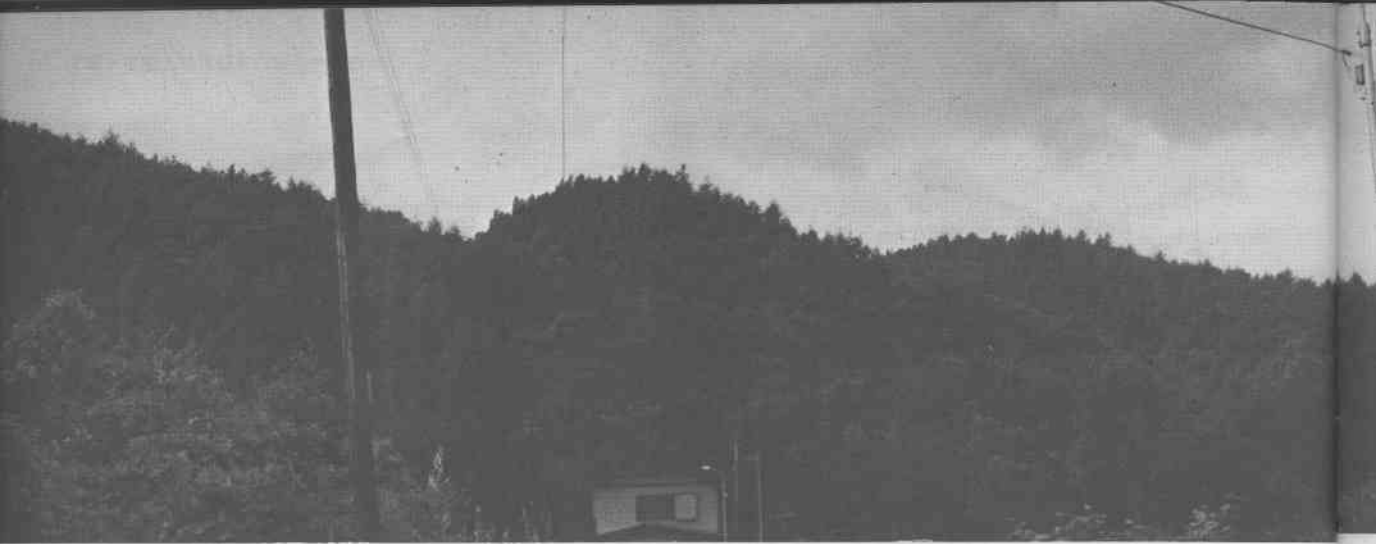
「太陽の数倍だね。向こうの山に沈む太陽なんてそんなに大きくないですよ。向こう(違う方向を差して)に沈むときなんか眩しくてみられないくらいですけど。とにかく(円盤が)大きかったことは事実ですね。下からこの(下の丸い部分を差しながら)大きさは五倍でしょうね。とにかくまあ大きくなってきれいだったですよ。あのと、写真が撮れないのがね。……ますかった」(残念そう)

——色は。

「下がオレンジね、きれいなオレンジね。赤みがあったオレンジね。上はね、フタみたいなんです。フタがかぶさったみたいで、……丸くないんですよ。色は、上の色はしっかり見まじゅうと思っただけなんですけど、オレンジみたいな濃くはないんですよ。灰色というかクリームというんでしょうかね……」

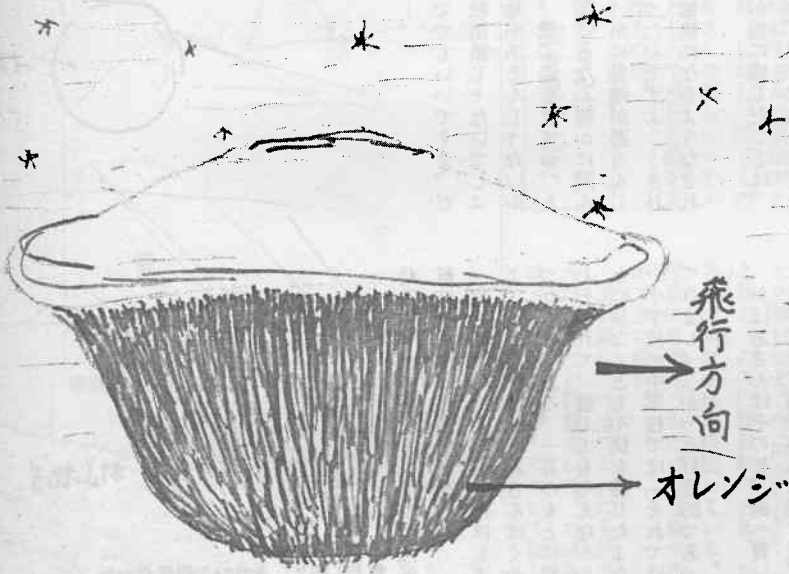
——まんなかに帯のようなものがありますね。

「もう少し下より(下の丸い部分)も大きかったですよ。少し大きくおなべのふたみたいな。灰色だったですよ。上とは少し濃淡があったですよ。少し濃かったですね。そして下のオレンジなんですけど、オレンジが燃え



S49. 8. 6. 夜8時

星空



●図1 キクおばあさんが目撃した円盤は1953年ブラジルで目撃されたものに似ている

るようにきれいなんですけどね、その中に何か見えないかしらと思っって一生懸命見ましたけどね、人の姿とか、中の構造とかそういうものは見えなかったんですよね」

飛行形態は。

「同じ形で、同じ速度で、尾はなく、飛んでいきました。同じ高さでね。光はそうとう遠くまで見えましたか。」

「ええ、そうとう向こうまで見えましたよ」

たよ」

「それではこの辺り帯は明るくなっていますか、あの山なんか。」

「いやそんなに明るくなっていますよ。物体そのものが明るく、赤く、……でもこのガラスにうつったというのには専門家が調べたら割りだせませんよ。高さがどのくらい、大きさがどのくらいというのね。その下の曇りガラス一面パッと明るくなっています」

おばあさんとのインタビュは延々

と続き、もうインタビュというよりも茶飲み話というか親子の会話といった気分になってきていた。少しも堅さを感じずに、リラククスして、終始おばあさんの幸福そうな笑顔と、笑声に包まれていた。円盤を語るときのおばあさんは全く生々している。ある迫力を感じるぐらいだ。すでに「おぼんです」という仙台地方のNHKの番組にも十分ほど出演したことがあり、円盤村という研究グループでも講演するなど、おばあさんの円盤活動はさかんであり、積極的だ。そのせいか、目撃以前は「テレビで見た程度の知識だった」そうだが、今は慣れた答えが返ってくる。

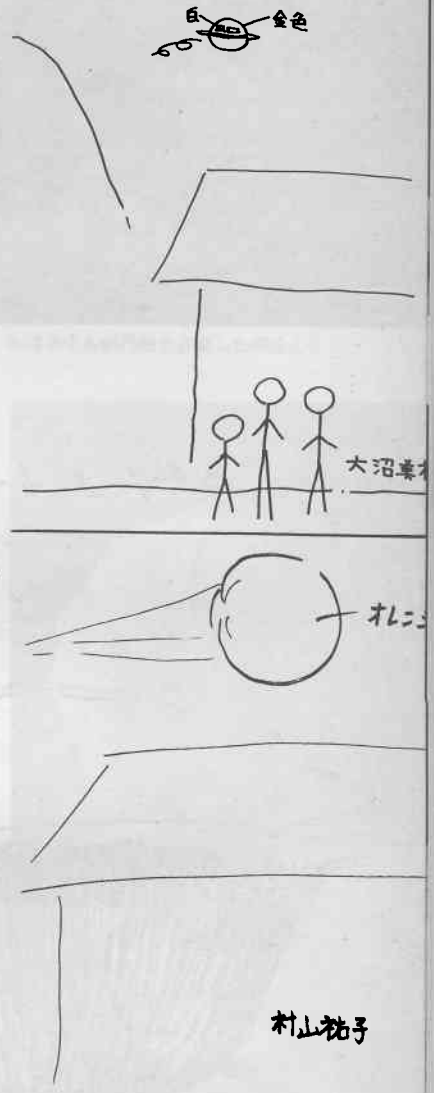
寝間着姿を 見られたんじゃ

「……どうということでご覧になったのですか。」

「スター千一夜を見終わって電気を消し、ベッドに入ろうと思って廊下に出たら、ガラスがパッと明るくなったんで、上を見上げたところ居たんですよ円盤が。それが一枚だけまるく明るくなるというのも不思議なんですよね。それに下を見ないですぐに上(星空)を見たというのね」

「……そうですわ不思議ですわね。」

「星空でそとは少しは明るかったんですよ。そこを飛んでいるのを見た瞬間、うちにはんとに着陸するんじゃない



●上 図2 きれいな円盤だった
●下 図3 火の玉のような、大きくて近くに見えた円盤

いかしらんと思ったわ。だからまあ、(宇宙人に)この寝間着姿を見られたんじゃないかって、とにかくそのときそう思ってた……」

——その他に何か感じた事は。

「いやーあまりきれいで、これこそ空飛ぶ円盤だ。ターナー(とおばあさんは両手を胸に当てた)。こんなにきれいなものを見て幸せだあーと胸に感じましたよ。だって見られないでしょあんなの」

——また見たいですか。

「また見たいですよ。これで二度見たから、もう一回見たいですね。写真機がなくてアレだけど、もしまた、この(家の)前を飛んでいったらば、そのときは私、寝間着姿でもいいから大きな声で、着陸してえーとたのみますよ。そんなこと、着陸してくれないでしょうけど、それは念じたいと思います。もう一回あのきれいなを見たいですよ。間近に」

——やはり円盤に連れて行ってもらい

たいと言うか……。

「そりゃ宇宙まででもいいですよ。だけど宮城県とか秋田県じゃないでしょうがどこかに基地があるんじゃないかと思うんですよ。飛ぶ姿を見てね。とにかく、あわてることなく静かに飛んで行って……どっかに基地があるんじゃないかなと思っただけですよ……きれいですよ。心が愉快になるようなきれいな姿ですよ」

——見た後、何か他に感じたことは。

「気持ち良くてね。私だけあんなきれいなもの見たんだという感じがしましたね。それで一カ月間だれにも、主人にも言わないんですからね。だから私こうしていましたよ。(と両手を胸に当てる)胸をだきしめる感じで」

同時目撃者探し

おばあさんは同時目撃者探しを、おじいさんに話すと同時に始めた。九月の中旬、電話がひけたこともあって遠

刈田中学校、遠刈田小学校、角谷宇宙航空研究所に電話をした。

「角谷では、そんなもの飛ばしませんよ。だって」とおばあさんはくやしがつたものである。一言のもとに軽くあしらわれて、信じてもらえなかったことに少なくとも不快を感じたようだ。小学校や中学校では「それでは聞いてみましょうか」と好意的であったという。

おばあさんはその他、街へ買い物に行っても、魚屋さんに聞くなどしている。そのとき、当時、小学校六年生の男の子が目撃しているという話を聞いた。

今年の一月の終わりに、テレビに出ることもあってその資料をつくらうと、ご主人善晴さんが中学校に向いて、取材をしている。校長先生も話を聞いてくれたそうで、五、六人の目撃者(中学生)が、自分の見た円盤の説明をした。それをもとにご主人は資料をつくらっている。それを貸して頂いて、

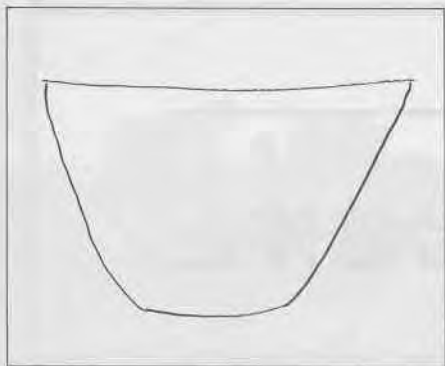
独自に円盤目撃者の調査を試みた。

村上祐子さん(中二) 大沼美樹さん(中二)と弟さんの三人で目撃した円盤(図2)はかなり接近しており、姿もはっきりと目撃されたようだが、六年前の出来事であった。しかし祐子さんはかなり数多く円盤を目撃していた。その中で一昨年の夏にお母さんとお風呂の帰りに目撃したのが図3である。だいたい夜の八時で同じように星空であるが、残念ながら日付がはっきりしない。おばあさんの目撃した円盤と同様のコースではあるが飛行形態がやや違うようである。

サクおばあさんは二十数年前にこの遠刈田温泉に引越して来た。十七、八年前の夏まだ明るいうちに茶碗形のような(図4)円盤を目撃している。この円盤は高い所を飛んでいたが、かすかに音が聞こえたという。色はオレンジであった。キクおばあさんは、フタ付きドンブリ型円盤も下から見上げればサクおばあさんの円盤のように見えるだろうと言う。

遠刈田温泉では 円盤目撃が頻発か

すっかりした同時目撃者を探しだそうと街でいろいろ尋ねてみた。スナックのご主人「円盤ですか? 聞いたことないですね。写真屋のご主人「そんなの知らないね」。バス停の売店で「知らないですね」。タクシーの運転手「知



●図4 紺野サクさんが目撃した円盤

こうして同時目撃者の存在の可能性は薄くなってきた。しかし、この遠刈田温泉の近辺はかなり頻繁に円盤が目



●図5 佐藤孝雄君が目撃した円盤

今日もおばあさんは
空を見つめて

撃されていることは事実だ。特におばあさんが見た山の方向には街から見晴らしが良いせいもあるが、中学生が放課後撃されているようだ。中学生が放課後集団で学校の窓から目撃するという例もあったようだ。

おばあさんの見た円盤はほぼ街並と平行に飛んでいる。それもゆっくりと、そして晴れた夜空に太陽の五倍の大きさで、明るいオレンジ色でだ。村山祐子さんが見た円盤の高さは、おばあさんが見た円盤の高さとほとんど同じである。というのは祐子さんの家はガケの上にあるからだ。しかし、同じものとすれば、おばあさんの家から一千メートルぐらいのところまで飛行形態を変化させたことになるのだ。

別れ際に「今までだれにも話さなかったけど」と前置きして、おばあさんは、不思議な「夢」について話した。

いずれにせよ、今日もおばあさんは円盤を見ようと空を見上げていた。信念を持つているのだ。そして、今年の三月十二日の夕方、満月ぐらいのオレンジ色に輝く物体が二つ東側の空に南から北へ飛んだのを数秒間目撃している。

それは、まだ完全に覚醒しているとき、体を横たえ眼をつむると、今まで見たことも会ったこともない五〜六十歳の男性の顔が六人、一人づつ額に入ったように動かずにつきつきに出てくるという。そして、その「夢」を何度も繰り返し見るといふのだ。さらに、白いような黄色いような美しい道と竹林の風景もやはりおばあさんのまぶたに繰り返し現れるそう。

これが円盤に直接あるのか、全く関係ないのかさだかではない。おばあさんは関係ないとただ笑うだけだ。

確かな同時目撃者は見つけられなかったが、おばあさんの円盤そのものについてのイメージは具体的ではっきりしたものであった。目撃後二年を経ているにもかかわらず、フタ付きドンブリ型円盤は今もおばあさんの心を豊かにし、楽しくしているようだ。



●下図6 遠刈田付近とフタ付きドンブリ型円盤の飛行コース (地図：国土地理院)

2

UFO大接近

自動車4台急停止!

「いきなり、その光っている物体が正面から急降下して突っこんで来るもので恐しくて急ブレーキをかけたんです……」。国道四号線を走行中の車の運転手は突如視界にとびこんできた光体に度胆をぬかれて路上に立往生した。仕事を終えて帰宅途中に思いもよらぬ出来事にぶつかった彼は「あの物体は我々よりもずっと進んだ連中が動かしているとしたか思えない」と、いまだに当時を思い出して首をかしげている。

突然現れたUFOの大接近のために走行していた四台の自動車が急停止させられるという事件が宮城県仙台市の郊外、国道四号線で発生した。

東北放送局（仙台市）に勤める佐藤明彦さん（28歳）は一昨年十月、仕事を終えて自宅のある大河原市に向かう途中、仙台空港近くの国道四号線で、UFOに遭遇、思いがけない超低空飛行の大接近に会って、佐藤さんを含め四台の自動車が急停止させられたのだ。

あいにくその日は雨が降っており、帰宅時間の午後九時半とあって、視界の悪い日であったが、物体はオレンジ色に光っていたことから、たしかにUFOに間違いないという。また、目撃したのは佐藤さん、ただ一人ではなく、少なくとも前後三台の車が急停止したほどだから見間違いというようなこと

はないだろう。

それにしても車を止めるほどにUFOが接近して来るとは――。

ビックリして急ブレーキ!

――佐藤さん、その事件が起きたのはいつですか。

「よく覚えてはいるんですが、一昨年の十月四日で、たしか木曜日だったと思います」

――場所はどこですか。

「国道四号線の本郷という所で、左にゆっくりとカーブしてしまっていてね。歩道橋がかかっている辺りですが、その当時はありませんでした」

――スピードはかなり出していたんですか。

「その日はパトロールカーが巡回してしまっていて、ぼくの前に三台走っていた

●事件が起こった国道4号線



んですが、六十キロくらいでゆっくりと連なって走ってましたね。たしか先頭を走っていたのはサニークーペの旧型で、その次にスプリンター、セリカ、そしてぼくのフォルスワーゲンという順でした」

――どのような止まり方をしたんですか。

「いきなり、その光っている物が正面から急降下して突っ込んで来るもので恐ろしくて急ブレーキをかけたんです。前を走っていた三台も同じように止まったわけですよ」

――そのときにはどんな感じがしましたか。

「ただもう、これからどうなるんだろ



うとしか思わなかったなあ」
 — そのUFOとはどのようなもので
 すか。

「最初はフロントガラスを透してポツ
 ンと飛び込むように光りが見えたんで
 す。ウズラの卵くらいの大きさで、も
 ちろん平べったく見えましたが、ポー
 ッと光って見えました。その次に、一度前
 方に遠のいたように見えましたが、右
 に大きく移動したんです。この辺りか
 らどうも変だなあ」と思い始めたんで
 すが……。それからですよ。まるつきり
 こっちの方に近づいて来たのは！こ
 の位の大きさに見えたんですから（両
 手を上げて見せる）」

「かなり低く降りて来たんですね。
 — ええ、頭をかすめるようにしてすれ
 違ったんです。そのときの印象として
 前の車の屋根が、その光を反射したの
 を覚えているんだなあ。……ぼくの車
 も照らされたように思いますね」

「その物体は強烈に光っていた？
 — かなり光って見えました。物体全体が
 光っているという感じですね」

「色は？
 — そうですね。ちょうど高熱で溶解し
 た鉄のようで、床にたらしたとときのよ
 うな、あんな感じがしたなあ」
 — 実物の大きさはおよそどの位で
 しょうか。

「ぼくの記憶でいいですか。……そう
 ですね。先頭のサニーの車に近づいた
 のを見てビックリしてブレーキを踏ん

UFOはエンジンを 止めた

だんですが、その時点ではサニーより
 もずっと大きく見えましたね。ぼくの
 近くに来たときには完全に包み込まれ
 るような、そんな感じがしましたから
 ……。そうだなあ、比較になる物といえ
 ば、……少なくともジェットヘリコプ
 ターより大きかったなあ、というの
 は、間近でヘリをよく見ているんです
 よ。取材したフィルムなどを東北放送
 局の上空に来て落として行くんです」

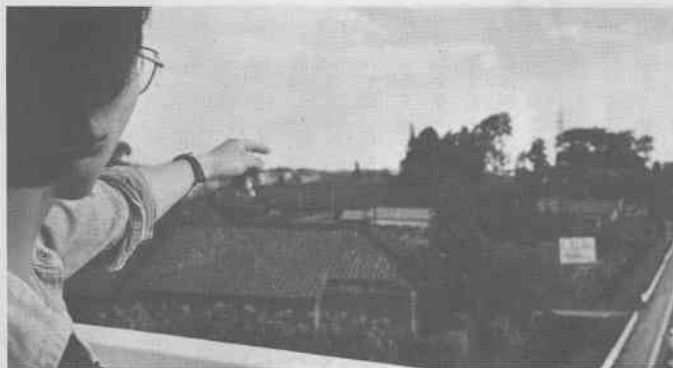
「物体は地上何メートルまで
 降りて来たんでしょう。」

「ぼくの視界から消える直前で
 はーそうだなあ、二十メートル
 もないと思いますよ。たとえ三
 十メートルとしても、ものすご
 く近くに降りて来たんでかわか
 ったんですから。ですから先頭
 のサニーに乗っていた人は、も
 っとこわかったんじゃないかな
 あ」

「車が止まったそうですが、
 — それはUFOによってエンジン
 が停止したということでしょう
 か。」

「実は私も本などを読んでたりし
 てそういう事を知っていたんで
 すが、エンジンも止まりません
 でしたし、ライトも消えません
 でした。ですから恐ろしさのあ

●事件の模様を語る佐藤さん



まりブレーキを踏んだ状態ですね。先
 頭のサニーが止まったので、ぼくたち
 も止まったのかな。そういえばサニー
 はエンジンをかけ直していたなあ。で
 もあれは急ブレーキをかけたんで、エ
 ンストしたんだな。他の三台はエンジ
 ンが動いていたんだから」

「他の車の人と話しましたか。」

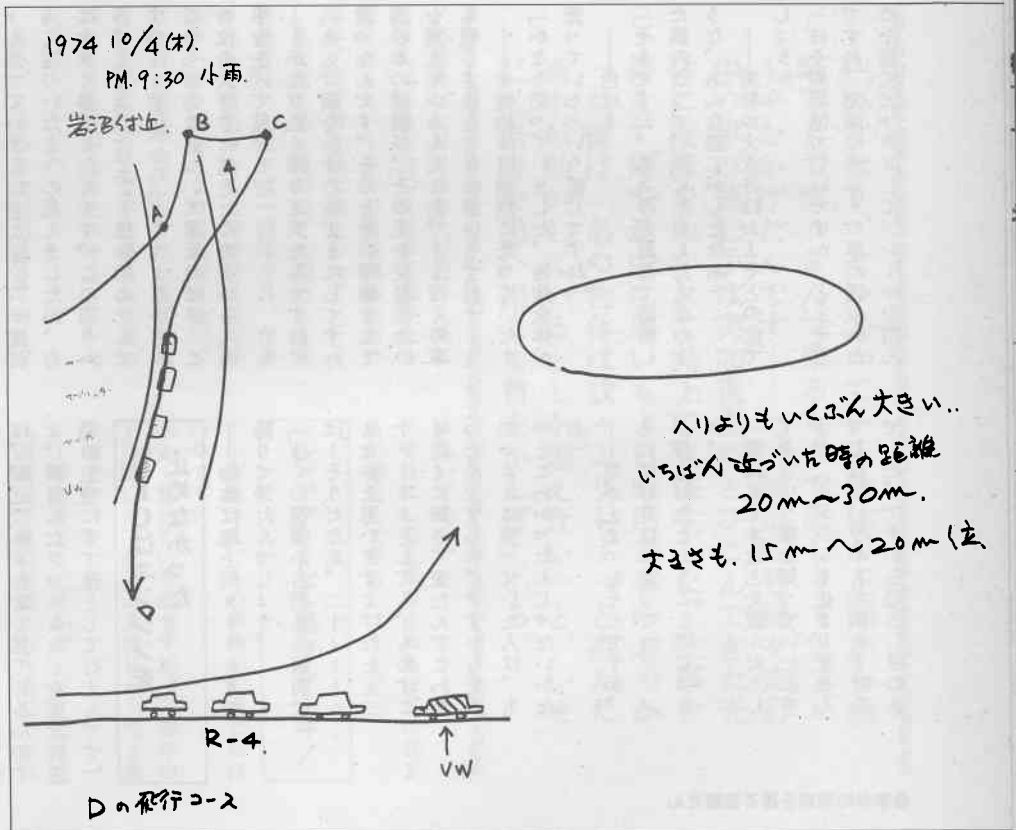
「ぼくの車を走っていたセリカの人と
 は話したんですが、サニーの人はすぐ
 に行っちゃったんですよ。ぼくはその
 人と話したがかったんだが……スプ
 リンターの人は、ぼくたちが話してい



●UFOの飛行コースをスケッチする佐藤さん

「ぼくが車から降りると間もなくセリカの人も降りて来ましてね。『あんた見たか』とぼくが尋ねたんですよ。そうしましたら『うん、とにかく見たんだけど、あれは何だべ……』というもんで『あれが空飛ぶ円盤じゃないの？』と答えたんですよ。『だけど、それにしてもひどいことをするなあ』というわけです。……とにかくこの後、周囲を見ただけですが、それらしい影も形もなかったんで、何かキツネにつままれたような感じでした。あのときは動転していたから、残念なことに話をしたのはセリカの人だけで、それに名前も連絡先も聞かなかったんだから。福島ナンバーで学生風の若い男性だったことは覚えてはいるんだけど、とにかく家に帰っても興奮して眠れない状態だったからなあ」

「それにしてもよく騒ぎにならなかったですね。」



「だから、そのときの目撃者のだれかが騒ぎ始めるだろうと思ってはいたんです。そうすれば、ぼくもそのときにいた者ですと名を上げるつもりでいたんですが、そういう機会もありません。今日までできてしまったんです。」

この間、実は仙台の円盤村の人々が

テレビに出演しましてね。スタッフとして円盤を目撃したことはないか……と聞かれました、話したんですよ」

「物体を目撃していたのは何分くらいですか。」

「目撃していたのは短いんです。そうですね。五、六秒じゃないのかなあ。」

●スケッチされたUFOの飛行コース

「地球の上じゃないでしょうか。まあ弟は地球上に穴があいていて、そこから出て来るんだ……」などと言っていましたね」

「地球の上ですか。」

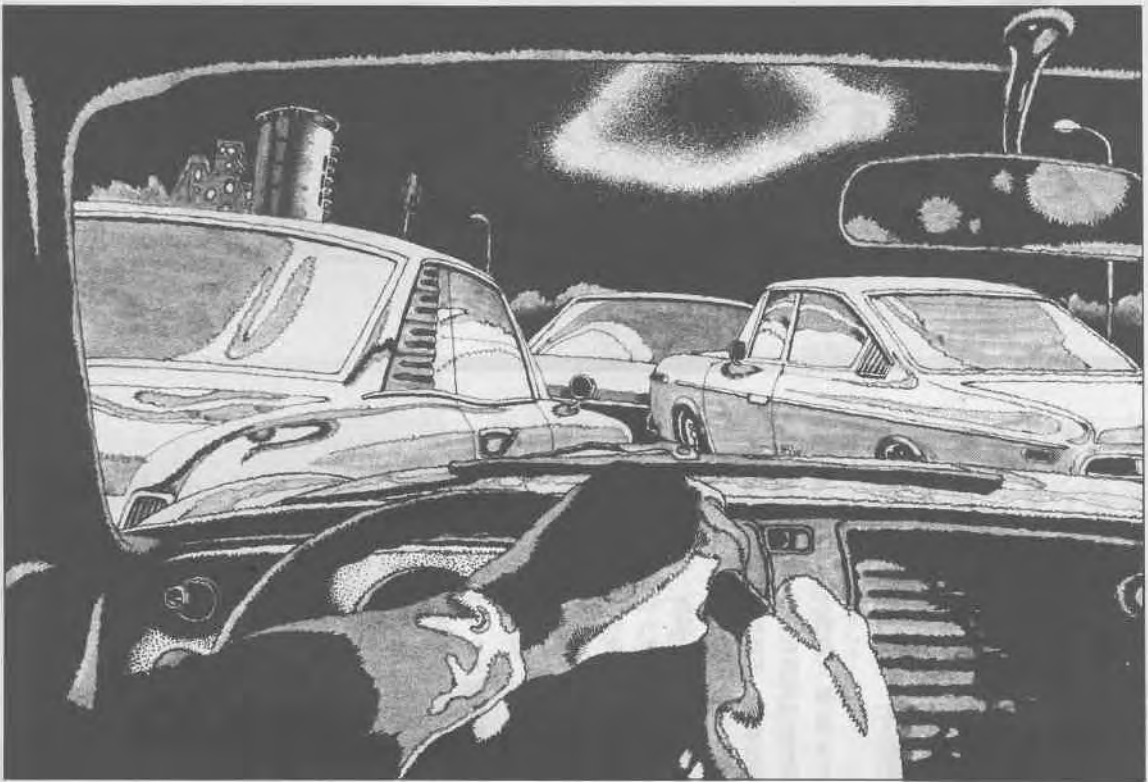
「結構いろいろな人に話しましたね。ぼくもこういう事件を実際に経験したんだから、君もそんなバカな事はない、とは言えないじゃないの。たとえばね、この物体がどこから来てとか、中にどういいう人間が乗ってて、どういいう考え方をするとかは別にして、こういう物体が実在し、厳然として飛び、そして自動車止まり、こわい目にしたのは本当なんだから、身の周りのこそこそした地球上のことにあくせくしないで、物事を少しマクロ的に考えたらどうだ……などと話したこともあるんですよ」

「佐藤さんはこの物体が他の惑星から来た物と考えますか。」

「断定したいと思いません。ただ、ぼくは見ちゃったんで、現にあると思えます。しかもあの物体は我々よりもずっと進んだ連中が動かしているとしたか思えないですね」

「地球の上ですか。」

「地球の上じゃないでしょう。まあ弟は地球上に穴があいていて、そこから出て来るんだ……」などと言っていましたね」



が、……それはちょっと飛び抜けているんで、狭い地球の中にもわからない部分はたくさんありますがね。むしろ外の方が広いんだから。百年前のSF小説が今では現実化しているような状態でしょ。ですから時間、空間を一ひねりして短時間で旅行したりすることは文明の進んだ世界（惑星）ならば、いとも簡単にやっつけてのけるんじゃないかと思ったりするんですよ」

——大変珍しい体験をされたわけですが、この事件を振り返ってみてどうでしょう？

「こわかったですね。音はしなかったんですが、ボンボン飛びはねている物をぶつつけられたような感じでしたね。ぼくの前を走っていた三台の車の人に会って話を聞いてみたいんだなあ。特に先頭を走っていたサニーの人、こわかったんじゃないかなあ」

この機会に他の人も名의를上げてくれると、この事件の様子が一層はつきりするんだけど。……どちらかというと、ぼくなんか第三者的立場でしょ。そうすれば、他の人の証言も聞けるしね。この事件、かなりおもしろいことになると思うんだなあ。この他にもUFOを何度か見たことがあるんですが、こんな体

●UFOの大きさを示す



験、一生に一度あるかないかでしょう。是非、他の人にも会って、いろいろ話し合ってみたいですね。とにかく、あんなこわい目に会っていながら、何んの被害もなかったことがせめてもの……といったところですね」

佐藤明彦さんの他、この事件を体験された方に心当りのある方は一報くください。

編集部

3

旋回する3機のUFO

を連続撮影

「UFOがバーツて光ったとき、その辺りが大
部明かるくなかったんじゃないか？ 松山の方で
見た人いないかなあ。あんなに光ったら見えそ
うなものだけどなあ」。昨年、宮城県に現れた
“旋回するUFO”を撮影した二人の中学生は、
その当時の模様を興奮した口調で語る。寒い夜
空の下で写真に納めたのだ。「UFOを見たら、
また撮ってみたい」と再度の機会をねらってい
る様子には、圧倒されるばかり。

大空に乱舞するUFOの連続撮影に
二人の中学生が成功した。

仙台市から北へ四十キロ、遠田郡田
尻町、田尻中学三年柳原正則君と小牛
田中学二年峰浦順一君の二人は昨年十
一月十日、江合川にかかる小牛田橋か
らUFOを目撃、連続十一枚の写真を
撮った。

一方、同じ遠田郡松島町、松島中学
三年生の二人も下校中に同様のUFO
を目撃、翌日の河北新報に報道され
た。

二人の話によると、柳原君は、その
日の放課後クラスメートと野球をして
家に帰る途中、東の空に点滅する光体
を見た。UFOでは？と考えた彼は
写真を撮ることを思いつき、自転車に
乗っていそいで帰った。カメラに望遠
レンズを付け直すと、家事で来ていた
峰浦君を誘って江合川の堤防に駆け登

った。二人はカメラを三脚に取り付
け、夜空に輝く二機のUFOに向かっ
て十二回シャッターを切った。

撮った写真に

UFOは三機写っていた

——柳原君は、最初にどの辺りでUFOを見たの？

「この小牛田橋から二キロ位北に行っ
た所。学校からの帰り道で、自転車に
乗っていたんだけど、東の空を見たら
UFOみたいのが光ったり消えたりし
ていた。それで写真に撮ってやるうと
思って、いそいで帰ったんだ」
——それから峰浦君を誘ってこの堤防
まで来たの？

「そう、ここならUFOがよく見える
だろうと思って、二人で走って来たん
だよな」

——それは何時頃だった。

●柳原正則君(左)と峰浦順一君



「そうだなあ。四時五十五分頃だった
かなあ。少しずつ暗くなっていたけ
ど、ちょうど川の向こう側にあるボブ
ラの木の左側にUFOが見えた。この
方向は松山だなあ」

——最初に見たときは、UFOは何機
あった。

「ぼくが最初に見たときは一機。この
堤防に来たときも初めは一機だったな
あ。少し見ていたら二機になったん
けど。写真に撮ってみたら三機写って
たりしたな。 どういうわけかなあ。
あれちょっとおかしいなあ？」

——峰浦君はどうだった。

「ぼくも二機しか見えなかった」
「あの時は、カメラを覗いても二機し
か見えなかった」





●撮影した連続写真。アサヒペンタックスSPF マミヤセコール200mm F3.5開放約10秒三脚使用



●撮影に使用したカメラ

——二機になったときには、UFOが二つに分裂したの？

「分裂するっても？ そういうところは見てないけど、UFOがぐるぐる回っていたから、向こうの山の後に隠れるときやこっちに来るときには肉眼では見えなかった」

——どのようにぐるぐると回っていた

「こういうように、時計の針とは反対

方向に回っていた。だからさ、ポプラの木所で光って向こうの山の後を回ってから、またこっちの方に来るんだな」

——それにしてもずい分と長い距離を一回りするんだね。一周するのに何分位かかる。

「何分じゃないよ。少なくとも二十秒位かな。結構、早いもんなあ」

「うん、そんなもんなあ」

「三十秒はかからないよ。山の後回ってこっちに来るときは、かなり早いもん」

——一周するのに二十秒くらいだと、時速にするとものすごく早いね。

「そうだなあ。それでも、あのポプラの木の辺りに来るときには、ものすごくパツツと光るんだけど、一瞬止まるんだよな」

——かなりすごく光るの？

「光るよ。親指と人差し指で輪をつくったくらい大きかったなあ？」

「オレンジ色にこのくらいに大きく光るよ。ぼくが写真に写った色と似ているけど、今までにあんな色、見たことないなあ」

——二機のUFOはやはり一緒になっ

て飛んでいた。

「ちがう。一緒に飛んだりしないでバラバラ。写真見るとわかるけど、一機だけのときもあれば、二機見えるときもある。速さもちがうしな」

「UFO二機の方向や大きさは同じだけど」

——UFOの速度は二機とも同じくらい。

「だいたい同じくらい。あのポプラの木のちょっと上辺りの所。だけど少し

ずつ西の方に動いてたな」

——もし

そのUFOが

ここに着陸したら、その大きさや形は想像つく。

「遠かったからなあ。ちょっとここから見ただけじゃわからないな。UFOの光りは、どういわけか大きくなったり小さくなったりしていたけどね」

——柳原君が撮った写真を見ると、UFOの光跡がジグザグしているでしょう。このような飛び方をしてたの。写真にジグザグに写ったのはカメラ





●写真と照らしあわせながらその時の状況を語る

——この堤防の上には何時頃までいたの。

ほかに目撃者がいた!

——その小牛田橋を渡る人が、その時のUFOに気づいたりすることは無かった。
「だれも気づかなかったな! ただの光だと思って皆んな行っちゃうようだなあ」

振れ。あの日は時たま強い風が吹いて三脚ごと揺れたから。レリーズは使っていたけど」

——ここから見たとき、UFOとの距離はどのくらいあった? 「わからないなあ。かなりあるよ。何キロもあるんじゃないかなあ」

「そうだなあ。五時二十分頃までだったかなあ」
——UFOがどこかに飛んで行ったかして見るのをやめたの。
「寒かったもんなあ。それにいつまでも同じようにぐるぐる回っているだけで、見ているのもどうせ同じだと思っ
て……。でもあれ、もう少し見ているらよかったな! 西の方に行くのが見れたかも知れないし」

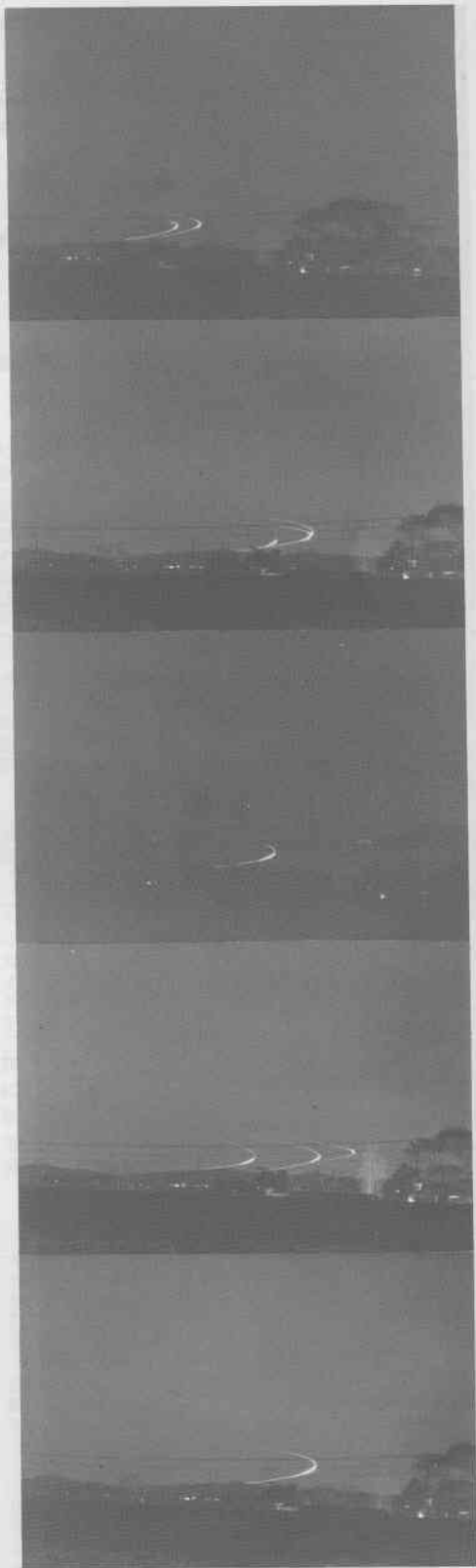
この日はかなり暑かったので、インタビューは柳原君の家に行って再び続けることにした。

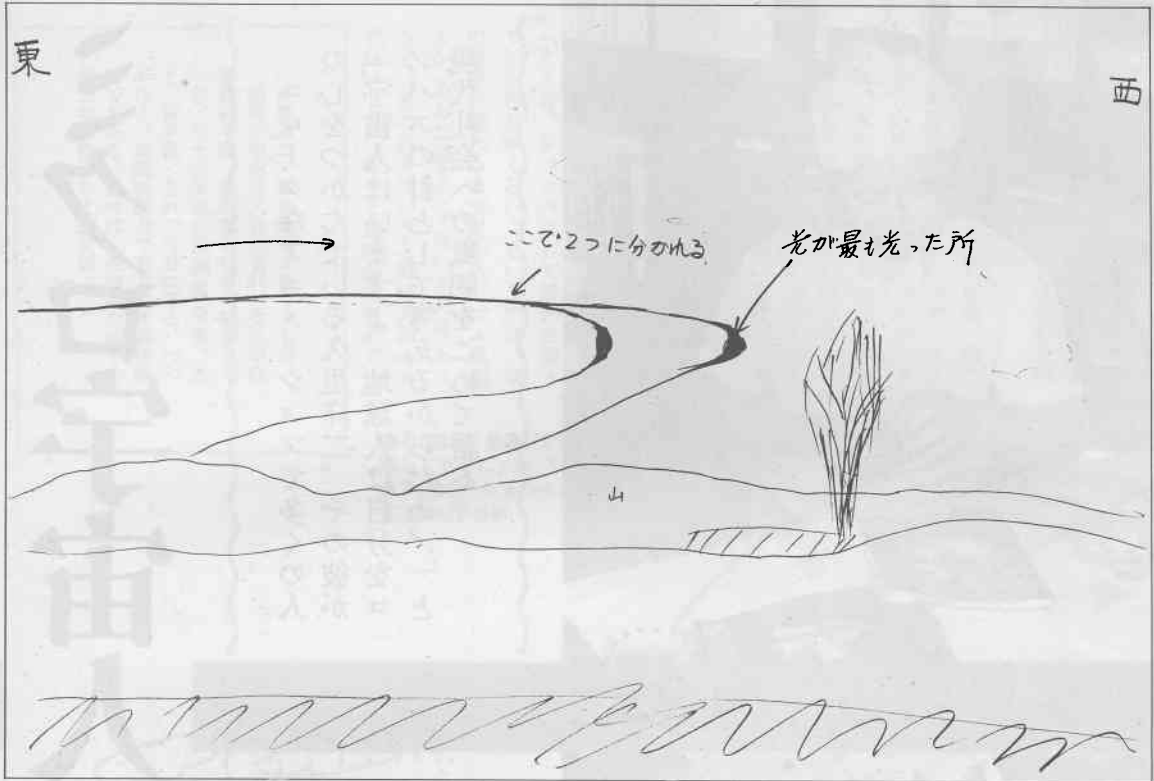
——峰浦君! その時は寒かったそうだけど、天候はどうだったの。
「晴れていた。月とか星は見えなかったけど、雲が少しかかっていた」

——UFOを見ていて何か気づいたことはなかった? 何んでもいいから。
「UFOがバーッと光ったとき、その辺りが大部明かるくなっただんじやないか? 松山の方で見た人いないかなあ。あんなに光ったら見えそうなものだけだなあ」

——二人の他に目撃者はいませんか。
「この辺じやいないな! 何んか松島の方で見たとかいって新聞に載ったなあ。ぼくはその新聞、見なかったけど、学校の先生が話してくれた。時間も合うしなあ。松島中学校の生徒とか……。あれはもう少し西の方にUFOが行ったのを見たんだな!」

——柳原君の撮影したこの写真は新聞などに掲載されたことがありますか。
「新聞に載ったことはないけど、去年の十二月にNHKで放送された」





宇宙問題探求者必読の書
好評発売中

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

フレッド・ステックリング／久保田八郎訳

¥750 送料 ¥140

宇宙人から伝えられた人間の生き方を詳述

テレパシー

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

¥450 送料 ¥140

生命の科学

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

¥650 送料 ¥140

文久書林 〒113 東京都文京区白山1-29-12
振替・東京4-2521 Tel 03(812)2495

当社刊行物が書店にない場合は、振替・現金書留・低額切手等で当社宛直接ご注文下さい。代金あと払いの注文は、おことわりします。

- 柳原君の住んでるこの辺りでは、よくUFOが現れるんですか。
- 加護坊山の近くに現れたなんてよく聞くけど。すぐそこに見えるあの山、あの山の向こう側にある大貫では、UFOを見た人がかなりいる。
- NHKで放送したことがある。冬にあそこから生中継で。
- 峰浦君、UFOが出た？
- 出なかった。
- UFOを見たのは、今回が初めて。
- はい、初めて。この後は全々見えない。
- 柳原はUFOに興味があったの。
- 本は読まないけど、テレビの木曜スベシャルなんかで見たことがあったくらいです。
- 峰浦君は？
- それほどでもない。やはりテレビで見ると、見るくらいかなあ。
- 写真は全部で何枚撮ったの。
- 全部で十二枚。一枚失敗しちゃった。露出は十秒位かなあ。だから写真を見るとわかるけど、最初の方で撮ったのは空が明るい。
- またUFOを撮ってみたい。
- UFO見たら撮ってみたい。
- この近くではUFO、がよく現れるそうですから、チャンス逃がさずまた写真に撮ってください。今日はどうもありがとうございました。

ミクロ宇宙人だつているぜぞぞ!

ユニークなアニメーションで多くの人の心をつかんでいる久里洋二。その彼が「宇宙人はいますよ。地球人は自分をコンパスの針として考えるからだめ!」と現代社会への風刺をこめて語る。



UFOインタビュー／久里洋二

四谷から皇居にかけてずらりと並ぶビル。そこを少し入るとうって変わって閑散とした高級住宅街となる。五、六分も歩くと日本テレビの大きなビルが見えてくるが、久里さんのアトリエはそこから眼と鼻の先にあるマンションの二階。

「どうぞ」という声で古びたドアをあけると頭にブルーのタオルをかぶったご本人が現れた。あまり身なりに構わない様子だが、カメラを向けると「これはとったほうがいいかな」

奥の小さな部屋に案内され、沢山の絵の道具を眺めていると突然彼は話を始めた。

月のない日に月が出た

「昭和二十二年か二十三年のね、えー年号忘れちゃったけど十一月頃。なにしろ寒いときだからね」

場所は？

「福井県の鯖江。時間は夜の十一時頃」

すると、もう暗いですね。

「暗いって雲が見える程度だから。月夜の雲っていう感じあるでしょう? お月さんってのは東から西に行くわけ。で、お月さんてのは絶対に真上に来たことないのよ。あなた、十五夜見たことある? たいていは南の、真上から十五度か二十度傾いたところにあるわけ。それとお月さんてのは止まってるわけ、ある程度。」

そのときは月出てないんだ、ぜんぜん。もし出てても雲が流れているのが見えるだけ、月は固定してて。ところが、真上なんだよ。南から北にこう飛んだ。逆に今度は雲が固定して月のようなUFOが動いたわけだな。あの雲はあんまり高くないと思うんだ。七、八百メートルか……千メートルはないでしょうね」

UFOは雲の下にいたのですか。「雲の上に隠れるようにホワァって。それ唸ってた。ブルーン、ブルーンって。おれ、音聞いたんだからね。こりゃ間違いないよ」

どんな形をしていたか描いてもらえますか。

「形といっても真上だもん。お月さんだもん」

最初、描くほどのものではない
というような顔をしたが、やがて
ペンを取り上げサッと仕上げたの
が図1。以下しばらくはその説明
である。

「ぼくは……なんちゅうのかな。廊下
通って便所行けばいいんだけど、めん
どくさいからいつも外でションベンす
んのよ。木に立ちションしてたとき
だ。今はもうその木もないけど……。
ションベンすつと本能的に上向くでし
ょう。下向いてする人もいるけど、お
れはいつも空の星を見ながら……」

飛行機が引っ張ってたのかな

——どのくらいの時間見たのですか。
「そうね。ションベンして終わる前ま
でだから五秒くらい。というの、家
の屋根に隠れるまでだから。ゴム風船
とか、あんな速さじゃないんだ。ちよ
うど、あの高さでいうと時速八百キロ
くらい……。もつと速いかなあ。で」

- 右(図2) 普通UFOはこんな
形してるでしょ？
- 下(図1) ションベンしたら
真上にUFOが



「も、あの円盤の大きさは地面に着陸
したら今よくみんなが言ってるあんな
みみちいような大きさじゃないみた
い。おそらく、直径五十メートルはあ
るね。ありゃ、普通の円盤みたいにな
くらみがあるってふうに見えない。円
盤ってさ、横から見るとたとえぼこん
な感じでしょ(図2)。真上だもん。
車がついてるとかそんなもん見えつこ
ないものね。あれ、なんだろうなあ。」

円盤かなあ」

それとも、飛行機が引っ張って
たのかなと言いながら図3を描き
始めた。

「おれの推理としては……。これちっ
ちゃい飛行機ね…紐つけてさ、丸いの
引っ張ってたんじゃないかな。横から
見ると平面で……。なんでこんなこと
しなきゃいけないだろうか、わから
んけど。これだったら円盤に見える

久里洋二・私自身のプロフィール
昭和三年四月九日生まれ。文化学院
美術科卒後、漫画家になる。昭和三十
二年、三十三年文春漫画賞受賞。あ
と、賞多数。それで今日に至る、つっ
がなく、地震経験者であり、水害経験
者でもある。家では、高校生の娘と中
学二年の息子のよき父親。



ね、夜で飛行機見えないから。それでも、これが下の家の明りを反射して光るつちゆうことないじゃない。だからやっぱりあれは円盤よ」

—色はどうでしたか。

「えー。ちょっと忘れちゃったな。オレンジがかったような白っぽいような……だいが前まで覚えてたんだけど。なにしろ昭和二十二、三年ていうと、もう三十年近く前の話だから思い出せていったってそりゃあ……。そのときの唸り声だけは覚えてるけどね。ブローン、ブローン……いや、ボワン……どんなだったっけな。飛行機だったらブルブルーでしょ？ 戦争中B29が編隊で来るとゴワーン、ゴワーンって感じで空に反響してさ。びっくりしたね。だから新聞見たんだよ、次の日。だれか見たやついるんじゃないかなと思っただけ。けっこうあれ新聞に出てたよ」

おれの見たのは重みがある

—当時もUFOが新聞に出たのですか。

「あの頃も円盤を見たという記事が多かった。だから二十二、三年頃の新聞見るとあちこちに出てたですよ。ぼくは円盤なんて興味なかったしね。なんていうのかなあ……円盤なんて田舎へ飛んで来るもんじゃないと思っただけ。東京近辺にうるちよろしてるんだ

と思っただよ」

—UFOを見た瞬間は……

「やあ、変なもの見たぞノってうちのおふくろに言ったけど、また、おかしなこと言ってるノだつて。最近よくテレビでやってるでしょ。円盤ぶらさげて……本物のように。あんな生っちょろくないの。重みがあるだよ。ソ連のまわし者じゃないかなと思っただよ。というの……」

ここで久里さんは別の出来事を思い出したようだ。

「昭和十七年、ぼくが中学一年のとき、昼間。日本にまだ超音速の飛行機なんてないはずだと思っただけね。B29も飛んでこない頃。まあ、B29が飛んでるときは白い煙がホワーッと四本見えるわけだ。真っ白い一本の雲をサーッと描いて唸りながら飛んでくつが合ったな。飛行機に見えないんだ、ものすごいスピードで」

—日本でも超音速を出せる試作機があったと聞きましたか。

「だけど、こんな飛行機あったら勝ってるもん、日本が。昼間、グワーンって。上空は真っ青。ぼくらは松の木の根っ子をほじくって松根油つてのをとつてた」

—見たのは一人ですか。

「みんなで見えたもん。もう全部の生徒が、なんだ、あれノ」つて。暑いから仕事しないで見てるわけ。これが最初。まあ、円盤とは思わないけど……

ありえないんだよ。その頃に優秀な飛行機つたらゼロ戦くらいでしょ？ ゼロ戦だってそんな高いところ飛べないじゃない。おそらく二万メートルか三万メートルのところを飛んでるから」

—その後UFOについて調べたりしましたか。

「調べない。もう、そのまま」

—ほくは見たと思うけど一べんもない、それから」

—UFOはどこから飛んで来ると思いますか。

「いや、どっから飛んで来るかわからないけど、そういう物があるつちゆうのが恐いね。現に見てるから。だから見てない人は「アホみたいなこと」つて言うわけだ」

科学者つてのは本当に幼稚

—宇宙人はいると思いませんか。

「そりゃ、いますよ。宇宙人つてよりも、ある星の人間はね。特に強調して言いたいんだけどさ。糸川英夫ロケット博士いるでしょ？ あの人は昭和二十三年か四年のときラジオでインタビューしてたんだ。地球脱出のロケットは可能ですか、なんて聞いてたら『いや、そんなことは絶対ありえない』。そう言ってるの。あの人が聞いてごらんさない。あの人が、あんなアホなこと言ってるんだ。アメリカで宇宙脱出のロ

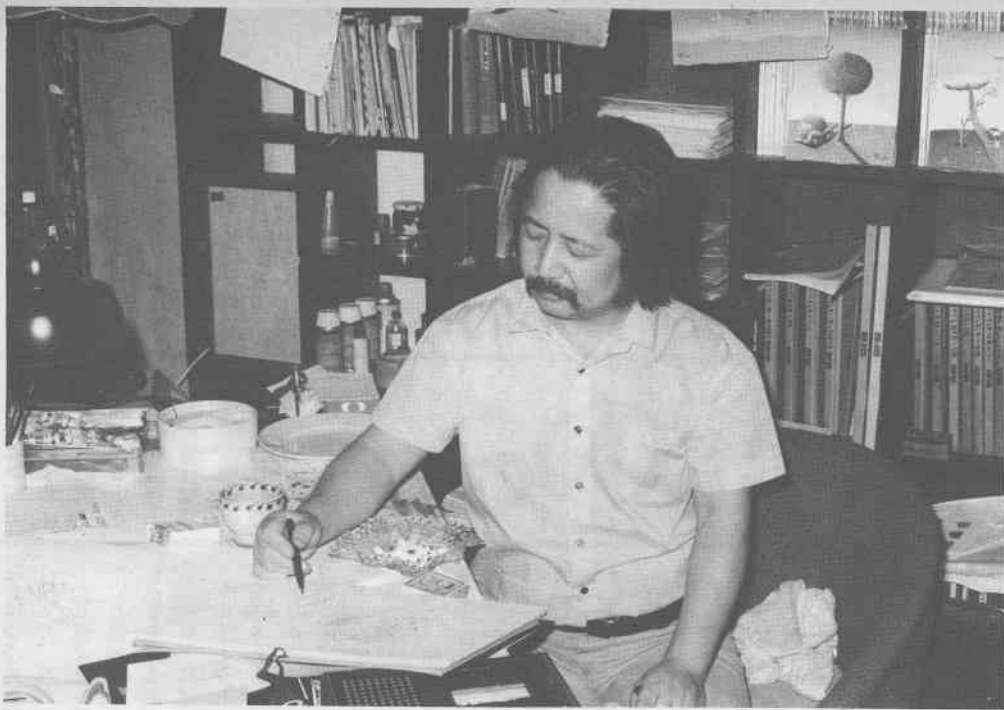
ケットが開発されたとたんに掌を返すように反対のこと言ってるさ。それくらい幼稚だった。科学者つてのは本当に幼稚ね、ものの考え方が。空想なんてないんだよ。引力を計算して、そういう大きなものはつくれないつて。それつくるなら軍艦ぐらいの大きなものでなきゃ上がらないとかさ。糸川さんもセンスない人だと思っただよ。

地球人つてのは自分をいつもコンパスにしてものを考えるからだめなんだよ。地球の温度も人間がきめたもんでしょ？ それを基準にしてさあ。零度つてのを人間がきめて、それ以下は寒いっていうけど他の星の人だったら零度が暑すぎでしょうがないかもしれない。酸素を吸って炭酸ガス出す。それは地球上の人間は……動物でもそうだけどさ。おれは、そんなもの考え方判断しちゃいけないと思う。アンモニア吸って、また別のもの出す動物だつているつてんだ絶対に。メタンガス吸って、また変なもの出すつていうのがね。人間だつて酸素吸ってケツからメタンガス出すんだから。

地球を「パン」と

割って食べるやつ

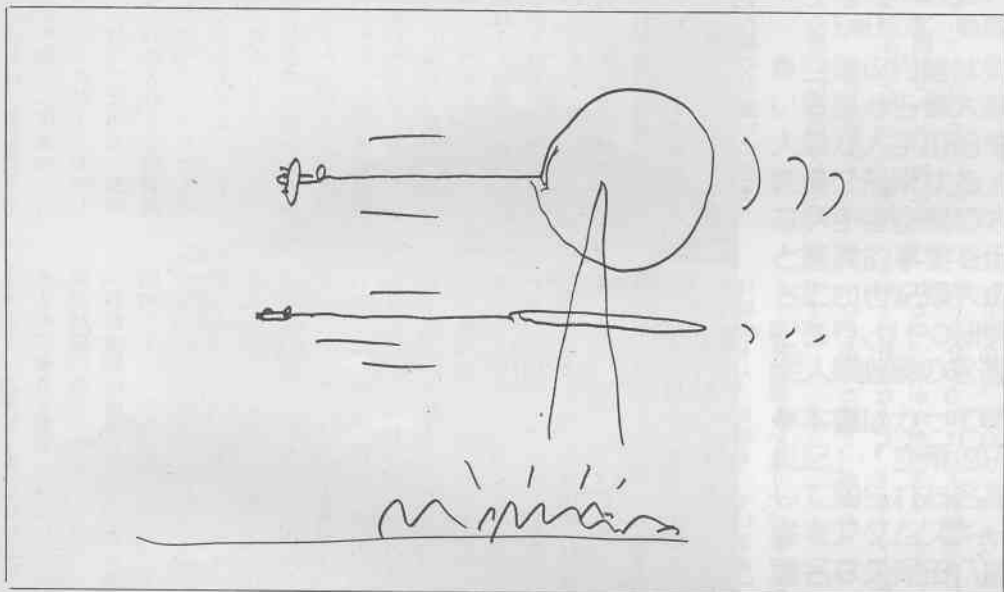
時間だつてそうでしょ？ 光の計算も全部地球人が考えたわけ。何万光年……遠いですねえ」なんていつてる。ある星から見たら何万光年がたった一



日にしか思えないかもしれない。ミク
ロのちっちゃい、ちっちゃい人間がう
ろちよろしてたり、地球ぐらいの人間
だっているんじゃないかと思う。逆に

大きすぎて目だたないけど。考えられ
ないっていうけど、考えられないこと
ないのよ。地球ぐらいの大きいやつを
パンと割ってタマゴみたいにして食

ってるやつもいるかもしれない。あんな
り大きすぎて見えないんだよ。考え
たことないでしょう。いつも地球の引
力計算して「こんな大きい、歩けな



●上 アトリエで当時の状況を描く久里さん ●下図(3) ひょっとしたら飛行機が引っぱってたのかな……

いだろう」とかアホなことばかり言
ってるんだ科学者ってのは。そりゃ、
地球にいたら歩けないよね」
かなり好きらしい、こういう

話。身をのり出してこちらに質問
の場を与えようとする。やっとな
一息いれたところで話題を変えて
みた。

スプーン、おれも曲がった

——世の中の不思議な現象に興味があ
ると聞きました。

「ほくは、おめにかかったことないの
よ、わりに。たとえは、どんな？」

——スプーン曲げとか……

「あれは曲がった。ぼくはコレクション
ンで持ってるもん。ほんのちよつと曲
がったけど、あとがいけない。手で曲
げたね、また。それがいけないの。極
端に見せようとすると手でやらなくち
やいけない。おれとジュディ・オン
グと二人で曲がったんだよ。一緒にい
たとき「あっ！私、曲がった」つ
て。おれも曲がったからびびくりしち
やった。したらユリ・ゲラーが『ち
よつと貸しなさい』っておれのスプー
ンを持ってっちゃったわけ。それでも
うだめなんだよ。持っていくあいだに
曲げたなあと考えた。そのスプーンあ
りますよ家に。手でもう少し曲げてコ
レクションにした」

——透視とか予言はどうですか。

「トランプでも、占いで五とか三とか靈感の練習してんのよ。訓練すれば絶対透視術ってのはできると思つて。当たったことないね。偶然当たるときあるけど、二度とない。ただ、靈感といつても、おれが来るとお客が入つて来るつてのだけは間違いない。がらがらのバーでも、おれが来ると最初女の子が「あらっ、いらっしやい」つて十人くらいおれのまわりを囲んでくれるわけ。で、ものの五分もたつとお客がザッと来てみんな逃げちゃつて、だれもいなくなる。客寄せみたいな感じだ」

「超能力をもちたいと思いませんか。」「もちたいねえ。もつていたずらしたいですよ。『イヤ』つていうとドンとひっくり返つたり。すると殴らなくていいしさ。本当にもちたいな」

氷百グラムと水百

グラムどつちが重い？

——生まれ変わりについで。

「それは、いつも言つてんのよ。生命質量保存の規則。たとえば、象を飛行機で運ぶわけ。これ以上重いと落っこちるぐらいの限界でさ。それで、象が中でクソをするとその分だけ重くなつて飛行機が落っこちるつていうの。よく「象のケツから出したものつてのは身体から出したものだから足せば同じだ」つていうけど、それは間違い。ぼ

くはよく体重はかるわけ、飯を食う前に。で、五百グラム食つて体重はかる五百グラム増えないんだよ。おかしいと思わない？ 持つてはかると五百グラム増えるが、口に入れると四百何十グラムになつちやう。クソしたものを出すと少し重くなるんだよ」

——それははかつたんですか。

「はかれば、そうなる。一番だまされるのは、氷百グラムと水百グラムはかつてごらんつていうんだよ。本当に微妙な秤だつたら氷の方が重くて下にさがる。知らないでしよう。嘘だと思つたら自分で実験してごらん」

この問題はよく理解できない。聞き間違いかと思つて何回も尋ねると、しかられた。

「創造性のない人はみんな同じだつていうんだ。今の科学者は理屈だから。実際に行動しないのよ。すぐ否定するわけ。綿一トンと鉄一トンとどつちが重いつていつたら綿のが重いにきまつてるじゃない」

久里さんの勢いに圧倒されて恐縮していると、なぜか意味ありげに「ふ、ふ、ふ」と笑つた（実は帰りがけの玄関でコソコソ答えをおしえてもらったのだが、わかるかな？）

日本は真つ二つに割れますよ

「それで？」

——あと、地震などについて興味あります。東京大震災や日本沈没などが最近話題になっていますが。

「おれ地震経験者だから。福井地震、昭和二十三年六月二十九日。日本沈没つていう可能性はあるだろうね。だんだん小さくなってくから、日本はあと数万年か数百万年かしたらないけど、日本は赤道近く行つちやうからね。赤道つていつたつて赤道も移動するから

わからないうけど。地球は隕石が通ると角度がポツと変わるから、気まぐれに。人間の想像で考えたら大げさだけど、あんなも本当にピンポン玉曲げるような感じだから。日本沈没なんてたいした問題じゃない。日本は真つ二つに割れますよ。名古屋から岐阜にかけて。真つ二つになつたら、ちやうど運河ができていいんじゃない？」

——東京に地震があると思いませんか。」「そりゃ、あります。ないつていうのは嘘だもん。自信もつていえる」

——福井地震もかなりすごかつたようですが。

「ひどかつたけど、面白かつた。ああいうの好きなんだ。ドカーンと家つぶれるの。なかなかできないことだからね、自分の力では。人員整理されていじゃない。面白いよ、あつたほうが。みんな楽しみにしてるみたいよ。大騒ぎして、みんな喜んでるみたいね、日本の政府も東京都も。非常袋なんか作つて配給したりしてさ。戦争中

の、いまに敵機が来るつて感じだね。来たら逃げるくせに。あれは一つの趣味じゃないかしら。そうね、もう来るんじゃないかなあ、明日かあさつて頃。ドカーンと一発。だいたいわかるんだ。今日みたいな曇りの日に多い。地震つてのは雲を呼ぶね。だから空を見ればわかるな。」「ああ、今日は来そうだ」つてたいい言つてる」

久里さんの話では、そのへんのテレビジョン能力はすごくあるという。先日、奥さんと夕食をしていたときのこと——

「おれはものすごく速く、五分くらいで飯食つちやうんだよ。料理作るの二時間くらいかかつて。女房が『何でそんなに速く食うの？』というから、『今、地震来てみる、早く食つとかないど地震来たらもう飯食えないから』つて。終わつて一ぶくしてたらポコーつて地震が来た。『ほら、見ろ』、『あら本当ね。早く食つときゃよかつた』だつて。

* * *

夏休みには子供と二人で円盤を飛ばすそう。薄い紙と竹ひごで作つて中に風船を五つくらい入れる。手を放すと風にのつてフワフワと……。みんな驚くぞといつて笑う。ユーモアたつぷりの中にもチクリと皮肉が。こんなところにあのユニークなアニメーションの秘密があるのかもしれない。

絶賛 増刷発売中!

改訳合本決定版

米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳

宇宙からの訪問者

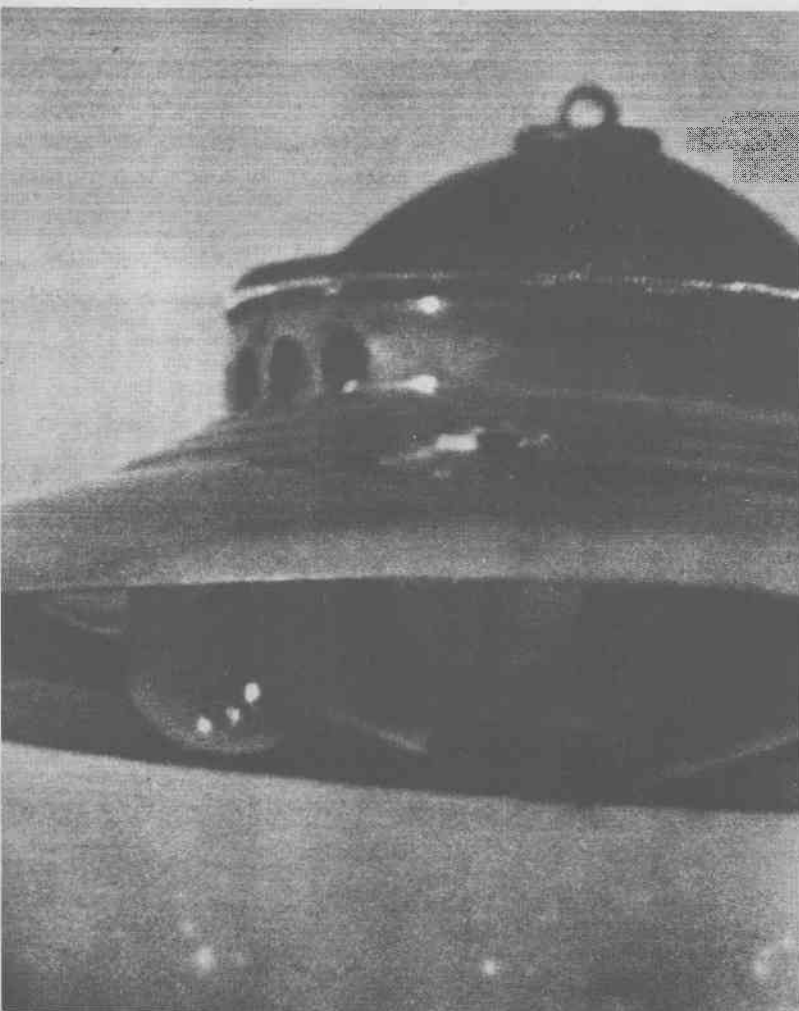
— 偉大な惑星人との会見記 —

定価1,300円＋税160

●B6版 342頁／本文厚手上質クリーム紙使用／写真頁極上コート紙使用／美麗カバー付保存版

●空飛ぶ円盤は実在する！ 遠い惑星から偉大な進化をとげた人類が大宇宙船を駆って地球の救援に飛来する！ 壮大きわまらない宇宙空間の大スペクタクルと驚異的事実を伝えた本書はまさに20世紀最大のドキュメントであり、UFO研究者のみならず全人類必読の永遠の古典である。

●本書はかつて「空飛ぶ円盤実見記」・「空飛ぶ円盤同乗記」として知られた名高い2点の記録書をアダムスキー研究家として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」の内、アダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表の写真類を加え50点以上の写真・図解を一挙掲載した。なかでも金星人オーソンの肖像写真、金星のシンボルマーク2点、その他の貴重な写真類は読者をして遙かなる惑星群に限りなく憧憬と畏敬の念を抱かせるだろう。



〒110 東京都台東区
上野5-1-6 ヤマトビル

株式会社ユニバース出版社

電話(832)1341(代表)
振替・東京1-119478

●書店にない場合はユニバース出版社営業部へ直接ご注文ください。(ご注文はすべて前金でお願いします)

月世界は UFOの中継基地か(1)

ドン・ウィルソン

アポロ計画で判明した驚異的実態
月は異星人が建造した空洞の天体？

地球をとり巻く空間は不思議な物体に満ちている。この世界のあらゆる国の上空にUFOが目撃されている。それが存在するか否かについて過去三十年以上にわたり激烈な議論が展開し、科学者とアマチュア研究家間の白熱した論争が今日まで続いている。

一九四八年に米空軍がUFOの調査を始めたとき、当時のオハイオ州マクミラン天文台の台長であったアレン・ハイネック博士は疑っていた。

「とんでもない。そんなものはみなデタラメだ」と博士はUFOの調査を援助してくれと頼みに来た将校たちに語ったことを思い出す。

しかし今や、不信論者のハイネックは信者のハイネックになった。彼は未確認飛行体なるものについて考えを変えたのである。

「私はあらゆるUFO報告を合理的な方法で説明してみよといわれればやってみせる。過去多年にわたる私の調査により、経験をもとにした便利なやり方を発見した。UFO報告類の約八十パーセントは説明のつくものである。少数の例はいたずらだが、大抵の場合は無知にもとづいている。米国の大衆は空中に見られる物について全く教育を受けていない。人々は金星を見てはUFOだと言ったりする。

しかし五件のうち一件ぐらいは確かなスジから出たもので、合理的な説明にあてはまらないものである」とハイ

ネックは言う。

UFOの中継基地は月？

現在、我々につきまとう疑問は、UFOはどこから来るのか？ という問題である。大抵の研究者はUFOは大気圏外から来る訪問者であると信じている。

「それは最も容易な解釈だ。我々の科学技術の発達レベルに相応した考え方だ。だがバカげた報告が多すぎる。処置できないほどに沢山あるのだ」とハイネックは指摘する。

問題は、宇宙空間はあまりに広大なので、遠い惑星から多数の人間が地球へ来るということは科学者に考えられないという点にある。ところが皮肉にも数千年前に大気圏外から来た宇宙船(複数)が地球に着陸したと信じているコーネル大学の天文学者カール・サガン博士は(地球の長い歴史において宇宙船は一万回以上も地球へ来たかもしれないとサガンは述べている)、それにもかかわらず、現代の地球の空に大気圏外から宇宙船が来ているということを否定しているのである。CBSテレビ番組でサガンは次のように述べた。

「UFOの信者が私たちに信じさせようとしているように、多数のUFO報告が宇宙船の来訪のためであるとすれば、我々はきわめて奇妙な状態にある



●アレン・ハイネック博士

「月はいわゆる空飛ぶ円盤すなわち宇宙船の中継基地なのかもしれない。謎



●カール・サガン博士(朝日新聞社提供)

「残るただ一つの疑問は、UFOはどこから来るのかということだ」

●アポロ8号 円盤型物体を目撃。船内の無線装置に耐えられないほどの高音を受信。飛行中にUFOが数度アポロ8号に大接近し、眼がつぶれるほどの強力な光を放った。

●アポロ11号 月面に最初に着陸したこの有人宇宙船は、月と宇宙船間の空間で巨大な一機のUFOに遭遇。消防ポンプに似た不気味な音、大きなサイレンのような音響、丸鏡の回転音、列

●アポロ16号 ロナルド・エバンズとハリソン・シュミットが二個のUFOを目撃。

ことになる。このことは毎日宇宙空間を超えて数機の宇宙船が来つつあることを意味する。これはちょうど漁網を発明したというので世界中の人類学者がインド洋上のアンダマン諸島の一つに集まるようなものだ」

どうやら数千機の宇宙船が他の太陽系や銀河系から地球へ来るということは信じがたいようだ。UFOは地球の海底下の基地から来るのかもしれないとか、少数の人が考えているように地球内部の人間の住む空洞から来るのかもしれないという説などもある。だがそれよりもかつてUFOの基地として最も想像しやすい場所がある。それは「月」なのだ！

有名なUFO研究家の幾人かはずっと以前に「月基地」説をとなえた。英国のUFOライター、ハロルド・ウィルキンズはその著書の中で、UFOは月から来ると書いている。

の宇宙からの訪問者によって地球を観察するための進歩した基地として使用されているという説を私はすすめてきた」

別なUFO研究者ドナルド・キーホーは最近出した著書『宇宙から来る異星人』により再度一流のUFO研究家の地位を獲得したが、彼もかつては大気圏外の宇宙旅行者が月から来ると強く信じていた。彼の書『空飛ぶ円盤の陰謀』で次のように主張している。

「あらゆる証拠により、月基地の存在ばかりか、知的な人類による活動がすでに始まっていることが考えられる。そうだとすれば、その人類とは何者なのか？ 他の惑星から来たのか、それとも月世界を起源とするのか？」

オープンマインドを持つ研究者には疑惑はない。未確認飛行体は存在するのである！ 宇宙飛行士のエドワード・ミッチェルは言う。

しかも驚いたことに、近年の米ソによる宇宙開発の結果、いずれも月世界を指摘しているのである！

アポロ宇宙飛行士はUFOを目撃した！

米国のトップクラス科学者ガリーリ・ヘンダーソンは語っている。

「米国の宇宙飛行士のすべてがUFOを見ていたけれども、その目撃体験を他言するなど命じられている」

そして次のようにも言う。

「NASA(米航空宇宙局)は至近距離で撮影されたUFOの本物の写真類や映画フィルムを保管している」

しかし最も驚くべき事は、アポロ宇宙飛行士のほとんどすべてが月面で不思議なUFOを見たり、奇妙な電波信号や音響を聞いたりしているという事実である。

以下の記事はアポロ宇宙飛行士たちがUFOに遭遇した事件の少数例である。

車の気笛のような音などが、地上との通信の合間に入った。地上の管制センターには不思議がって問い返した。「はかにだれかがいるのじゃないだろうね？」。また、月面上にUFO(複数)が着陸しているのを宇宙飛行士が見たという報告もある。

●アポロ12号 宇宙飛行中、約十三万二千マイル彼方に三個のUFOを目撃したが、またも警笛、消防ポンプの音のような音響が入った。12号が帰還の途中、着水直前のビルマ上空で別なUFOが目撃された。

●アポロ15号 宇宙飛行士デービッド・スコットとジェームズ・アウウィンが空中を横切る謎の物体を目撃。

●アポロ16号 月を回る軌道上にあった宇宙飛行士トーマス・マティングリは、月の上空できらめいた一個の光体に驚いた。すると光体は月の地平線の彼方に消えて行った。NASAの科学者フランク・エル・バス博士は「こうした光体はUFOの分野に入られるべきもので、あまりに急速に動くので、明らかに我々が知っている地上のいかなる宇宙船でもない。ソ連や米国の宇宙船は月面上やその付近でそんなに速くは動けない」と主張している。



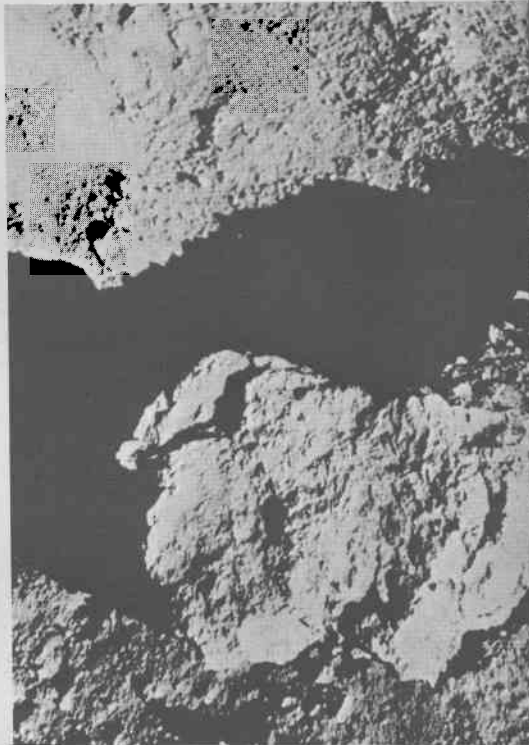
●ニール・アームストロング



●ドナルド・キーホー

NASAの宇宙飛行士たちは月へ行
つて何を発見したのか？
彼らが最初に体験した驚異の一つは
月の岩石と土のサンプルが初めて検査
されたときに発生した。このサンプル
は予想以上に古いものだったのであ
る。当時、地球で発見された最古の岩
石が三十億年昔のものであると算定さ
れたが、これはアフリカのある割れ目
から掘り出されたのである。ところが

以上のように多数のUFOが月の周
辺で目撃されたにもかかわらず、米ソ
いずれも月面に宇宙基地があるとは公
表していない。しかし、このような基
地を探す秘密行動がとられた証拠はあ
る。ファルーク・エル・バス博士の主
張によると、UFOを駐機させるかも
しれないような地下の大空洞の探索を
含む多くの秘密調査が確実に行われて
いるという。



●月の岩石には200億年物もある！（アポロ12号撮影）

最近、グリーンランドで二、三個の岩
石が発見され、これが現在世界最古と
みなされている。これは三十五億年経
過したものである！

しかしニール・アームストロングが
月の「静かの海」に着陸したあと、拾
い上げた最初の岩石標本は、三十六億
年以上も古いことが判明したのであ
る！しかもこれはまだ序の口にすぎ
なかつた。月世界で採取された他の岩
石は四十三億年物だった。ロック13と
呼ばれる別な石は四十五億年と判断さ
れたし、アポロ11号が採取した土は四
十六億年物であることがわかったが、
これは地球や太陽系自体の年齢と同じ
であると科学者は考えている。同様に
ソ連の無人宇宙船が「豊かの海」で岩
石を調査した結果、四十六億年物であ
ることを発見したのである。

しかし有名な天文学専門誌スカイ・
アンド・テレスコープによると、NA
SAの月関係科学者の大半が出席した
一九七四年度「月面会議」で、ある月
の岩石は五十三億年ものであることが
公表された。現在、年代測定法で最も
正確な方法とされるポタシウム・アル
ゴン法を応用した別な報告によると、
月の岩石のなかには七十億年という途
方もない長年月が測定されたものがあ
るといふ。

更に別な報告を信じるとなると、ア
ポロ12号が採取した二個の岩石は二百
億年に達したというのである！信じ

られないと読者は言うだろうか。そう
だろう、これは地球や太陽系の年齢の
四倍にもなるからだ。我々の知る限り
では、これは科学上最古の年代測定で
ある。

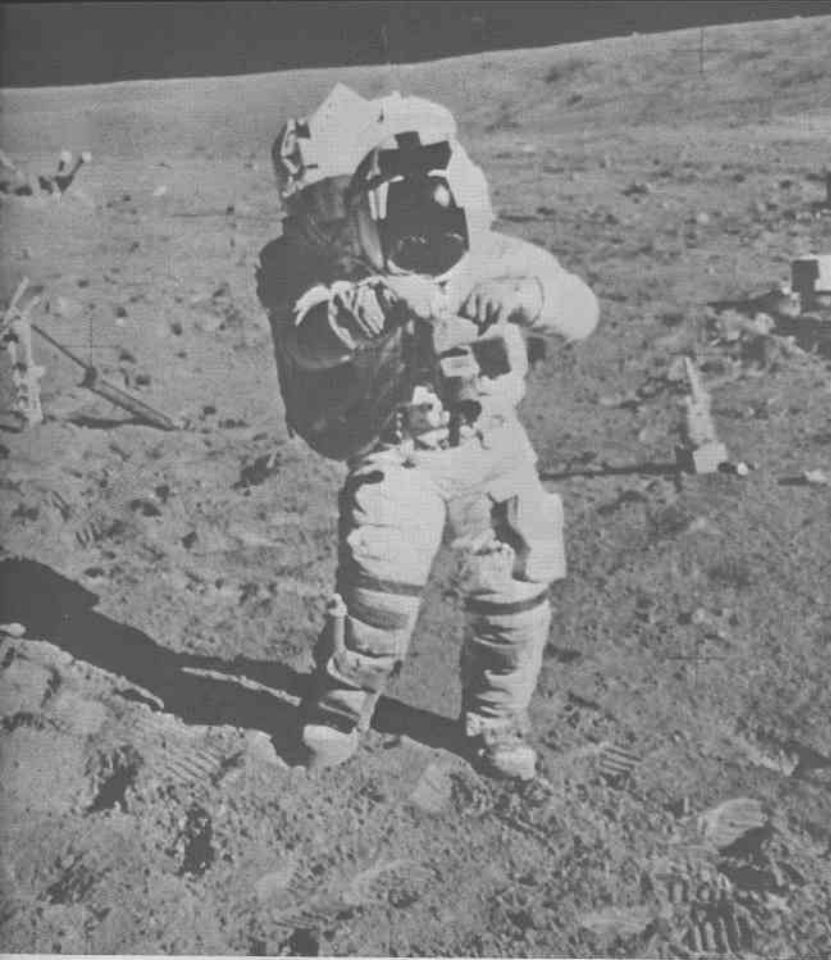
月は太陽系外から来たか？

こうした岩石サンプルの年齢が正確
であるとすれば、明らかに月は太陽系
外から来たものだということになる。
そうなることは「捕らえられた」物だ
ということにもなる。これは大半の科
学者にとって認めがたい説だ。なぜな
らアイザック・アシモフは次のように
指摘しているからだ。

「捕らえるという機会が生じること
と、月が地球の周囲のほぼ円軌道を動
き始めることは、あまりにあり得ない
ことで、かかる偶発性はまず考えられ
ないことである」

奇跡中の奇跡として、月は現在比較
的円軌道を描いている。まるで惑星地
球の周囲の軌道を「線縦」されている
かのようだ。

月の岩石の古さで最もよるこんだ科
学者はハロルド・ユリー博士で、こ
れにより「捕捉」説の自信を深めて勇
気百倍したという。元来ユリーは月
の岩石を太陽系の起源にさかのぼるか
またはもっと古いものかもしれないと
推測していた。それでこのことは月が
宇宙の他の場所で形成されたという彼



●宇宙飛行士は月でUFOを見た!?



●ハロルド・ユーリー博士

の説に役立ったのである。

科学技術雑誌ケミストリーに載った論文の中で、ユーリー博士は次のように述べている。

「月の岩石は核分裂物質からブルトニウム224に至るキセノン・アイソトープを含んでいることが示されているが、これは地球では見られないことだ、これにより月は地球よりもはるかに古いことがわかる。このような証拠

があるにもかかわらず、大抵の科学者は「捕捉」説を考えられないことだとしている。

月の岩石に関する別なミステリーは岩石が発見された地域の土が等しく非常に古いことである。科学者たちが驚いたのは、年齢の異なる石が並んでいたことである。だが年齢の異なる石よりもっと戸惑わせるのは、石があった地域の土や砂の矛盾した年齢である。岩石13について考えてみよう。これはアポロ12号が地球へ持ち帰ったもので、四十五億年物と推定された。これについて当時のNASA宇宙船センターの月・地球科学部長ポール・ガスト博士は次のように述べた。

「この石は一種のマープルケーキだ。異なる各種の年齢に加えて各種の材料の組み合わせでできている」ところが石の年齢よりも更に迷わせるのは、石が存在した位置の土の矛盾する年齢である。たとえば、米国の最初の宇宙船が着陸した「静かの海」で採取した岩石のほとんどは約三十六億年物だが、その部分の土は四十六億年昔の物と判明した。これは科学者にとって全くの謎となったのである。

これと同じ矛盾した状態をアポロ12号が発見した。その土の標本(四十四億年)は、あたりに散乱していた岩石よりも十億年ほど古かったのである。当惑した科学者にとって、これはあり得ないことと思われた。科学者はこの

土を岩石の細粉化されたものと考えたからである。これは月の表面が隕石などの直撃によって永劫の時代を通じて砕かれた砂、石などから成る粗石の堆石であるからだ。

こうした年齢の異なる岩石や小石が発見することは全く不思議であるが、岩石よりも十億年も古い土を発見したことは科学者を悩ませたのである。

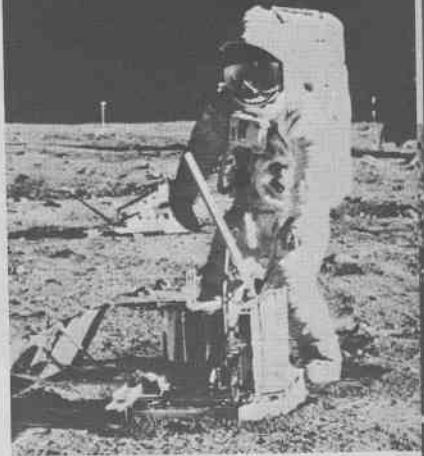
ところがもっと不思議な発見が行われた。この月の土は岩石からできたのではなく、他の場所から持って来たという事実を化学分析によって科学者が発見したのである。どこから持って来たのか? これについて地球の迷える専門家は推測するより他に方法を持たない。実際、彼らには全然わからないのだ。

とにかく月の岩石と土は多くの矛盾と混乱をもたらしたので、カリフォルニア工科大学のある研究チームは、月の岩石と土に関する研究報告に次のようなサインをして挫折感を表明した。

「ルーナティック・アサイラム(精神病院)」(訳注「ルーナティック」には「月の影響を受けた」という意味も含まれている)。

月はどこから来たか

月とは一体何なのか? それはどこから来たのか? 六回にわたるアポロ有人探検行と数度に及ぶソ連の探索の



●アポロの地震観測装置は何を語ったか？



●アイザック・アシモフ博士

結果、我々はただ推測するより他に仕方がない。その正体と、どのようにして地球のそばへやって来たかという謎は、今なお科学者を迷わせ続けている。たしかにこれまでの科学的探求の結果、ますます疑問とミステリーが生じるだけだ。一科学者はぼやいた。「我々が疑問を起こす前に月はすでにその解答を与えつつある」

この異境の地へ六回も旅した結果、ぼう大な情報と資料がもたらされた。八百三十七ポンドの岩石と土が宇宙飛行士の手で持ち帰られ、三万枚以上の

写真と莫大な貴重なデータを含む磁気テープを大量に土産にした。そして世界中の科学者がこれらの研究に没頭してきた。しかし科学者は最も基本的かつ単純な疑問「月とは何なのか？」に対する解答をまだ出してはいない。

人間が月へ行く前にさえアイザック・アシモフのような科学者は、月は自然界の気まぐれでできた天体だと言っていた。なぜなら、あらゆる宇宙の法則からみて、月が現在やっっているように地球周囲の軌道を回るはずがないからである。太陽系のはほとんどすべての衛星は所属する惑星の赤道にそって回っている。しかしわが月だけは違う。その軌道は奇妙にも太陽の周囲を回る地球の軌道に似ているのである。科学者たちは首をひねりながらつぶやく。「なぜ月は赤道にそった軌道をはずれて動くのか？」

彼らにもわからないのだ。もっと興味深い基本的な疑問は「月はどこから来たのか？」そして「その起源は何なのか？」である。

太陽系外から来て捕らえられた？

天文学者は三つの基本的な学説を立てている。

- (1)月は地球の兄弟惑星として地球と同時にできた(これは最も普通と考えられている)。
- (2)地球が誕生した後の段階で、一種

の天体アミーバとして地球が分裂し、息子として月を生み出した。

- (3)月は他の場所からやって来た。あるいはこの太陽系以外からかも知れない。そして地球に捕らえられて事実上地球の配偶者になった。

以上の三つの説は、人間が月へ旅して最初の情報を得る以前ですら、非難されていた。月はかつて地球の一部分で、後に不可解な分裂運動によって分離したのだという説は、月探検まで右の三つの説のなかで最も非難されたものである。ハーバード大学の天文学者H・W・ピカリングはこの説を焼き直していた。これはもとジョージ・ダーウィンから出たもので、ジョージは進化論の父といわれたチャールズ・ダーウィンの息子である。ピカリングの考えでは、月は太平洋の部分から分離したもので、その部分が月と同じほどの大きさになるといっているのである。そして太平洋を形成する縁には火山の環状帯や大断層が存在することがわかった。

しかし月へ行く前にさえ、大半の科学者はこの説に反対していた。天体のメカニクスの種々の難点からみて、この説はだめだと考えたのである。

月は地球と同じ時期に形成され、創造の段階で同じガスやダストから分離して、長い時代を通じて凝縮して固体になり、地球の自然の衛星になったのだという説は、第(1)説よりも科学的な

支持を受けた。

それにもかかわらず、地球と月には密度において大差があるために、科学者のなかにはこの説の正当性を疑う者があった。月は地球の約半分の密度しかない。しかも宇宙飛行士が月へ着陸してから判明したのは、月の形成物質が地球の兄弟天体としてはあまりに相異なることである(訳注)月の岩石の主成分は斜長岩であり、これは地球上でみられない意外な事実である。斜長岩の主成分は斜長石Ⅱアルミニウム、ケイ素、カルシウム、ナトリウム、酸化鉄Ⅱでチタン酸を含まないために白っぽい)。

以上の他に残る解釈は、月は太陽系内の他の場所または太陽系以外の宇宙空間のどこから来て、地球の重力場に捕らえられたという説である。

月は何者かに導かれて来た!?

月は太陽系のこの位置で「異端者」であるように見える。密度と成分が異なる惑星なのだ。近頃多くの科学者が考えるようになったのだが、月は巨大なアステロイド(小惑星)で、地球に接近してその重力場に捕捉されたのかもしれないと考えられる。だがこの説にも重大な欠点がある。NASAのトップ地質学者の一人、ロビン・ブレット博士は言う。

「捕捉説は天体メカニクスの難点を打



地球脱出

大気汚染、異常気象、人口増加、食糧危機、核戦争、惑星直列……近い将来、地球は人類の生存に適さなくなるであろう。人類はもはや、新しい地球を求めて宇宙への旅立ちを急意しなければならない。

E・ギルフィン著
金沢文庫編集部訳
B6判★950円下150

ち出すし、統計的にみて全く不可能と思われる」
重力場によるキャッチはまず不可能だということは別として、ただ一個の月だけが巻き込まれたというのは更に考えがたいことである。しかも月がどのようにして宇宙空間で捕らえられたのか、どのようにして直角で地球に接近し、重力場圏内に収まるような適正なスピードを保ち、地球を回る永久軌道に乗ったのか、などは理解が困難である。またこの説を絶望的にする要素が他にもある。月自体の軌道はこのような荒っぽいキャッチを不可能とするのである。というのはその軌道はほぼ円形に近く、地球に対して常に同じ面を向けているからである。重力場で捕

らえられたものなら細長い楕円形にならねばならない。たとえ月が偶然に地球の重力場へ飛び込んで、あらゆる条件がそろってうまく捕らえられたにしても、どのようにして現在の軌道になったかを考えるのはむづかしい。キャッチされたものであればもつと異なる軌道を描くはずなのだ。現在の状態を解釈するには、月が「導かれて」地球を回る軌道に乗ったとしか考えられない。

月は空洞の人工建造物？

驚いたことにソ連科学アカデミーのトップクラス科学者二人が、右の説を支持しているのである。途方もない

と読者は思うだろうが、もつと途方もないのは、この二人の科学者は、月は自然の天体ではないと主張している事実である。

ソ連のある政府関係刊行物によると月はそれ自身が宇宙船なのかもしれないという。その二人の科学者、マイル・バジンとアレクサンダー・シチェルバコフはソ連の雑誌スプートニクに論文を書いて、一見突拍子もない説を打ち出した。

「月が太古の宇宙船であることは十分に考えられる。その内部にはエンジン用の燃料を満たした空洞があった。言い替えれば、この巨大な宇宙船は数十億年も続く宇宙の旅で、知的生物のためのものである箱舟として役立つ必

要物資のすべてを運んだのである」
オーストリアの科学者にとつては全く考えられないこの説の大意は次のとおりである。

月は地球の天然の衛星ではなく、科学技術の高度に進歩した文明人によって作られた空洞の惑星で、これを人工的な宇宙船に仕立て上げて、遠い昔、地球を回る軌道へ導入した。

月は宇宙を旅するノアの箱舟

言い替えれば、権威ある学会の権威ある二人の科学者が確信しているのは月には実際には別な場所で作られた球体で、自然のアステロイドをくり抜いた上、遠い昔、地球を回る軌道に乗せた

惑星直列

●日本図書館協会選定図書
J・R・グリフィン／S・H・ブレイジマン著
平野正浩・訳 B6判★750円下160

温室地球

●日本図書館協会選定図書
H・A・ウィルコックス著 平野正浩訳
B6判 ★750円下160

金沢文庫
東京都千代田区神田小川町2-2 101 ☎03(295)0241-2



●月の内部は空洞? (ツオルコフスキークレーター)

ということである。この巨大な宇宙船は知的生物のいわばノアの箱舟で、数千年、数百万年間、宇宙を航行するために作られたのだという。

「たぶん月は生命の維持が不可能になった元のホーム惑星に住んでいた生物の、文明のホームだったのかもしれない」

彼ら自身の言葉でいえば、みたところ「常識」という伝統的な道を捨ててしまったこのような途方もない説を二人の科学者がとなえたのは、いかなる証拠に基づくのか? 一見デタラメかつ無責任な空想論に二人をかり立てたものは何か?

月の内部は空洞か

まず第一に、この二人のソ連人科学

者によれば、月の引力は地球の引力の五分の三しかないために空洞らしいというのである。空洞であるとするれば自然の天体ではない。自然に内部が空洞になるような天体は宇宙に存在しないと天文学者は言っているからだ。こうして二人の説では、

月は内部をくり抜かれた、薄い壁から成る天体だということになった。

「それで、理解できることだが、ただのカラッポではない。内壁面にはあらゆる種類の物質や装置があると思われる。しかし月の質量の最大の部分は内部の中心に集中している。

この天体の核と殻の間の距離は(月の直径は二千六百六十二マイルある)大体に三十マイル程度であろう。この空間部は呼吸や他の目的に必要なガス類で満ちているはずだ。

こうした内部構造により、月は一立方センチメートルあたり三・三グラムの平均重力を持つのであって、五・五グラムという地球のそれとはかなり相違するのである」と述べている。

他にどんな証拠を提示しているか? 二人が指摘するところによると、かつ

て科学者が説明し得なかった月のある種の特徴は、彼らの説により理解できるといふ。

「これらの謎は我々の説で解決する」

その謎とは何か。まず第一に月のクレーター群がある。地球の基準からみればおそろしく巨大であるにもかかわらず、不思議に底が浅いのだ。そのほとんどは深さが二ないし三マイルにすぎない。ところがソ連で行われた科学実験によれば、本来なら数倍も深いはずだという。ソ連の物理学者キリル・スタニューコビッチは一九三七年以来、ぼう大な論文を書いてきたが、その中で、クレーター群は数百万年にお

たる月面の衝突の結果であると説明している。巨大な「ミサイル」が月面に落下したとすれば、その直径の四倍ないし五倍の深度に達しなければならぬが、しかるにそれほど深いクレーターはない。なぜか?

バシンとシチェルバコフ兩名によれば、クレーター群が浅い理由は、月面をえぐり取った隕石は、地上に撃突した直後に装甲鉄板でおおわれた内部の殻にさえぎられたのである。そしてこのことは次の理由にもなる。多数の大クレーターの床は凸状であって凹状ではないのだ。

不思議な月の「海」

月に関して説明のつかないもう一つ

の不思議な現象は、晴れた夜空に輝く月面に見える。月の黒い「海」だ。この部分は例の二人の科学者によると、未知の生物が噴出させた、かつて溶解した岩石や金属の海で、これにより、内部のあちこちをカラッポにするとともに、外部の弱い地帯を補強したのだという。

この月の海は他の部分にくらべて重力が大であることが発見された。内部の岩石を溶かして噴出させるといふこの大仕事を行うのに必要な巨大な機械は、まだ「海」の地下に蔵されていてこの重量が重力を大ならしめているのだと二人は信じている。

更に二人は指摘する。米国の宇宙飛行士が月から持ち帰った岩石は、不思議に多量の金属を含んでいる。これはなぜか? 二人が確信するところではこの金属は「海」を作るために用いられたし、また月という大宇宙船の船体にも用いられた。隕石の直撃に充分耐えられるように補強するとともに、長い宇宙の旅にも耐え抜くためである。この金属の多くは、月面に衝突する隕石を爆破して、まばらに敷きつめられた保護コーティングにより細片にされ溶かされたのであるという。

この珍奇な論文を読んだとき、興味をそそられたけれども私は全く信ずる気にはなれなかった。要するに証明は限定されており、どうみても曖昧なのである。(次号完) 久保田八郎訳

特選光学機器通信販売のお知らせ

UFOマニアに朗報!

自宅でお好きな機種が選べる



下記5大メーカーの光学器を、お手元のカタログで比較検討し
ご注文いただくシステム、ぜひ93年の伝統と信用を誇る

東京メガ本を
ご利用ください。

《取扱メーカー》

アストロ
ニコン
ミザール
ビクセン
カート光学

《取扱商品》

天体望遠鏡
地上望遠鏡・双眼鏡
顕微鏡・拡大鏡

他付属品及部品類など、
多数取り揃えております。

●カタログ(5大メーカーカタログ)ご希望の方は切手300円を同封してお申し込みください。なおお買上げ商品は国内どこでも無料配送いたします。いま当社通信販売にて10,000円以上お買上げの方に限り全員に「彗星を追う」「'76天文観測年表(天文気象年鑑)」「新天体写真技術」のうちご希望の専門書を一冊無料進呈致します。

お問い合わせは

株式会社 東京メガ本 商事光学通販B係

〒154 東京都世田谷区若林1-20-11

TEL 東京03(413)8711 (大代表) 郵便振替口座 東京134345・私書函世田谷局第33号



メガネは顔の一部です…だから

東京メガ本

支店—国内25店・海外—香港店, 九龍店 工場—東京・群馬

空飛ぶ円盤による北東アジアの“真珠湾”に備え、軍部も警戒を続けている！

空のUFO嵐

ロナルド・ドラッカー

骨まで凍りつきそうな寒風が逆波の立つ黄海の上を荒れ狂って、冷たいみぞれを機関銃の弾丸のようにたたきつけていた。大韓民国海軍所属の、長さ三十メートルばかりのランチは、大波が寄せるたびに艇首を空に突き上げ、次には波の谷間に突っ込んでいた。六人の乗組員は、いつ転覆するかと気が気ではない。「浸水するぞ！」しかめ面で舵輪を握っていた男が叫んだ。「これではとてもたまらん！」

あとになって艇長は語った。「心配事は山ほどありましたよ。UFOまで現れなくても……」

この改装魚雷艇は日課の補給任務で仁川付近を航海中だった。一九七三年十一月十一日のことだ。敵しい韓国の冬が今年も早目にやって来たな、と艇

長のキム・ビョンハク中尉は考えていた。乗組員は、悪天候との戦いやこの海域をうろつく北朝鮮の快速魚雷艇からの脱出には慣れた古参兵ばかりである。さっき声を立てた二十五歳になる舵手のパク・ミュンファでも二度の船火事の経験者なのだ。「UFOまで現れなくても……」

朝鮮半島はUFOの特別目標

だが、この暗い嵐の夜、また別の危険が近づこうとしていたのだ。東洋の火薬庫朝鮮半島防衛の任にあたる韓国と米国の当局者をはじめに追いつめる新しい脅威である。というのは、この脅威は、百万の武装兵が向かい合ったか細い休戦ラインのしめつけるような

政治的緊張から生まれるのではなく、まだだれも知らない不吉な雰囲気の中から姿を現そうとしていたのである。

朝鮮半島はUFOの特別目標になっていたのだ。それだけでなく不安定な情勢に拍車をかけるように空飛ぶ円盤は南でも北でも目撃され、人工の航空機やミサイルでは不可能な飛行ぶりを見せつけ、一部の人たちからあれは地球の外から来る宇宙船だと信じられていたのである。「そのことは間違いない」と在韓国連軍涉外将校のロバート・K・スフィアは語る。「当地で生じるいろいろな問題に加えて、空飛ぶ円盤は至るところに出没している」嵐にもまれる魚雷艇の上では、パク・ミュンファがキム中尉の肩をたたいて上空を指さした。二人と残り四人の





●1973年仁川付近で彼自身と魚雷艇の他の数名の乗組員が目撃した空飛ぶ円盤のスケッチを指さす韓国海軍の古参兵パク・ミュンファ。

乗組員は、かすかな光が暗い夜の雲を背景にいきなり明るい、はつきりした飛行物体に変化するのを見たのである。

「何か正体の知れないものを見ているのだ」ということはすぐにはわかりました」とパク水兵はあとにな

って語った。「その物体は嵐や雨やみぞれをもともせず、水面すれすれの高度を直線飛行していました」

艇長は仁川港湾司令部——呼び出し符号は「サファイア」——を無線で呼び、帰港許可を求めた。荒れ狂う海での急変針で転覆しないよう艇を保持しながらパクは、「敵機」の出現を艇長が報告しているのを聞いた。パクは面くらった。「こんな天候に

韓国上空

朝鮮半島はUFOの特別目標になっている。韓国におけるUFO出現事件の増加は軍部にも波及し、多数の将校が目撃したほかレーダーにも何度かキャッチされている。紛争の地域によく出現するといわれるUFOだが、いまだに緊張の続く半島での目撃は何を意味するのか——

飛行機が飛べるわけがあるまいに——

急速に接近してくる物体が人工の航空機でないことは彼も確信していたのだ。

「基準になるものがないので測定は困難でしたが、その物体の長さは十二メートルくらいと思えました。水面上三十メートル以下の低空を恐ろしい高速で近寄ってくるのです」

艇長、あれは飛行機

じゃありません！

若い水兵は、びくびくしながらも艇を二十七キロメートル東の仁川に向けてようと一生懸命になっていた。

ところがUFOは、突然空中に停止してしまっただけ！

「早く逃げ出しましょう！」とパクは艇長に向かって大声をあげた。

「あれは何だろう？ レーダーでも見るとサファイアが言っているが——」

やって来る！」

UFOはふたたび動きはじめた。風と雨とみぞれはゴウゴウと音を立ててはいたが、その物体は接近してくる間ちっとも音を立てないことにパクは気づいていた。

彼は危険を感じておびえた。

「艇長、あれは飛行機じゃありません！ヘリコプターでもありません！」

「おれにもやっとなかったよ！ サファイアの話では超音速飛行をしているそうだ！」

だが乗組員には衝撃波は感じられなかった。物体は頭上を通過した。白熱した金属で出来ているような感じで、平滑な表面は桜色に輝いている。一心に見上げていたパクは、それが典型的な空飛ぶ円盤の形をしていることに気づいた——中心に隆起のある、平たい円盤である。あとで彼はその物体をスケッチしたが、やはり典型的な「空飛ぶ円盤」によく似ており、腹部の中心から排気を吹き出していた。

「逃げましょう！」

「そのとおりだ。行こう！」

改装魚雷艇は荒波をついて全速力で母港めざして走り出した。明るい赤色に輝くUFOは、追跡するというより後方に浮かんでいるように見えた。「その「物体」は私たちについて来るのです」とパクは語った。「私は「監視されている」ような気がしました。あの飛行物体が知的生物によって操縦されていることは確かです……」

「私たちは全員でよくよく観察しました。物体は海面上三十メートル以上の高度にはけりして上昇しませんでした。でも位置だけはたびたび変えました——突然右側から左側に行き、続いてまたもとの位置にもどるといった具合にです。そして少なくとも二十分は私たちの周囲をうろついていました」

この事件後まもなく韓国当局は、この空飛ぶ円盤が沿岸警備用レーダーで捕らえられたことを確認することも否定することも拒否した。その後訓練のため渡米したパク・ミュンファは、その物体がレーダー上に現れてその付近を飛行中のどの航空機よりも高速で飛行するのが観測されたことと艇長に連絡があったことを主張している。

他の乗組員も、地球上のものでない飛行体から——想像を絶する悪天候にもかかわらず——ずっと調査されたという点では、パクと同意見である。それが他の惑星から来た宇宙船に違いな

いという確信は、いろいろな条件を一つずつ排除していった場合それしか残らないという単純な論理に基づくものだ。間違いない、と彼らは信じているのである。

バクは、韓国海軍勤務中数々の表彰を受けたこともある誠実でひたむきな青年である。噂をふりまいたりホラ話をでっち上げたり幻覚に惑わされるタイプの人間ではない。その夜UFOがもと現れてきた雲の中に消え去るずっと前から彼は、自分が目撃しているのは「何か未知の物体で……自分が受けた教育では解答の出せない何か」に違いないという確信をもつようになっていたのだ。

韓国は人類観察に適している

韓国人によくある型の、穏やかで誠実で真面目な人物であるバク・ミュンフアは、彼自身の体験からセンセーショナルな結論を引き出すことには反対である（「あれが宇宙船だったという証拠は何もないのですから」。だがもし宇宙人が人類を観察しているのだとしたら、韓国ほどおあつらえむきの場所はないだろう。ベトナムの陥落とともに米国の極東政策の焦点は東南アジアから東北アジアに移っており、一九五〇年から五三年にかけて二万七千人の米国人が戦死したこの国に緊張は十分高まっているのだ。

多くの米国人にとって韓国の思い出といえは荒れはてた戦災地の光景や、口が曲がるほどビリビリするキムチの味わい、それに陽気なパーやビヤホルの雰囲気などにすぎない。だがこの「朝の静かな国」は今や三千二百五十万の人口を持った新興産業国家であるばかりでなく、早くもアジア経済の中心地となろうとしている上に、米国のかけがえのない戦友なのである。

朝鮮戦争当時のソウルしか知らない人たちには、その後の発展ぶりはとても信じられないだろう。ガラス張りの高層建築が至るところにそびえ立つ。戦前の人口はわずかに五十万にすぎなかったのが今では世界十大都市の一つに数えられるまでに成長し、その人口は六百五十万にもものぼる。街路には自家用車、トラック、バス——すべて韓国製である——がひしめきあい、四車線の超高速道路がソウルと釜山を結んでいる。高速道路と鉄道は拡張に拡張を重ねて、今では国内に四時間半以内に行けないところはなくなったのである。なんと堂々たる発展ぶりだろうか。

軍部は本気だ

そればかりではない。韓国は古代文化のふるさとであり、豊かな伝説の国でもある。何百年も昔から語り伝えられてきた物語には、昔も宇宙から侵略

が行われてきたことを暗示するものが多いのである。

最近の韓国はUFO目撃の現場となつてしまった。UFO活動を示す証拠は弾力で納得のゆくものであり、無視するにはあまりにも面倒である。空中に怪光が出現してしばしば信じられないような動きを見せるのを、信頼することのできる人たちが目撃している。それらは海上からも地上からも、そして航空機の上からも目撃され、どうかすると対空砲火をあびせられたこともあるのだ。

「真面目にそれを否定しようとする者はないと思います」とソウル居住の米国外実業家のジョージ・B・マギニスは語る。「当地では不思議な物体が上空で目撃されるし、軍部も本気だ。UFOに関する限り、だれも「真珠湾」の経験を繰り返したくはありませんからね……」

マギニスは間違っているのかもしれない。空飛ぶ円盤はそれほど真剣には評価されていまいように思われるからである。

韓国内でのUFO目撃報告が殺到するのに対して行われる見えすいた説明の一つは、率直に言ってけつして人を納得させる説明ではない。

一九五三年七月二十七日の休戦いらいほとんど二十五年、いまだに四万二千人の将兵を韓国に駐留させている米軍が繰り返す主張するところでは、未

確認空中現象は軍事的対決が存在するところに発生することが予想されるところなのだ。ミグ21ジェット機を含む八百五十機以上の戦闘戦闘機から成る第一級の北朝鮮空軍は、新鋭F4ファントムをたつた十八機しか持たない五百機の韓国空軍に対して展開を終わっているのである。米国のSR71ジェット機が北朝鮮上空を偵察飛行したり、共産空軍がたえず韓国の防衛力を偵察したりしているのは公然の秘密である。

クリスマス・イヴの怪光

もちろんUFO目撃例のいくつかは有人航空機の侵入偵察飛行と関係があることは疑いない。「だがすべてのUFOをミグ21の偵察飛行だと片づけるわけにはいきません」とソウル駐留の米軍技術団は説明する。「韓国には精密な防空組織があり、先方のやってくることはすべてわかります。先方が離陸すればすぐレーダーに映る。レーダー上の光点が飛行機かどうかはすぐ区別できるのです」

一九七二年から七四年まで韓国のレーダー基地に勤務したある軍人はこうも話している。「北鮮から来たものでもなく人工の航空機の特徴も備えていない飛行体をよく観測したものです。突然出現し、突然消滅するんです」要するに、しだいに数を増しながら韓国の上空を乱舞するUFOについて



は、信頼するに足る説明はまだされていないのだ。

一九五九年にはすでにソウル上空で不思議な物体が観察されている。厳しい寒さのクリスマス・イヴのことである。ニューヨーク州ブルックリン出身のバート・カービル一等航空兵はピョントク・リーダー基地に勤務していた。そのとき彼のリーダー上に四個の光点が現れた。東海岸のすぐ沖を、二万メートルの高度で南から北へ動いている。速度はマッハ三・五だった。当時の航空機にはできない芸当である。

UFO、対空砲火を浴びる

「クリスマス・イヴの怪光」は新聞でも報道された。海岸の町ポーブハンでは少なくとも十二人が目撃している。その夜は雲もなくよく暗れてはいたけれども、物体は大変な高度を飛行していたので詳細な観察はできなかった。

それから何年にもわたって、説明に苦しむような目撃報告が続いた。一九六二年には釜山付近をUFOの群が旋回していたという記事が日本の雑誌「宇宙」に出た。これらの物体が三機か四機で一群となって非常な高空を飛行しているのが目撃されたのである。

一九六八年——米国のスパイ船エプロが北鮮にだ捕されたのと同じ年である——の一月には、非武装地帯付近のある前進基地に火のような怪光が出

現して大騒ぎになった。またしても三機か四機が一群となって現れたこれらのUFOは、消滅する前に実際に対空砲火のお見舞いを受けていたのである。

一九七〇年に入ってキョンギャン日報の記者が、ソウルで目撃され、また伝えられるところでは北鮮でも同じように目撃されているという正体不明の色光について米韓両国軍の高官に質問した。国連軍司令官のジョン・H・ミカリス將軍は、彼の長い軍歴の間にあちこちでUFOの話聞いた、と答えた。「そのような報告は大部分は間違いだと思う」と彼は語ったという。

「不十分な観察や誤った情報の産物である場合が多いからだ。しかし私は、何か私たちの知らないもっと調査を必要とする何物かが存在するという可能性までも問題外とするものではないかもしれません」

もっと真剣に研究しなくては

バージニア大学の有名な韓国人学者のキム・チョンシク博士は、韓国東海岸の人里離れた山道にUFOが着陸したという報告を聞いたことがある。博士によるとそれらのUFOは、地面深くくぼんだ痕跡、焦げあと、残留放射能などをあとに残したという。これらの着陸地点をガイガー計数管で測定したところ相当な放射能を検出したこ



●米海軍のグラマンS2トラッカー（写真）と同型の飛行機二機に分乗して韓国上空を飛行中の少なくとも六人の飛行士の眼前に、明るく輝く円形のUFOが姿を現した。

「とから博士は、UFOが原子力を動力としていると確信するようになった。」

「私たちにも原子力飛行機を建造する能力はあるのだが、費用がかかりすぎるので建造しないだけだ」と世界各国から三百例以上のUFO目撃報告を収集しているキム博士はこう語る。「広大な宇宙を旅行するように設計された大宇宙船には、核分裂こそもつともふさわしい動力かもしれない」

そしてキム博士は考え深げに付け加える。「たしかに何かが間違っているようだ。UFOをもっと真剣に研究しなくては」

韓国空軍の警備員だった二十五歳のファン・ヨンホ軍曹も同意見である。彼は一九七四年三月十一日ヨンドンポ車輛集積所付近に浮かんでいたUFOを「追跡」したことがあるのだ。彼はその後米国に移住し、UFOに強い関心をもつようになった。「私にはあれがUFOだったと言い切る自信はありません。正体はだれにもよくわからないでしょう。でも、軍の上層部では公表している以上に詳しいことを知っているような気がします」

巨大な怪光が出現

広々としたヨンドンポ軍用自動車団の構内で、裏毛の防寒服を着てカービン銃をぶらさげたファン軍曹はたった今交替して半夜勤警備についたところ

だった。彼は他の警備員と交信するための携帯用無線電話機を手に、駐車したトラックの中で丸くなっていた。長い、冷たい、たいくつな夜になりそうだった。ファンはチャリと腕時計をのぞきこんだ——明日から三日間の休暇だ、家に帰れるぞと考えながら。

ファンはほかにすることもないのである——だから、携帯無線から警報音が鳴りひびいてハッと我に返った時間もハッキリ覚えていた。

「すぐこっちに来てくれ！」もう一人の警備員の声が出た。「空に何かいるんだ！」

午前一時二十三分だった。ファンは戸外の寒さの中に飛び出して、覆いをかけたまま長々と並んでいるジープの列の向こうの三百メートルほど離れたところにいる警備員のほうを見た。そんなに離れていても、暗いオレンジ色に輝く巨大な丸い物体が空中に浮かんでいるのがハッキリ見えた。

「何だあれは？」

カービン銃を握りしめてファンは走った。ハアハアと息を切らしながら他の二人の警備員の立っているところまで駆け寄ると、二人もその巨大な怪光をじっと見つめていた。物体——ファンは最初ヘリコプターと思った——はもう三百メートルほど向こうの水田の上空に停止している。大型トラックほどの大きさの円筒形で、完全に無音の

まま地上約三十メートルの上空に浮か
 んでいた。

「中からだれかがおれたちのほうを見
 ているぞ！」

「ヘリコプターじゃないな！」ファン
 はつぶやいた。

「敵機だ！ 敵機にきまつてるぞ！」

「まあ待てよ——」ファンは先任下士
 官だった。「無線で司令部に連絡して
 援軍を呼ぼう。カービン銃でねらった
 りするんじゃない！ もっと近くから
 よく見てみよう」

人間の作ったものではない

眼は明るく輝く葉巻型のUFOに向
 けたままファンはジープに乗り、エン
 ジンをかけ、門——UFOのいる方向
 ——のほうへ動き始めた。

ファンはジープのヘッドライトを点
 灯した、が、思いなおしてまたスイッ
 チを切った。ライトが消えたとなん、
 UFOは彼と反対の方向に音もなくゆ
 っくりと滑るように動き始めた。

彼は語る。「その頃までには、そい
 つはけっして人間の作ったものではな
 いと確信していました。意志をもった
 手で操られていることも確かでした。
 しかし、敵意をもっているかどうかは
 わかりません。ねらい撃ちしようと思
 えはいつでもできたのですが、それは
 良い考えとは思えなかったのです」

UFOも撃ち返したかもしれない、

とはファンは言わなかった。手にして
 いるのがカービン銃一丁だけというこ
 とが頭にあつたからかもしれない——
 正体不明の物体にカービン銃ではあま
 りにも心細かつたことだろう。

彼はアクセルを床まで踏みこんでジ
 ープを雪におおわれたヨンドンポ高速
 道路に乗り出した。午後十二時から午
 前四時までは夜間外出禁止なので、道
 路はガラシとしていた。今やUFOは
 円筒型というよりも円盤型に見え、彼
 は何としてでもあれに追いついてやろ
 うという闘志のようなものを感じた。

追いついてやる……

オレンジ色の怪光は、やはり地上約
 三十メートルの高度で二車線の道路と
 ほぼ平行に、彼から遠去かるように滑
 空していた。何としてでも追いついて
 やろうとファンは、側溝に落ちないよ
 う注意しながら速力を五十キロから六
 十五キロに上げた。

「まあいつかは追跡されていることを
 知っていて、私と鬼ごっこするつもり
 なんだ——私にはそんな気がしてなり
 ませんでした。私がスピードを上げる
 と、怪物もやはりスピードを上げるの
 です——ほんの少しですが」

頭にきたファンはハンドルを握りし
 め、危険もおかまいなしに加速を続け
 た。

「追いついてやる……」

時速百十キロで走っていた彼は、す
 ぐ目の前にバックリ口をあけた溝が現
 れるまでちつとも気がつかなかつたの
 だった。ジープのことがチャリと頭を
 かすめたが、そのときはもう土の壁に
 突っ込んで割れたガラスが周囲に飛び
 散り、彼の身体はフロントガラスのな
 くなつた窓わくから前に投げ出されて
 しまった。

午前一時五十六分、近くの米軍基地
 にいた別の警備隊員たちが飛び去るU
 FOを目撃した。

一時十九分から二時四分まで——あ
 になつてファンが聞いたところでは
 ——金浦空軍基地のリーダーもこの物
 体をとらえていた。

ファンの持場に到着した援軍も、飛

んで行くUFOをはっきりと目撃した
 のである。

ファンは六時間後、軍医務室の手術
 室で意識を回復した。腕が折れたうえ
 に肋骨にもひびが入っており、裂傷や
 打ち傷もあった。軍医たちがいそがし
 く手当てをしている。しばらくしてか
 ら彼は部隊の当直士官に不思議な事件
 を報告した。驚いたことに報告書を出
 せとは命令されなかった。

ファンは語る。「これで、韓国当局
 で飛行物体のことをもう知っているか
 ——それとも知りたくありませんか
 ——一九五四年の相互防衛条約により脅
 威にさらされる朴大統領の国民を助け
 ため韓国に駐留する米軍もやはり、

ファンの持場に到着した援軍も、飛

会 員 募 集

★UFOと宇宙哲学の研究グループ★

日本GAP

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家として著名であるが、1961年
 アダムスキー研究家としての世界GAP(知らせる運動)あ
 りの編纂日本代表とを兼ね、日本GAPを設立。以来の
 相対論的困難と宇宙の哲学の促進活動を展開してきた。特
 異な体験と宇宙の法則の探求を著した。『GAP』を
 機関誌「GAPニュースレター」をすでに58号までを
 発行。田月上野公園の東京文化会館で月例研究会を開
 催。『テレパシー』講義、テレパシー練習、研究発表
 などを行い、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。
 月例会終了後は夕食会を開催して会員の親睦を図る。
 専ら、率仕の個人活動として啓蒙運動を続行中である。
 真剣な探求者のご参加を歓迎いたします。

不定期刊機関誌

●本格的活版印刷・B6版・極上
 アート紙40ページ●UFOに關連し
 て、他の惑星の最大なる人類存在
 の探求と宇宙の法則の探求専門誌

「GAPニュースレター」
 第59号発行中!!
 (主要記事) (第58号残り僅少)

●日
 進歩した思想家のために(未公開遺稿)(完)・ジョージ・アダムスキー
 透視力開発と宇宙観 亀田一弘
 (連載)米GAP訪問記「さらばニューイングランド」(完)……久保田八郎
 その他

入会希望者は50円切手宛名明記返信用封筒を同封の上、「UFOと宇宙」20号で
 見たとき書きそえてます案内書をお申し込み下さい。高度な哲学的研究グループ
 につき、入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の1冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主幹)久保田八郎

しだいに広がってゆくUFO騒動のま
った中にあるのである。

二機の飛行機から六人が目撃

一九七四年十一月二十一日韓国上空
で、F4ファントム・ジェット戦闘機
が一機の空飛ぶ円盤をすごい勢いで追
跡したことは、米国防空軍もしぶしぶな
がら認めている。

二人——ジョセフ・E・スタードマ
ン大尉とビクター・E・キング中尉
——の乗ったファントムは、(レダー
ー上で) 共産軍爆撃機が侵入してくる
ように見えたので緊急離陸を命じられ
たのだ。しかし二人の眼前に現れ
たのは爆撃機ではなくて白熱した光体
だった。物体は閃光のような白熱光を
発してはいたが、スタードマン操縦士
にも追いつけないほどの快速でジグザ
グに飛行し、知的生物がややつてで
もいるように感じられた。

このUFOはソウルの米国第八軍戦
術作戦司令部のリーダーでもとらえら
れたし、前線の兵士たちからも目撃さ
れている。実際のところ、スタードマ
ンは射撃準備まですませていたのであ
る。

ところが次の瞬間、物体は薄い大気
の中へ突然消滅してしまったのだ。

それだけでは上層部にショックを与
え足りないとも思ったように、数週
間後——一九七五年一月二日——には

同じようなUFOがふたたび出現し、
少なくとも二機の飛行機から六人が目
撃した。

米海軍のグラマンS2トラッカー
——プロペラつきの対潜哨戒機——二
機が沖繩からソウルに近いK-16六基
地めざしていつものとおり飛行してい
た。機が雪におおわれた韓国の海岸線
を通過したとき、輝く光体が発現して
彼らと編隊を組んだ。「UFOは七分
間私たちとともに飛行しました」と操
縦士の一人は報告した。「その物体は
円形をしており、全体が発光していま
した。どんな航空機にもできないよう
な急旋回をやつてのけるのです」

宇宙人は私たちを

じっと見つめている？

米国防空軍も関係したこのような目撃
例はまだいろいろある。中でもめざま
しいのは、昨年米国防空軍艦隊の全乗
組員が釜山付近の夜空を明らいたオレン
ジ色の怪光が飛びまわるのを目撃した
事件であろう。

いったい何事が起こっているのか？
韓国に現れるUFOが北鮮からの有
人機でないことはもう証明済みだ。
では、いったい何物であるのか？
頑健でたくましい韓国の国民の間で
語り伝えられてきた民話に、怪物、悪
魔、それに歴史の夜明け以前から半島
をうろついていたクイシン(人間によ

く似た獣)などがいろいろと登場して
いるのは興味深いことだ。一九六四年
製作の映画「他の世界から来た生物の
王」は、韓国の小学生ならだれでも知
っている話——韓国古代文化の開始以
前に地上に降り立って人々に話しかけ
た不思議な訪問者の物語を再現したも
のである。

かつて韓国を訪れた古代の宇宙飛行
士がふたたびもどつて来たのであろう
か？ 十分な証拠というほどのものは
ないのだが、韓国南部や日本西部に残
る古代彫刻などの遺物の一部は、それ
が他の宇宙からの訪問者の作ではな
からうかと考える考古学者たちの首をひ
ねらせている。

バージニア大学のキム・チョンシク
博士は、UFOが——韓国でもどこで
も——やっているとよく知ってい
るなどというふりはしてはいない。しか
し博士は想像を絶するような仮説を立
ててもいるのである。

「もし、私たちがよりはるかに進歩した
他の文明人が、銀河系内で人間の住む
惑星すべてを定期点検しているとした
らどうだろう。そうすれば、大昔に宇
宙人が訪れたという伝説は説明がつく
だろう。また、宇宙人が「戦争」とい
う概念など全然所有してないで地球
人がどうしてお互いに殺しあうこと
にあれば、その努力を費すのか全く理解で
きないとしたらどうだろうか。彼らの
宇宙船はかならず、私たちの惑星でも

特に軍事的緊張の大きい地点、たとえ
ば韓国などにひきつけられるのではな
いだろうか？」

「要するに」と博士は続ける。「宇宙
人は私たちをじっと見つめているのか
もしれないし、眼にする状態に不満を
感じているのかもしれない。彼らはど
んな手を打ってくるだろうか？」

現在のところ、韓国で起こる未確認
空中現象に対して真剣な調査が行われ
ているという事実はないようだ。「他
にしなければならぬことが多すぎる
からね」とある韓国の高官は語ってい
るが、UFO研究者の話では、他の
国々の指導者たちがこの問題を真剣に
考えるようにならない限り韓国のUFO
騒動も人々の注意を集めるようには
ならないだろうということだ。

「これでは気違い沙汰だ」とソウル駐
留米軍のある中尉は言う。「何か空恐
ろしいことが次々に起こりつつあるこ
とはわかってはいるのに、だれも調査し
ようという気にもならないなんて」

だが、そのような状態が長続きする
はずはない。彼らが「人間によく似た
生物」なのかそれとも他のものなのか
はだれにもわからない。しかし韓国の
UFOの背後にひそむ力はしだいに注
目的となるうとしていく。間もな
く、だれか真剣な学者たちが、当然聞
かれねばならぬ質問を提起するように
なるかもしれないのだ。

望遠レンズは新しい世界を発見する!!

低価格で登場 スリコール交換レンズ



一眼レフの愛用者の多くが交換レンズの価値を認めながら持っていないのは、交換レンズがあまりにも高価だからだと思います。しかし、交換レンズを使わずして何のための一眼レフでしょう。できれば交換レンズはカメラよりグリーンと安い価格であってほしいものです。それが交換レンズを手軽に買え、気楽に使え条件だと私達は思います。その要望にスリコールがお応え致します。

スリコール交換レンズはできる限り安くお届けするためにユーザーへの直接販売システムでスタートしました。スリコール交換レンズの実力をお楽しみください。

●スリコールPマウント種類(付属品)35%一眼レフ用

アサヒペンタックス用 (SP, SL, ES, SPF, フジカ, マミヤ, リコー, ヤシカに使用)・オリンパスOMI用・ミノルタ用・キヤノン用 (F1, EF, FTb)・ペトリ用・ニコン用・コニカ用 (FP, FS, FMは不可)・ミランダ用

●スリコール交換レンズ仕様(プリセット絞り、絞込み測光、マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	F:8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
全長mm・重量g	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード、マウント、ケース					マウント、ケース

●マウントのみ購入することにより2種以上のカメラに使えます。マウントのみ ¥1,500

長焦点交換レンズを天体望遠鏡に利用する



アイピースアダプター
¥1,500
アイピース
¥1,500~¥3,600

写真はLP400にアイピースアダプター、アイピース付

●スリコール オートテレコンバーター (焦点距離2倍、露出倍率4倍(数値で2倍)、構成3群3枚、重量110g、寸法・長さ25%、最大径63%)



マルチコーティング・TTLメーター連動開放測光

35%一眼レフ用のコンバーターで、撮影レンズとカメラボデーの間に取付けることにより撮影レンズの焦点距離が2倍の望遠になります。手持ちレンズが標準なら望遠に、望遠なら超望遠になります。テレコンバーターにより2倍になった焦点距離は同じ焦点の望遠レンズと同様の画角、焦点深度、遠近感になります。(AEは絞り優先の電子シャッターのみ使用可能)

アサヒペンタックス用 ¥7,000
(ペンタックスSL, SP, SPF, ES)
キヤノン用 ¥8,500
(F1, EF, FTb)
ミノルタ用(全機種) ¥8,000
オリンパスOMI用 ¥8,500
ニコン用(全機種) ¥8,500
コニカ用(FP, FS, FMは不可) ¥8,800

●スリコール セミ魚眼コンバーター (焦点倍率0.43、露出倍率約2倍、構成3群3枚、重量300g、長さ53cm)



標準レンズ、広角レンズのフィルターネジに取付けて超広角、セミ魚眼になります。焦点距離は標準レンズ50%なら22%に、広角レンズ35%に取付ければ15%の超広角セミ魚眼になります。焦点深度が深くなりますので一般撮影には∞で使用し、ピント調節の必要はありません。自動露出TTLは機構上変わらず使用できますし、露出倍率は2倍程度ですので、たいへん明るい超広角セミ魚眼になります。

最短撮影距離(レンズ前面から) 3cm程度 Gアダプターサイズ(フィルター径)
写角 標準レンズ50%の場合 113度 46%, 48%, 49%, 52%, 55%, 58%, 62%
広角レンズ35%の場合 150度(タル型) ¥11,500 (Gアダプター、ケース付)
広角レンズ28%の場合 150度(丸型) Gアダプターのみ ¥600

〒121 東京都足立区平野3-7-17

振替口座東京103033

株式会社 スリービーチ UFK係

電話照会・受付時間
平日午後1~5時迄
東京(03)850-6110

●詳しいカタログはハガキでお申込み次第無料進呈致します。(電話申込み不可)

「マイナス科学」は存在するか

「宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか」を読んで

小久保秀之

本誌十九号の「宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか」と題する坂元邁氏の説は、最初の着想においては十分に正しいと私は思う。地球人類がまだ銀河宇宙の連盟と交流できるほど進化していないことが、彼らの接触が非公式である最大の理由であり、その行動が、人類の運命は人類が決定するといった宇宙的倫理にもとづくものであることは疑いない。

ところで、坂元氏は、科学にプラス、マイナスがあると指摘されたが、これはどうもおかしいのではないか。氏のプラス領域とかの定義の仕方は不正確である。マイナス領域は眼に見えない云々という定義では、録音テープの例や、あるいは電磁気という不可視的なものを扱う諸科学等については非常に理解に苦しむ。眼に見えない領域は科学の対象外という考え方など、最初から存在しないのではないか。真理は多面的であっても、唯一のものであり、プラス・マイナスに分割すること自体、無理で乱暴なことではないか。氏の定義をここに再掲しよう。氏は

エントロピー増大の方向をプラスとされている。それはそれでいいとしても、マイナス領域はマイナス科学で、というのはどういうことだろう。

現実世界は混沌とした状態であり、エントロピーの増大減少、その他ひっくりめられた状態なのだ。たとえば、恒星がだんだん年をとっていくのはエントロピーの増大なのか、減少なのか？ 赤色巨星へ変化していくと、星の内部では核融合以外の反応も生じ、炭素や窒素や鉄もできる。そして赤色と化した恒星のあるものは突然爆発し、虚空にその元素をまき散らす。四散したガスはたしかに拡散してゆき、その意味ではエントロピーは増大していると言えようが、そのガスが星間物質として新たに恒星を形づくるとき(創造)には、氏の定義からしてエントロピーは減少ともいえるのではないか？

氏が指摘するマイナスの科学とプラスのそれとの相異点として、マイナスの科学は分解、分析、解剖という内への追求をしないこと、データの集積から蓋然性で真実を証明することをあげ

ているが、実際にはどのような科学においても、すべてデータを集積し、それによってはじめて成立するものなのではないか。宇宙が膨張しているらしいことも、恒星のスペクトルの赤方偏位を観測し、その事実を積み上げた結果、確証が得られた。物理学にしても化学にしても、すべてデータの上に成り立っている。新しい法則は、その多くが実験と観測の繰り返しによって見出されてきたのだ。元来、自然科学の出発点は、事実を重んじ、事実を信じることである。そこにプラス、マイナスという区別は存在し得ない。

「マイナスの科学は既知、未知に関係なく自由に未知の真理を人類の福祉に今すぐ利用できる特徴をもっている」と氏は述べられているが、これは別にマイナスの科学に限ったことではない。事実、過去の例を見ても、電磁波の正体すら判然としないのに無線機が出現したし、気体についてはほとんど無知でありながら熱気球の浮揚に成功している。

たしかに、現在、我々は自分の知

ていることだけですべてを説明する悪癖がある。これが真の発展の妨げになることは坂元氏も言及されている。だが、私は氏のプラス・マイナスの考えには賛成しかねる。氏はもちろんニュートンのことをご存知だろうし、次のような彼の言葉を耳にはさまれたことがあるかもしれない。「私は未知の大海を前にした砂浜で、一つの貝がらを見つけたにすぎない」(出典を調べたがわからなかった。記憶は不正確だがこのような内容だった)。彼は人間の無知さを率直に認めている。

我々には、まだまだ未知の荒野が広がっている。氏はそれを「マイナス」と呼んでいるだけではないか？

さらに付け加えるなら、物理学が決定論であったのは過去のこと、今や物理学は確率論である。物理現象が確率的であることの意味は、そのなかにいわゆる奇跡というものを容認し得ることである。エントロピーの概念の発生である熱力学第二法則を見てみよう。たとえば、机の上のコップに入った水が溶けて水になる現象でも、その

見える	見える	肉 体	物 質	破 壊	非 生 命	プラス領域	眞 理
						マイナス領域	
見えない	見えない	いのち	心	精 神	創 造		

●坂本邁氏の定義（本誌19号，p.42より）

水が反対に氷になる確率は0ではない。ほとんど0に近いが、逆が起こることは絶対にないとは言いが切れない。

絶対的な客観性

つまり、ここにおいて真に問題となるのは、エントロピーを支配するもの、その他もろもろの現象の背景にあるものの宇宙的構造である。私は、従来の自然科学が足場になっている絶対的な客観性というのが少々怪しいように思う。念力でサイコロの目が左右できるというのは、物理現象等の確率的根本に、主体、あるいは他の要因が関与していることの証しである。すなわ

ち、自然科学という客観性は完全な客観性ではなく、まだ別の要素を背景にもつ。だから私はこう考える。現在の科学的認識の根底にある客観性が、実はそうではないという点に地球人類がいまだに真理の半分しか理解していないことの意味があるのではないかと。

主体性と客観性

心理学関係で、これに似たような考えを示す者がいるのを発見した。（ある意味ではこちらの発想の方が私などより数段上だ）。精神分析学など一連の発展は、人間の行動をあらゆる角度から分類し、行為、心の運動あるいは種々の衝動の作用と理解するにいたった。フロイトは人間の行為をすべて性衝動で説明しようと試みた。だが、そういった分析だけでは現実を理解できない。平凡な「恋愛」という出来事をすら十分に説明できなかった！そこで再び科学は主体にもどり、自我心理学なるものが成立した。しかし現在、自我心理学や哲学は、非常に進歩を妨げる自然科学的思考分裂、すなわち主体と世界との分裂を克服できていない。「しかしながら将来ますます、我々はためらわず次のように考えるようになるだろう。すなわち内世界的構造と外世界的知覚、自我像と世界像、また主体性と客観性とは、けっして互いに別

々の独立した所与と見なすべきものではなく、現実においては両者は単に存在の一つの基本的構造から、すなわち人間の世界内存在から導かれた概念なのである」

昔、一元論的だった哲学が、デルカトに始まる合理主義の発展などから二元論的になり、以後、現代社会では人間と世界及び社会との間の矛盾に悩み、そして混乱し、衰退している。しかし、いかに肉体は物質で、心は霊的であつても、生命現象は両方が同時にあつて成り立つものである。こういった点からも、真理をプラス・マイナスなどに分割することは、今まで過去において犯されてきた分析、分解のしすぎと同値であり、かえって人間という心と肉をもった存在を不安定で影のようなものにするだけだ。これでは大宇宙とその構成に一役買っている生命、物体との間の深い関係を認識するなどとうていできない相談である。

補足

前述の心理学関係の引用はメダルト・ボス「現存在分析的倒錯理論」によるもので、至天堂の現代のエスブリックより出典。

なお、これは本文のテーマから若干離れるが、メダルト・ボスは同著作の終わり近くで大変興味あることを述べている。恋愛についてであるが「我と汝の愛の統一の中に、そしてむしろそ

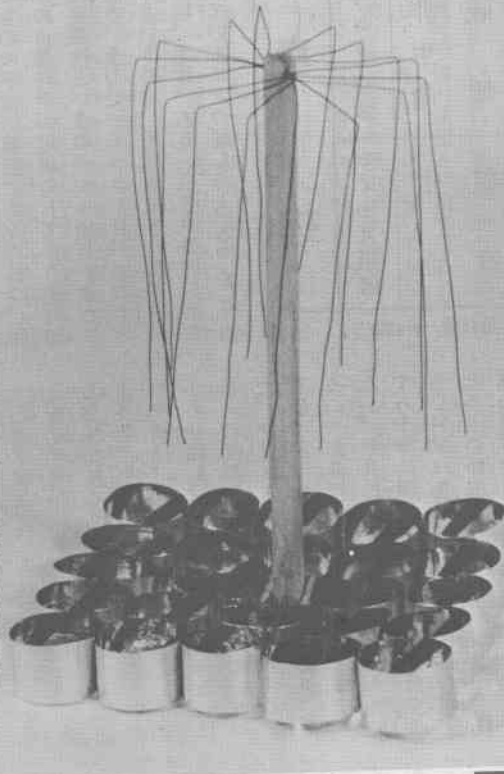
の中においてのみ、人は彼の豊かな可能性を余すところなく実現し得るのであり、無限と永遠の体験及び彼の地盤の故郷性の経験にまで自らを拡大するのである」。つまり恋愛をすることによって世俗的な有限性や、その中にあつた虚無を克服できる。そして恋人と自己の両者を通して全世界の永遠の本質にせまり、単なる有限の個体生命でない無限の可能性を体験できるのである。同様のことを他の学者も述べている。「真の私たちであることは、常に二重の意味において男性⇨女性的である。すなわちそれ（私たちであること）自身が男性⇨女性的であり、またその成員の各々が男性⇨女性的である」。なぜなら、一人一人は創造的かつ受容的かつ生産的であるから。そしてそれは「個人を越え、性を超越した永遠なる人間」である。

このような、恋愛に対する理解はけっして新しいものではなく、また特異な存在でもない。キリスト教的な神もこれに近い存在であると思われる。さらに、これは直感だが、ジョージ・アダムスキーの会った金星人たちが男性と女性を合わせたような姿、顔立ちであつたこと、また彼らの宇宙船の中の《神》を描いた肖像画もやはり男性女性の渾然たる融和の姿であつたというように一脈通つてはなかつたらうか。

清家新一氏は愛受によるスピリット粒子の交換によって老化を防げると述べている。こういった考えや事実は、生命と物質、あるいは宇宙との間の根元的関係を追求するものである。

イオンクラフト浮上実験成功!

菊地喜三



イオンクラフトは電界を利用して飛ぶといわれている。

電界は電荷によって生じる。電荷には、クーロンの法則により、同種の電荷の間には反発力が働き異種の電荷間には吸引力が働くという性質がある。つまり、正の電荷どうし、または負の電荷どうしでは反発力が働き、正と負

の電荷では吸引力が働くというものである。

では、これを利用して物体を地球から浮かび上がらせようとするには、地球は負の電荷をもち負の電界が生じているので、物体に負の電荷を与えて負の電界を作ればよいわけである。これで物体は地球から浮かび上がる。

しかし、負の電荷のみをためることにはなかなかできない。(図1)電荷をためるものとしてはコンデンサーが考えられる。コンデンサーの性質は電気をためることだが、これは正の電荷も負の電荷も同量にためる。これでは正の電界も負の電界も同じ大きさになるため、それ自身の電界は互いに打ち消し合って0となる。これでは地球からは何ら影響をうけなくなる。しかし、コンデンサーの電界のできかたを非対称電界になるようにその構造を調整すればよい。つまり、どちらか一方の電界が他方の電界より大きくなるようにすればよいわけである。(図2)

イオンクラフトは一種のコンデンサーであると考えることができる。またそうしたものがイオンクラフトだともいえる。したがって、イオンクラフトが負の電界が大きくなるようにすれば地球との間で反発力が働き、正の電界

が大きくなるようにすれば地球との間で吸引力が働くようになる。

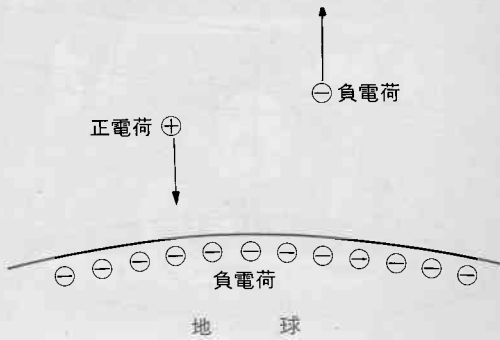
また、宇宙空間にも宇宙電界があるといわれているので、これを利用して飛ぶことも可能である。

九種類の実験

私がこの実験を行ったのは、学校の学園祭で何をしようかと迷っていたときに、イオンクラフトを作って飛ばそうではないか、ということが始まりである。そのときは記録をとることができなかつたため、その後あらためて実験をした結果がこれである。

この実験で使用したイオンクラフトはコズモNo.8(現UFOと宇宙)の中の記事「天体オーラと宇宙電界の謎」を参考にした。使用した材料は五ミリの角のバルサ材、〇・二ミリ径の銅線、及びビニール線の中の一本の銅線数メートル、アルミ箔(カラーホイールとい

イオンクラフトは未来の推進力のアイデアとなるであろうか



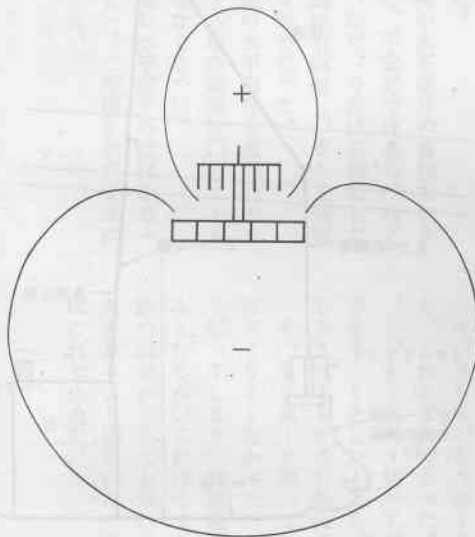
●図1

う名で一薄いらしい)、数種の接着剤(アルミ箔用に瞬間接着剤、アルミと木部にはゴム系接着剤を使用)、また高電圧の電源としてカラーテレビのアノード端子(テレビのブラウン管に用いる高電圧出力端子で出力電圧は約二万五千ボルト)を使用した。イオンクラフトの理論についてはコズモNo.8に記載されているので省略する。ここでは九種類の実験をしたので順を追って記述したい。

(一)

この実験は、どの位まで針電極をなくしたら飛行(この場合の飛行とは立体角をもつ回転運動で、イオンクラフトの柱が床と平行になって運動すること)を意味する。図3)しなくなるか、または浮き上がらなくなるかを針電極の数と大きさについて調べたもの。二機のクラフトを使ったが、針電極の太さと数は別である。針電極の数は一、二号機とも二〇本から始め、一号機の針電極の太さは〇・二ミリ、二号機のそれは〇・〇八ミリの銅線。クラフトの質量は、計りがないので正確に測定できなかったが約一・三〜一・五gだと思ふ。

イオンクラフトの非対称電界



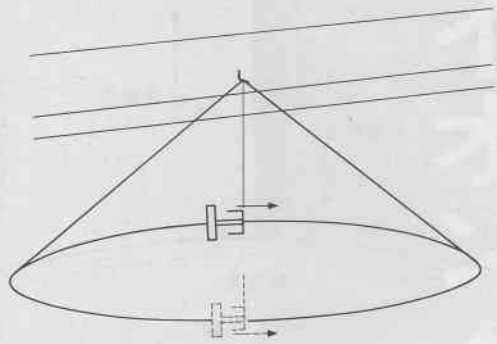
●図2

針電極と平板電極との間隔は二十五ミリ。なぜコズモNo.8の記事のように十五〜二〇ミリにしなかったかという点、以前の試験ですごい放電をしたためである。そこで短かく切っていったところ約二十五ミリのところで放電が止まற்றுうまく浮上し、さらに回転運動を始めたからである。イオンクラフトと電源との接続は図4のとおり。(図5も含む)

実験1 一号機

- 1、テレビのスイッチを入れてイオンクラフトに電圧をかけると、見事に放電した。
- 2、そこで今度は電極間を三〇ミリまで外側へ全端子を広げた。電圧をかける少し浮き上がっただけ。
- 3、今度は針電極を全体的に内側へ入れて電圧をかけると、不安定ながらも左右に運動し、その後約十秒で思うように浮き上がった。
- 4、6、今度は針電極を二本減らし

- 18本とした。あとは3と同じ。この場合、放電もしたが、急に垂直上昇をした。また針電極を適当に変化させると不安定ながら回転した。
- 7、針電極を二本切って十六本とした。この場合は前よりはよいが、何か社交ダンスをしているような感じで、これでもまだ放電する。
- 8、7での放電をなくするようにすると垂直上昇した。
- 9、8まで使用していた〇・二ミリのアース用の銅線では少しじやまなように感じたので、今回からは〇・〇八ミリの銅線をアース用に使う。すると瞬時にして急上昇し、天井に激突した。
- 10、針電極をもう二本切り十四本にすると、気持がよいほど静かに急上昇し、9よりは早めに回転しようとする動きをみせた。このときから、針電極の垂直部も内側から柱と平行にした。
- 11、針電極を十二本にしたときは、十四本のときより上昇はせず、早く回転に入ろうとした。
- 12、針電極を十本とした。11とあまり変化なし。
- 13、針電極を八本とした。このころから目に見えてイオンクラフトの推力が弱くなっていくのがわかる。
- 14、針電極を六本とした。13より推力は弱いが急上昇した。
- 15、針電極を四本としてもどういいうわけか急上昇した。
- 16、針電極を二本とした。以前まで



●図3

は上昇、または回転していたが、今度は放電するばかりであった。

17、放電をなくそうと思い、針電極と平板電極との間を三十五ミリまで離したが、まだ放電した。

18、16と17で放電するのは針電極と平板電極との位置がわるいのではと思ひ、両極間の間隔は三十五ミリとし二本の針電極をイオンクラフトの平板電極の対角線上に一直線になるようにし、アース線をその針電極の任意の一本の下へ接続したところ、また回転するようになった。

19、針電極を一本とすれば上昇はしな思ったが、予想に反して、きれいにではないがそれなりに回転して飛行した。このときの針電極とアース線は同じコーナーである。

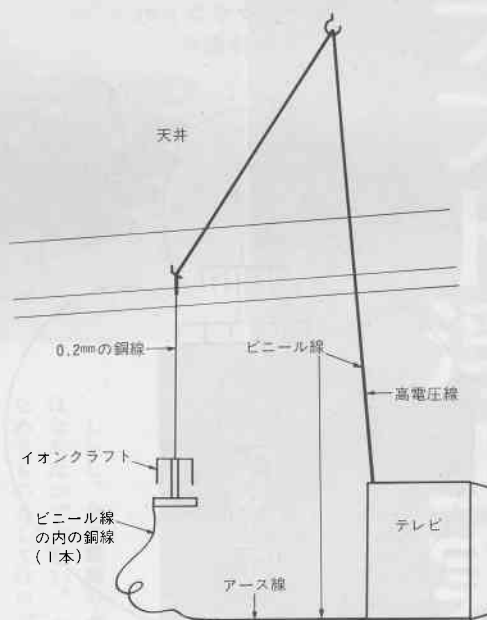
20、今度は、針電極はそのまま、アース線を反対のコーナーへもつていった。19よりうまく回転した。

21、20と針電極とアース線の位置関係は同じだが、針電極の垂直部分をすべて切りとり、水平部分のみとした場合はすこし浮き上がっただけで、回転まではしなかった。

22、それではというので、針電極の水平部分の端を五ミリ下に曲げてみたが少し浮き上がるだけであった。

23、さらに五ミリ曲げてみたが、あまり変化なし。

24、というので、針電極もすべて下へ曲げたが、回転しようとする動きをみせるものの、浮き上がる程度。このときの針電極の垂直部分の長さは二十ミリ。



●図4

25、針電極をすべてなくした場合でもほんの少し浮き上がった。上から吊っている陽極線が針電極のかわりになっているようである。

実験2 二号機

二号機の両電極は三十三ミリとして実験した。

1、3、針電極は二十本である。この間うまく回転はしないが、どうにか飛行をした。また放電も多発した。

4、針電極を十八本とすると放電もしたがうまく回転するようになった。

5、針電極を十六本とすると4よりはうまく飛行した。

6、12、この間は針電極を二本ずつ少なくしていった。あまり急な変化はなく、徐々に推力が弱くなっていくの

が認められた。が、飛行はしやすくなつた。

13、14、この間は針電極を一本とした。放電するだけだった。

15、放電をなくそうと思ひ、針電極の垂直部分を十ミリほど短くした。がそれでも放電するだけ。

16、それではというので、垂直部分をすべてなくしてみた。結局は、残りの水平部分を上へ向けない限りどのようにな形にしても放電した。

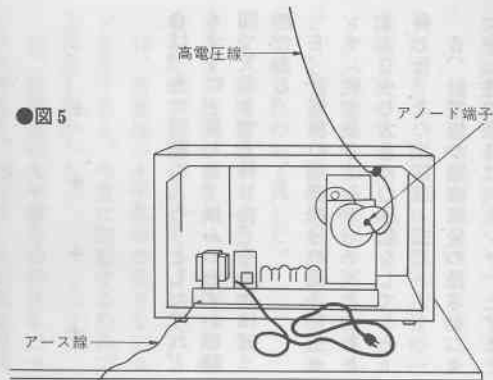
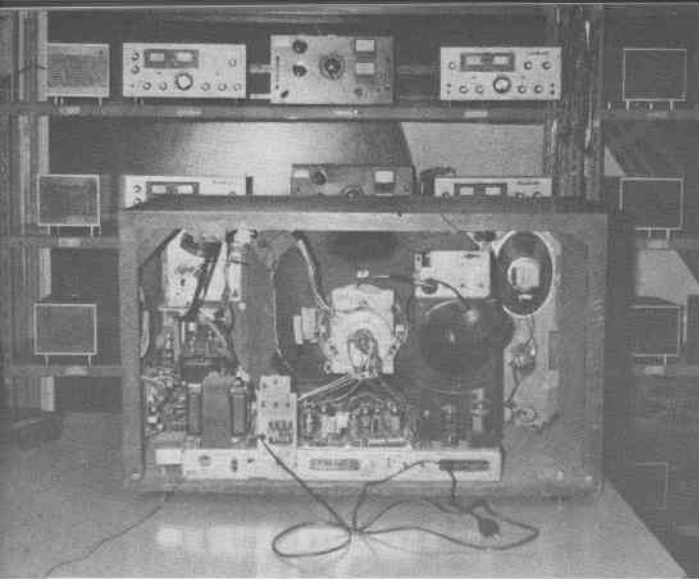
(11)

この実験では、針電極の水平部分をどのくらいまで長くすると飛行しなくなるかを調べた。このイオンクラフトも針電極以外は1、二号機と同じ大きさである。これを三号機とする。

ただ、この実験で針電極の短いのを長くすることはできないのではじめから長くしておき、それを短くしていった。この針電極の水平部分の長さ(直径)を十一センチとし、針電極端子を十二本として実験を行った。この針電極の水平部分はそのつど一センチずつ切っていく。また、アース用の線は〇・〇八ミリのものを使用した。

実験3 三号機

1、この場合、平板電極の幅が七十五ミリなのに対し、針電極の幅が広い。ため正の電界の成分が大きくなり、ふ



●図5

らふらしているだけであつた。この場合は地球に反発されているのではなく逆に吸引しているようであつた。

2、針電極の水平部分の直径を十センチとしてみたところ、すこし浮き上がり回転しようとしている様子だったが、ただそれだけに終わった。

3、2の針電極を多少変化させたところ、左右にはどうにか振れるようになった。

4、針電極の水平部分の直径を九センチとしたところ、どうにか回転するようになった。しかし、これはまるで穴の多い道路を自動車が行っているようなガクン、ガクンという飛行であつた。

5、針電極の水平部分の直径を八センチとすると4よりはまじに回転するようになった。

6、針電極の水平部分の直径を七センチとすると、不安定ではあるけれども飛行した。ただ、今回は左回転したかと思うと急に右回転し、また左回転をするという飛行であつた。

7、針電極の水平部分を直径六センチとし、アース用の銅線を〇・二ミリにするとは飛ばなくなった。

8、針電極の水平部分の直径を五センチとすると一、二号機と同じようによく回転した。

(三)

この実験は、今までは針電極の垂直

部分がすべて下向きにしたらどうなるか、またその上を向いている長さは飛行する場合にどれくらい必要かを調べるのが目的である。この機体は針電極の垂直部分がすべて上向きであるため、針電極の水平部分と平板電極との間隔を三十ミリとし、垂直部分の長さは三十ミリとした。(図9)

実験4 四号機

1、この方法でも飛行すると思つてしたが、期待にはずれてふらふらするだけであつた。

2、針電極の垂直部分の長さを二十五ミリとしても、少し浮き上がる程度であつた。

3、そこでもう五ミリほど切つてみたが、これもよい結果は出なかつた。

4、さらに、もう五ミリ切つてみると、これもだめであつた。

5、もう五ミリ切つて垂直部分の長さを十ミリとしたところ、やっと回転しようとするきざしが出てきた。

6、もう五ミリ切つてみたが、これは5よりよくなかつた。このあと五ミリ切つてしまつたら針電極の水平部分のみとなるが、これは今までに行つた実験の結果からみても飛行しないことは火を見るより明らかなので今回の実験はこれで止めた。

(四)

この実験の前に平板電極の数を四十

九個(七×七)にして実験するつもりであつたが、平板電極の数を七×七にしたとき、針電極の水平部分の長さとして垂直部分の長さの比に疑問をもつたため、その前に平板電極の数を五×五とし、水平部分の長さとして垂直部分の長さとの比を求めることを先に実験した。

この機体は柱を最初十一センチの長さにし、そのつど柱の長さを一センチずつ切断していき、水平部分の長さとして垂直部分の長さの比の最良点を調べていった。ただし、この場合、針電極の水平部分の長さは五センチと一定にして実験した。針電極は十二本。(図10)

実験5 五号機

1、垂直部分を七センチと長くしたところ、北↓東↓南↓西↓北という向きで飛行した。このときは放電はまったく静かな飛行であつた。水平部分の長さとして垂直部分の長さの比は五：七である。

2、針電極の垂直部分の長さを六センチ(柱の長さは十センチ)としたところ急上昇した。が、アース線が接触したため放電をおこし落下した。その比は五：六である。

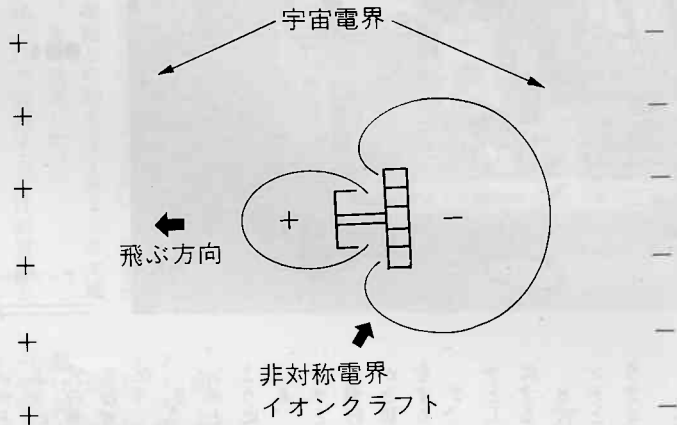
3、針電極の垂直部分の長さを五センチ(柱の長さは九センチ)とした場合でも急上昇した。その比は五：五。

4、針電極の垂直部分の長さを四センチ(柱の長さは八センチ)とした場

合は、先に回転に入ろうとしたけれどもすぐに上昇した。ほんのわずかの時間で天井まで上昇した。その比は五：四である。

5、針電極の垂直部分の長さを三センチ（柱の長さは七センチ）とすると4より少し大きめの回転をしてから上昇した。その比は五：三。

6、針電極の垂直部分の長さを二センチ（柱の長さは六センチ）とすると

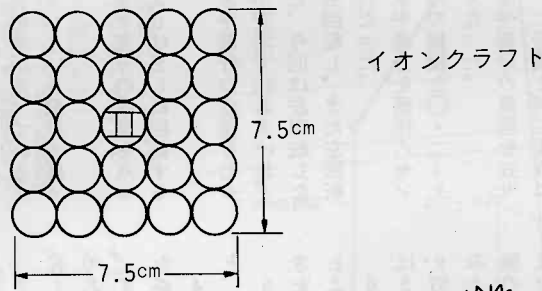


●図6

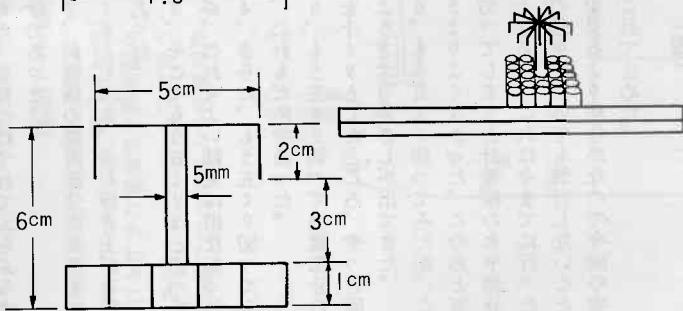
これは大きな立体角で飛行した。比は五：二である。立体角については図のとおりである。

7、針電極の垂直部分の長さを一センチ（柱の長さは五センチ）としたとき6よりさらに大きな立体角をえがいて飛行した。その比は五：一である。

このあとは、針電極が水平部分のみとなるため以上で実験を止めた。この



●図7



ときのイオンラフトの飛び上がる方向はすべて北向きで、回転方向もすべて同じである。

(五)

この実験は、平板電極が七：七の大きさに対してどれくらい水平部分があれば最良の効率を出すか調べた。この針電極の水平部分の最大の長さ(長径)は十五センチ、垂直部分の長さは五セ

ンチ、針電極の数は十二本である。この実験方法は実験3と同じ。

実験6 六号機

1、柱の長さは八センチと一定にし針電極の水平部分の長さが十五センチのときは約三センチ浮き上がった。しかし、これは平板電極の大きさに対して針の数が少なく、かつ細く、となりの針との間隔が広いいため、少し浮き上がったのだと思う。

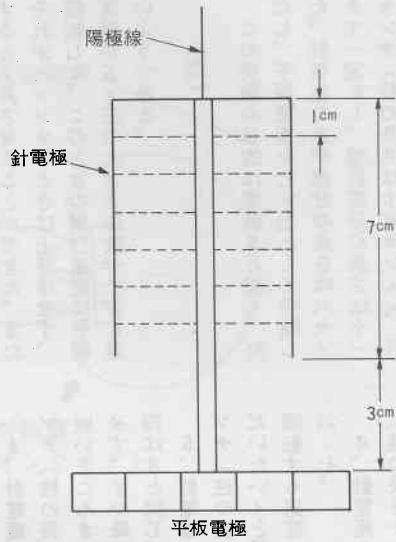
2、針電極の水平部分の長さを十三センチとすると、約十センチほど浮き上がった。このとき、この実験では初めてのことだが、平板電極の端がすべて振動した。

3、針電極の水平部分の長さを十一センチとすると、どうにか上昇し、上下方向に動きながら二、三回転したあと、うまく飛行した。回転方向は北→東→南→西→北であった。

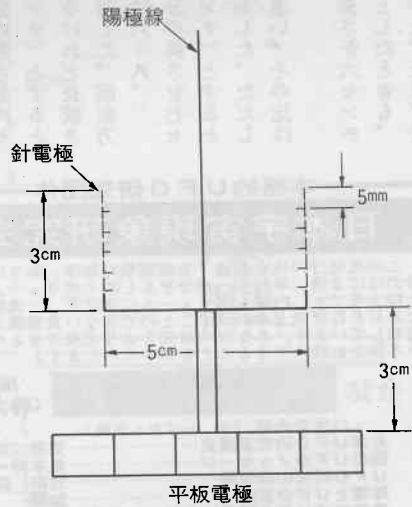
4、針電極の水平部分の長さを八センチとすると、やや西から上昇し、すぐに3と同方向の回転をした。

5、針電極の水平部分の長さを七センチとすると、ゆるやかな垂直上昇をした。これも北へ向かって浮き上がる。

6、針電極の水平部分の長さを六センチとすると、急上昇をするかと思いきや、何らかの拍子でアース線がからまり、上昇中のイオンラフトの平板電極の一部を下げ、その反動で対角線側が上がり、針電極との間で放電をお



●図8



●図9

実験9 九号機

したいと思ったが十八本しかなかったため十八本からになった。これは今までのどの飛行より速度が速く、陽極線が天井の近くまで上がり、ときどき天井にふれてショートすることがあった速度は二回りするの約二秒ほど。回転方向は北↓西↓南↓東↓北。

2、針電極を十六本としても1とあまり変わらない。回転方向は1の逆。

3、針電極を十四本とすると、2よりはいくらか推力が弱まった。回転方向は2と同じである。

4、針電極を十二本とすると、3とあまり変わらないか、いくらか弱めであった。回転方向は2と同じである。

5、針電極を十本とすると4より推力が小さいかと思ったが、さにあらず2とほぼ同じくらい。回転方向は2と同じ。

6、針電極を八本とすると、これも

3とあまり変わらない推力があり、回転方向は1と同じ。

7、針電極を六本とすると、6より推力は弱くなった。このあたりが今までの飛行と同じくらいの立体角をもちはじめた。回転方向は1と同じ。

8、針電極を四本としたとき、針電極の位置は対角線上にもついていた。推力は7より少し弱いようす。回転方向は2と同じ。

9、針電極を二本としたときも、針電極は対角線上においた。こうなるとやっとなんか浮き上がり飛行した。回転方向は2と同じ。

10、針電極は一本でアース線の上にもつてくると五センチほど浮き上がったのみ。

11、針電極とアース線は、対称にするると10に左右の振れを加えた運動をさせたのみ。

12、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

13、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

6、針電極を十本とすると5とほぼ同じ。回転方向は4の逆である。
7、針電極を八本とすると6より推力は弱い。
8、六本以下ではまったく浮き上がらない。
以上が私の行った実験結果である。この後、まだ実験をするつもりであるが、あまりこれを長く続けていると身体が重く、鈍く感じられるので、内田秀男氏が言われているように、必ず熱い風呂に入った方がよい。

1、針電極は二十本。これは何回やっても放電するだけだった。
2、針電極を十八本としたが、これも放電するだけだった。針の数が多くても放電することがあるので、切ったがだめようであった。
3、さらに二本切ったが、これも放電した。

4、六本切っても放電するということは両電極間が短いためだと思ひ、五ミリ切ってみたところ、やっとうまく飛行した。このときは、はじめ左右に振れ、その振れが大きくなって回転に入ったもの。回転方向は北↓西↓南↓東↓北。

5、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

6、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

7、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

8、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

9、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

10、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

11、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

12、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

13、針電極を二本とすると、4より早く回転した。回転方向は4と同じである。

このことから、電圧が二万五千ボルトのとき、平板電極が五×五(二二十五個)の場合は針電極の水平部分の長さ五センチ、垂直部分の長さ五〜六センチ、針電極の数十四〜十六本、また七×七(四十九個)の場合は水平部分が六センチ、垂直部分が六〜七センチ、針電極の数十八〜二十本がいちばんよいようである。

イオンクラフトは電界を利用して飛行している。地球そのものは負の電荷をもっているため、それと反発する負の電荷を作れば浮き上がる。イオンクラフトは一種のコンデンサー、と考えればよいと思う。コンデンサーは電荷をためるものだが、これは正負の電荷をためる。これでは正負の電界の大きさは等しくなるが、イオンクラフトはこの平衡状態をこわし負の電界を大きくさせたものだ。

お望みの機種が
お求めになれます
メーカーから
ユーザーへ！

サテライト 天体望遠鏡

- ★ヤマモトの天体望遠鏡は
海外(アメリカ、フランス、
イタリア、ベルギーetc.)
で絶賛を博しております。
- ★この他多機種とりそろえてい
ます。詳しくは 250 円切手同
封の上カタログをリ係へご請
求ください。

株式会社 **山本製作所**

〒174 東京都板橋区大原町5-3
☎(03)966-2408

AE-108

- 有効径：108mm
- 焦点距離：1600mm



UFO目撃レポート

●高速の大型母船が

「UFOと宇宙」毎号読ませていただいています。私も何度か目撃レポートに載せていただいておりますが、今度のは私が数々目撃しましたUFOの中でも最も大きく、一番初めに見たUFOを紹介いたします。

坂野康隆 13歳 天羽中学校

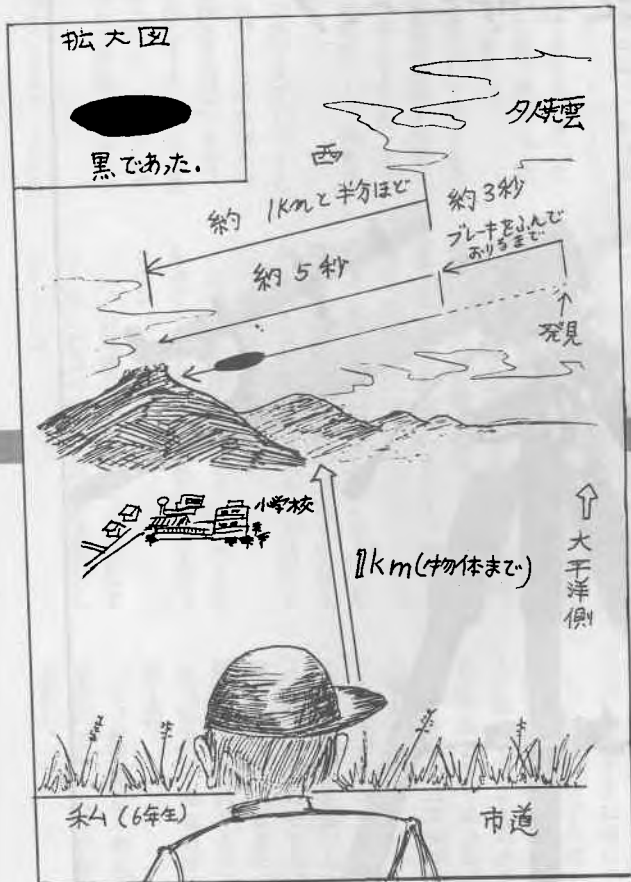
目撃日時 一九七四年九月中旬午後4時頃

目撃地点 通学路(小学校の時の)

天候 晴

目撃継続時間 約5秒

同時目撃者 私しか見なかったが兄が隣にいた。(兄を呼んだ時はもう見えなかった)



観測方法 肉眼

物体について まっくろで1kmはなれていたのに見えた大きさが2〜3cmもあり、超大型母船と考えられる。とてもはやくあつというまに消えた。

飛行状態その他 自転車で行中ふと左側の方(西)を見ると突然、大きな黒い葉巻型の物体が目の中に飛びこんだ。私はブレーキをひいて自転車をとめるなり「あつっ盤だ!」と叫んで兄をよんだがすぐに山にかくれてしまった。物体は一直線にとつてもはやく飛行していた。一週間後同じ物体を同時刻見た。

(〒299-16 千葉県富津市長崎279-13)

●朝から強い予感がして

三浦勇二 15歳 旭が丘中学校3年生

目撃日時 昭和50年8月終りごろ。午後8

時ごろから午後9時ごろまで。

天候 晴れ(少々雲あり)

目撃継続時間 約1時間

同時目撃者 兄ととなりの人2人。

観測方法 肉眼、カメラ

物体について 飛行物体の型は距離はわからないから正確ではないが光っている球だと思ふ。大きさは不明だが見たところ星ぐらいた。色についてはオレンジ色や黄色や白色にややかわっていたように思えた。

飛行状態 飛行中形態の変化はなかったと思ふ。光度の変化については正確にはわからないがほんの少々かわったりしていたみたいだった。速度は飛行機より遅かったみたいだった。高度はすごく低空だった。300メートル位先の体育館の影でみえなくなったりするから。

その他 この日は朝から円盤を見れるような気がした。だから一日中、カメラを三脚につけ、まっていた。夜になり、こうふんは高まった。そして8時になって学校の方をふいに見たくなって見てみた。その瞬間ぼくは、「どきっ」とした。ゆらゆら2つぐらいの光の球が動いているではないか。ぼくは、まどを乗り出してカメラで1枚とつた。と、とたん体育館にかくれてしまった。ぼくは、少々こわい気持になってきたことを忘れていない。ぼくは、まどではだめと、一階のやねの上で三脚をしっかりとつ

凡例

- ①氏名(年齢)・職業・学校名
 - ②目撃日時
 - ③目撃地点
 - ④天候
 - ⑤目撃継続時間
 - ⑥同時目撃者
 - ⑦観測機器・方法
 - ⑧物体について
 - ⑨飛行状態その他
- ()内は目撃者の住所



けて、また待っていた。「また来た」と思っ
て兄をよぶ。すると、どういうわけか、と
なりの人も気がついて目撃したようだっ
た。第二回目の出てきたのはそのときで、
そのときが最後だったと思う。音は全然
なく、時々点滅しているようだった。すぐ
そばの鉄塔の光より小さかったと思う。U
FOのこの時の飛び方は、急に上にあがっ
たり、ゆるやかにスーとおちたり、少し止
まったりしていた。少しもどったりしてい
た。人工衛星はみたことはあるが、それ
はない。

撮影用具 カメラ アサヒペンタックス
フィルム コダックトライX レンズ ア
サヒペンタックスSMCタクマー200mm
とコムラーテレモア95 三脚 レリーズ使
用、しほり 1.8 シャッタースピード B
開放 5秒〜10秒

(〒253 神奈川県高座郡寒川町宮山1999の14)

●テレパシーに答えた円盤

和地裕子 13歳 奥沢中学校一年生

目撃日時 昭和五十一年一月十四日、午後2時
50分頃

目撃地点 奥沢中学校校庭

天候 晴れ 目撃継続時間 3〜4分

同時目撃者 平嶺悦子 五月女律子 木沢早

苗 福来美子 田畑恵里(全員同年)

その他 私たち5人はテレパシーによるU
FO呼び出しに成功したのです。テレパシ
ーを送った時間は、2時20分から2時45分
まで、学校の六校時目のことです。本当だっ
たらこの時間は学活だったのですが、私た
ちはこの機会をのがすまいと、さっそく校
庭のすみに行き後向きに手をつないで輪を
作った形でテレパシーを集中させました。
空は雲一つなくすみわたり私たちにとって
はまたとない絶好の日でした。

遠くからかすかに聞こえる飛行機の音、
鳥の声、そんな中で時間は私たちがテレパ
シーを送り始めてから約20分を過ぎたで
しょうか。UFOはいっこうに姿を見せま
せん。私たちはつないでいた手を放してい
ろいろな話を始めました。「どの辺から
UFOが飛んで来ると思う?」とか中でも
「UFOがここへ来てくれると思う?」と
言うことに対しては皆「何だかもうすでに
ここに来ている。そのくせ姿を見せてくれ
ないようなとにかく異様なふんいき」とい
う一つの意見にまとまったのです。
そんな話をしながら私たちは校庭を少し
歩き始めました。と、急に私と一緒に歩い

ていた五月女さんが「あれっ」と言いなが
ら手を引っぱったのです。「今、ギンギラ
ギンに銀色に光った物がすごいスピードで
そこを横切って体育館の後ろにかくれちゃっ
た」と言うのです。それを聞いて「ついに
きたか」とばかり私は胸を躍らせました。
とにかく、その物体が飛んで行った方向へ
私たち2人は後の3人が呼ぶのも聞かず走
りました。でも、見える所まで来て、空を
見た時にはもう物体の姿は見えず、どこに
行ったのかもわからなくなってしまいました。
みんなの所へもどりの事を話してみ
ると、「じゃあ、それが円盤かもしれない」
ということになったのです。と、はるか遠
くにさっきの物体らしき物が横に飛行して
いるのを発見。この物体を見たたん「あ
れは円盤じゃなくて飛行機だ」とゲラゲラ
笑ったみんなでしたが、様子がおかしいの
でとにかくその物体の方へ行ってみまし
た。走っている途中みんな口々に「あっ色
が変わった」「なにあれ、上下、上下しな
がら飛んでんじゃん」「以外とスピードあ
るね」など言いながらバックネットの裏側
まで来たとき、まもなく物体の姿も見えな
くなってしまいました。私たちはふたたび
その物体を呼びもどそうとしたのですがそ
れきり。すぐにベルも鳴ってしまいました。
しかし、みんなの証言が一致、そのこと
をまとめてみるとこんなことになりました。
まず、一番最初に五月女さんが光る物体を
見つけて、いそいで走っていった時にはも
うすでに物体ははるか遠くを飛んでいたこ



（〒400-01 山梨
県中巨摩郡竜王町
篠原新田三〇〇三
の十三）

→白く光っていた
→オレンジ色

窓かと球形コンデンサーの様な物は残念ながら確認出来なかった。

私は直ぐ後から来た子供に、政直あれは何？と声を掛けると子供はUFO!!だと叫んだ。私はこの物体を証拠として残すためにも、まずカメラに納めなければと180米先の家に急ぎ、途中何度か立ち止まり相変わらず停止しているのを確認しながら夫を呼びカメラを片手にUFOが見える地点迄（約30米）来た時、私はまた驚いた。その物体は見えなかったのである。時間にしても往復20秒位の間にである。周囲の空がよく見える所迄移動して見たが、全くこの広い空のどこにも見えなかったのである。あるのはあの美しい夕焼だけが残っていた。私としてはあの美しい夕焼とは対称にあの美しい程

●家ぐらいのオレンジ光体

窪島透 13歳 東中学校一年生

目撃日時 一九七五年10月 午後10時頃

目撃地点 自宅前の道

天候 晴れ 雲一つない日

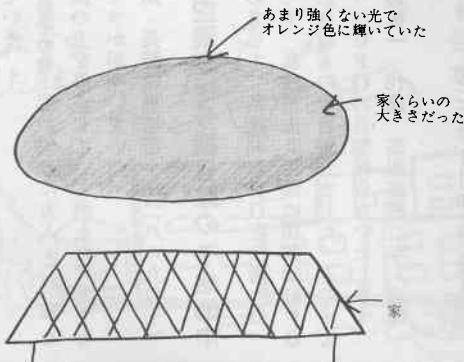
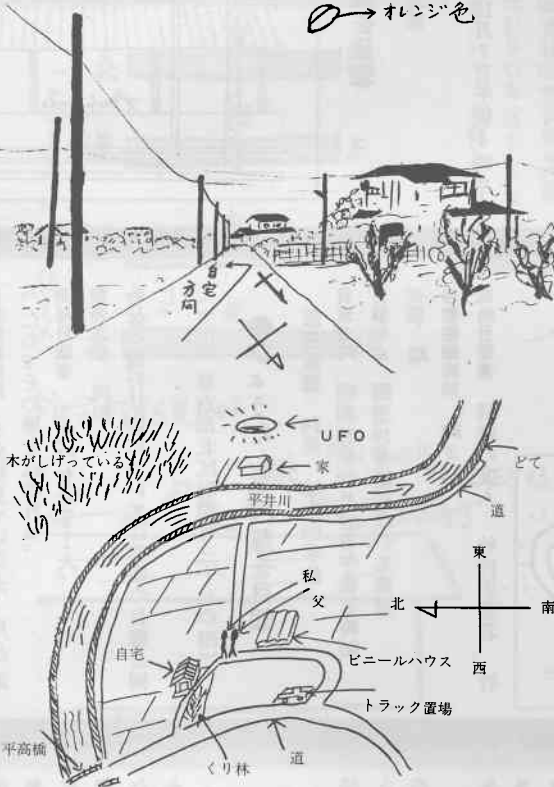
目撃継続時間 5分ぐらい

同時目撃者 父

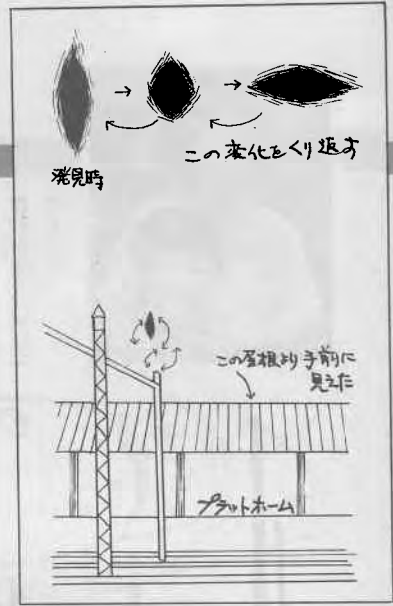
観測方法 肉眼

物体について 形、色、場所もかわらずだんだんと消えていった。

飛行状態その他 飛行状態は父が外に出てこいということ以外にでいくと、ここから平井川をこして、200mぐらいの家の上にオレンジ色に光った物体を発見。ぼくは父の所によって行って聞いてみた。あれは



もしかしらたらUFOではないかと。そして父もUFOだと思つたらしい。その時は形も色もそして移動もせずに止まっていた。午後10時頃だったので、さむくてたまらなかつた。そして1分ぐらいいたらUFOらしき物体がだんだんと小さくなつてきた。その時の消え方は上がちよつと消えて来て、次にまん中のあたりまで消えてた。このときの状態は、とてもこわい感じだ。またいちだんとさむくなつたみたいだ。2分後もう消えるすんぜんまできた。その時はほそくなつてきた。そして父と考へて見たのだが、これはほんとにUFOと思つてぼくは、びっくりした。この形、色、からいってまちがいない。UFOだろう。（〒197 秋川市平沢六五二番地）



●二度小型円盤を目撃

吉田一美 23歳 主婦

一回目

目撃日時 一九七五年10月7日午後4時半

頃

目撃地点 日暮里駅に停車中の京浜東北線

から駅の東の空。

天候 くもり

目撃継続時間 2分位(停車中) 電車が走り出してから見失う。

同時目撃者 なし

観測方法 肉眼

物体について 黒いかげのようで、輪かかがはっきりしない。近距離らしく、20mとは離れていないでしょう。大きさは長い方も70cm以内。

飛行状態その他 ほとんど定位置で、ふわふわ漂っているよう。無音。

二回目

目撃日時 一九七五年11月16日午後6時頃

目撃地点 家の前の空地から、南の空

天候 うすくもり

目撃継続時間 5分位見ていたが、用があったのでその場をはなれる。
同時目撃者 3歳の女の子1人。
観測方法 肉眼
物体、飛行状態については前回の目撃と同じ。
(T115 東京都北区岩淵町三十七の四)

●ひょうたん形円盤を目撃

原田透徳 14歳 殖生中学校

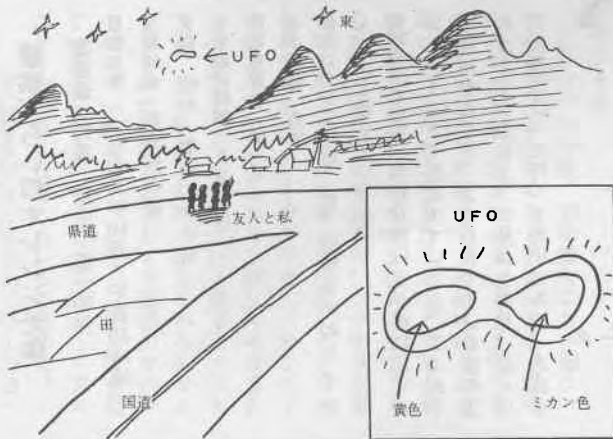
目撃日時 昭和50年10月17日午後6時頃

目撃地点 国道18号線にはいる県道

天候 晴

目撃継続時間 約2分

同時目撃者 同歳の友人 竹内正彦君 竹



内正啓君 宮坂司君 中村行隆君
物体について ひょうたん形で黄色くかがやいていた。
飛行状態その他 部の帰りに友人と目撃した。山の上を停止していて消えた。とてもキラキラかがやいていた。
(T387 長野県更埴市小島二八八九の十)

●空飛ぶ信号機目撃の予感的中

初めまして、私は「UFOと宇宙」の一読者です。私は過去2年間に10数回UFOと思われるものを目撃しました。その中で変わったUFOの目撃報告をいたします。
渡辺慎一 16歳 田川高校二年(当時一年生)

目撃日時 一九七五年8月16日午後8時頃

目撃地点 自宅近くの線路の土手

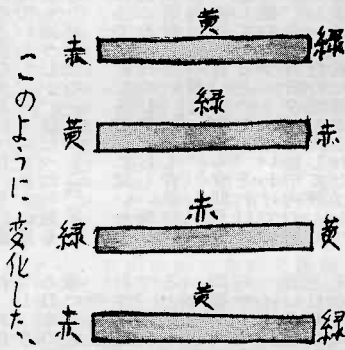
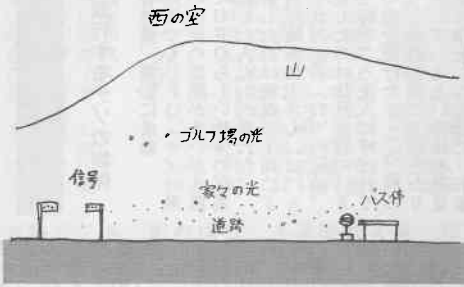
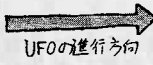
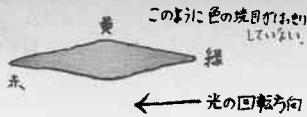
天候 くもり

目撃継続時間 20秒〜30秒

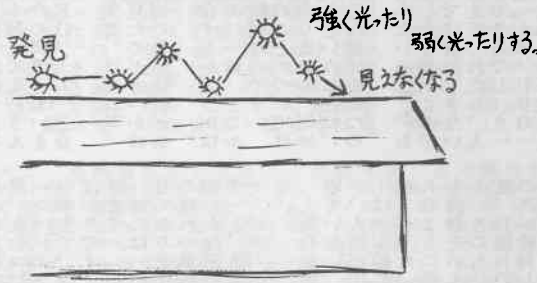
同時目撃者 弟(当時、大任小6年生)ほか近所の子供(10人くらい)と数人の大人

観測方法 肉眼

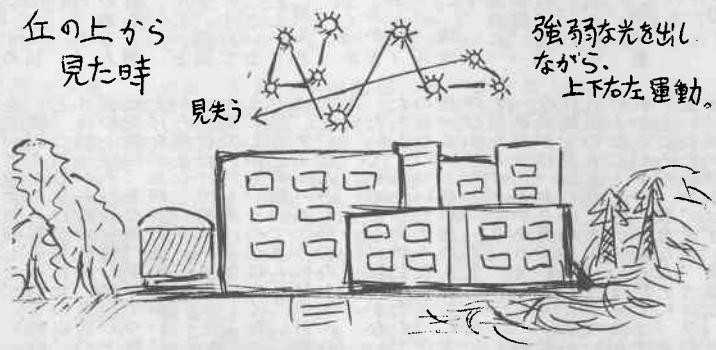
物体について 緑、黄(中央は白色)赤(真紅ではない)の三色が並んで右から左へ回転。中央がすこしもりあがっていた。
飛行状態その他 目撃地点からあまり遠くない上空を飛行、仰角は45度くらい。西の空、むかって左から右へ飛行。光が回転していることから、円盤型ではないかと思う。スピードは、ヘリコプターくらい。音はなし。大きさは、両手をのばして手と手の間かくが50cmくらいだった。山にかくれてしまってみえなくなった。「巨大な信号



校舎内から見た時



丘の上から見た時



機」といふべきもので「まさか」と思ったくらいであった。まわりが乳白色の光でつまれていた。その日の昼ごろから、胸さわぎがして弟に「今夜UFOがくる」と自然に口走った。そのため大勢でみる事ができた。次の日(8月17日)の夕方、6時半頃自然と外に出たくなったので出てみると、きのうのUFOと似たものが東の空を飛んでいた。それで、見とおしのようにころに出で、じっくりと見物させてもらった(30秒くらい)スピードはヘリコプターぐらい。音はくもっているのかかわらなすぎこえなかった。さらに、今年の一月下旬、友人(複数)に「3月28日にUFOがくるかもしれないから外に出ておくように」と言うておいた。すると、本当に来た。友人の中村誠嗣君が夜八時すぎに「空とぶ信号機」を見た。この人はUFOを信じてなく、私がUFOを見たといっても信じても

らえなかったのに、この時以来信じてくれるようになった。ウレシイ。またこの人には、私の目撃談をきかせていないので、ウソをつくはずがないと思う。
(〒824-05 福岡県田川郡大任町柿原)

●上下左右運動の光体を集団で

佐藤憲 14歳 気仙沼中学校三年生

目撃日時 一九七六年6月30日午後3時頃

から

目撃継続時間 約20分

天候 晴からくもり

同時目撃者 小山高広 菅原博文 吉田浩

元 菅原誠 田村明 熊谷欣一 佐藤真弘

鈴木木一

観測方法 全員肉眼

物体について 初め発見したとき、止まっていた。水平に動き出し光を放ちながら、上下運動をして強く光ったり、弱く光ったりして飛んでいた。それから三人で丘の上から見た時、女子高校の上を上下左右に飛びまわり、もつとよく見ようと思いい下に降りて行ったら見失ってしまった。

色 光った時は銀色

(物体の) 方向 南方向

大きさ わからない

(〒988 宮城県気仙沼市本郷十一一七)

東北

ジグザグ飛行するナゾの物体

●青森の会社員、撮影に成功

最近、県内でもUFO（ナゾの飛行物体）の出現の話題が多いが本県では初めてUFOらしい物体の写真撮影に成功した人たちが現れた。写真撮影したのは青森市千刈二丁目、会社員尾崎多加志さん（22）と青商2年生比呂志君（17）の兄弟。初めて発見したのは比呂志君で、5月16日夜7時半ごろ友人に呼ばれて自宅2階の窓を開けたところ南の空、ちょうど青森空港の上空あたりで黄色く光っている丸い物体を発見した。上空に停止した状態で、不審に思った比呂志さんが多加志さんを呼んだ。

多加志さんは「UFOだ」という弟の叫び声で、とっさにカメラを取り出して窓に駆けつけ、シャッターを切った。間もなく、ナゾの物体はオレンジ色の大きな光を噴出して新町上空にジグザグに移動して一瞬姿を消してしまった。折しも青森空港から青森空港に向



けて飛行機がライトを点滅させて飛んで来たが、ナゾの物体は再び姿を現し飛行機を追尾する格好で飛び、青森空港のあたりの山に没した。この間約10分、多加志さんは夢中でシャッターを押したもののフィルムが4枚しかなく、しかも50ミリレンズとあって現像し焼き付けたくも肉眼で大きく見えないはずなのに、か

すかな映像。「本当に大きかったし、止まったり、消えたりジグザグに飛んだり不思議な光景だった。飛行機も飛んでいたし、「ヘリコプターの飛び方も違いました。昼だったら形もはっきり見えたのに」と残念そう。

ところで本社で各方面に問い合わせたところ同日のUFOらしい物体を見た情報はない。しかも青森空港では日没以降の飛行はないし、八戸、大湊の海目、陸自でも夜間飛行を中止しているとのこと。それ以外の飛行機のフライトもないわけではないが、去る24日夕、青森市内の上空でオレンジ色の光を出して飛んでいた物体が本紙に報道されたばかりで、なにやらUFO騒ぎも真実味を帯びて来た感じ。

（一九七六年五月30日付、東奥日報）

関東

ただ今第2期UFOブーム？

●SF番組も大人気 近ごろの若者には、宇宙のかなたからメッセージが届くらしい。UFO（空飛ぶ円盤）がそのメッセージを伝えるに、SF小説や映画は「宇宙社会」へのインスピレーションをかきたてる……。

日本UFO研究会——UFOの研究団体は今、全国に120ほどあるという話だが、その中でも大きい団体だろう。会長は神戸市垂水区神出町に住む録音技師、平田留三さん。年3回発行の会報「JUFOR」は世界の28の研究団体に送り、日本と外国のUFO目撃報告の交換をしている。会員はかなり出入りが激しいが、現在ざっと500人。全国に散らばる。平田さん自身は52歳だが、会員の3分の2は20代かそれ以下。「この頃は情報のはらんしている

せいか、小学生まで入会してくる。ウチの会報はかなり読んでいるが、お母さんにも読んでもらおうよ。昨日の異常でもういえる日本の第2期UFOブーム」と会報にもある。

平田さんの「研究歴」は約25年。科学雑誌で記事を見たのがきっかけで、これまでに3回の目撃経験があるという。

「今やUFOが存在するかどうかは問題じゃありません。一体、どこからやって来るかが問題なんです」イヤ、イヤ、そのことについては言い争うつもりはありません。ただUFOを研究するということは、その人にとってどんな意味をもつのでしょうか？

「たえずユメをもちたいですからね。我々より進歩した生物がこの宇宙にいて、地球上では解決できない問題の解き方を教えてくれたら、人間は飛躍的に進歩できるでしょう」研究会では最近「オオUFO」という歌を作り、レコードに吹き込んだ。NHKが「みんなのうた」にしたいと申し込んで来たとか。「たいやき君、よりユメのあるこの歌を子どもたちに歌ってもらいたいですナ」

関西テレビ（大阪）で、土曜と日曜の深夜放映される「宇宙大作戦」というアメリカ制作のSF映画が、若者たちの間で、息の長いブームを続けている。放映が始まったのは49年10月からだ。原作79本分が終わりつつも「続ける」という声がテレビ局に殺到するので、現在は再放送している。この夏休み中には3ラウンド目の「ロングラン上映」に入る予定だ。とにかく、昨年2月に第1ラウンドの放映が終了したあと、4月に再放送に踏み切るまで2カ月の間に「もつ」と続ける」という投書が600通舞い込んだ。かかった電話の本数など数え切れない。投書の内容は――。

私、宇宙大作戦やそのメンバーのためなら何でもしたい気持です（16歳、女のこ）。「ファンクラブを作りました。小、中学生で、みんなユーモアのある人ばかりです。週に1回（合会を）開きます」（小学生？）中には「いつも息をつめてじっと見ておきます。終了したとき、昼間の疲れや緊張はいつか快くうすれて安らかな眠りにつくるのでございまして、水茎のあともうるわしいファンレターを送って来る主婦もあ

る。人気の秘密はTV局でもよくつかめていない。ただ投書で見ると、かぎりに、人気は圧倒的なパーソナリティは宇宙船の副船長、スポック。耳がとがった「バルカン星人」。地球人のように感情にとらわれず、いつも冷静そのもの。「放映は深夜に」というのもファンの強い要望。一度、日曜日の昼に放映したら、抗議の声が殺到した。「夜遅くでない」とムードが出ない」というのだ。

（一九七六年七月2日付、毎日新聞）

皇居上空にアミーバUFO

●警察庁鑑識課7人が「見た」

全国各地でUFOの目撃があいついでいるが、7日15日夕、今度は首都東京の真ん中、皇居上空にアミーバ状の「新種」のUFOが出現。皇居からわずか300×400メートルと、眼と鼻の先の警察庁総合庁舎4階で残業中の同庁鑑識課職員7人が全員そろってはっきりと確認したのだが、なにしろ情報には「堅い筋」からの話だけに、今度こそ本場の「ホンモノ」かも。同日午後6時半頃、同庁4階の鑑識課氏名索引係の部屋で残業していた課員の渡辺良三さん（34）は、外を見てびっくり。興奮気味に「UFOだ」。同僚の6人もさっと席

を立つて窓に殺到した。渡辺さんら目撃者の話を総合すると、このUFOが現れたのは、午後6時30分から約10分間。皇居の銀座側の上空から姿を現し皇居の上空を低空旋回、その後、少しずつ角度を上げながら四谷方面に向かい、視界から消えたという。

直径だけで約10メートルという超大型で、色も焦げ茶ないし黒という。しかも、その形は丸くつぶったかと思うと角張ってきたり、つたいは、アミーバのように触手が伸びたりと、なんとも形容のしようのないもの。

たいことには驚かない職員たちも、あまり突然だったのでハチの巣をつついたような騒ぎ。庁内に残っている他の部の人たちに大声で呼びかけたり、「幻覚じゃないか」と眼をこすったり。「絶対まちがひありません。残った全員がはっきり見えているし、私たちは物を見るのが仕事なんです。近眼の人も見えます。今までのいかげんなことと違って見えますが、これからUFOの存在を信じますが」ところが、残念なことに、あまり驚いたためか、全員、カメラのことまで頭に浮かばず、貴重な証写「お恥ずかしい限り」と頭をかきことしきり。

（一九七六年七月16日付、読売新聞）

横浜で「大UFO展」

●物体の破片も出品される

横浜ステーションビル商店会主催の「大UFO展」が8月6日〜12日まで同ビル6階催し場で開かれた。日本大学UFO研究会、日本宇宙現象研究会が協力し、世界各国で撮影したといわれるUFOの写真約100枚が展示されたほか、物体の破片が「証拠品」として出された。またUFOの歴史を映画でつづ



り、会場では1日7〜8回、模型の「空飛ぶ円盤」を飛ばした。日曜日の8日には日本空飛ぶ円盤研究会の荒井欣一氏の講演と質問が行われた。(一九七六年7月22日付、神奈川新聞)

日立市でも「UFO展」

●イオンロケットに人気集中 UFO(ナゾの飛行物体)展が8月4日まで、日立市鹿島町の日立伊勢甚6階ホールで開かれ、夏休みに入った子供たちをビックリさせた。

会場には、アメリカ、ドイツ、日本で写したというUFOの写真90点のほか、直径1メートル近くもある「空飛ぶ円盤」の模型、宇宙人の人形や資料が展示され、バイキング1号の火星探査のニュースを見ている子供たちは、その火星とUFO展を結びつけ、「宇宙の夢」を描いていた。

とくに人気が集まったのは、円盤に見たてたイオンロケット。会場内の空間にフワリ、フワリと飛んでいるのを見て、子供たちは「火星には本当に生物がいるのかなあ」(一九七六年7月26日付、いはら)

川崎の学生ビックリ

●深夜白い物体がスー 7月26日午前零時すぎ、川崎区東門前二の五の十、学生仲本光一さん(18)は、自宅2階で寝ころびながら星を見ていたところ、4つの小さな白い物体が西から北へ飛んでい

くのをみつけた。数秒の間に、見えなくってしまったが、4個の物体は、卵を細くしたような形をしていたという。

「眼の錯覚にはあまりに印象的。UFOでは」と、仲本さんはびっくりしていた。(一九七六年7月27日付、読売新聞川崎版)

UFOか人だまか…… 世界各地に球形稲妻出現

●晴れた日にも発生 球形の稲妻が、外国で話題になっている。まるで人魂かUFO(未確認飛行物体)のようで実体はまだ不明だが、各国で観察され、研究論文も発表されているものの、科学的怪談のようにもみえる。

最初にこの現象を紹介したのは米國ワイオミング大学のトンプキンス氏ら3人で、米物理学誌に発表した。英国の科学雑誌ニューサイエンティストが、4年前にこの発表を取り上げたときは、多くの目撃者の報告が寄せられ、写真も撮影されるようになった。

英国マンチェスター大学科学技術研究所講師ニール・チャーマン氏によると、これまで世界で46回観察された。英国28回、北西アフリカ4回、オーストラリア、ヨーロッパ、米国で各3回、南太平洋で1回、エリアで各2回、マレーシアで1回。いずれもニューサイエンティスト誌の読者からの報告である。その60%は複数の人によって観察され、4分の1の人が、その観察を日記などに記録していた。

英国ノールウィッチに住むスレック・ダウンス氏の証言。私は13歳の少年で一九四三年です。私はお勝手の戸が開いて、直径5〜6センチの丸いものがオレンジ色に輝いて眼の前を通り過ぎました。2・5メ

ートルくらいの高さにある電灯線のそばではねたので、よく見ようと思つてイスを出がったところ、ボンと大きな音を出して外に出て行くと思えてしまいました」

「もう50年前だが、私はオックスフォード・パレスにある店の入り口に立っていた。猛烈な雷雨だったので雨やどりしていたんだが私の前にかつぽの電車がとまっていた。突然、大きな球形の稲妻が降りてきた。ラグビーボールのような形をしていた。電車の後ろのエプロンから飛び込むとそのまま電車の中を突っ走り、前のエプロンから出ていった。そして地面の上で爆発した。あらしが去って電車を調べてみると、後ろと前のエプロンに大きな穴があいていた」

この事件を詳しく聞いたマンチェスター大のチャーマン講師は、少なくとも100万ジュール(0・28キロ・ワット時)のエネルギーが、この電車の中で消耗されたと推定した。英国ノールフォークのチャルマーズ・ブラウン氏が見たのは、落雷に伴うものだった。

「4年前、激しい雷雨の中で車を運転していると、左前方の道路わきに落雷しました。すると、中心が赤くてまわりが黄色の直径45センチくらいの丸いものがその衝撃で生じ、弧を描くようにして私の前方15メートルくらいのところを、20メートルばかり飛ばし爆発して消えました。車からおりて道路を調べてみましたが、なんの形跡も発見できませんでした」と語っている。

その丸いものは、2度ほど地面をバウンドしたようだった。まるでフットボールのような軌跡を描いて飛んだという。このタイプの稲妻は、戸外でときどき目撃されている。ランカシャーのモアカムに住むA・F・ネーブル氏が見たのは、落雷

なんかないときだった。「一九二九年6月、私は肉屋の小僧で雇(と)場に行った。突然、ドアがひとりどに開き、地上1メートルの高さのところにオレンジ色の丸い炎が通り過ぎていった。1メートルくらいしか離れてなかったし、ほかに4人の目撃者がいる。晴れた日でも雷雨などなかった。ドアが開いたときのボタン、ボタンという以外、音はしなかった。」

一九五六年にC・ロバート氏が北部ナッシュビルで見たのは、動かない稲妻だった。その報告。「私はそのとき、古い大きな土造の家に住んでいました。厚い壁ができた通路にいたときです。突然ビストルのような音がしたかと思うと、私の頭上1メートルくらいのところ、黄色い、火の玉が現れました。テニスポールくらいの大きさでした。1〜2秒たつと、ちょうど電灯のスイッチを切ったような具合に消えました。これまでも報告されたものとちがって、動きませんでした。雨降る年後の出来事でした。あらしだったかどうかまでは記憶していません」

ちょうどこの報告に相当するような球形稲妻の写真を、英国ノッチンガムに住むM・R・リオンス氏が撮影、マンチェスター大学に届けました。それは一九七二年の初夏、ダーバインシャーの丘で雷雨の日に写したもので、直径8センチ以下と思われる丸い形をしたものだ。35ミリカメラで15秒間隔にシャッターを切ったうちの一枚に写っていた。これが本物なら、寿命は30秒以下、または毎秒10センチ以上の速さで動いたと同大学のチャーマン講師は考えている。

昨年夏には、英スマスウィックで、猛烈な雷雨のさなか、直径10センチくらい球形稲妻がある家の台所に現れ、爆発した。このため台所にいた主婦はドレスに縦11センチ、

横4センチの穴をあけられた。ロイヤル・ホロウェイ大学の物理学者たちが調べ、科学雑誌ニューチャーターに報告をのせているが、このときのエネルギーは1キロワット時以下だろうと推定された。

英国の科学者たちは10万枚の稲妻の写真を詳しく調べ、その中から6枚の球形稲妻を発見したという。写真からだ、通常の稲妻が地上に届く前に先端が広がり、球状になって、ゆっくりおりにくように見える。

明確な理論はまだないが、低空に雷雲があると、プラス・イオンが地上から大気中に放出され、正電荷の層を作る。そこに上空から球状のマイナス・イオン群が降下してくると、球形稲妻が生じると英国の学者は推論する。

これに反論、大量の水が大気中にあるとき、終末期の稲妻によって作られるのだと発表している。稲妻によって生じたイオンの周囲に水蒸気が集まって球状となり、プラス・イオン群とマイナス・イオン群とが衝突するときに放電するが、ゆっくり降下するので、球形稲妻になるとい

わが国の数少ない雷の専門家、宇都宮大学工学部の川俣保一郎教授に聞くと「U連では高名なカビツツア教授の論文もあり、米、英でも研究が盛んだ。まだ観測されていないのは日本くらいのもの。チャンスがあればぜひ写真に撮ってやろうと待っている」という。

同教授によると、米国のある学者は、人工的に球形稲妻を作ること成功したという論文を3年前に発表している。炭素の細い線に大電流を流すと放電し、線の途中が切れて蒸発、プラズマ(高温で分子がばらばらになった状態)でダンプが生じた。これが球形稲妻の正体だとその論文は述べている。

海外UFO情報

他惑星からの訪問 「考える」

●NASA主任発表
彼の惑星の生命とのコンタクトを目指している科学者ジョン・ビルンガム博士(NASA)・エームズ研究所生命技術主任

によると、生命は他の惑星に存在するだけではなく、おそらくは広範に存在していると指摘している。同博士はこれまでの3年間の研究の結果を公表したもので、彼の知的生命に関する研究は、その存在が確かであり、ふれたもので、現在も存在し広がっていることを示しているという。

彼はまた、UFOを信じる人と接触したが、他惑星からの訪問を裏付けるような科学的妥当性には欠けているもの、考えうる。ことだとも述べている。彼の研究対象は、少なくとも我々のレベルに達しているか、ないしはそれ以上の存在である。

多くの場所において生命創造は地球上と同じ程度、あるいはそれ以上に進んでおり、地球よりはるかに古い文明をも含んでいると信じている。我々はおそらく通信できる段階に達したばかりであり、電波望遠鏡で銀河系内の通信ができるようになったのはほんのここ10年か15年のことである。

ビルンガム博士は英国生まれの45歳。彼の他惑星生命の存在証明は状況証拠によるものであり、彼

は現在、より大型、高性能の電波望遠鏡で宇宙生命とのコンタクトを実現しようと考えている。(一九七五年11月12日付、ポランド発)

UFO現象は事実なのだ

●A・ハイネック博士答える
6月30日付のシカゴ・デイリー・ニューズは次のように伝えている。

「6月24日は、未確認飛行物体が最初に「公式」に目撃されたから29年目に当たる。一九四七年のこの日、米空軍パイロットがワシントン州レーニア山頂付近を飛び回る9つの正体不明の物体を発見、その一年後、空軍当局はUFOの極秘調査を開始した。それ以来、全世界から、空飛ぶ円盤を見たとの報告が数千も寄せられている」

その後、1人の科学者がUFOに関する報告の研究を始めた。ノースウェスタン大学の天文学教授アレックス・ハイネック博士だ。彼は一九四八年から六八まで米空軍の科学顧問であったが昨年、エバンストンにUFO研究センターをつくり、UFO目撃者からの報告を収集している。

以下はデイリー・ニューズ紙と同博士のインタビュー。UFO研究の現状はどうなっていますか。

「今のところ、これが地球以外の惑星から飛来したという証拠はまだない。この25年間、UFOに関する愚にもつかない、だ

川俣教授は「自然界でこれと同じことが起きてもおかしくない」と次のように語った。

「雷雲と地面との間で放電が起きると、放電路に沿ってプラズマができる。その一部が放電路からちぎれてダンゴになるのではなからうか。球形船が横に走ったとか階段を駆けのぼったという話もあるが、科学的におかしくない。私は、日本で言う「人魂」ではないかと思う」

球形船は単一現象なのか複合現象なのか、これから解明が進むだろう。人魂かUFOか、見る人によっていろいろだろうが、ミステリーじみておもしろい。(一九七六年8月4日付、読売新聞)

近畿

夢の中に宇宙人?

●2日後に光る物体が
「宇宙人」登場——は当の目撃者、林里美さん(36)【吉備町天満】だから、デマや笑い話で片づけられん不思議がある。

昨年11月12日未明、強烈に光る物体を2メートルの近距離でハッキリ見た里美さんは、2日前に奇妙なユメを見ています。

マンガでよく見かける逆さクラゲそっくりの宇宙人が出現した。里美さんの話を誌上再録すると「妙なユメなんぞ。ある音がすると姿を見えるという声が聞こえてくるんです。そして、ひょっと気付くと大きな火星人が道に横たわって寝てるんです。そうね、あのクラゲの形のような。なんせ、音がある」と現れる」と言うんで、あまり妙なユメなんぞお父ちゃん(注・吉備町職員、林貞夫さん)に「妙なユメ見よ」と全部話したんです。その2日後に、光る物体」を本人が間近かで目撃してしまっただけ。

ゲと球体、丸つき違いが里美さんの気味悪がりよりは普通でない。サンケイ新聞販売店で7年前から毎朝クルマで町内を配達する役目の里美さんは、その翌日から主人が同乗。夜の外出はいついさしいないのだからかなりの恐怖心でマジメ話である。

まさか「宇宙人」が存在して里美さんにユメの出現サインを送った? などバカ話だが、偶然の一致にしてはデキすぎた話だけに不思議さは否定できない。

問題の「音」だが、里美さんはクルマ(カローラ)のエンジン音のせいか、耳にしなかったという。

場所は吉備町田殿の県道、田口大谷間。時間は朝5時45分、真っ暗で空に星が光る快晴。突然左のウィンドガラスに野球のボール大で燃接の発光に似た強烈に光る物体が映り、前方約20メートルを斜めに横きり有田川原へ消えた。

「あれナニ?」と里美さんは思わず声をあげ、クルマを徐行させて見守った。そのとき、ナニか音を耳にしておれば、ユメのお告げ」と一致するだけに大騒ぎとなるところだったのだが——。

音が無かったのか、それともエンジンで聞きとれなかったのか、その辺に深いナゾを秘め、里美さんを気味悪がらせるわけだ。

ナゾと言えば、里美さんより10日前、1日の真夜中に20分間も家族全員で、光る物体」を観察し、吉備町の有田市教委職員山田哲也さん(23)の父、県職員弘造さんが説明する飛行動作だ。

各紙報道は簡略だったが、実際は物体が停止しているとき下部から無数の「足」を出し、足が消える」と形の素早いモーションが起り、そのあと自転車や同じのスピードで前進。停止してまた同じ動作をくり返しながら、箕島のアタゴ山から有田川沿いに金屋上空へ移動し消えている。

その「足」がテレビでみる宇宙人飛行船にそっくり。飛行動作も操縦の感して単なる流星とは受けとれぬ。里美さんの奇妙な出来事と結びつけるもタレでも宇宙人が来訪したような想像が起ってくるのだ。

ともあれ、この事実談はたつきとした大人の信頼のおける人たちの体験だけにかなりの迫力がある。笑い話と片づけられぬ不可解がつきまとうところに、この記事のミソもあるということか。

(一九七五年11月25日付、和歌山特報)

銀色の光らない物体

●目撃した小学生ひっくりかえる

このところ有田地方では謎の光る物体が目撃されたことから、UFOMIDが高まり、夜間空を眺め回す人が増えているが、11月26日早朝金屋町生石で小学生が目撃しており、同日午後2時頃あやしい黒い物体の目撃者も現れ、話題が大きく広がっている。

生石小学校2年生の山中ひろし君が、朝まだ薄暗い6時過ぎ小便に起き出したところ、お月さんのような銀色の光らない物体を目撃そのまま家に飛び込んでひっくりかえり、ものいえない状態となり大ききわがしたそうである。聞き出したときにはすでに物体は飛び去った後だったというわけ、その日は学校にも行かない状態だったため、父兄が同伴したそうである。この話が広がった午後2時頃生石の沼津璋さんと長女(23)の父、県職員弘造さんと長女

のあき子さん(吉備高1年生)はUFONなんてあるのかしらと空を眺めたところ、生石山頂上空に薄雲が広がり、その白さの中に薄黒色の物体を発見、約5秒間ぐらいたま動いて2分間ぐらいつまみ止まり、また動いては停止するという状態を繰り返したそうである。沼さんが写真機を持ち出して、フィルムの入替えなどしているうち見えなくなったそうである。

「ぼら」が多すぎたために、人々がUFOについて真面目に扱わなくなったのも無理はない。しかし、UFOを目撃したという報告は、いままでも世界中から送られてくるのだ。報告者たちは、けつて盲信狂などではなく、警察官や専門の天文学者も含まれている。目撃された物

体は、日本、ブラジル、米国内でも29年前のそれとほとんど同じものなのだ。だから、なにかある。ただ、それがなんであるかを、我々はまだ発見できないのだ」

——米空軍当局は、一九六八年にUFOに関する報告の研究から手をひいてしまったが、なぜですか。

「もう飽きてしまったからさ。それ以上研究で得るところがなかったから。UFOについての報告は、そのほとんどが不自然な条件下で発生した自然現象として分類される。説明のできないことはすべて「未確認」と分類され、結局は無視されてしまっ

ています。これらの報告類はどうなっているのですか。

「六月末、空軍当局はワシントンの公文書保管所にUFO関係の全書類を移すことになっていて、この中には一九五二年から六九年まで行われたUFO目撃の公式調査に関する極秘文書14万ページも含まれている。また、それは少なくとも7000件のUFO事件が記載されており、非常に興味深いものも中にはある」

——いまだUFOに関する秘密が解明されていないのは、なぜですか。

「我々の研究が適切で科学的、かつ統計的でないせいもあるだろうが、政府の調査も科学的で

はなかった」

——UFOが地球以外の惑星から飛来するという可能性はありますか。

「まずない。地球とあまりに離れているからだ。だから、我々人類にとつては技術的に不可能だ。もちろん、他の惑星に我々より技術的に進歩した文明があるかもしれない。そうしたら地球まで飛んで来られるかもしれないが——」

——しかし、そのような想像では、納得のいく説明にはならないように思えますが。

「そのとおりだ。いま我々にはUFOについて答えられるだけの情報がない。したがってこれが大気圏外からの「お客さん」であるか、それともなにかもつと怪奇なものなのか、わからない。しかし、これだけは言いたい。UFO現象は事実なのだ。我々は多くの情報の中から、ばかげたはら話や気球、しん気球などを除いたものを論じており、これらは事実であったことなのだ」

火星に都市文明ある?!

「火星には生命がある。パイキングがそれを見つけた。パイキングは火星の都市から離れた砂漠に着陸したため」とディレクター、レノラ・ヒルデブランド。彼女によれば火星には都市文明や人々や家族もあり、気候も少し乾燥しているが地球と変わらないという。同センターは宇宙人に出合ったと主張する科学者ジョージ・アダムスキーの考えに基づき設立された3つの研究団体の一つである。

(一九七六年8月1日付、アリゾナ・リパブリック紙)

が、その間約10分ぐらいたったといわれ、その行動は実に不思議だったと語っている。

(一九七六年11月29日付、有田タイムス)

中国

岡山に煙をまくUFO...

●医師らが発見「ありやなんだ」

6月11日午後6時50分ごろ、岡山市海岸通の「カバヤゴルフガーデン」で打ちっ放しをしていた同市築港、医師Aさん(29)ら5、6人が、南方の金甲山東側の山にUFO(未確認飛行物体)らしい物体を発見、思わず「ありやなんだ」。

Aさんらの話では、この物体はちょうど西方に沈みかけた夕日の4分の1から5分の1ぐらゐの大きさで、色も夕日にそっくり。ただ球体の後ろに白い煙のようなものをきながら山の間にゆっくり姿を消したという。その間わずか数秒。

Aさんは、昨年11月13日夜、備前瀬戸に落下したイン石を目撃した一人。「形はあのとときと同じようだったが、こんどのは音が聞こえず、静かに落ちていった」と話していた。

(一九七六年6月12日付、山陽新聞)

赤い火の玉海面に落下

●巡視艇で捜索したが見つからず

UFOか。6月21日午前11時ごろ、岩美郡岩美町大谷で、近くに住む県職員岩美一郎さんら5人が、同町大谷の400×500メートル上空を赤い火の玉のような物体が煙をはきながら大谷沖合の海面に落下するのを目撃「もしも飛行機ではないか」と鳥取空港に通報した。

空港から連絡を受けた県警本部は、米子空港や航空自衛隊美保基地などに問い合わせ、網代海上保安署

も巡視艇で現場付近を捜索したが、それら10方ものものは見つからなかった。20日夕方にも、やはり同町岩本で直径70センチぐらゐの火の玉が海へ落下するのを見た人がおり、同本部では「信号機では」と境海上保安部や陸上自衛隊などにも照会したが、該当するものはなかった。

一方、この日午前11時半ごろ、気高郡気高町八束水の海岸で、赤い円筒かん(直径15センチ、長さ30センチ)が見つかった。浜村署では海上照明灯ではないかと、漁業協同組合などへ連絡したが、いまのところ事態は不明。

(一九七六年6月22日付、山陰中央新報)

隠岐でも火の玉落下

●こちらは見事キャッチ

UFOのような物体を目撃した。これが当時自分が撮影した写真です。これはほど本社西郷支局に名乗り出た人がある。

話題の人は、隠岐郡西郷町下西、西郷警察署員細木幹夫さん(27)。去る5月30日午後2時40分ごろ自宅付近の下西地内で、非番のため妻佳子さん(23)と一人娘美奈子ちゃん(5カ月)と一緒に散歩中、美奈子さんの写真を撮っていたところ、佳子さんが西郷町西田方面の山の陰に上空から火の玉のような物体が煙をはきながら落下するのを発見、大きな声で「お父ちゃんあれなんだろー」と声をかけるので、この物体に瞬間的にカメラを向けて撮影。さらに2枚目を撮ろうとしたが見えなくなった、という。

このときは別に気にもとめなかったが、22日付の本紙に、鳥取県岩美郡岩美町の鳥取県職員岩美一郎さんら5人が目撃、UFOではないかという記事を読み、あるいは写真で撮ったナゾの物体ではないかと名乗り出た。

細木さんの話では、この日は晴天

で、落下の際の爆発音などのような音は全く聞かれなかった、といっている。

またこの日、下西地区の住民も目撃しており、山の方で火のようなものが煙がたつており何たるうかーと話し合っていたなどという人もあり、当時話題になっていた。

(一九七六年6月28日付、山陰中央新報)

四国

空飛ぶ円盤と宇宙大怪獣博

●一步入ると火星人がヌツ

オレンジ色に輝きながら、宇宙(うちゅう)空間から飛んで来るナゾの円盤(えんぱん) UFO「空飛ぶ円盤」は、ほんとにいるのだろうか? そして乗っているのは? 私たちの心をわくわくさせ、さらに夢をもたせる宇宙や宇宙人、UFO

ところで、いま(3月29日現在)吉野川遊園地で「空飛ぶ円盤と宇宙大怪獣博が開かれていて、毎日春休みを迎えたチビっ子たちでにぎわっています。会場にはどんな面白くて楽しいものがあるのか、ちょっとのぞいてみると...

場内へ一步入ると、ヌツと大きな大きな火星人が、君たちを迎えてくれるよ。びびり出すほど大きな手足が太い怪物(かいぶつ)。背の高さは3メートルくらいある。見上げると、大きなからだのわりにはやさしい眼をしている。

第1会場は「UFOコーナー」。円盤が飛んできたのでは、とちょっと驚くような金属音が流れる会場には、近代宇宙旅行協会(大阪府豊中市)の協力で、日本や世界各地でいろいろの人が撮影(さつえい)したUFOのパネル写真52点が

ある。

「葉巻型」や「おさら型」など、君たちも本などで見たことのあるナゾの物体(ぶつたい)が、山合いや都市の空を飛び写真がずらり。こんなに写真があるんだもの。UFOはきつといるにちがいない。と多くの人が信じている。

鹿兒島で写真展開かる

「ムー大陸村」秘蔵の写真が60点 UFO、超能力、テレパシー、念力からブラックホール、異常気象まで。現代科学をもってしても解明できない謎は世の中に満ちあふれている。

この「宇宙大戦争コーナー」では、未知(みち)の世界に降りた宇宙船に、なんとも奇妙(きみょう)な姿をした宇宙人がおそいかかり、超能力(ちようりよく)をもったいろいろな宇宙人が激しい戦争をやっているよ。 タコのような火星人、岩を食べる水星人、平和を好むクマに似た金星人、頭が体の下にあるリュウイテン星人などなど。世界の一流科学者やSF作家が考え出した宇宙怪獣(かいじゆう)が17体が、ちよつと気味の悪い音と光の世界であはれまわる光会場へ入ると、まるでナゾの世界で来ているのでは、とさつ覚するほどだ。(一九七六年3月29日付、徳島新聞)

九州

イオンクラフトの公開実験成功

●火花を放ち空中をフワリ UFOと同じ原理で飛ぶといわれるイオンクラフトの飛行実験が5月19日から福岡市・九電記念体育館で始まった「電設工業展」で公開された。

フワリ、フワリと小さな模型が宇宙をさ迷い、ときおり「パンッ」と音をたてて青白い光を放つ様はどこか神秘的。

高圧電流をかけて電子の動きまで空気の流れを作り、浮かび上がるというこの原理、10年ほど前に米国の学者がUFOの飛び方から推測して発見した。UFO研究家の間で当分、物議をかもしうた。(一九七六年5月20日付、日本経済新聞福岡版)

このような「超常現象」に対する関心が、最近、急激に盛り上がりつつあるが、鹿兒島市の同好グループ「ムー大陸村」では、7月15日から24日まで、市内郡元町のダイエー鹿兒島店2階ジョイジョイ広場で「世界各国の空飛ぶ円盤写真展」を開催、訪れる人の未知の世界に対する夢をかきたてた。

同展では期間中に体験者らによるUFO講演会、討論会も行ったが、鹿兒島では初めてというこの試みは大きな話題をよんだ。

同写真展は世界各国で撮影された有名なUFO写真45点と鹿兒島県内に出現したUFOの写真15点の合計60点。すべて「ムー大陸村」秘蔵の写真ばかり。

世話役の同市上福元町、会社員、松原寿昭さん(30)は「一般にUFOは科学的なものとして受け取られては、実際にそれだけで説明はできず、宗教的な面も含まれると考えられる。本場の解明のためには、信仰心をもったこの分野の科学者、つまり現代のシャカカの出現が要求されるわけです」とUFOの神秘性を語る。

「ムー大陸村」は、未知のことに取り組むマニアの交流の場として3年前に結成。現在高校生、一般の会社員

ら約30人の「村民」がいるという。UFO、テレパシー、超能力、念力、予言、ブラックホール、霊感、パルミュード、トラライアングルなどさまざまな未知の探究に取組んでいるが、今回は特に宇宙の謎に眼を向け、UFOの謎」に焦点を絞った。

松原さんは「鹿兒島は桜島爆発による波動の影響があり、UFOを発見できる確率が低い。しかし、UFOに関心をもつ人、つまり宇宙に眼を向ける心がけをもった人にはきつかけさえあれば必ずUFOが見えるはず」という。

松原さん自身は3年間に10回もUFOの怪光に接している。期間中の17、18、24日には会場でUFO講演会、討論会を行い、県内在住体験者の話を聞いたほか、これを機会に一般的なUFOを紹介、それぞれのUFO観などを討論した。

「ムー大陸村」では、第2回の催しを早くも計画中で、今度はさらに具体的にフィルム上映などで未知の世界を紹介する。また一般から「自然や建造物などにまつわる不思議、私の不思議な体験談」を募集、議論、「超常現象」に関心がある同士との交流を望んでいる。

地球終末論、日本列島没沈など不安がますますエスカレートする傾向にある中で、現代人は満たされぬ夢を未知へのロマンにたくしている。というところでも、どうしたらUFOが見えるのですか」という問いに、「邪念があればUFOはみえにくい。心の鍛錬です」と言い切る松原さんだ。(一九七六年7月17日付、鹿兒島新聞)

宇宙人は絶対にはいます 外観は地球人ソックリ ●熊本のお坊さん確信をもって語る 広大無辺に広がる大宇宙、夏の夜

の天空を彩るスターダストは、人類の科学の及ばない謎(なぞ)を秘めた無辺の大パノラマ。そのどこかの星には地球人と同じく、あるいはそれ以上の英知を備えた高等生物が宙人(そでん)がいるのだろうか。火星に着陸したバイキング1号のランダーから送られてきた写真には、アルファベットや数字のような模様がついた岩が写っていた。科学者たちは「光のイタズラ」と片付けているがヒョウとしてビョウとしたら、と胸を高鳴らせた人もい。いる。宇田らはホントにUFO(未確認飛行物体)に乗ったUFO(未確認飛行物体)空飛ぶ円盤)はなんの目的で地球にやってくるのだろうか。きょうは宇宙人の存在を信じ、宇宙の神秘についてあれこれ研究している人たちの話。

「僕らは円盤を見た。」 「宇宙人は絶対にはいます」と確信をもって話すのは熊本市二本木町のお坊さん、津野田俊行さん(32)。UFOと宇宙哲学の研究グループである日本GAP熊本支部の会員だ。GAPとは世界のUFO研究者の間では教祖的存在で、実際に円盤に乗ったことがあるというアメリカの故ジョージ・アダムスキーの提唱で組織された国際的な宇宙哲学研究団体GETACQUAINTED(知らせろ) PROGRAMが正式名称で、アダムスキーの体験や思想を広く世に知らせようという人々の集まりだ。熊本の会員は20数人。80を超えた元お坊さん、お医者さん、電気屋さん、大学生、高校生が本格的に宇宙のナゾと取り組んでいる。会員のほとんどが円盤を「目撃」した体験の持ち主。なかには10回以上も見たことがあるというウラヤマシイ人もい。以下津野田さんと的一問一答。

宇宙人は本当にいるのか? 熊本でも多くの人が円盤を見たと言言しており、その存在はもはや疑う余地がない。山梨では2人の中学

生がブドウ畑で宇宙人と話しているところを、その母さんたちが目撃している。 ●熊本の場合、UFOはどんなところに飛来するのか? 阿蘇山、金峰山、立山、人吉付近の山中などだ。阿蘇山に来るのは火山活動調査が目的と思われる。立山は着陸地点としてかっこうの場所ではないだろうか。 ●宇宙人の姿、形は? 外観は地球人ソックリで宇宙服を着て、頭部には通信用のものらしきアンテナ、口にはキバらしきもの、腰にはピストルを携えていた、と山梨の2少年は言っている。 ●UFOの大きさは? 直径数十センチの偵察用小型円盤から長さ数キロに及ぶ巨大な母船まである。代表的なものとしては葉巻型円盤、アダムスキー型円盤、ソップレ型円盤などがある。 ●彼らはどこから来るのか? 地球を含めた太陽系の土星、金星などの惑星には高等生物がいると考えられている。一九六二年3月にこれらの惑星の代表者会議が土星で開かれ、地球からはアダムスキーが出席している。 ●宇宙人はなぜ公然と地球にやって来ないのだろうか? それは地球人が戦争や公害などで荒廃してしまっており、地球が宇宙の孤児になってしまったためだ。彼らは地球を救うためにやって来るのだが、多くの地球人はこのことに気づいていない。 ●昔は「宇宙の孤児」ではなかったのか? イースター島の巨人遺跡、ペルー山中のナスカの広大な地上絵、マヤ遺跡に残されたロケットを思わせる線、その他世界各地の遺跡には宇宙人が残したと思われるものがたくさんある。これらのことから昔は地球にも彼らは大勢やって来ていた。 ●UFOや宇宙人の存在を信じる人はまだ少ないと思うが……?

UFO研究が進み石油や核以上のエネルギー源があることがわかると困る人たちがいる。そういう人間は多くの場合権力をもっており、あらゆる手段で研究を妨害したり、悪意をもっている。しかし一般の人はやはり実際に目撃しないとなかなか信じられないだろう。

「おじさん(オニイサン)と言っては(しい)UFO信じる? ポクUFOもネッシーもクッシー(北海道・屈斜路湖)にいる。ネッシーの兄弟と考えられる)もヒバゴン(広島・比婆山中)にいる。雪男の親類と思われ(る)も信じます」と話すのは熊本市出水の上村真一君(小5)だ。上村君もUFOの目撃者だがお父さん、お母さんには信じてもらえない。上村君によると宇宙人(インペーダー)には2通りあって、一方は地球改良派、他方は地球侵略派だそうである。前者はたとえばアーサー・C・クラークの小説「幼年期の終り」にでてくる悪魔をつくりの宇宙人。後者はH・G・ウェルズの「宇宙戦争」に出てくる火星人というところか。

上村君はUFOを呼ぶとき「ペントラ、ペントラ」と静かに念じる。なにやら欠食児童が飯にありついたときに叫びそうな文句だが、津野田さんの説明ではこれは梵(ほん)語で「友よ来い」という意味。これなども古代文明と宇宙人のかわりを想像させて興味深い。

最近では東京・警察庁鑑識課員7人が皇居上空を飛ぶUFOを目撃して大騒ぎになった。さあ、今夜あたり満天の星に向かって「ペントラ、ペントラ」と念じてみようではないか。円盤が出てきてみよ後はシラナイ、シラナイ。

メモ 日本GAP熊本支部(斎所秀雄会長)は毎月第3土曜日に熊本市民会館で会合、UFO研究や体験発表、情報交換などを行っている。(一九七六年7月30日付 熊本日日新聞)

UFOs & SPACE

No. 20 September—October, 1976

Price ¥430

Published by Universe Publishing Co., Ltd.

©1976 All rights reserved

Captions for Color Photographs

LUMINOUS BODIES CAUGHT BY

THE CAMERA OF NHK Cover and page 1—3

These pictures were printed from a 16 mm movie film taken by a cameraman of NHK, Japan Broadcasting Corporation. In July 1971, Mr. Kenjiro Oh-e, the cameraman, went up Mt. Daisetsu of Hokkaido accompanied with three assistants. Their object of filming was the brown bear in the mountain. On their way, they sat on the ground to take a rest. When, the four men found two orange luminous bodies at almost the same time in the air about 1,000 meters away. The larger one looked about four times of the Moon, in size, to their eyes. Mr. Oh-e immediately held his movie camera and shot the mysterious lights for three minutes. Some parts of the film were taken with a zoom lens, the rest with 500 mm telephoto lens. He said that these lights had seemed to be pulsing in themselves, but they did not move and vanished several minutes later.

VISIT TO MARS IN SEARCH FOR LIFE

page 4—5

These astonishingly clear pictures were transmitted from Mars by Viking 1. The stark,



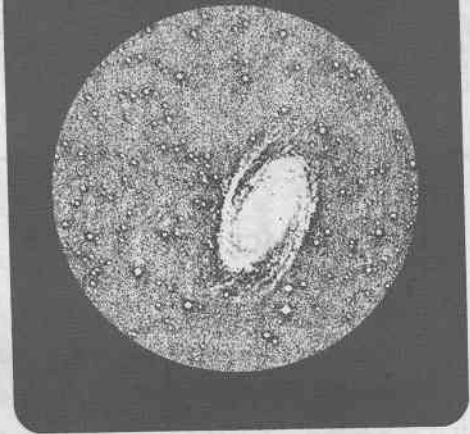
rock-strewn Martian surface looks remarkably like a desert scene in a certain place on Earth. After an examination of the transmitted data from Viking 1 and 2, some scientists still support the chances of life on Mars. NASA has standby plans for further Vikings including one that would be equipped with a roving vehicle to allow sampling from different locations on the Martian surface.

“TRAVIS WALTON ABDUCTED BY UFO”, No. 2.

page 6—8

“The Travis Walton’s Case”, which was reported on the No. 18 of UFO AND SPACE, caused a heated controversy between APRO and GSW, two major groups for UFO studies in the United States. Masahiro Tomikawa, our magazine’s special correspondent in the United States, interviewed Travis Walton and other persons concerned. Also, he took many photographs of them and the scenes where the matter occurred. These pictures are some of them.

科学ニュース



ウラン濃縮の技術ほぼ確立

●原発の自立へあと一歩

原子力発電所の燃料として使う濃縮ウランを国産化できる見通しがついた、と動力炉・核燃料開発事業団が六月二日、茨城県東海村の同事業団東海事業所で、遠心分離法による新しいウラン濃縮試験装置を初めて公開した。

原子力委員会は一九七二年に遠心分離法によるウラン濃縮技術の開発をナショナル・プロジェクトとして採用した。一九七三年には、百八十台の遠心分離機を連結した「第一次カスケード試験装置（C-1）」が建設され、テストが行われた。

こんど公開された第二次装置

は、約三十億円をかけて一九七四年から建設を進め、一九七五年秋に完成したものだ。遠心分離機の台数が、第一次装置の約一・五倍にふえただけでなく、分離機そのものの性能も二、三倍に上がっているなど、その他の面も大幅に改良されている。

「第二次カスケード試験装置（C-2）」と呼ばれるこの装置は、直径約三十センチ、高さ約一メートルの円筒型の遠心分離機を二百四十七台連結したもので、今年三月からのテストの結果、ウラン235の濃度が一・五パーセントの濃縮ウランを連続的に生産できることが確認され、発電所で使う濃度二〜四パーセントの濃縮ウランを作る技術が完成したという。

遠心分離法によるウラン濃縮技術の開発は、日本のほかアメリカなどでも開発を進めているが、各国ともその技術内容は秘密にしており、どの程度まで開発が進んでいるか、くわしいことはわからない。日本の研究者たちは、全くの自力で、さまざまな難点を克服しながら、ここまで来た。「一・五パーセントの濃縮を達成した実績からみて世界の最高レベルに追いついたと思う」といつている。

同事業団は、来年、同じ遠心分離機を数千台から一万台備えた試験的なウラン濃縮工場の建設にかかるとしているが、試験工場が完成すれば、これまで発電所の燃料の供給をすべてアメリカに頼って来たのが国もささやかながら自立への道へと歩き始めることになる。

未知の力をもつ

新素粒子「チャーム」発見

●アメリカの二大学が協力

米スタンフォード大学とカリフォルニア大学の科学陣は「チャーム」と呼ばれる「未知の力」をもつ新素粒子を発見した、と発表した。

太古の恐竜はのろのろ歩き

人間並みの速さでドシンドシン

●英国の科学専門週刊誌「ネイチャー」に恐竜のスピードに関して変わった研究が発表された。太古、地上をのし歩いた恐竜たちは、たいへんのろまだったらしい。「恐竜のスピードは、せいぜい人間なみ」というもので、発表したのは英国リーズ大学動物学部のアレクサンダー博士。

博士は、いま生きている動物と人との研究からとりかかり、その速さと歩幅、さらに地面から腰までの高さを測定した。その結果、動物のスピードは腰が高くなると遅くなるが、歩幅が大きくなれば速くなる、という関係があることを突き止めた。

この関係を、博士は恐竜に当てはめてみた。実際に恐竜の足跡と化石との両方が残っている例は少ないのだが、それに当てはめてみると、恐竜は予想以上にのろまだったことがわかった。

博士の結論によると、恐竜のスピードは、秒速一〜三・六メートル、時速にすると三・六〜十三キロ。人間のおとなの歩く速さは、時速四〜五キロだから、恐竜はほぼ人間なみ、ということになる。

見事ネッシーの存在を示す反応?

米ボストンの応用科学アカデミー発表

●ネッシー探検史上最高の科学機械を動員したといわれる、ラインズ博士を中心とした米ボストン応用科学アカデミーの調査団はこれまでの成果を発表、同博士が九月九日、ボストンで語

新粒子は、巨大加速器による超エネルギー実験で初めてつくられるもので、今回の成果はスタンフォード大学の線型加速器とカリフォルニア大学ローレンス・バークレー研究所における過去二年間の実験によって得られたものである。

新粒子は強い相互作用をする

物質の「新しい基本的性質」を備えており、今後の実験で確認されれば素粒子物理学におけるクォーク理論の劇的成功を意味する。

クォーク理論は一九六〇年代初期に提唱されたもので、すべてのハドロン(重粒子と中間子)はクォークという基本粒子の組

合せてつくられている、とする考え方である。今度発見された粒子は、四種類のクォークの一つで、チャームの性質をもつものに対応する電荷を帯びてい

木星の四衛星は

塩と氷と水で出来ていた

火星の岩に

「2 B G」の文字

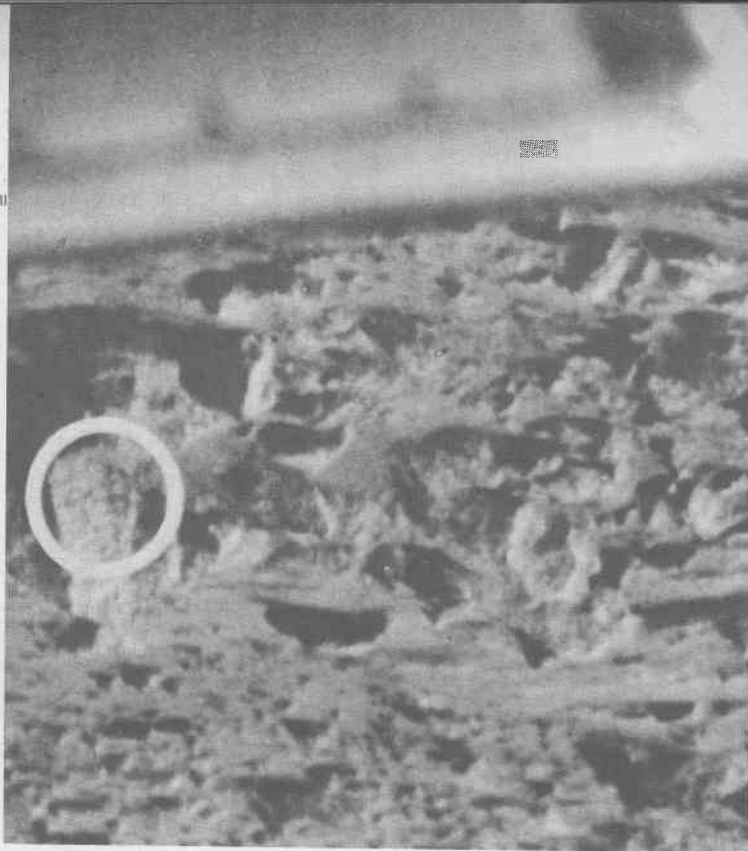
バイキング一号着陸機から送られてくるテレビ画像をのぞき込んでいたジェット推進研究所(JPL)全体が一瞬色めきたった。画面左手に写っている石の表面に「2 B G」と読める「文字」があったのだ。

太陽の方に向けて白く輝いている面に、この「文字」が黒くあらわれていたから大変だ。

「これは何を意味するものか」科学者ばかりか報道陣までが大あわて。J・マーチン博士ら米航空宇宙局(NASA)の責任者たちは「あれは光と影の作用で、偶然石の表面にそれらしい模様ができただけ。おもしろいとは思うけど、公式にコメントすることではない」と冷たい返事だった。

はたして火星人が書いた文字だろうか？

(UPIサン一共同)



TOPICS

ったところによると、水中音波探知機による調べで見事ネッシーの存在を示す反応を得た、というもの。

同応用科学アカデミーは五月三十日、スコットランドに本格的な第五次調査団を派遣し、ネッシーのナゾに決定的なメスを、と調査を続けていた。メンバーには米ハーバード大学、英ケンブリッジ大学、英自然史博物館、米スミソニアン研究所から顧問を招き、とくに重要な水中カメラ班には前マサチューセッツ工科大学教授のハロルド・E・エジャートン氏を責任者に配置しての本格的な調査団。調査の総費用は七万五千ドル(約二千二百五十万円)。

今回の音波反応に基づき、秋には湖底にあるとみられるネッシーの骨を発見するため英国のダイバー・チームを潜水させる計画という。

同調査団は、ネッシーの写真撮影には成功していないが、「骨を探すのにふさわしい湖底域を発見した」と成果を誇っている。

一九七六年は最悪の「地震年」

●米地質調査局が発表したところによると、今年には、世界的に地震が多く、六万七千人以上の死者が出た一九七〇年以来、最悪の「地震年」という。これまでの調べによると今年には、六月四日までに世界各地でマグニチュード六・五以上の地震が二十一回発生、合計約二万四千人の死亡者が出ている。

前代未聞、尾瀬沼にトンボの大群！

●日光国立公園の尾瀬沼周辺に、体長十センチほどのオオシオカラトンボが大量に飛来、一時は沼の上空が薄暗くなり、燧岳の頂も隠れた、と

●NASAがその正体を分析

米航空宇宙局(NASA)がこのほど発表したところによると、一九七三年から七四年にかけて、パイオニア10号と11号を木星に接近させ、その衛星を調べた結果、木星を回る四つの大きな衛星、イオ、ユーロパ、ガニメデ、カリストはそれぞれ塩と氷と水であることがわかったという。

それによると、イオの表面はどこもかしこも塩だらけである。

科学者たちが考えるには「太古、イオの内部から水分がにじみ出て来て、表面に集まったと思われる。しかし、そのころ、木星はすごく熱い星だった。木

星にいちばん近いイオは、その熱にあぶられ、しみ出した水は、すべて蒸発して、あとに塩だけが残った」と。

ユーロパは、岩だらけの衛星だが、ところどころに大きな水のクレーターがある。

大昔、内部から水がしみ出て来た点は、イオと同じだが、ユーロパは木星から遠く、熱の影響が少なかったため、水は地下十キロのところですっかり凍ってしまった。その氷の層の厚さは五十キロもあるだろうと、科学者たちは考えている。

ガニメデは、水玉の衛星で、中心部にわずかばかりの泥があるだけで、あとは衛星全体が水で出来ている。表面は凍っている。

色体の数が、人間とサルの間四十七本という点だった。ところが、放射線医学総合研究所の平井百樹遺伝第二研究部

研究員がオリバー君の白血球を培養して染色体を数えたところ、間違いなくチンパンジーと同じ四十八本だった。人間の染色体は四十六本である。

●オリバー君の正体は「チンパンジー」だった!

米国で「ヒトか、サルか」で話題を集め、七月下旬、テレビ出演のため日本に来日したオリバー君であったが、来日の折、日本の科学者の手によって明らかにされたところによると、疑問の余地のないチンパンジーである、という結果が出た。

オリバー君が「ヒトかサルか」と騒がれたのは、動物の種類を決める強力な手がかりとなる染

色体の数が、人間とサルの間四十七本という点だった。ところが、放射線医学総合研究所の平井百樹遺伝第二研究部研究員がオリバー君の白血球を培養して染色体を数えたところ、間違いなくチンパンジーと同じ四十八本だった。人間の染色体は四十六本である。

また、オリバー君の血清たんぱくによる京都大霊長類研究所

で、氷原には霜が降りていると想像されている。

カリストは、岩石とチリと氷が、ごちゃ混ぜに集まった衛星。木星ができた四十五億年ほど前宇宙空間に漂っていた「がらくた」が集まって衛星となったもので、木星からも遠く、熱源となるウランなどの放射性物質の量も少なかったため、氷は大昔のまま、いちども溶けたことがないという。

木星は強い磁場、粒子を放出する「冷たい太陽」

●パイオニア10、11号の観測結果から判明

米航空宇宙局(NASA)の調査によって、木星はこれまでの岩本光雄助教授の調べでも、オリバー君はチンパンジーだった。これは血清たんぱくの一つ、トランスフェリンのパターンを電気泳動法を使って調べた結果わかったものである。

またレントゲン写真においても、オリバー君はチンパンジーの特徴をもっていて、人間であるはずの特徴がなかった。

二本足で直立できる能力について、静岡大学の平沢弥一郎教授は、「オリバー君は自然な状態でむしろ四本足で歩き、二

トピックス

いう事件が六月二十九日正午頃、起こった。今年の尾瀬沼は、名物のニッコウキスゲが季節はずれに早咲きし、コバイケイソウも数年ぶりに大群落をなして咲き乱れたりしていたが、尾瀬暮らし六十一年の長蔵小屋主人、平野長英さんは「こんなことは前代未聞」と国立公園管理事務所第一報。「トンボの飛来はうれしいが、どこかおかしい」と平野さんは心配顔。

太平洋に巨大イカが続出か?

●このほど「クジラの乱獲でマッコウクジラが激減したため、太平洋に巨大なイカが出現しつつあるようだ」と語ったのは、カナダのクジラ補獲抗議運動組織グリーンピース財団のハンター会長。

同会長によると、最近、米カリフォルニア州沖で体長四・三メートル、重さ九十五キロのお化けイカの死体を発見。証拠写真も撮っているという。

「巨大イカ」についてハンター会長は「イカを好むマッコウクジラが乱獲で姿を消したことが、イカの巨大化をもたらしている」と説明している。

世界最古のアルファベット見つかる!

●テルアビブ近郊で発掘調査をしている考古学者のコハビ教授を中心としたテルアビブ大学考古学チームは、世界最古のアルファベットを発見したことを明らかにした。

同教授によると、このアルファベット文字は陶磁板に書かれており、紀元前十二世紀のものという。また発見された文字はアルファベット筆記が考案されて二、三百年後に書かれたもの



(共同通信)

本足で歩くのは訓練によるものだろう」と述べている。
 普通のチンパンジーと比べて顔の色が白いのも「チンパンジーの個体差であって、特別なチンパンジーではない」というのが岩本助教授らの結論だった。
 アフリカのコンゴ川流域から引っぱり出されたオリバー君、この騒ぎでもっとも迷惑したのはオリバー君かも？

太陽以外は放出しないと思われていた高エネルギーの電子や陽子を宇宙空間に放出している、ことがわかった。

これはNASAの打ち上げた無人探測器パイオニア10、11号によって明らかになったもので木星には、地球の一万倍もある強い磁気がある。その磁気が影響を及ぼす、いわゆる磁気圏は直径二千万キロもあり、その体積は地球の磁気圏の百万倍にあたっている。もし、木星の磁気圏が地球から見えたとする視角二度になる。地球から見た太陽の視角が〇・五度だから、木星磁気圏の大きさはとてつもなく大きいことがわかる。

また、かなり高いエネルギーをもった電子や陽子などの荷電粒子が、木星の夜側にある磁気

圏のしっぽの方から出ていた。粒子のエネルギーは数百メガ電子ボルトで太陽から放出される粒子とほぼ同じで、地球周辺にも届いている。また磁気圏の中にも高エネルギーの粒子がいっぱいつまっていた。

地球のバン・アレン帯と同じように、木星の磁気圏の中心には高エネルギーの粒子が磁場によってとらえられた放射線帯がある。地球の放射線帯にある粒子は、主に太陽からきたプラズマ粒子(太陽風)である。ところが、木星が放出する高エネルギーの粒子は、太陽からきたものというよりはほとんど自前のものだという。

ソユーズ21号打ち上げ

●サリュートとドッキング、宇

宙滞在記録の更新を目ざして?

ソ連は七月六日、有人宇宙船ソユーズ21号を打ち上げた。

同宇宙船には船長のボリス・ポルイノフ大佐と飛行技師のビタリー・ジョロポフ中佐が乗り込んでいたが、先に打ち上げた軌道科学ステーション「サリュート5号」とドッキング、移乗するなどして宇宙生活を続けている。このふたりは、アメリカ

とみられている。

太陽系の直怪は

コンピューター計算〇・二光年

●太陽系の天体力学的モデルの計算にコンピューターを使った結果、太陽系の直径は一万二千五百天文単位(一天文単位は一億四千九百六十万キロメートル)、〇・二光年という数字を得た。

計算をしたのは、ソ連のラトビア大学付属天文台(リガ市)のカルル・ステイン教授らで、同教授らは、太陽系の一番はずれ、つまり限界は太陽系の引力圏内にとどまる彗星のうち、最大の離心率をもつものの軌道の遠日点と一致、これらの軌道データをコンピューターに入れてこの直径の値を得たものとみられる。

高透明度バイカル湖の秘密は

「小エビ」の働き

●世界一、二の透明度を誇るソ連のバイカル湖は、考えられていた以上に生物類が豊富なことがわかった。ここ数年の調査によると、バイカル湖は最深部まで酸素が存在し、透明なために

●世界初の「UFO空港」フランスに完成!

「空飛ぶ円盤」(UFO)の着陸用空港としては初めてのものが、このほどフランス・ポルドー地方の海岸のアレ市に開設された。

この「UFO空港」は地方空港技術者のロベール・コトンス

完成させた。

んアイデアによるもので、「UFOはほとんど着陸したとがなるとすれば、それは着陸地がなかったためだ」というのがコトンスの主張。これまでの何も手を打たなかったのは「当局の落ち度」と、UFO空港を

空港開設式には市長も出席するなどして盛大に行われ、市長は、空港の最初の使用者は着陸料を免除されるだろうと約束した。また、「UFO空港」は風見用の吹き流しや滑走路標示灯も整えた本格的なものという。

の宇宙飛行士たちが宇宙ステーション・スカイラブでたてた八十四日間の宇宙滞在記録を大きく更新するかもしれないといわれている。

また、ふたりの飛行は、ソ連の新しい宇宙開発計画の第一弾といわれ、新たな技術を開発した模様である。宇宙飛行士ウラジミール・シャタロフ中將は今回のソユーズ21号の打ち上げにあたって「宇宙船には基本的に新しい技術はない」と強調したが、パリからのAEP通信が伝えたところによると、サリュート5号は前後に二つのドッキング

グ用ハッチをもっているという。もし、この情報が正しいとすれば、ソユーズ宇宙船をもう一つドッキングさせて、ソ連はさらにふたりまたは三人の飛行士をサリュート5号に送り込ませることもできる。

もう一つの可能性は、二つ目のハッチに、無人の補給船をドッキングさせて、食糧や酸素を補うことだ。その技術的な裏付けをしたのが、昨年十一月に打ち上げられ、今年二月に回収された無人宇宙船ソユーズ20号だったとみられる。この宇宙船はサリュート4号と自動ドッキング

● 椋平虹、関東地方を襲った

虹から地震を予知する研究で知られる京都府宮津市江尻、椋平広吉さんが六月十六日朝、関東地方を中心に襲った地震を前日の十五日に予知していた。

これは、椋平さんが知人に出していた十五日消印のはがきからわかったもので、「昭和五十一年六月十五日四時十三分、椋平虹現象す。六月十六日七時十六分、山梨県中部地方に強震ある」と書かれており、気象庁の観測による記録と二十分ずれてるだけで、震源地はびたり。椋平さんの観測によると虹は

山梨地震を予知!

十五日午前四時十三分から三十分二十秒間現れた。天橋立に近い宮津湾江尻浜にある観測点から東南東の粟田半島高嶺山上空で、淡い色で四角い形だった。この虹の状況から、独自の椋平理論で、山梨地震を割り出したという。

椋平虹は地震の数時間から約一日前に現れる特殊な虹で、椋平さんが大正八年五月十九日、初めて発見。今月は二千三十七回目。昨年二月からは京大地震観測所長の三木晴男教授らが科学のメスを入れている。

グした。

これらのことから推測するとソユーズ21号の両飛行士が宇宙滞在記録を更新することも可能だと思われる。

中国河北省に大地震!

● 百万都市・唐山を全滅させる

中国の中華北地方を襲った地震は人口百万の工業都市・唐山に極めて重大な損害損失を与えたという。

震源地は河北省唐山。豊南地区でマグニチュード7・5。今月五月末の雲南地震と並らぶ中国で最大規模の地震である。被害の大きさなどについては、公にされていないが、死者三人を出した唐山市での日立製作所プラント建設関係者の遭難事故などを通じて明らかになったところでは同市から退避した中国人の話に崩壊した家から自力で脱出できなかった場合は絶望的、という状況だったという。近郊を含めて百万人を救える唐山市で仮に伝えられるように八十パーセントの家屋が倒れたとして、人口の何パーセントの死者が出たのだから。さらに震源から八十キロ離れた天津市でも、か

トピックス

光が深い所まで通るので、かなりの藻類がみられた。

学者によると、バイカル湖の水がきれいなのは、湖中の植物や動物の生活機能のせいだという。湖内の小エビが、エサを求めて水をろ過するのだそうだ。ところが、この小エビを湖から外にもって行くと死んでしまう。環境の変化に非常に敏感なわけで、このことから、湖水をきれいに保つためには、湖の自然の均衡を守ることが必要なのだという。

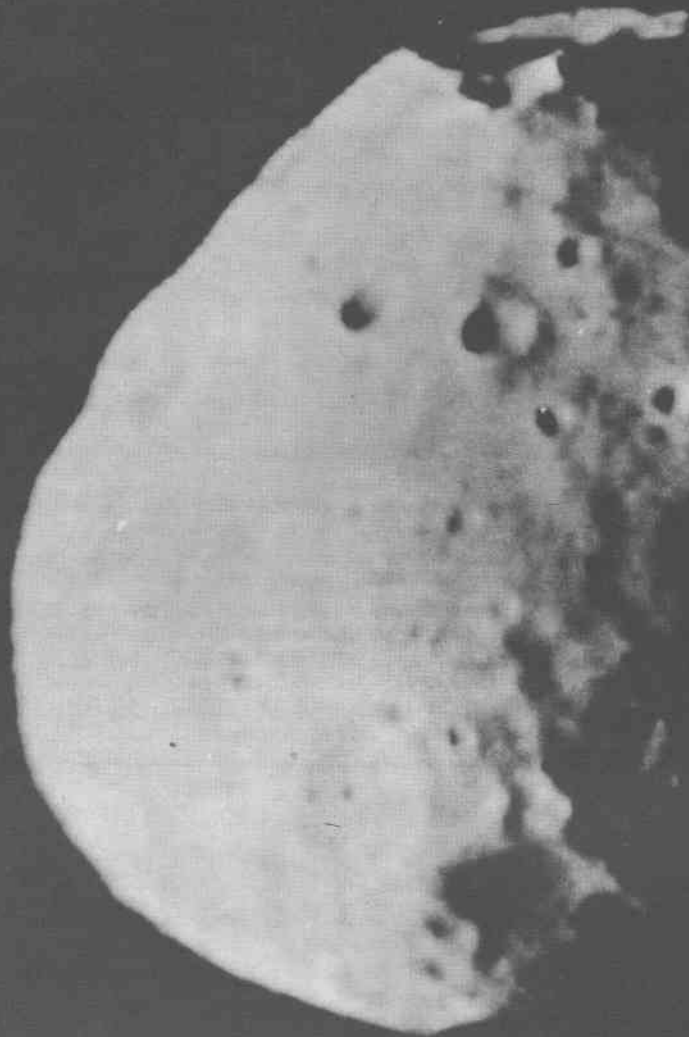
超大型ブラック・ホールの直径は

太陽の五十倍!

● 直径は太陽の五十倍、重さは千万倍という巨大なブラック・ホールが、ケンタウルスA星雲の中心にある、と「ニュー・サイエンティスト」誌に紹介されている。説を唱えているのは英国ケンブリッジ天文学研究所のアンディー・ファビアン氏を中心としたチーム。

ケンタウルスAは、透過性の強い硬X線源としては全天でも屈指のだ円星雲。だ円の真中に星間物質の黒い「帯」が一本通り抜けて、二つに分かれている形をしていることで有名な星雲だ。ブラック・ホールは、その「帯」の中にありX線の強さは、太陽が属している銀河系星雲全体の出す光のエネルギーにはほぼ等しいことがわかったというもの。このように強いX線や赤外線が出ているのはブラック・ホールがあるからに違いない、とケンブリッジのチームは説明している。

もしこれが本物だとすれば、星雲級の超大型ブラック・ホールということになる。



●これが火星の衛星「フォボス」

(UPIサン一共同)

火星の衛星「フォボス」の新しい写真が米ジェット推進研究所(JPL)から発表された。

この写真は、バイキング1号の軌道機オービターが64000キロ離れた位置から撮影したもので、直径5キロにも達する大きなクレーターをはじめ、直径数100メートルの小さなものまでたくさん写っている。

巨大な隕石が北極に衝突してクレーターができたとき、この衛星がなぜ粉々にくだけなかったかについて、軌道機写真班のトーマス・ダックスベリー博士は「フォボスの表面が非常に

硬かったか、あるいはものすごく柔らかい砂のようなものだったか、どちらかの可能性が高い」と語った。フォボスの写真は、1971年末にマリナー9号が5,500キロの距離から撮影しているが、今回の写真は、ちょうどその裏側を写したことになる。火星の中心から9,380キロの円軌道を回るこの衛星は、長径28キロ、短径20キロといった小さなもの。

JPLは、オービターがフォボスに40キロまで接近する来年3月に再び撮影するほか、もう1つの衛星ダイモスについても調べる予定。

「幻のツチノコ」騒動

●最近はや下火の「幻のツチノコ」騒動だが 岐阜県の山村で、主婦三人が相次いで目撃し、 今度は岐阜県の山村に！

「あれはツチノコに間違いない」と語った。
山形郡美山町の葛原地区では、七月下旬から八月初めにかけて、この話してもちきり。いずれも地元の主婦が杉の苗畑などで下草刈りをしていた際の出来事。目撃者全員、あまりのショックにオドオド。わず

か一メートルの至近距離でツチノコを見た主婦は、余りの恐ろしさに寝込んでしまい大騒ぎ。三年前にもお隣の高富町でも騒ぎがあっただけに、これは本当、と町でも雑草地帯をわざわざ刈っての「自衛策」。

中には「たしか、捕まえたものには賞金が出るはずだった。一つ山狩りでもするか」と、はりきる向きもあって、とんだ「ツチノコ」騒動となった。

先史時代に

●シベリアの北極海沿岸に 落下した巨大な

「ニッケル爆弾」か？

直下型地震のすさまじさが、その大きな被害の最大の原因であることはもちろんだが、それ

とあいまって指摘されているのは、①一般居住家屋の耐震性の低さ②事前予知の不成功、などである。

いくつもの地震の予知、予報に成功している中国では、この地域を近い将来、地震が発生するかもしれないと国家地震局が注目し、予知観測体制を推進していただに、あらためて地震予知のむずかしさを浮き彫りにした形になった。

「あれはツチノコに間違いない」と語った。



イタリアの「ポンペイ跡遺」から最近、二つの人間の遺体が発掘された。遺体は完全なもので、男性と女性。男性の方はマルコ・オベリオ・フィルモという名前だそうで、西暦79年の大事故の年にポンペイで行われるはずだった選挙の立候補者という。後方で学者が調べている女性の遺体は、フィルモ氏の妻か娘ではないかと思われる。(UPIサン共同)

●ポンペイ遺跡から当時の裁判官の遺体を発掘!

バイキング一号火星に着陸
火星の定説をくつがえす

●生命存在論争に終止符ならず
昨年八月、米フロリダ州から打ち上げられた無人探査機バイキング一号は、十一カ月の長旅を終えて七月二十日、軟着陸することに成功した。その後、探査機は順調に作動、貴重なデータを地球に送信して来たが、そ

の成果にジェット推進研究所の学者たちは騒いでいる。

着陸機は、着陸直後から活動を始め、火星の風景写真を送ってきたが、火星の空が予想外に明るかったことが学者を騒がしている。火星の大気は地球大気の約二百分の一しかなく、このため、空は昼間でも黒っぽく見えると予想されていた。ところが、第一報に写し出された火

星の空は地球並みに明るく、ジエームズ・ポラック博士(NASAエイムス研究所)は「これは大気中の粒子で太陽光線が散乱しているためだ」と語った。

また、着陸機写真班のリーダー、トーマス・マッチ博士は、最初に撮影された写真を示し、左側にタテに長く、ぼんやりと黒ずんだ部分を指しながら「あらゆる分析の結果から考えて、この黒い雨のような部分は、ここで何か小さなものが一分間ほどの間にカメラの前を横切るように動いたと考えるのが最も科学的だ」と結論した。

サガン博士は「写真を見るかざり、植物らしきものは、見あたらない。しかし、この写真と同じような風景は、地球上の砂ばくでも見られる。もし、これを地球の写真だといつわって、地質学者や生物学者に見せ、どんな生物がいる可能性があるかとたずねたら、学者たちは直ちに、百種類から二百種類もの動物植物の名前をあげるだろう」と微生物分析への期待感を盛り上げた。写真から、火星表面物質の主な成分は、火山活動によるものと考えられ、重い溶岩の流れた跡や細かい火山灰の砂のようだと、マッス博士は語った。

トピックス

あるポビガイ盆地の地層から、きわめて純度の高いニッケルが発見され話題になっている。おそらく先史時代に落下した巨大な「宇宙爆弾」が運んできたものと考えられるからだ。

ニッケルは石英属の中に条痕として認められるもので、分析の結果、純度は八十七パーセントもあった。これほど純度の高いニッケルは、まだ地球上で見つかっていない。この事実はいん石も含めた天体の物理化学的性状について従来の考えを修正させるものかもしれない、とソ連の科学者たちは語っている。

ニッケルの発見されたポビガイ盆地は四年前、レニングラードの地質学者が発見したもので、直径百キロ、深さ四百メートルにも及ぶ大きなクレイター。約三千万年前、小惑星のかけらが、巨大ないん石が落下して形成されたものらしい。盆地のなかに衝突の際、砕かれたり溶けたりの岩のかけらでいっぱいだという。

インカ帝国「最後の首都」

ペルーで発見される

●スペイン人に征服されたインカ帝国最後の首都「ビルカパンバ」が最近、歴史家エドモンド・ギレン氏を隊長とする特別探険隊によってペルーのジャングルの中で発見された。

ギレン氏が語ったところによると、遺跡は長さ約五キロ、幅約二・五キロの地域に、宮殿と寺院のほか、約四百軒の住居跡から成っている。今回の発見には、インカ帝国の最後の戦いについてスペイン人の兵士が書き残した未発表文献に頼るところが大きかったという。探険隊はクスコを出発してジャングルを切り開くこと十二日間にしてインカの首都を発見した。

(続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤③

レナード・クランプ

- 技術的分析と立証
- 重力場宇宙船内の乗員保護
- 空気力学的にみた重力場

技術的分析と立証

この章では私の調査結果を解説するが、それには二つの意図がある。

第一は、一般大衆および円盤に対して懐疑的な人々に注意を呼びおこすことである。つまり、詳細な目撃報告は今や立派な技術的意味をもちつつありさまざまの人々から報告される情報が実記可能なひとつのパターンを形成してきているということである。

したがって、懐疑派はまたもや選択を迫られることになる。何かの偶然、世界的陰謀あるいは自然現象の誤認等々。もしこれらでないとするなら、彼らはUFO報告の相当部分が地球外の乗物に関する真実の記述であることを認めなければならないはずである。

第二の意図は、当然ながらこの素晴らしい円盤建造者達の技術にいくらか光を当ててみようということである。

この章では特に技術的に進んだ懐疑派が純粹に技術的、機械的見地から多くの目撃内容の価値を判断できるよう、合理的に記述をすすめた。もし、調査内容のいくつかが適当なもの

であれば、相当の関心を呼ぶに違いない。しかし、一般の人々によってなされた観察内容がすべて重力場推進アイデアに適合するならば、このアイデアとUFOはどちらも立証され、我々はいへんな真実を発見することになるだろうし、事実をすつきり関連づけて並べることも可能となる。

ところで、先に進む前に、この問題についてあまり詳しくない読者の理解の一助とするため、UFOに関連してよく知られている現象をいくつかまとめてみよう。詳細な情報はこの分野の研究者のファイル中にあるので、ここでは技術的特性のみをとり上げる。空軍省にはもっと豊富な情報があるはずである。

UFOの特性

〔色〕

- 1、UFOは深紅からオレンジ、白色に至るさまざまな色の变化を示す。
- 2、色は通常加速、減速時に変わるが、そうでない場合もある。
- 3、下方から見た場合はほとんど赤

かオレンジ色。

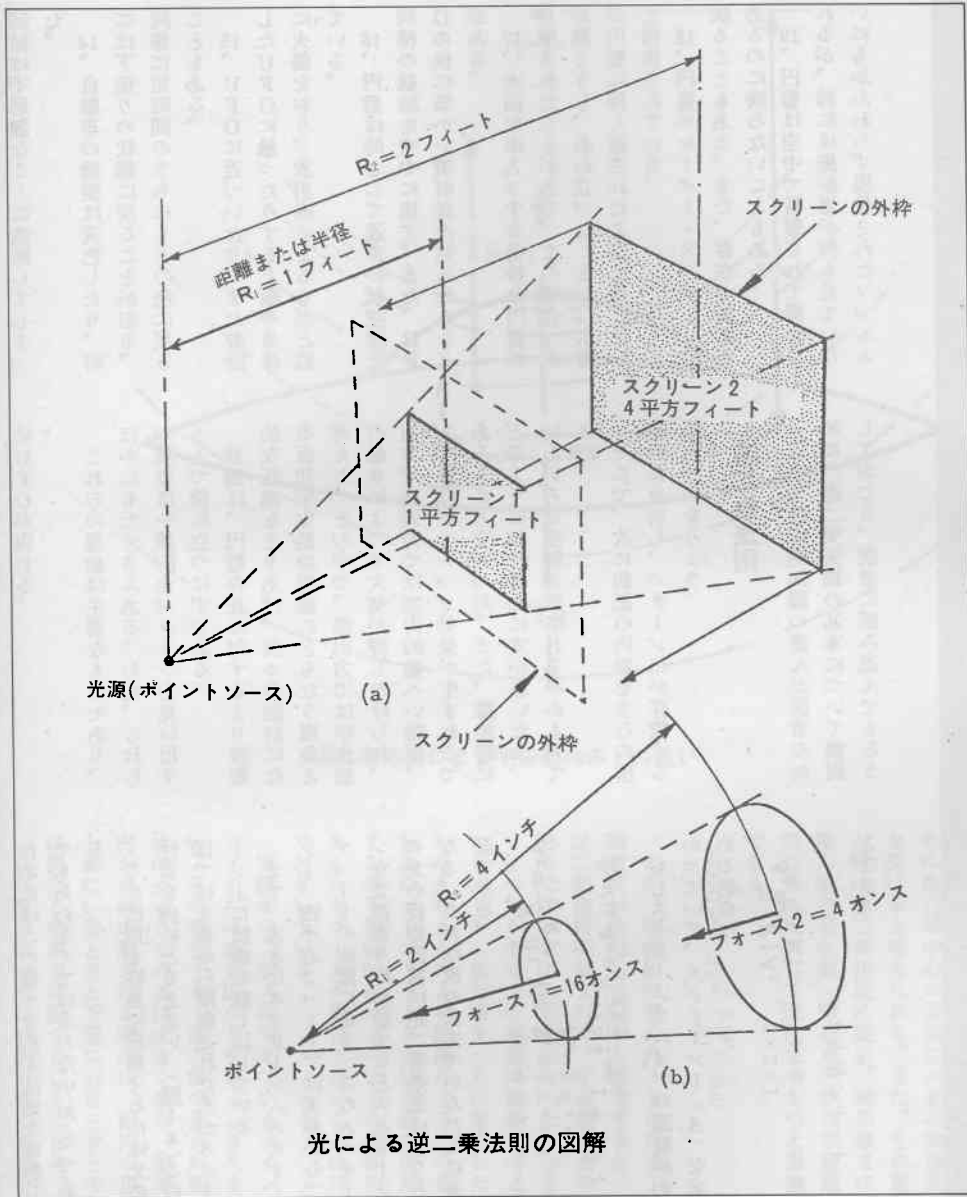
- 4、時として、円盤のUFOの周囲に赤か青味がかつた炎の見られることがある。
- 5、日中、降下したときにはおおむね鈍い灰色に見える。
- 6、離陸時、輪状に輝く蒸気の見えることがある。

〔騒音〕

- 1、ほとんどの場合、円盤は完全に無音である。
- 2、かなり近づいた場合には、モーターのうなり音、蜂の羽音、木が割れたりサーキット・ブレーカーが作動するときのパチパチ音に似た音が聞かれることもある。
- 3、騒音をたてて動き回るときは猛烈である。恐ろしいうなり音、カミナリ的騒音は低空飛行するジェット機よりひどく「白い騒音」として知られている。
- 4、無音の飛行体が何機か編隊を組む時に可聴音を発生するヘテロダイナ効果が生じると考えられる理由がある。

〔運動〕

- 1、降下時には落葉が舞い落ちるような飛び方に見えることがよくある。
- 2、上昇時にも同様の動きをすることがある。
- 3、速度はいろいろで「見たところ流星くらい」とか「ジェット機より速い」とか、また空をはいまわるようだというものもあり、風向きは関係ないように見える。
- 4、円盤は動き出したり消え去る前に一瞬空中に静止するように見えることがある。
- 5、加速、減速は急激で空中で直角にターンしたり瞬時に停止したりする。
- 6、目撃リストの中ではこのほかに「もちょっと不可解だが共通の特徴をもつ円盤がある。それらは空中でぐるぐる旋回したり踊るように動き回ったり、時にはヨーヨーのように動く。」
- 7、中には、空中で巨大な車輪が回転しているように見える奇妙な飛行物体が目撃されたこともある。
- 8、目撃のうち、円盤の一部が高



光による逆二乗法則の図解

速、というよりはさまざまの速度で回転するものが多い。

9、葉巻型 UFO の動きは非常に変わっている。縦になってみたり、形状を変えたり、伸びたり、いくつかの部

分に分かれたり、かと思えば消滅したりまた現れたりもする。

〔付随現象〕

1、自動車の電装部品が UFO の影響を受ける。前照灯が暗くなったり、

円盤が接近すると消えてしまうことがある。UFO が飛び去るとすぐに正常に戻る。バッテリーは時として沸とうし点火プラグが過熱する。

2、接近によりエンジンが止まる。

3、円盤が離陸したあと、地面に掘り起こされたような穴が残される。

4、他方、離陸後の地表に巨大な重量物が置かれたような跡が残っていることもある。

5、近くでイナズマが光った後のような妙な、不快な臭気をとまらうことがある。

6、着地している円盤からは「私を押し返すような」不気味な、目に見えないフィールドが出てくる。

7、動物は恐れ、かなり時間が経過した後でも、その地点から逃げる。

8、離陸した場所には時として高熱、溶解、焼け焦げなどの跡が残る。

9、植物はほとんどの場合、花卉のように外側に押し倒され、時には「回転草刈機をかけた後のように」あるいは「巨大な回転花火」の跡のように痕跡を残している。

10、まるで「気狂いざたのように」一も土が投げとばされていたことが、少なくとも一度はある。

11、飛行中の UFO から時として破片が落とされる。小さな氷片のこともあれば大きな石塊、合金や鉄などであるが、たいていは「エンゼル・ヘア」と呼ばれる奇妙なゼラチン状の物質である。

12、円盤の接近によって鉄分を含む磁性体が磁化されたことがある。

13、円盤が上空を飛ぶとラジオやテレビは乱れる。ある陸軍守備隊の電気

回路は不思議なことに遮断してしまっ
た。

14、自動車の塗装は変色したり、時
には下塗りの状態に戻ることがある。
同様に短時間のうちにもとの色に戻る
こともある。

15、UFOに近づいたり、また着陸
したUFOに触ったりすると顔や身体
に火傷をおう。放射線によるものと似
ている。

16、円盤は時として通常の航空機と
同様の航跡を空中に残す。また、UF
Oの後に短かい噴射炎の見られること
がある。

17、水面を出入りする奇妙な円盤が
目撃されたことがある。この場合「水
が沸とうし、あわ立った」とか「水面
が円盤に押し返されたように見えた」
と報告されている。

18、円盤がレーダー・スクリーンに
映ることもある。また、存在の証拠が
あるのに映らないこともある。

19、円盤は空中で目撃されて撮影さ
れるが、時には撮影者が何も見ていな
いにもかかわらず現像されたフィルム

にUFOが現れる。

これらの現象は主要なものであり、
ほかにもたくさんある。ただ、これら
の現象は一般的なパターンを見い出す
うえで役に立つはずである。

前回は、円盤存在に対するより技術
的な証拠をとりあげ、我々の設計にな
る仮想宇宙船の操縦にともなう現象と
考えた。その中で、低出力では宇宙船
の動きによって大気が押しのけられ、
他方、高出力では空力的遮へい効果、
あるいはクッション効果が生まれるで
あろうことを知った。また、離陸時に
どのようにして地面に穴があいたり、
いろいろな根跡が残されるのかも見て
きた。

そこで、次に前記の内容をさらに技
術的に分析し、パターン化が存続する
かどうかをみよう。

逆二乗法則

ここで技術的知識の進んだ読者のた
めに、逆二乗法則の基本について概説
しておこう。読者に読み進んでもらう

ためにはこの簡単な基本法則を理解し
てもらわなくてはならないからであ
る。

この法則を容易に理解するには光の
性質を例にとるとよい。(図1a)この
図では光源から照射された光がスクリ
ーン上に映像を映し出している。

まず、大きなスクリーン(スクリー
ン1、四平方フィート)は光源から二
フィートの位置にある。このスクリー
ンを光源寄りに移動するとスクリー
ンの光の投影面積は逆二乗効果によりと
なる。これは次の公式でかんたんに表
記できる。

$$A_1 = \frac{R_1^2 A_2}{R_2^2} \quad \text{viz} \quad R_1 = 2 \text{ フィート} \\ R_2 = 1 \text{ フィート} \\ \text{ゆえに } A_2 = \frac{1 \times 1 \times 4}{2 \times 2} = 1 \text{ 平方フット}$$

もしスクリーン2 (A₂) の面積がわ
かっていて、スクリーン1 (A₁) を求
める場合は、

$$A_1 = \frac{R_1^2 A_2}{R_2^2} = \frac{2 \times 2 \times 1}{1 \times 1} \\ = 4 \text{ 平方フット}$$

となる。

これは例として面積と距離の単位を
とり上げたのだが、同じ法則は距離と
力の場合にも当てはまる。

たとえば、図1bは光のかわりに力
の場を用いたものだが、この場合は磁力
でもよいし、静電気、重力でも同じこ
とである。右の公式を当てはめれば任
意の距離における力を算出できる。

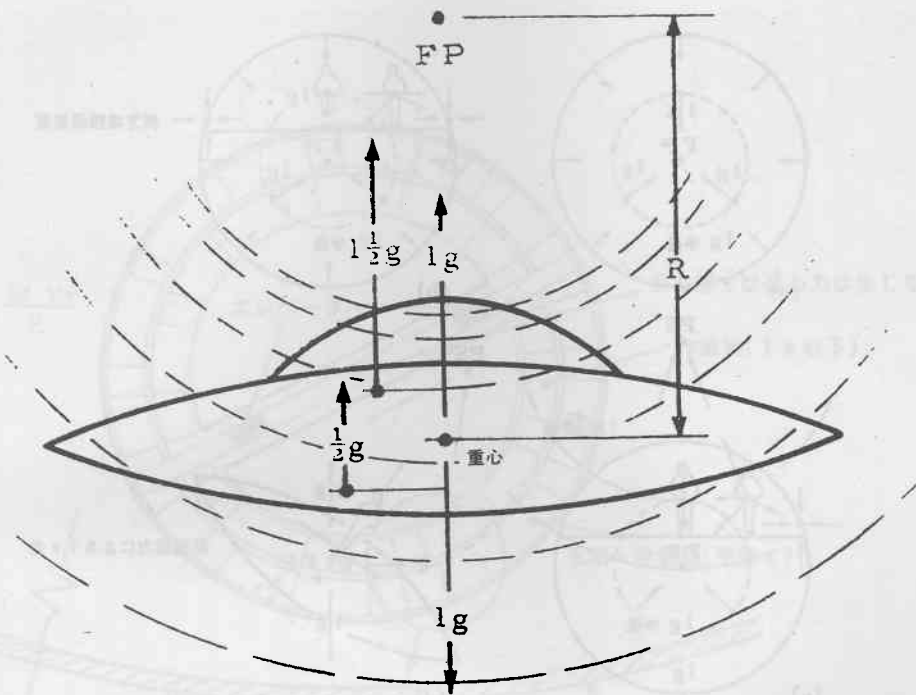
一例として静電気放射を考えてみ
よう。ある物体が静電気放射源から
二インチの距離にあり、十六オンスつ
まり約四百五十三グラムの力で吸引さ
れている場合、距離を二倍の四インチ
とすると、物体にかかる力はどうなる
か。

$$\text{単に公式に面積と力を取り入れて、} \\ F_2 = \frac{R_1^2 F_1}{R_2^2} = \frac{2 \times 2 \times 16}{4 \times 4} \\ = 4 \text{ オンス(} \approx 113 \text{ g)}$$

が得られる。

そこで逆二乗法則をまとめてみると
「距離が二倍になると力は四分の一、
距離が半分になると力は四倍になる」
となる。この公式をこれから宇宙船に
応用していこう。

重力場宇宙船内の乗員保護



逆二乗法則による宇宙船内のgの違い

まず、図2のように浮揚状態にある重力場宇宙船を考えてみよう。

この図でわかるように、重力場の中心点は宇宙船より距離Rだけ上にあり、また、宇宙船は地球の引力に抗するために重力場中心の方向に1gの加速度を受けると考えられる。また、その重力場は逆二乗法則に従い、場の強さは重力場の発生源(中心点)からの距離の二乗に比例して変化するものと推論できる。

前出の公式 $F_2 = \frac{R_1 F_1}{R_2^2}$ から

また、宇宙船の重心に1gの反重力加速度が作用していると仮定すると、逆二乗法則に従うので、宇宙船の他の場所では1gより大きくなったり小さくなったりする。この差は船体とポイントソース(重力場を一点に集中したものと考える)との距離による。今後このポイントソースという語を使用するが、理論的にはこのような意味のポイントソースが存在しないことははっきりしている。

実際には、我々の考えているポイントソースはある広がりをもってよい。その場合でも、重力場の焦点が船体に近いとgの差は大きくなり、船体内を自由に動き回る物体は、船内の頂上部にいるときと下部にいるときとは異なる効果を体験することになる。

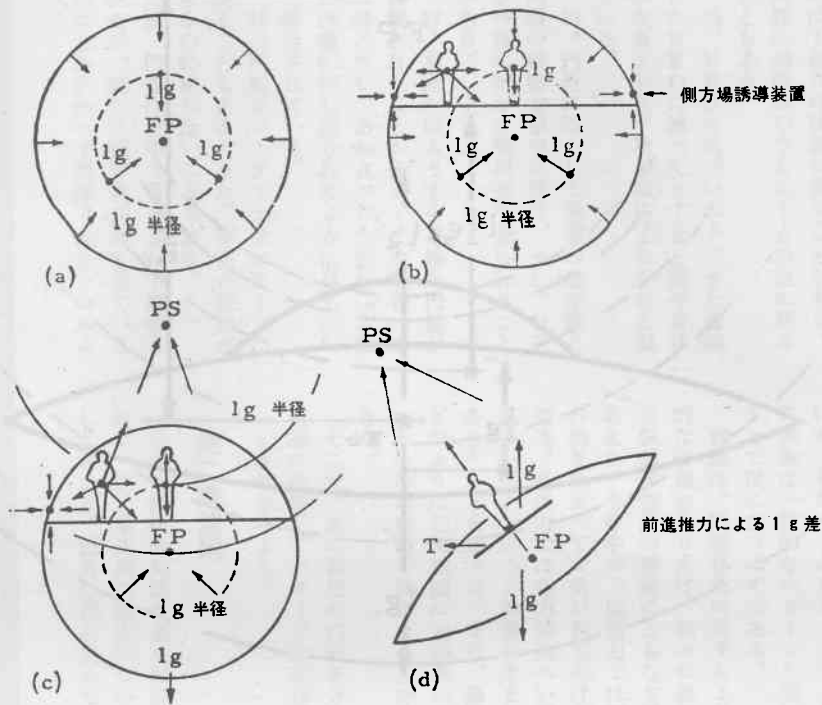
この重力場は地球の重力場に影響を与えないことを思い出してほしい。二

本の棒磁台がその間に置いた鉄片に力を及ぼしている場合の効果に似ている。この場合、どちらの磁石も互いの磁力線を破壊することはない。ロープのかわりに場を使った綱引きである。同様に、船体の底部にある物体は地球の場によって引っぱられているし、またそれに対抗する重力場は同じ物体に対して垂直方向におそらく1/2gだけ働くので、物体の重さは地球上の重さの1/2に相当する。

一方、船体の重心より上の方では物体は垂直方向に1/2gの力をうけ、従って重さはなくなる。というより、逆に1/2gの負重量ないしは反重量をもつことになる。

今、パイロットをこの物体として想定してみよう。浮揚状態を考えると、彼は体重が減少した不慣れな状況におかれる。宇宙船の重心より下にいれば体重の減り方は小さく、上にいけば減り方が大きい。事実、天井まで浮き上がるほど重量の減ることもでてくる。この状態は宇宙船の推力が大きいと一層顕著になる。このことからわかるように、乗員は宇宙船の重心より低い所に居住することになる。そうすれば、仮りに宇宙船が2gをうけると、逆二乗法則によって乗員は地球の環境条件と同じ1gだけをうけることになる。

しかし、これは場の強さがどうであれ、ポイントソースから宇宙船重心ま



第2の場誘導装置によって生じる船体および乗員のg差

での焦点距離が変わらない場合にのみ真実である。逆二乗法則やその他の理由のために焦点距離を固定することは不可能であり、他の解決法を検討しなければならぬ。

これについては「宇宙・引力・空飛ぶ円盤」でもとり上げたが、ここでは更に詳細に扱うことができる。純粹に技術的見地からとり上げようとしている以上、ここでふたたびドイツの盲目の天才を思い浮かべる。そこで、必ずしも適切ではないかもしれないが、以後、私の考える重力場発生機を「パークハルト・ハイム」にならって場誘導装置と呼ぼう。

では、図3を見ながら検討を続けよう。問題をすっきりさせるため球形の宇宙船を想定する。

すでに述べたとおり、ポイントソースは宇宙船の外でも中でもよい。物体の内部に置いた場合はその効果は場の強さに比例してくるので興味ある結果をうるることができる。この場合は宇宙船の中心に第二のポイントソースを置くが船体は全体が同時に動くので移動はしないはずである。図3aに見るように船体内で動き回る物体はすべて第二のポイントソースに直接引きつけられる。しかし間仕切りや床がこのポイントソースからは離れた位置にあるので、船内の物体はこの床にさえぎられるまでポイントソースの中心に向かっ

て、場の力が動体中心に1gの重力加速度を生む。図3bのパイロットがこれに当たる。

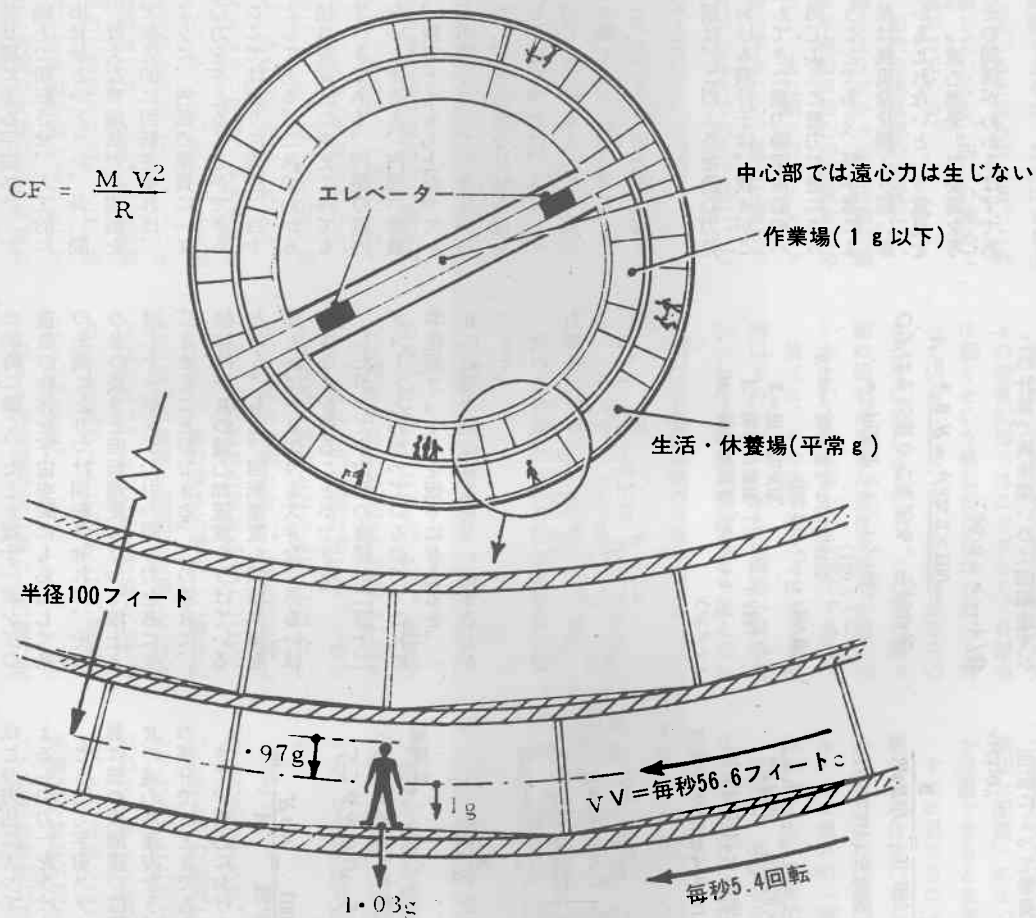
この限りでは、第二のポイントソースは船内のそれもあまり底部に低くない位置に置かれるべきであり、そうしないと乗員室は逆にそれより高い位置に置かれることになる。また、乗員が横方向のgをうけることも明白である。しかし図のように横方向に作用するよう適切に配置された場誘導装置があればいとも容易にこの問題を解決できるだろう。

後段で、第二のポイントソースを置けば同様の結果が得られることがわかるはずだが、今の段階でこの代替案を導入することは推理小説の最後の部分を先に読んでしまうのと同じことになる。賢明な読者はこの理論のこの部分に極めて重要な技術的障害のあることを推察しているだろう。それを調べるためにしばらく先に進むのをやめよう。

後段でとり上げる例題や計算例で見ると、船体の重心と乗員の重心の間にはなんと必要な1gの差を作り出したとしても、非常に大きなパワーが使用された場合には、乗員は頭部と足の間を生ずるgの差に苦しむことになる。

例えば図3cにおいて、計算をするまでもなく明らかのように、乗員の腹部のあたりには1gがかかるが、他方

で、「落ちる」ことになる。こうし



回転する宇宙ステーション内の乗員に作用する遠心力の差。半径が小さくなると差は増大する

彼の足は第二の場誘導装置にずっと近いので数の重力加速度をうけることになり、また頭部は第一の重力場の影響を大きく受ける。

焦点距離や場の力を慎重に選択することによってこの差を大幅に縮めることができるだろうし、あるいは乗員が身体を横たえてgの影響を小さくすることもできようが、あまり実際的ではない。また、横方向の場発生リングを設けて乗組員の動きに合わせて上下させたり、乗員室全体を宇宙船の重心に合わせて調整できるようにすればg荷重を小さくする上で同様の結果が得られよう。読者は代表的なUFO目撃報告の中にこれらの方法を見いだすはずである。

さて、人体に対するgの差の問題はことさらに新しいものではなく、重力場推進機とは関係ないものの宇宙飛行に關係する技術者たちはこれについて以前から知っていた。宇宙での長期間の無重力状態が人体に有害であると考えている科学者のいることはかなりよく知られている。また、何か月も宇宙で過ごした後、宇宙飛行士が地球に戻る、地上の生活に耐えられるよう調節できるとも考えられている。一例をあげると、ジェミニ四号で飛行したエド・ホワイト、ジム・マクディビッドの両飛行士は無重力状態の中にいた結果、骨が若干硬化したと報告されている。

彼らの足は第二の場誘導装置にずっと近いので数の重力加速度をうけることになり、また頭部は第一の重力場の影響を大きく受ける。

焦点距離や場の力を慎重に選択することによってこの差を大幅に縮めることができるだろうし、あるいは乗員が身体を横たえてgの影響を小さくすることもできようが、あまり実際的ではない。また、横方向の場発生リングを設けて乗組員の動きに合わせて上下させたり、乗員室全体を宇宙船の重心に合わせて調整できるようにすればg荷重を小さくする上で同様の結果が得られよう。読者は代表的なUFO目撃報告の中にこれらの方法を見いだすはずである。

さて、人体に対するgの差の問題はことさらに新しいものではなく、重力場推進機とは関係ないものの宇宙飛行に關係する技術者たちはこれについて以前から知っていた。宇宙での長期間の無重力状態が人体に有害であると考えている科学者のいることはかなりよく知られている。また、何か月も宇宙で過ごした後、宇宙飛行士が地球に戻る、地上の生活に耐えられるよう調節できるとも考えられている。一例をあげると、ジェミニ四号で飛行したエド・ホワイト、ジム・マクディビッドの両飛行士は無重力状態の中にいた結果、骨が若干硬化したと報告されている。

このような危険をとり除くため、科学者は無重量状態にある宇宙ステーションを中心軸上で回転させ、人工的に重力を生み出せるかどうか、長い間考えてきた。巨大な車輪状の宇宙船を適切な速度で永久的に回転させれば、**図4**でみるように、内部の乗員に1gに等しい遠心力を与えることができるであろう。ここでは仮りに直径二百十二フィートとしてある。これでわかるように、直径は視覚的に考えてみても極力大きくすべきである。円型の室内に仕切りがないとすると、内部の乗員は床が前方、後方とももち上がっているという感じが強くなってしまいうからである。しかし、各部屋を仕切る壁を設けて、床を平面にすれば、人はいくら傾いた感じをうけるとしても床の傾斜感はとり除くことができる。ただ、転がるような物体は床上を壁際まで「落ちる」だろう。

しかし問題は、このような遠心力発生機の中における飛行士は、我々がこれまで検討してきた重力場宇宙船のパイロットと同じように重力の差にさらされるということであり、科学者によってはこの差は無重量状態より悪い影響を生ずるかもしれないという意見をもっている。「遠心効果」の要素を考えてみればその関係がわかるはずである。

第一に、遠心力は自然に重力場と同一のものを生み出すことのできる力の

一つであらゆる物質の各分子、各原子に同時に働く。たとえば十一ポンドの重量の物体を宇宙空間にもち出して糸の先端にとりつけ回転させれば、その糸の長さと同転速度によって地上と同じ十一ポンドの引張り力を糸に生じさせることができる。この場合に、物体は1gの遠心加速度をうけているという。もし、回転速度が回転半径を変えれば1gよりも大きな、あるいは小さなgを得ることができる。

したがって宇宙船の直径が二百十二フィートとわかっているから、これに半径百フィートを仮りに与えると、1gに必要な回転速度を見い出すことができる。

次の計算式によって遠心加速度と重力場の比較ができるだろう。

$$CF = \frac{MV^2}{R} \text{ または } \frac{WV^2}{gR_{cm}}$$

CF = 物体の重心に働く遠心力

(ポンド)

W = 物体の重量 (ポンド)

V = 物体の速度 (フット/秒)

g = 重力加速度

(32.2フット/秒²/秒)

R_{cm} = 物体重心の回転半径

(100フット)

ω = 角速度 (ラジアン/秒)

CFはまた重さでもある。それゆえ

$$V = \sqrt{gR} = \sqrt{32.2 \times 100} = 56.6 \text{ フット/秒}$$

この計算で興味深いのは回転速度が

比較的遅いということであり、一分間に約五・四回転にすぎない。いいかえ

ると、地上で1gの引力をうける物体はこの方法によって1gの遠心加速による「引力」をうけるのである。

こうして宇宙ステーションの中の乗員は彼の横隔膜の位置で床の方向に1gの遠心加速をうけるが、身体他の部分ではどうであろうか。

さて、重心における角速度は、

$$\omega = \frac{V}{R_{cm}} = \frac{56.6}{100} = 0.566 \text{ ラジアン/秒}$$

いいかえると、いかなる宇宙ステーションにおいても飛行士に働く遠心加速度は、

$$= \frac{\omega^2 R}{g} \text{ である。}$$

身長を六フィートとすると、頭部と足における半径はそれぞれ、

$$R_{ah} = 94 \text{ フット}$$

$$R_{af} = 103 \text{ フット}$$

となる。そこで、この二つの点に働く加速度を計算すると、

$$\text{頭部における加速度 } G_{ah} = \frac{\omega^2 R_{ah}}{g} = \frac{0.566 \times 0.566 \times 94}{32.2} = 0.97g$$

$$\text{足部における加速度 } G_{af} = \frac{\omega^2 R_{af}}{g} = \frac{0.567 \times 0.567 \times 103}{32.2} = 1.03g$$

回転によって乗員に地球重力環境を与える宇宙ステーションの場合、重力場推進の場合とまったく対をなす問題となる。

回転によって乗員に地球重力環境を与える宇宙ステーションの場合、重力場推進の場合とまったく対をなす問題となる。

回転によって乗員に地球重力環境を与える宇宙ステーションの場合、重力場推進の場合とまったく対をなす問題となる。

がでてくる。たとえば、我々の重力場において焦点が比較的近いために人体各部にかかると変化があること、また回転する宇宙ステーションの場合に半径が比較的短かいために生じるgの変化である。解決法の一つは、いずれの場合も半径を長くすることである。

現実的な例が地球の重力場である。人体には感じられないほど均一ではあるが、gの変化は存在しているのである。後に、gの差をとり除くはるかにうまい方法について検討するが、ここではこの問題をおあづけにしても結論的に影響を与えるものではない。そこで、**図3**の球形宇宙船に話を戻そう。

図3cで見ると、1gの第一の重力場ポイントソウスを設定し、これによって飛行条件は確立される。また船体のgの差を減少させるために形状を皿型に戻すこともできる。

船体を傾け、推力を増加すれば飛行姿勢が得られる。性能は場の焦点距離と力次第である。仮りに、飛行状態で第二の場合が1gの差に保持されるならば、乗員は加速感も、動いているという感覚も経験せず、船体の床上に平常姿勢で平常体重をうけ、地球裏面に対する船体の角度とはまったく無関係の状態になるだろう。乗員にとっては動いているのは地球の方で、彼ら自身は静止しているように見えるだろう。

(**図3d**)興味深いことに、円盤に乗ったと自称している人々はこれと同じこ

とを言っている。また、当然ながら、この1gの差はどんな惑星の値にも合うように調整できるが、これはSF小説と一致しているところである。これを更に分析していくと、四つの極めて重要な要素がでてくる。

第一に、船内の乗員室の位置だが、重力場が働くようにキャビンは動力源と一致する宇宙船の重心の位置を占めるであろうし、また第二のポイントソールを必要とするため、重心位置より上にある方が好都合である。私は、こ

れが円盤を近くで目撃した報告者の主張の内容に近いと言いつもりはない。

第二に、円盤に乗ったと主張する人々の証言記録ではことごとく、目撃者は動くという感じがしなかった、と言っていることだ。もしも彼らがうそをつきかねにからだしたら、この種の乗り物に固有の重要な要件を彼らが思いついたというもおかしな話である。

第三に、その数学的天才によって平均以上のレベルにある指導的一科学者がいわゆる反重力装置ととり組んでい

るということである。つまり私はパークハルト・ハイムの業績について言っているのである。彼は「場誘導装置の適切な配置」によって、宇宙船の乗員を保護できると主張している。

すでに見てきたように、私はこの大数学者の仕事に対して僭越なことを言うつもりはないが、「場誘導装置」のかわりに我々の「重力場発生機」と読みかえても、基本的には同じである。

第四に、事実を受けいれるのに想像力をたくましくする必要はないが、も

しエネルギーの焦点を放出して作り出す装置が設計されたとしたら、その装置はほぼ間違いなく円形で、断面は放物線を描いているだろう。

私は事実をムリに当てはめようと考えているわけではなく、当てはまらないときにはまずそれを認める。しかし、重力場宇宙船の基本的条件を分析した段階から、世界の何千という不特定多数の人々が述べた形態、つまり円盤と同じ形状にいき当たったのだ。

空気力学的にみた重力場

円盤の浮力推力場が構造物の境界内に限定されている場合、一般的に言って、船体は大気を動かす原因となる。

もっと正確にいうと、逆二乗法則の効果果によっていかに場が減じられても、場は他のエネルギー同様、宇宙空間に拡がっていく。そこで、次のような記述によって内容を限定しよう。"いかなる効果的範囲においても、宇宙船構造物の境界内に限定される"。この状態で場の力が宇宙船を動かすことになり、もっとも内側の大气がある程度押される。そこで宇宙船は空気力学的な

力をうけることになる。ただ、低速度では列車や自動車程度の問題しか起きない。これは円盤設計者にとって特に大きな不安材料となるものではないが、全体的な釣り合い、安定性に関して我々としては注意を払っていい。

しかし、場の強さが増大した場合にははるかに複雑な問題と直面しなければならぬ。もっとも一般論としての考え方は次のように簡単に言い替えることができる。

図5aは前進方向に傾いた円盤の状態の図解である。垂直方向の浮力要素

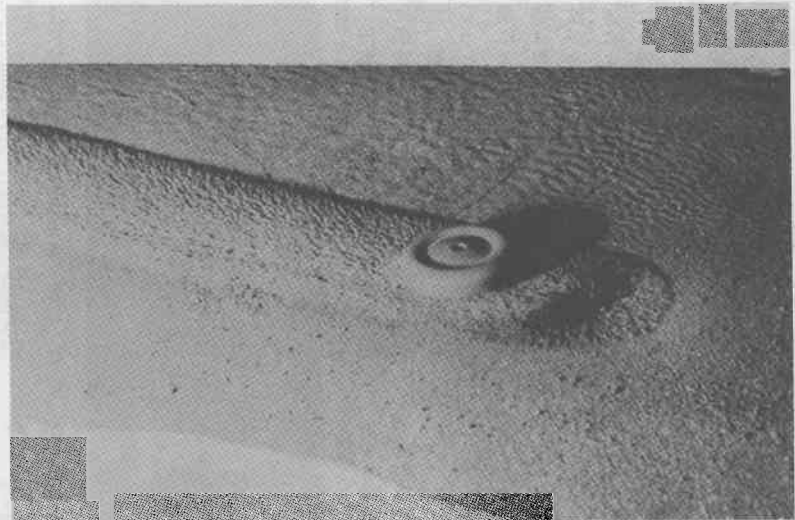
は船体の重量を補償する1gであり、これは水平飛行を保持するものである一方、Vは前進方向の分力成分である。

したがって、重力場の焦点もまたこの分力成分をうけ、これと接する大気分子もその配列に従って同様の影響をうける。これによって空気の"泡"が動くパターンを見ることができ、実際、その速度によって図5bのような水滴状の球体が見えるだろう。場によって大気の密度が部分的に変化するこ

とにより、もし発光するとすれば、屈折率の変化により大気の帯がはつきり認識できるだろう。このような例はしばしば報告されている。

さて、図5cは楕円状に見える円盤の平面図である。ただ、傾斜角度は時として非常に小さいので、今後の図解では楕円で描くよりも真円で描く方が都合がよいだろう。

図6aでは、場の強さ(フォースフィールド)を線円であらわしてある。また、Vは円盤の速度と方向をあらわしている。図6bの半径R上のV₁、V₂等は半径Rに対しての速度をあらわ



●写真1 鉄粉と磁石により重力場推進機と大気の関係を見る

し、宇宙船からある理論的半径をとったときにゼロになる。これはまた、真上に近い位置から見た場合の円盤周囲の大気に対する速度勾配をあらわす。

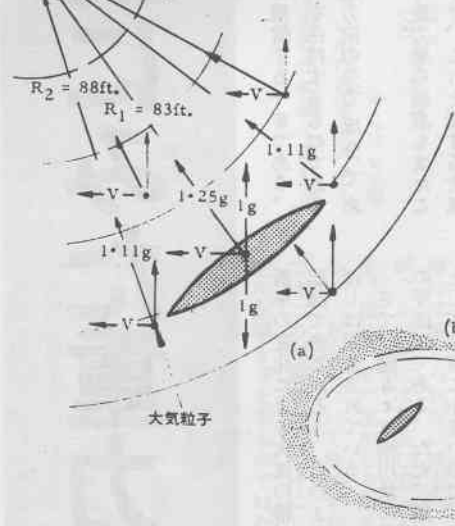
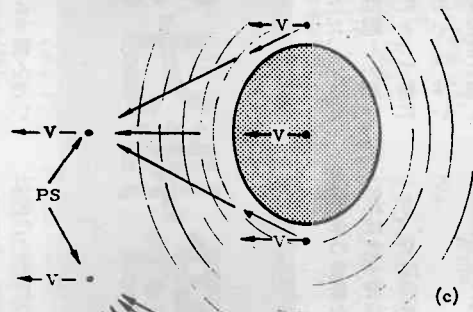
図6eは、これを円盤の垂直方向から見たものである。

これらの図から推測されるのは、宇宙船の直前においては、従来の航空機の翼前端と同じように、形成速度が生じる。(図6d)もちろん航空機の場合

と違い、この範囲は数インチや数フィートではなく、重力場推進機の場合は百フィートないしはそれ以上となる。

(図6e)

周囲をとりまく大気分子はポイントソースとの併進速度となるので、ポイントソースからの距離に比例した強さでソースの方向に加速される。大気の流れは非常に複雑で、この本の目的からは外れるが、一般的にはこの流れ



重力場の移動によって生じる大気の置換現象

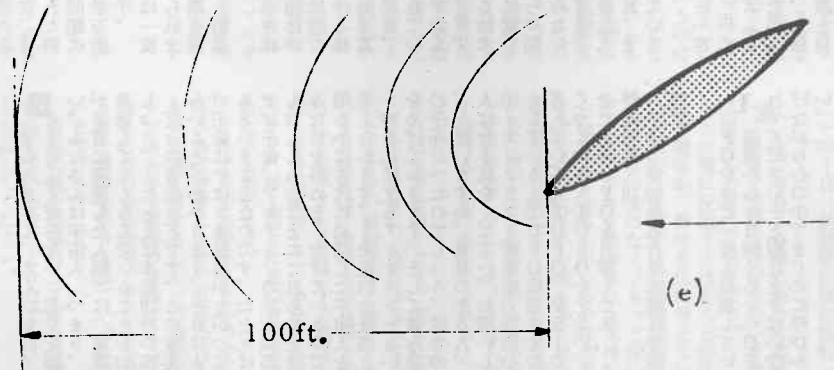
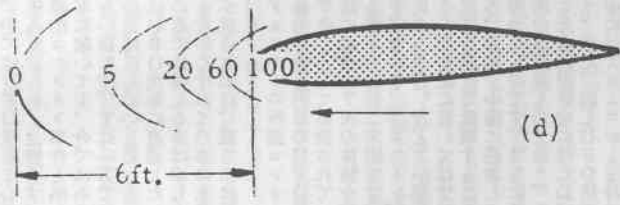
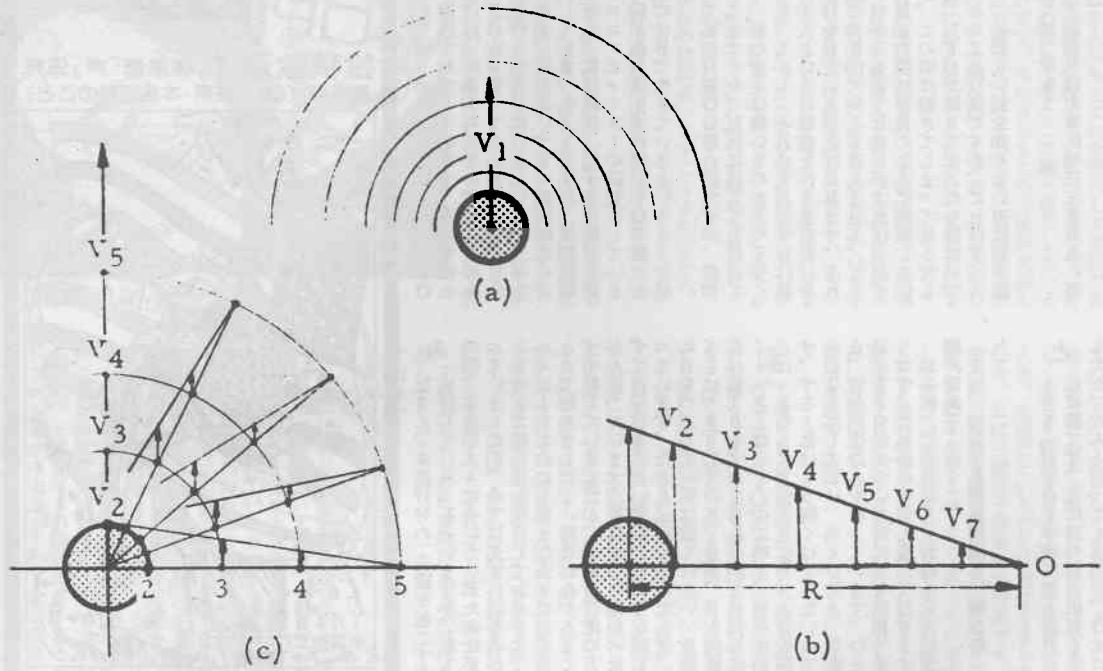
のパターンは写真1のようなものになる。これは、大気かわりに鉄粉を使い、磁石が重力の役目をしている。ポイントソースが鉄粉の大気の中を動く。この類推が可能なのは、磁場が逆二乗法則に従うためである。これを動体で見ると一層はつきりする。

熱と音によるクッション効果は、この例からも視覚的に確認できるが、さらに詳細な調査検討は別の章で行われ

よう。

前の章で述べた空気力学効果としての「落葉」の動きの判断は比較的容易である。UFOのそのような性質が空気力学に起因するとはいきれないが観察した現象が理論を支える限り、順序だてて考え、筋の通る事実を提示していきたい。(「落葉運動」については次号)

藤間弘道訳



重力場推進宇宙船の付近に生じる大気の流れの変化

声

投稿歓迎！ 編集部「声」係宛
匿名可(但し、住所・本名明記のこと)



●版上清久(画) 茨城県土浦市

み

なさん、はじめまして。私は今、UFOの推進法を研究しています。研究を始めたきっかけは一昨年からの昨年の間に五十機余りのUFOを目撃してからのこと、自分も同じ物を作り他の星に行きたいという夢からです。多少、夢を追いすぎて高校時代の青春をこわしてしまっただけですが、後悔は残っていません。私は現在、電子工学院の生徒でマイクコンピュータの研究をしています。時間があつていざすればUFOの研究をやりたいという世界で生きていくという感じがします。

ところで私のUFO目撃の話ですが、最初は悲しいものでした。だれに話しても信じてはくれず、世の中とは狭いものだとつくづく思いました。しかし、それにも負けず私は訴えつづけ十人という目撃者を作りました。今でもUFOを見たと思えば見えます。それが不思議で神秘的で何とも言えません。たしかにUFOが来るような感じがすれば、必ず来ます。最初の頃は毎日のように観測していましたが、この頃は飽きてしまつて見る気もありません。UFOが降りて来るなら話せば何でも。ウソのような話ですが、これはすべて真実です。くわしい話を知りたい方はお手紙ください。

原 潤海(20 学生)
(〒065 北海道札幌市東区地三三東九 高井弥子方)

み

なさん、本誌17号の「奇蹟を起こす方法」を実行していらっしゃいますか。私も初めの頃、宇宙の人々に会いたがためにがんばっていましたが、今では先ず自己をみがくことを考えて暗喩法を実行しております。私はヘルパーをだれにも頼まなかつたので自分ひとりで始めました。一時なかなかうまくゆかず中断していましたが、今は自己流の方法でがんばっています。電灯を思い浮かべたりやずい自分自身に言い聞かせるような感じでやっています。たとえば眠くなつたとき、素直に目をつぶって「私は眠くはない。意識はとも前はより明るくさわやかな気持ちになる……」としばらく心中で唱え、頭の中がスーとはつきりしてきたときにパッと目を開きます。そのようにして私は、あくび防止、居眠り防止、疲労回復などを行つていきます。ひとつ成功すると自信がついて何にでも応用できるようです。これからもがんばって行きます。お手紙、ご意見など、お待ちしております。

関戸理美子(高一)
(〒246 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷町一一五九)

と

とうとう「UFOと宇宙」誌も最近の不況には勝てず、遂に18号から紙質を変えました。なんと本誌は、日本はもとより世界でも最高のUFO専門誌ですから。

「声」欄を読んでいて気づいた事なのですが、読者の中にはUFO現象や「宇宙人」を盲目的に信じ込んでしまつていられる方がいます。が、感心致しません。UFO現象は宗教ではないのです。未知なる現象に対して我々は何とも謙虚に科学的に研究すべきではないかと思ひます。中にはUFO現象を心靈主義へと飛躍させる人もおられ、遺憾です。当初、日本初の本格的コンタクト事件と唱えられた藤原青年に就いても、今ではあまり問題にされてはいない様です。また一方では科学万能主義も願ひにげにしたいと思つています。私自身はUFO現象に遭遇したことは一度もなくその点では確たる事は申し上げられませんが、ともかくすべての事に充分な調査検討、実証が試されねば、残るのは独断と観念だけでしよう。

G・アダムスキーの所謂コンタクト事件は科学派と称せられる内外のUFO研究団体から「インチキ」として黙殺されている状態ですが、本誌には逆にA氏の体験を裏付ける様に思われる種々の傍証(宇宙文字、月面写真の問題、宇宙考古学、コンストーン円盤写真、その他A氏の「予言」など)が掲載されています。こうした傍証に批判することもせず(出来ず?)、誹謗・中傷に終始している始末ですから困つたものです。さらにA氏に就いては国際的な陰謀説も出ており、これらの問題はそれこそ今後の研究に待たねばならないと考えます。また、同じUFO研究をするグループの中にはアダムスキー支持の主要な人物に対する個人攻撃に及ぶ方もおられ、まますUFO研究界の混迷を深めさせている状態です。

小生がはじめて「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」を読んだときは、A氏の「宇宙哲学」の素晴らしさ、ブラザーズ(友星人)の崇高な精神に強く打たれましたが、次の瞬間、自分にはとてもこんな精神、人格は保てないという衝撃がやつてきて感激と自分に対する失望の入り混じつた心理状態となつた記憶があります。皆さんはどうですか?問題はいかにあるべきかではなく、人はいかにしてそうした状態を保つていられるか——と云うことです。話は唐突で申し訳ありませんが、UFO現象、予言、宇宙考古学、聖書などに関心をもたれる方、お手紙をください。

象、予言、宇宙考古学、聖書などに関心をもたれる方、お手紙をください。
なお、小グループによるUFO研究誌(セクト不問)ご送迎観望!
三谷秀一
(〒111 東京都豊島区要町二一四一一三)

読

者のみなさん、こんにちは。今日はほ者の(くだらない)意見を聞いてください。みなさんは宇宙人(つまり、科学や文化が非常に発達した人類)は、後頭部が非常に発達してふくらんで本誌19号の25ページのムーディの著述などです。この事実からおもしろいことがわかります。それは古代エジプトの王像はやはり後頭部がとがって突き出ているということなのです。たとえばメントウホテプ王像、アケナトンの王女頭部など。しかもおもしろいことにこれらの王像その他は、みな目を斜め上に向けているのです。これは明らかに古代に訪問した宇宙人を見ていると考えられます。一決定的な証拠として「アト」神を礼拝するアケナトンという浮き彫りの子孫だつたのでしよう。読者のみなさんはどう思われますか。意見のある人、そして次の人はお手紙をください。お願いします。

①イオンクラフト複素重力機関の実験、研究考えている人②UFO推進法その他について考えている人③UFO、PSIの研究会をつくっている人④UFOをテレパシーでよび寄せた人⑤UFOを目撃した人
野崎雅也(16)
(〒457 愛知県名古屋市中区呼続町四一一二)

UFOをまだ一度も目撃していない人は一週間から十日間くらい「UFOよ、現れてください」と暇なときはいつも空を見上げながら心の中でまじめに呼びかけてください。私はこの方法でUFOを一度見えています。四、五時間前くらいからUFOが現れるような気がして、ずつと胸騒ぎのしどろしどろです。まだ一度しかこれを試していませんが、絶対この方法でUFOは私たちの前に現れてくれるものと確信しています。これか



● 中川真理子 (画) 秋田県秋田市

私も私は友人たちとこれを実行して宇宙の友と心と心の交遊を深めていくつもりです。それが成功したら、またこの欄へ報告したいと思つていました。みなさんもこの方法が成功したら、この欄へどうぞ……。また反論がありましたら、この欄へね。じゃあ、みなさん UFO 研究にがんばってください。私も負けませんよ。

「UFOと宇宙」19号の「宇宙・引力・空飛ぶ円盤」すごく感激しました。今から次号が待ち遠しくて……。これまでに「UFOと宇宙」を通して UFO の友達もできたし、サークルにも入りました。この本を読み始めたおかげで私もずいぶん成長できました。本当にありがとうございます。これからも私たち UFO ファンのためにがんばってください。山西久江

先日、「転生の秘密」という本を読みました。人生は一回のみではない。魂の成長と愛の完成のために……。だそうです。学生の頃、なぜ自分がこの世に生まれてきたのだろう。どうしてここに居るのだろう。なぜこの人が私の母なのだろう……。とか、友

人のこと……様々なことを悩みました。そんなとき、この本を読んでいたら、そんなに悲しく苦しく悲観することなく、自分が選んだ人生、生活だともうぞ……。ことに気がきました。今、私は三歳の子供をもつ母親です。わが子が社会へ目を開き悩める年頃になったとき、この本を読ませようと思つていました。そして自分が年老いても決して人生を捨てることなく魂の生長と愛の完成のために……。次の生涯をよりよく生きるためにも努力していきたいと思つています。

かの光学現象という気がしませんか。写真の下の方にある外燈によるゴーストのように考えられるのですがどうでしょう。色も同じように思われますし、はじめの写真が白色だったというのは露出時間などの関係で色がとんでしまったためと考えられます。そこでトリミングの問題ですが、ゴーストとゴーストをつくる光源とは画面の中心に対して対称の位置にあります。ですから、ここに掲載されている写真がトリミングならであつたら、この光体はゴーストではないこととなります。このように写真のトリミングの有無というのは写真の研究上、とても重要なことですのでなるべくしない方がいいです。それからもう一言、やはり19号の「女海難にサラ状物体飛来」というものですが、こういう連続写真はなるべく全部掲載して欲しいのです。この2枚からだ疑問が生まれてきます。つまり、この物体は二枚の写真におさまる間にはなりの移動、上昇をしています。ということなら撮影者からの物体に対する距離、角度は当然変わつてはいるはずですが、それなのにこの物体をトレーシングペーパーなどで写し取つて比較してみると全く同形なのです。このことに関して読者のみなさんのご意見をうかがいたいと思つています。

ホントにこれからは宇宙人のいいところなんかをとりあげてほしいですよ。ね。では、みなさま、いっっぱいお手紙ちょうだいね！
鷲尾智子 (13)
(〒950-12 新潟県白根市桜町一)

それはともかく、ぼくはすこく腹が立ったことがありません。ぼくのお兄さんに「UFOと宇宙」のことを話したら「なにがUFOだそれにその本に載つていて写真なんてインチキだ」と言うのです。そこでぼくが「インチキじゃないよ。お兄さんよUFOを研究しなよ」と言つたら「お兄さんよ」と言つてくるのです。そこでぼくは心の中で「UFOをバカにするのとどてこまるぞ」と言つてやります。それからUFOに興味のある人はぼくと文通しましょう。

これは大変な誤りです。彼らは決してそんなことはしません。彼らはこう言っています。「光より早い乗物をつくれ、一日も早く」つまり彼らは、地球人が自力で切り抜けるようになつていっているのです。地球人の問題は地球人自身が解決していかなければならないのです。早く誤りに気づき、自力で解決して欲しいと思つています。

この欄に投稿するのはほとんどの人が、円盤問題を趣味か、興味本位で考えています。これは大変なことですよ。円盤問題はそんなに軽々しいものではなく、もっと深い意義があるのです。それを興味本位な気持ちで円盤のことを考えている人がいるのは非常に残念です。その人たちが一刻も早く他の惑星の人々の真意を理解してくれることを願っています。また同じように多くの人たちが近い将来に大変動が起こつたとき、宇宙人が大挙飛来して地球人を助け出してくれると思つていま

「ぼくはUFOに興味がある小学生の「UFOと宇宙ファン」です。小学生の「UFOと宇宙ファン」なんて少ないと思つています。いや、ぼく一人かもしれません(自分の自慢を少しはげかせません)。

「UFOが大々好きみなさま、コニヤニヤチワイ、夜十時になると空を見あげて「円盤を見せてください」ってお祈りしている女のゴです。どうぞごひいきに……(ナンノコッチャ)」「声」を読むの毎回すこおしく楽しみ。「あー、みんな仲間なんだなあー」っていつも思うんです。とこで……。

ここで大変あつかましいですが、貴誌の発展の為に提案します。最近の「UFOと宇宙」大分充実してきました。円盤問題は究極的のアドマスキー哲学の実践による宇宙文明的建設という事なので、そろそろ貴誌もアドマスキー哲学を取り入れていった方がよいと思つています。最後に私と同様G・アドマスキーの哲学を実践している方、どなたでもよいですから私と文通してください。杉本英雄 (14)
(〒432 静岡県浜松市西伊場町七三一〇)

「三原市の驚異コンタクト事件」のナゾの言葉、みなさん、解説にがんばつていようですね。そういうボクタンもそのひとりなんです……。絶対、最後まで飽きられず、がんばらうね！
それから本誌18号の平山クンの意見、ボクタンも同意です。やっぱりボクタンの小学生時代も「宇宙人」っていうと「あーこわいなあー」って思つていましたもん。

「二枚目の写真がないのははっきりと断定はできませんが、おそらく二枚目の方にも同様の光体が位置をかえて写つていたのだと思つています。とすればこの光体は谷中さんが撮影しているときは止まっていた次の撮影の間に動いたという変なことになるようにこの光体をよく見るとどうも物体というより何

「二枚目の写真がないのははっきりと断定はできませんが、おそらく二枚目の方にも同様の光体が位置をかえて写つていたのだと思つています。とすればこの光体は谷中さんが撮影しているときは止まっていた次の撮影の間に動いたという変なことになるようにこの光体をよく見るとどうも物体というより何

タクトした宇宙人の言葉などからです。最近の新聞、テレビなどでは世界各地で起こっている地震、異常気象を伝えています。ぼくが一番恐るゝのは、大異変が起こることではなく、そのことによって世界中が、パニック状態になることなのです。それによって人々は争い合ったり、殺し合ったりしないでしょいか。またスペースブラザーはこのようになとに対してどのような行動を見せるか。せめて「UFOと宇宙」の読者だけは冷静に正しい心を保ってください。

UFOに関してのお手紙を待っています。

秋山弘明(〒182 東京都狛江市和泉一五〇一—四一—二〇一)

あ 本のまえがきについでいたのですが、これを読んでぼくはびっくりしました。こんなにも日本のUFO現象に対する関心が他の国より遅れているのかと……では世界の人々はどのくらいUFOの存在を信じているのか。

アメリカ一般人の二人に一人がUFOの存在を信じ、目撃者は成人人口の十一パーセント。

アルゼンチン大学卒業生層だけの意識調査では六十二パーセントの人が実在を認めたら。

フランス知能指数一四五以上の天才秀才の九十三パーセントがUFO肯定論者というアンケート結果。

そこで、日本では推算だそうですが、なんと全人口の二パーセントだそうです。世界中でこれだけ話題になりながら日本の報道メディアは決してまともに取り扱ってくれない。科学者は頭から「無知な空想の産物」と決めつける始末。その上、UFO研究者の中に「独断的」「排他的」な考えがあり、UFOの存在を考える以前に他の研究者を非難、攻撃する傾向があるが、こんなことではさかすかUFOという未来化学の謎を解明しようとする力も弱くなってしまふ。UFOの存在を真に究明しようとするならば、それが何人によつてなされてもいいはずである。要は謎が解明されればいいのだ。

最後に中岡さんが言っています。

一万件の目撃報告のうち九千九百九十九件が誤認だったとしても文字通り万一残りの一

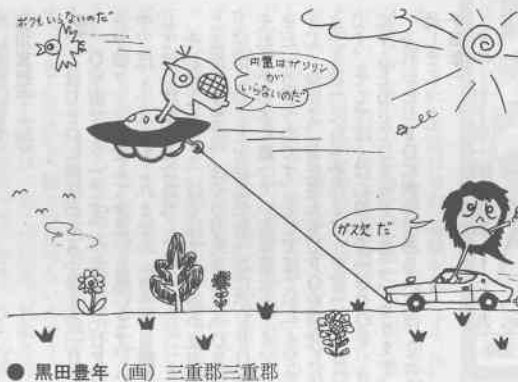
件が真実なら、UFOは存在するのです。百の空論より一つの事実!

東 正順(〒14 鹿兒島県僧於郡)

は じめまして、私は札幌の「タナスト」と称する研究会のサブ・リーダーです。会を結成して一年近くになつてもUFO関係の情報が集まらないのです。そこで、この欄を読んでくれる方々に、UFO写真、心霊写真、体験談などがありましたら会の研究資料として譲って欲しいのです。

小泉雅史

(〒602 北海道札幌市豊平区平岸三条一〇一—八二—111611)



● 黒田豊年(画)三重郡三重郡

中 国の大地震のニュースを聞いて思いだしたのが、19号の磯久美子さんの投書にあった「外側地震帯が伸びていって云々」という箇所。さっそく地図を開いて線を延長してよくと震源地といわれた北京とシエンヤンのほぼ中央に伸びていっているのです。私と兄はゾッとしました。これは本当カナ……などと話していました。読者の方でも気付いた方がおられるとも思いますが、「まさか」と思われ

匿名希望(〒18) (新潟県長岡市)

私 たちは「ブレヤデス」という天文に関し活動している団体です。今度、第二回通信員を募集しています。資格は中・高校生であり、星の好きな人で大阪以外の人だつたらだれでも可。また天文に関する資料、本などがあつたら送ってください。その内容によつていろいろなプレゼント送ります。みなさん協力してください。

大橋政勝

(〒585 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪三四五)

今 度、私たちはUFO研究クラブを作りました。どなたでも結構ですから連絡してください。全国的に活動したいのですが、まだクラブに名前がありません。どなたか考えてください。クラブの研究目的は左記の通りです。

- ① UFO 飛来目的
- ② UFO 飛行原理および飛行方法
- ③ 基地発見法、宇宙人はいるか
- ④ UFO 観測方法
- ⑤ テレパシー

ご意見などがありましたら、私のところへ連絡してください。

鈴木浩和

(〒488 愛知県尾張旭市霞ヶ丘町中二—三—三)

近 郊の方で逆重力機関の試作、研究されている人、また清家新一氏の著書の愛読者の方、円盤模型の共同製作してみませんか。

黒田豊年(〒20)

(〒510-13 三重県三重郡孤野町小島三六一)

U FOの研究をしていられるみなさん。私はUFO研究クラブ(中学生の)にはいつ二年目になります。ウチのUFO研究クラブと比べると、どうしようもないクソなのです。全国のみなさん資料なり助言なり絵でもジョー談でも写真でも、とにかく何でもいからお便りください。

宇仁菅麻里子

(〒575-13 兵庫県小野市天神団地二一九二—二六)

全 国のみなさん、こんにちは。ただ今、超常現象研究会を結成しているのですが、資料不足の為こまっております。UFO以外の心霊、超能力関係でも結構です。提供してください。お願いします。

高橋正明(〒16)

(〒370 群馬県高崎市浜尻町九二二)

紙 面をお借りして一言。円盤をいつも見たいと思つて居る方、あるいは写真撮らんといつもカメラを構えておられる方、空ばっかり見上げていないで、まず自分を見つめてみてください。次はきっと円盤を呼ぶことができると思います。

それにもう一つ、本誌18号の横山信一君へ、本誌16号の16ページの14行目から最後の文を読んでみてください。

匿名希望(東京都文京区)

私 は二カ月前にダイダイ色の円型飛行物体を発見してから、急にこれ等のことに興味をもちました。是非、いろいろ教えてくださいます。できれば福岡の方と文通したいのですが……、よろしく。

伊藤武夫

(〒730 広島県広島市光町一—一—五 第一ちさんマンション九二二)

最 近、高梨純一という人が本を出して「UFO日本侵略」っていうのですが、それによるとアダムスキー写真はすべてウソやトリックだそうで、円盤研究の邪魔とありました。また、あの有名な尾道市の藤松君や豊田市の杉浦氏のアダムスキータイプUFOはまっかなニセ物と断言して、くわしくその内容があげられてあります。これは大変ショックなことですよ。なぜなら日本の大多数の人々はアダムスキーを信じ切つて居るからなのです。これを全くくつがえす人がいたとは驚きですよ。念のため有名な日本のUFO団体に手紙を出しましたが、やはり日本のアダムスキーUFOはトリックだと言っています。さあ、どうすればいいんでしょう。

櫻子正治(大阪府寝屋川市)

は じめまして、私は17号の譲ってくださいのコーナーに載つた者です。先日、茨城



● 生駒 敬 (画) 京都府京都市

県のアマチュア天文家・ISHIYAMAさんから本誌No.11が届きました(無料)。その中には数多くの資料も入って居り、たいへん為になるものばかりで、暇さえあれば本にかじりついている有様です。ISHIYAMAさんにお礼のお便りを出したいのですが、住所もわからず連絡の仕様が有りません。ですからこの誌上をおかりしてお礼を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございます。

読 者の皆様、はじめまして、私はUFOを研究している女の子です。地球は今や絶対に他星人の力を借りなければだめだと思っております。そこで私は毎夜、空を眺めカメラと望遠鏡をもって研究しているのです。そして、その人々に会ったら一通の手紙を渡すのです。その内容は、地球危機を救ってください、ということなのです。そのため私は彼などと交信しなければなりません。そこで私はUFO探知機を買おうと決心しました。現在必死に貯金をためています。みなさん、どうかこの私の涙ぐましい努力を、結果はどうあれ理解してください。では、さようなら

私 は先頃、心を痛めた事件がありました。事件といっても単なる手紙を出したにすぎないのですが……。私はごく最近UFOに興味をもちました。そして「UFOと宇宙」を読んで、いろいろ人に交遊を深めたいというところで、S君という人に手紙を送りました。だが、一週間……二週間と月日がたつにつれて期待と共に不安が深まる一方。一カ月になっても何の音沙汰もないのです。これだまされたことに気づき、くやしく思う。多少のごまかしも手紙には書いて、それが、それにしてもくやし……。そのS君がどうして手紙をくれなかったのかはわからない。深い訳があったのかもしれない。私はS君をこれ以上せめる気にはなれない。なぜなら、このように責められた人の心というのは反抗的になり、極端にかわいそうになるからである。そのようなことを知って書く私もバカである。S君、もう一度楽しくやってみないか! やなら仕方ないが……、手紙を待つ。菅原 修(14)

- (1010) 秋田県秋田市川元つみ町二二三九
- どものところではUFOや超常現象を研究する日本超宇宙通信協会という会を作りました。UFOとの交信やESP練習などを行う予定で、ESP能力者やテレパシーコンタクトライターも入会しております。機関誌もいろいろ出しておきます。
- 入会される方は左記の所に連絡してください。
- 秋山真人
(1226) 静岡県藤枝市瀬古四四八一八 電054631331332
- 宇 宙の法則に従って新しい地球を建設するために真の人類の有り方を追求している人はご連絡ください。
- 藤木文彦
(1141) 東京都品川区西品川一五五八 電03149210374

ほ くがはじめて「UFOと宇宙」を知ったのは友だちからです。まだテレビなども紹介されていないのも書いてあるので大変よかったです。「声」のところを読むのが好きです。道を歩いているときも上を見るようにしています。「UFOと宇宙」に出ているUFO写真を見ていつも思います。そして、ほくも昼ヘッキリ円盤と確信できるやつを見たいと思います。それはだれもかれも思っていることだと思います。ほくも一年くらい前の夜、お父さんたちと見ました。ぜったいおじいさんになるまでには一度よく見たい。何かUFOのことであつたら、だれか電話か手紙をください。ではさようなら。

数 年前の万国びつくりショー(年がわかりませんが)にも出演したことのあるフィリップの心霊手術者アントニオ・アグバウツ氏の所在地をおしえてください。また、彼に関する記事などもでも結構です。送ってください。宜しくお願いします。伊藤順一 (1987-25 宮城県栗原郡花山村座主)

- どうもすみません。UFO研究会は解散いたしました。でもコピーなどあまっていますので、欲しかったらどうぞ。もしなくなったら、ぼくが書いて送ります。また500円送って何もこないときには、ぼくに連絡してください。質問もどうぞ。
- 木村 務
(509) 51 岐阜県土岐市泉町大和町
- UFOや心霊の研究をやっている静岡県渡辺章君(静岡県富士見台二一三三三五一五)ぼくもUFOや心霊の研究をしています。だからぼくを研究会に入れてください。ヨロシク!
- 青木一美(15)
- (1223) 東京都足立区江地四二二二二四一四〇六
- 男 の方、文通しましょう! UFOに興味のある方だけ。苗字が兜とか、名前が甲

兄どちらかに同じ名前が当てはまる方、メガネをかけていない人ね! なるべく15~18歳くらいまで……。私は14歳よ!

吉田理香子
(1047) 北海道小樽市石山町八一三

ほ くは現在、不意ながら予備校にかよっている浪人です。本当ならば、今頃UFOなどに興味を示している場合ではないかもしれませんが、以前から神秘的なもの不思議なもの大好きで、よくカメラをぶらさげては、あちらこちらに旅行して歩きました。しかし運が悪いのか、修行がたりないのか、一度もUFOを見たことがありません。それにほくはどちらかというUFOより古代史の方が得意(?)なんです。特にエジプトやメキシコなどにあるピラミッドなどの遺跡、ナスカなどにある地上絵など、失われた歴史というか、ミッシングタイムというか、そういうものを調べるのが好きなのです。そこで皆さん、こんなほくにいろいろな意見を聞かせてくれませんか。またできれば直接会って話し合える女性の方がいらしたら是非連絡ください。よろしく。

富田浩平(18)

(1272) 01 千葉市川市行徳駅前四一七ニユー行徳一六〇二 電04731581740

- 本 誌17号の「奇蹟を起こす方法」の自己暗示法あるいはS Iとコンタクトを実践してみて良い結果が出た人、お手紙ください。下柳田伸二
(1281) 04 鹿児島県指宿市十二町三三五二
- 本 誌18号のこの欄にアダムスキー氏が金星人から送られたといわれる金星文字を記入したネガフィルムの詳細を知りたいとの声がありました。最近、兵庫県の子供がこれの解説に成功された様です。ベン・デン・パーグ氏が「七歳の子供でも思いつく」というような素人受けする様な発言をされたので一時は私の様な悪意の人間でも解説可能かと思つたのですが……。
- UFO関係の著者たちは自説こそ真実と主



● 沢田裕一(画) 福岡県福岡市

張し、異説はすべて否定している場合が多い様です。私共が知りたいのは真実であって著者の誤認、誤解、私断、偏見に基づいた理論ではありません。
今日、UFO否定論はUFOの目撃やコンタクト例をすべて真実と思う善良な人々や冷静さを失った熱狂的なUFOファンに安全ブレーキをかける意味が必要だと思います。いづか否定論は消滅すると思いますが……。
最後に恐縮ですが、三十歳近くになって一人で居るのはノーマルな状態ではないと思えますので、この辺でそろそろと考えています。生活安定のための「出生」と「ゼニもうけ」だけでなく奉仕とUFO、超能力を共に学んで行くこうとする方、お手紙ください。
星野佳正
(〒070 北海道旭川市大町二一四)

勝俣佳秀
(〒189 東京都東村山市秋山町三三三二一)
G・アダムスキーの素晴らしい事に感動している私です。女性の方、交通しませんか。
藤井 洋
(〒112 東京都文京区小石川四一〇一三 天野方)
初めまして。私はUFOの存在を信じている大学生であります。
さて、現在の日本には多数のUFOが飛来していますが、それにもかからず私の家族はUFOの存在を頭から否定し、UFOを全く無視するのです。このように最初から否定していたのでは……。やはり、何事も先入観や偏見のない純粋な気持ちで対処しなければならぬと思います。
将来、宇宙人が我々の前に現れれば、UFO否定論者にもわかってもらえる日がくるでしょう。今は、その日がくるのをじっと待つだけです。
最後にUFOに興味のある女性の方、文通してください。UFOについて意見を交換し合いたいです。
橋本新二郎(19)
(〒103 東京都中央区日本橋浜町二一五一)
こ んにちはノ 本誌7号から愛読している 高1の女子です。
13号の本田知恵子嬢に誌上を借りてお礼を言いたいです。私は13号に載っていたポランドの方と現在文通させていたいただいておりました。先日本誌を彼に送り、その礼状が届きました。それには、「日本語は読めないけど、とても興味がある日本のUFOファンは幸福だ」とありました。「UFOと宇宙」の英文誌ができた、どんなによいでしょう、私が彼と知り合えたのも本田さんのおかげです。そして本誌のおかげです。これからはもっと張って私たちにいろいろなUFO情報を与えてください。
匿名希望
(〒41-13 愛知県新城市大海字南田四四一)

こ の「声」の欄を読むといつも自分の考えが間違っていることや、今まで考えてもみなかったことなどがあり、ただただ驚かされておる次第です。そんなわけで「声」を読むのが大変まちまちです。ところで話は変わりますが、みなさんの「宇宙・UFO・パルミューダなどの怪現象・アトランティスなどの古代大陸」などのどれでもいいですが、それに対する考え、意見をお聞かせください。もちろん手紙かハガキで私宛に……。お便りをくださった方には、その意見などに対しての賛否などには必ず返事を出します。対しての方手紙がくることを心待ちにしています。一ちょっと図々しいかなーそれではいつの日かUFOを研究している人たちの努力がむくわれるのを夢みて……。
GOOD-BY!
升沢優子
(〒034 青森県十和田市西六番町三二二五)
私 は本誌創刊号よりの愛読者です。17号の「奇蹟を起こす方法」を読んで、以前から興味があったことも手伝って是非マスターしたいと思っていますが、肝心のヘルパーになってくれる人が見つからず困っています。「UFOと宇宙」の読者の皆さん、私と同じまたはヘルパーになってくれる人(近くの)ハガキをください。
杉本欣春
(〒250 神奈川県小田原市栄町二一四一)

岸本久行(16)
(〒291-11 千葉県君津市大和田三三三)
物理研究クラブ(物理学にこだわらない)「第二次オリンピックアカデミー」を結成しようと思います。このクラブの名前は、アインシュタインが青年時代に親友らと作った会の名からとりました。心優しい会員を募集します。くわしくは50円切手同封の上、連絡を。
尾島清志
(〒123 東京都足立区鹿浜四一〇一四)
石 川県金沢市周辺の方でUFOに興味をお持ちの方、ご連絡ください。当UFO探険隊は現在、隊員十名です。発足して間もないのですが、探知機も用意してあります。是非ご連絡してください。
高橋 淳
(〒921 石川県石川郡野々市町扇ヶ丘 伏見寮一〇一五一)
U FO、超能力などに興味のある中学生諸君! 今からでも遅くはない我が研究会に入って一緒に研究しよう。入会希望者は往復ハガキでお願いします。電話でもOK! 松崎充良
(〒563 大阪府池田市井口堂二二一三二 電0727-6116086)
U FO・ESP・STRの研究会、名づけて「GメンS.T.A.R.T.U.S」。入会したい人は50円切手同封の上、左記へ。中学二、三年生の人を希望。
川口幸治
(〒071-14 兵庫県姫路市勝原区宮田七三九)
円 盤探索研究会を結成しました。全国的な研究をしたいため全員を募集します。
〈条件〉 中学二年生以下(小学生可) 性別不問 死にもぐるに観測している方、会費は未定ですが、小中学生の会なので最小限度にします(ご安心を)。会の目的は「世界の人々に真実を知ってもらう」往復ハガキにてTEL明記の上、「入会希望」と書いてください。全国のみなさん、お手紙を待っています。



★譲ります

◎UFOの謎 880円 「空飛ぶ円盤とアダムスキー」 950円 「空飛ぶ円盤と宇宙人」 950円 「空飛ぶ円盤を追って」 880円 「空飛ぶ円盤の真相」 880円 「ノストラダムスの大予言」 950円 「生活の恐怖」 (これは公書の本) 600円 「灼熱の水惑星」 900円 「梅本と日本丸」 550円 「編纂の謎」 900円以上7100円を5000円で購入して下さい。(新品です。または本誌創刊号No.8までと交換して下さい。(バラで交換も可)。それに本誌No.9、14の以上1870円を2000円で譲ります。往復ハガキで連絡下さい。返事を必ず全員に出します。

三浦由紀夫 (〒281 千葉県千葉市浪花町九二二) ◎本誌創刊号No.9まで(ただしNo.2を除く)。本誌別冊「UFO写真集①」「空飛ぶ円盤と宇宙人」黒沼健著「空飛ぶ円盤は実在する」エム・ミシエル著「空飛ぶ円盤ミステリー」グレイ・パーカー著「アポロと空飛ぶ円盤」平野威馬雄・荒井欣一著「空飛ぶ円盤の跳梁」空飛ぶ円盤実在の証拠「空飛ぶ円盤のなぞ」南山宏著「ヒューマノイド空飛ぶ円盤だ」(それでも円盤は飛ぶ)「円盤についてのマジメな話」「宇宙人についてのマジメな話」以上6冊平野威馬雄著...これらの本をすべてまとめて2万円で購入します。ただし手渡しできる人、またはハガキで連絡を。
石井正巳 (〒237 神奈川県横浜須賀野追浜町一三三) ◎本誌創刊号No.15までをセットで(全く良品)1万円。送料500円で...分売不可。申込みはまずハガキでどうぞ...
井上 昇 (〒187 東京都小平市学園東町五七) ◎「世界の奇談」(衝撃のUFO)「聖書とUFO」「続・私は宇宙人を見た」(ピラミッドの謎)「狐狸さんの秘密」を各1000円(送料当方負担)で譲ります。また本誌創刊号No.10とこの6冊と交換して下さい。ご希望の方は大歓迎いたします。連絡は往復ハガキでお願いします。それからUFOを写した方、簡単なデータや付記してタダで譲って下さい。(トリック平山秀也 (039-31 青森県上北郡野辺地町枇杷野三三二七) ◎「空飛ぶ円盤を追って」矢追純一 880円「キリスト宇宙人説」山本佳人 950円「宇宙人謎の遺産」五島勉 600円「アポロと空飛ぶ円盤」平野威馬雄・荒井欣一 800円「空飛ぶ円盤大図説」G・アダムスキー 900円「これが空飛ぶ円盤だ」平野威馬雄 900円。これらの本を希望する値段を書いて往復ハガキで(バラも可)。
青木宏文 (〒124 東京都葛飾区新小岩四六五) ◎本誌創刊号No.8まであります。価格は相談の上で...。気長に待ちます。また「宇宙人の挑戦」(44次元への挑戦)「六次への挑戦」(大陸書房)を各4000円で譲ります。
浜野哲美 (〒272 千葉県市川市真間四一四一二渡辺方) ◎早川文庫(SF)多数あり、1冊につき半額。手紙をくだされば目録を送る(但し、返信用切手同封のこと)。
西瀧利明 (〒959-22 新潟県北蒲原郡安田町赤坂) ◎本誌愛読のみなさん、心霊写真(白黒)を50円

で譲ります。解説付ですが、何人でもOK。また一人何枚でもOKです。多少値引きします。
北出哲朗 (〒731 広島県市清水二二〇一三三三) ◎HALINA VAKIANT 126 (ハカホンカメラ) 定価4000円を5000円。顕微鏡(100×200×300×500×) 定価3000円を5000円。N社パナソニックラジオR-1139 中波専門、定価6000円を2000円で譲ります。また、「大予言の秘密」「人間滅亡の記録」「須弥山と極楽」「小学館の学習図鑑(8冊)」を適価で譲ります。他に不用な本もありませんのでご連絡下さい。
内藤武夫 (〒344 埼玉県春日部市上野田四九三一八) ◎ビクセンプラネット(6センチ屈折、上下微動ハンドル付)を10000円、20000円くらいで...。
川村裕志 (〒939-22 青森県八戸市大字市川町字尻引四二 電01785215160) ◎本誌No.9、11、15までの6冊を8000円でお譲りします(バラ不可)。またスリーブ製のものも譲ります(付属品付)。その他にもUFO関係の本が多数あります。また前記の本誌6冊を買ってくれた方にはUFO関係の本を差し上げます。まずはハガキで連絡を。
小野寺典之 (〒988-01 宮城県仙台市松崎片浜二二〇) ◎本誌創刊号No.15(良品)まで共8000円(当方)に直接受けとりに来られる方は6500円(送料)で譲ります。分売早勝。往復ハガキでお願いします(価格相談可)。
加藤哲雄 (〒182 東京都狛江市和泉二四二二) ◎本誌創刊号No.8をお譲りします。ただしNo.2の表紙に多少キズあり。連絡は往復ハガキで。
渡辺俊行 (〒424 静岡県清水市八千代町七七八四楽荘二〇) ◎平井和正のSF小説「アダム・ウルフガイインリ」(4) (5) 祥伝社「悪夢のかたち」早川文庫の以上3冊を適価で。高価優先。連絡はハガキで。
酒井 誠 (〒274 千葉県船橋市習志野台四一五一一三) ◎双眼鏡(30×50) ケース付を共10000円、15000円で...。それにボケットカメラを共5000円です。
坂本 栄 (〒380-42 茨城県筑波郡筑波町神郡九二二) ◎清家新一著「空飛ぶ円盤製作法」大陸書房を送料別10000円前後です。高木彬光著「ノストラダムスの大予言の秘密」文庫新書を6000円前後で譲ります。往復ハガキで連絡して下さい(希望値段を書いて)。また「未確認飛行物体3号」1月刊ユー・ホロ

ジスト)「宇宙艇」「空飛ぶ円盤研究」、その他各研究会の機関誌をどんどん購入します。連絡を待ちます。
野崎雅敏 (〒457 愛知県名古屋南区呼続町四一〇四) ◎アポロ11号の月面着陸の模様を2時間録音してあります。希望者に録音してあげます。詳しくは往復ハガキで...。
柴田信男 (〒183 東京都府中市白糸台一六二二四) ◎SEDCIボケットカメラ110(定価5500円)とサクラ・カラーフィルム(20枚どり2本)を合わせて5000円で...。カメラだけなら4000円で譲ります。また、本誌No.10、12まで各7000円でお譲りします。連絡は往復ハガキでお願いします。
平岩俊基 (〒444-01 愛知県額田郡幸田町大字坂崎部後二八) ◎本誌No.7、10、12を無料(送料も当方負担)で差し上げます。ご希望の方はご連絡ください(早い者勝ちです)。
伊藤久雄 (〒140 東京都品川区西大井二一八一) ◎「謎のバーニエラ三角海城」謎の円盤、UFO「など」についての科学者、目撃者の声が多数録音されているテープ(60分)を15000円で売りたいと思います。欲しい方は左記のところまで現金書留にてお送り下さい。お願いします。
塩津英治 (〒482 愛知県岩倉市西市町市一九電0587-166-13936) ◎本誌No.4、11まであります。適価で譲りますので欲しい方は連絡を。
秦野明美 (〒124 東京都葛飾区立石一一二二二) ◎UFO、心霊、カメラ、カセットテープ、望遠鏡などを、まだまだいっぱいあります。安くします。ハガキをくだされば目録を急送します。安くします。ハガキをくだされば目録を急送します。
田原宏之 (〒231 千葉県千葉市検見川町三一八九三) ◎電話級アマチュア無線技士通信講座7500円を共15000円で譲ります。
渡辺剛章 (〒557 大阪府大阪市西成区太子二一三一九 富美家方) ◎催眠術セット一式7000円を5000円で譲ります。また超能力の本が多数あるので譲ります。ハガキをくだされば...。
高塚達也 (〒204 岩手県北上市上野町一一三二六) ◎本誌No.9、12を譲ります。5000円くらいでまとめて買ってくれる人。切り抜き、落書きなし、ほぼ新品。送料別です。



篠原朋弘 (〒191-02 愛媛県松山市平井町三九一八)
 ◎本誌No.2、14を8000円で譲ります。汚れ、破れ、切り抜きなどは一切ありません。欲しい方は往復ハガキで連絡してください。ただし、送料別。
 丹後研一 (〒351 新潟県新潟市関屋大川前一八六山高アパート)
 ◎本誌No.12、15(良品)を10000、15000円で。なるべく手渡せる人。
 清水保子 (〒114 東京都北区田端町五五)
 ◎手持ち撮影が楽にしかも確実に行うことができるニコン・ビストルクリップ2型をレンズ付で5500円で譲ります。(送料当方負担)。ただしニコンカメラ専用です。連絡は封書でお願いします。
 田淵 裕 (〒720-16 広島県神石郡三和町時安)
 ◎本誌No.3、8、9、10をそれぞれ送料共8000円、5000円で譲ります。また本誌別冊「UFO写真集①」を送料共30000円以上で譲ります。連絡は必ず往復ハガキをお願いします。
 沖 成人 (〒630 奈良県奈良市藤原町一九三一)
 ◎ピクセン8センチ屈折赤道儀ボラリス3型(新品同様)を40000円で。また同T.S.P型との交換も可。ピクセン8×16×50ズーム双眼鏡(新品)

●阪上清久(画)茨城県土浦市

植杉清史 (〒538 大阪府大阪市城東区蒲生町四二二八小松方)
 ◎小説多数。市価の半値以下(送料別)で譲ります。◎七人の子言者「星への帰還」などがある。往復ハガキで連絡下さい。
 尾身靖宏 (〒315-05 三重県伊勢市東大庭町七四七)
 ◎本誌No.5、16まであります。No.5、6を各1000円。No.7、10まで各800円。No.11、16を各500円で譲りたいと思います。
 谷口洋輔 (〒670 兵庫県姫路市総社本町六八南門)
 ◎本誌No.12、15(良品)を10000、15000円で。なるべく手渡せる人。
 清水保子 (〒114 東京都北区田端町五五)
 ◎手持ち撮影が楽にしかも確実に行うことができるニコン・ビストルクリップ2型をレンズ付で5500円で譲ります。(送料当方負担)。ただしニコンカメラ専用です。連絡は封書でお願いします。
 田淵 裕 (〒720-16 広島県神石郡三和町時安)
 ◎本誌No.3、8、9、10をそれぞれ送料共8000円、5000円で譲ります。また本誌別冊「UFO写真集①」を送料共30000円以上で譲ります。連絡は必ず往復ハガキをお願いします。
 沖 成人 (〒630 奈良県奈良市藤原町一九三一)
 ◎ピクセン8センチ屈折赤道儀ボラリス3型(新品同様)を40000円で。また同T.S.P型との交換も可。ピクセン8×16×50ズーム双眼鏡(新品)

を190000円で。10×50双眼鏡を70000、80000円で。カーボン4センチ屈折を23000円で。取りかえる方を優先し。
 箕輪 透 (〒344 埼玉県春日部市八三三五 電0487752-3418)
 ◎ピクセン屈折式カメラを220000円(半共)です。またピクセン顕微鏡600にスライドラスを付けて60000円で。なるべくお近の方をお願いします。
 米沢正巳 (〒300 埼玉県熊谷市石原二一六四)
 ◎本誌別冊No.11まで美本。インダー付送料別5500円程度で譲ります。詳細は往復ハガキで。
 寺久保義男 (〒303 埼玉県浦和市東一七二二〇)
 ◎ミザール60ミリ、アルコア型(新品)を230000円でお願ひ願ひ。
 土方邦夫 (〒121 東京都足立区竹ノ塚二一一一六四〇八)
 ◎一空飛ぶ円盤「死後の世界」超能力奇術の本あり、ハガキをください。目録を送ります。
 福田善文 (〒391-16 茨城県笠間市下市毛五五四)
 ◎VANのダットフルコート(ヘーシージュ、サイズ170-87-75)と白の手編タートルネックのセーターを2万円でお譲りします。ともに新品同様。フルートを1万円です。またハガキを。
 野中太加志 (〒831-01 大分県杵築市守江)
 ◎本誌別冊No.6を定価+送料で譲ります。1冊でも可。表紙に少シキズあり。
 後藤 隆 (〒131 東京都墨田区文花三三一一)
 ◎本誌別冊No.1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000、1001、1002、1003、1004、1005、1006、1007、1008、1009、1010、1011、1012、1013、1014、1015、1016、1017、1018、1019、1020、1021、1022、1023、1024、1025、1026、1027、1028、1029、1030、1031、1032、1033、1034、1035、1036、1037、1038、1039、1040、1041、1042、1043、1044、1045、1046、1047、1048、1049、1050、1051、1052、1053、1054、1055、1056、1057、1058、1059、1060、1061、1062、1063、1064、1065、1066、1067、1068、1069、1070、1071、1072、1073、1074、1075、1076、1077、1078、1079、1080、1081、1082、1083、1084、1085、1086、1087、1088、1089、1090、1091、1092、1093、1094、1095、1096、1097、1098、1099、1100、1101、1102、1103、1104、1105、1106、1107、1108、1109、1110、1111、1112、1113、1114、1115、1116、1117、1118、1119、1120、1121、1122、1123、1124、1125、1126、1127、1128、1129、1130、1131、1132、1133、1134、1135、1136、1137、1138、1139、1140、1141、1142、1143、1144、1145、1146、1147、1148、1149、1150、1151、1152、1153、1154、1155、1156、1157、1158、1159、1160、1161、1162、1163、1164、1165、1166、1167、1168、1169、1170、1171、1172、1173、1174、1175、1176、1177、1178、1179、1180、1181、1182、1183、1184、1185、1186、1187、1188、1189、1190、1191、1192、1193、1194、1195、1196、1197、1198、1199、1200、1201、1202、1203、1204、1205、1206、1207、1208、1209、1210、1211、1212、1213、1214、1215、1216、1217、1218、1219、1220、1221、1222、1223、1224、1225、1226、1227、1228、1229、1230、1231、1232、1233、1234、1235、1236、1237、1238、1239、1240、1241、1242、1243、1244、1245、1246、1247、1248、1249、1250、1251、1252、1253、1254、1255、1256、1257、1258、1259、1260、1261、1262、1263、1264、1265、1266、1267、1268、1269、1270、1271、1272、1273、1274、1275、1276、1277、1278、1279、1280、1281、1282、1283、1284、1285、1286、1287、1288、1289、1290、1291、1292、1293、1294、1295、1296、1297、1298、1299、1300、1301、1302、1303、1304、1305、1306、1307、1308、1309、1310、1311、1312、1313、1314、1315、1316、1317、1318、1319、1320、1321、1322、1323、1324、1325、1326、1327、1328、1329、1330、1331、1332、1333、1334、1335、1336、1337、1338、1339、1340、1341、1342、1343、1344、1345、1346、1347、1348、1349、1350、1351、1352、1353、1354、1355、1356、1357、1358、1359、1360、1361、1362、1363、1364、1365、1366、1367、1368、1369、1370、1371、1372、1373、1374、1375、1376、1377、1378、1379、1380、1381、1382、1383、1384、1385、1386、1387、1388、1389、1390、1391、1392、1393、1394、1395、1396、1397、1398、1399、1400、1401、1402、1403、1404、1405、1406、1407、1408、1409、1410、1411、1412、1413、1414、1415、1416、1417、1418、1419、1420、1421、1422、1423、1424、1425、1426、1427、1428、1429、1430、1431、1432、1433、1434、1435、1436、1437、1438、1439、1440、1441、1442、1443、1444、1445、1446、1447、1448、1449、1450、1451、1452、1453、1454、1455、1456、1457、1458、1459、1460、1461、1462、1463、1464、1465、1466、1467、1468、1469、1470、1471、1472、1473、1474、1475、1476、1477、1478、1479、1480、1481、1482、1483、1484、1485、1486、1487、1488、1489、1490、1491、1492、1493、1494、1495、1496、1497、1498、1499、1500、1501、1502、1503、1504、1505、1506、1507、1508、1509、1510、1511、1512、1513、1514、1515、1516、1517、1518、1519、1520、1521、1522、1523、1524、1525、1526、1527、1528、1529、1530、1531、1532、1533、1534、1535、1536、1537、1538、1539、1540、1541、1542、1543、1544、1545、1546、1547、1548、1549、1550、1551、1552、1553、1554、1555、1556、1557、1558、1559、1560、1561、1562、1563、1564、1565、1566、1567、1568、1569、1570、1571、1572、1573、1574、1575、1576、1577、1578、1579、1580、1581、1582、1583、1584、1585、1586、1587、1588、1589、1590、1591、1592、1593、1594、1595、1596、1597、1598、1599、1600、1601、1602、1603、1604、1605、1606、1607、1608、1609、1610、1611、1612、1613、1614、1615、1616、1617、1618、1619、1620、1621、1622、1623、1624、1625、1626、1627、1628、1629、1630、1631、1632、1633、1634、1635、1636、1637、1638、1639、1640、1641、1642、1643、1644、1645、1646、1647、1648、1649、1650、1651、1652、1653、1654、1655、1656、1657、1658、1659、1660、1661、1662、1663、1664、1665、1666、1667、1668、1669、1670、1671、1672、1673、1674、1675、1676、1677、1678、1679、1680、1681、1682、1683、1684、1685、1686、1687、1688、1689、1690、1691、1692、1693、1694、1695、1696、1697、1698、1699、1700、1701、1702、1703、1704、1705、1706、1707、1708、1709、1710、1711、1712、1713、1714、1715、1716、1717、1718、1719、1720、1721、1722、1723、1724、1725、1726、1727、1728、1729、1730、1731、1732、1733、1734、1735、1736、1737、1738、1739、1740、1741、1742、1743、1744、1745、1746、1747、1748、1749、1750、1751、1752、1753、1754、1755、1756、1757、1758、1759、1760、1761、1762、1763、1764、1765、1766、1767、1768、1769、1770、1771、1772、1773、1774、1775、1776、1777、1778、1779、1780、1781、1782、1783、1784、1785、1786、1787、1788、1789、1790、1791、1792、1793、1794、1795、1796、1797、1798、1799、1800、1801、1802、1803、1804、1805、1806、1807、1808、1809、1810、1811、1812、1813、1814、1815、1816、1817、1818、1819、1820、1821、1822、1823、1824、1825、1826、1827、1828、1829、1830、1831、1832、1833、1834、1835、1836、1837、1838、1839、1840、1841、1842、1843、1844、1845、1846、1847、1848、1849、1850、1851、1852、1853、1854、1855、1856、1857、1858、1859、1860、1861、1862、1863、1864、1865、1866、1867、1868、1869、1870、1871、1872、1873、1874、1875、1876、1877、1878、1879、1880、1881、1882、1883、1884、1885、1886、1887、1888、1889、1890、1891、1892、1893、1894、1895、1896、1897、1898、1899、1900、1901、1902、1903、1904、1905、1906、1907、1908、1909、1910、1911、1912、1913、1914、1915、1916、1917、1918、1919、1920、1921、1922、1923、1924、1925、1926、1927、1928、1929、1930、1931、1932、1933、1934、1935、1936、1937、1938、1939、1940、1941、1942、1943、1944、1945、1946、1947、1948、1949、1950、1951、1952、1953、1954、1955、1956、1957、1958、1959、1960、1961、1962、1963、1964、1965、1966、1967、1968、1969、1970、1971、1972、1973、1974、1975、1976、1977、1978、1979、1980、1981、1982、1983、1984、1985、1986、1987、1988、1989、1990、1991、1992、1993、1994、1995、1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004、2005、2006、2007、2008、2009、2010、2011、2012、2013、2014、2015、2016、2017、2018、2019、2020、2021、2022、2023、2024、2025、2026、2027、2028、2029、2030、2031、2032、2033、2034、2035、2036、2037、2038、2039、2040、2041、2042、2043、2044、2045、2046、2047、2048、2049、2050、2051、2052、2053、2054、2055、2056、2057、2058、2059、2060、2061、2062、2063、2064、2065、2066、2067、2068、2069、2070、2071、2072、2073、2074、2075、2076、2077、2078、2079、2080、2081、2082、2083、2084、2085、2086、2087、2088、2089、2090、2091、2092、2093、2094、2095、2096、2097、2098、2099、2100、2101、2102、2103、2104、2105、2106、2107、2108、2109、2110、2111、2112、2113、2114、2115、2116、2117、2118、2119、2120、2121、2122、2123、2124、2125、2126、2127、2128、2129、2130、2131、2132、2133、2134、2135、2136、2137、2138、2139、2140、2141、2142、2143、2144、2145、2146、2147、2148、2149、2150、2151、2152、2153、2154、2155、2156、2157、2158、2159、2160、2161、2162、2163、2164、2165、2166、2167、2168、2169、2170、2171、2172、2173、2174、2175、2176、2177、2178、2179、2180、2181、2182、2183、2184、2185、2186、2187、2188、2189、2190、2191、2192、2193、2194、2195、2196、2197、2198、2199、2200、2201、2202、2203、2204、2205、2206、2207、2208、2209、2210、2211、2212、2213、2214、2215、2216、2217、2218、2219、2220、2221、2222、2223、2224、2225、2226、2227、2228、2229、2230、2231、2232、2233、2234、2235、2236、2237、2238、2239、2240、2241、2242、2243、2244、2245、2246、2247、2248、2249、2250、2251、2252、2253、2254、2255、2256、2257、2258、2259、2260、2261、2262、2263、2264、2265、2266、2267、2268、2269、2270、2271、2272、2273、2274、2275、2276、2277、2278、2279、2280、2281、2282、2283、2284、2285、2286、2287、2288、2289、2290、2291、2292、2293、2294、2295、2296、2297、2298、2299、2300、2301、2302、2303、2304、2305、2306、2307、2308、2309、2310、2311、2312、2313、2314、2315、2316、2317、2318、2319、2320、2321、2322、2323、2324、2325、2326、2327、2328、2329、2330、2331、2332、2333、2334、2335、2336、2337、2338、2339、2340、2341、2342、2343、2344、2345、2346、2347、2348、2349、2350、2351、2352、2353、2354、2355、2356、2357、2358、2359、2360、2361、2362、2



●村上克巳(画) 東京都世田谷区

てくだされ。なるべくまとめてお願いします。
 大宮 稔(〒20) 千葉県松戸市大谷口一(とまわ相銀独身寮内)
 ◎各国の政府、UFO研究団体の公表した公式文書、写真をおもちの方はお貸しください。コピーをとってお返しいたします。またUFO写真をおもちの方はライターをつけて譲ってください。
 保坂欣朗(〒11) 東京都豊島区早町四一四(〇三〇七)
 ◎本誌創刊号、№14またはアダムスキー著の本をどれでもいいですから無料で譲ってください(少々汚れた、落書きなど可)。
 星 ゆかり(〒54) 北海道勇払郡鶴川町七区表)
 ◎本誌創刊号、№11まで、どれでもいいですから譲ってください。1冊1000〜3000円(送料当方負担)くらいで。少しぐらい汚れていても結構です。連絡はハガキで。
 岩谷直樹(〒50) 岐阜県大野郡井川村牧戸)
 ◎「火の鳥」COM、手塚治虫、石森章太郎の作品を適価で譲ってください。
 奥山智士(〒99) 山形県飽海郡松山町荒町八二)
 ◎本誌創刊号、№9、№13までまとめて譲ってください。お礼としてナンセンスのペン(2700円、新品同様)を差し上げます。
 梅本純司(〒54) 大阪府大阪市東区内本町橋詰町二二)
 ◎UFO資料や写真などをもっている方はいくらかの値段で譲ってください。
 吉田夏美(〒03) 青森県東津軽郡蟹田町中町)
 ◎UFOの資料を譲ってください。ネガをおもちの方は少しの間お貸しください。ネガは責任をもってお返しします。またプリントにしたものは一枚1000円まで譲ってください。
 打越俊幸(〒21) 神奈川県川崎市川崎区殿町二二一九)
 ◎本誌創刊号、№6までの6冊をまとめて送料共5000円以内で譲ってください。またペラでも構いませんが、切り抜き、汚れ、落書きのない良品をお願いします。連絡はハガキで。
 仁藤明彦(99) 山形県寒河江市中央一五二二)
 ◎本誌創刊号、№10まで、あなたの希望の値段で譲ってください。なるべく5000円以内の低価をお願いします。1冊でも結構です。どうぞお願いします。

す。まずは往復ハガキで連絡を。
 萩原志子(〒47) 静岡県島田市稲荷町三五二二)
 ◎どなたかUFOの写真をもっている方はどうかばか譲ってください(トリック不可)。おれは3000〜4000円です。連絡はハガキで。
 佐々木徹(〒99) 宮城県栗原郡瀬峰町下藤沢(長者原七二)
 ◎本誌創刊号、№10を15000円くらいで譲ってください。№7まででも結構です。キズ、破れ、切り抜き、書き込みのない良品です。送料はこちらで負担してください。まずは往復ハガキで。
 蛭子雅史(〒03) 青森県八戸市中居林字外中居七二一五)
 ◎どなたか本誌創刊号、№15までのうち、どれでもよいですからタダで譲ってくださいませんか。それからUFOに関する資料(切り抜き、体験談など)やUFO写真も譲ってください。写真はトリックでもよいですが、必ず撮影方法などを書き添えて送ってください。
 佐原健一(〒53) 大阪府枚方市曙町三三二二)
 ◎本誌創刊号、№4を適価で譲ってください。
 岸田康則(〒53) 21 岐阜県不破郡垂井町二一八二)
 ◎UFOにこっている小6のぼくと、UFOの資料をタダで譲ってください。またスライカマラ(定価1000円、フィルム6本付)を5000円で譲ります。
 山田 洋(〒73) 06 広島県大竹市東栄一六一二)
 ◎UFOに関する資料(写真、切り抜き、体験談など)を譲ってください。またネガをおもちの方は、ぜひ少しの間お貸しください。責任をもってお返しします。全員の方々にお願いします。
 土橋慶太郎(〒73) 広島県三次市三次町大工町一二八六)
 ◎本誌創刊号、№7までの7冊(4切り抜き、落書き汚れないもの)を各定価で譲ってください。7冊全部おもちの方は4000円以内で譲ってください。連絡はハガキでお願います。
 森広琢之(〒718) 岡山県津山市院庄三四〇)
 ◎UFO探知器をおもちの方は、2000〜3000円以内でぜひ譲ってください。なるべく保証書かUFOを探知した物。それからUFOの写真や写された方は焼き増しを一枚お譲りください。連絡は電話で(夜にお願いします)。
 山崎 勉(〒35) 埼玉県川越市大袋新田七八五(電話0492-43-3130)
 ◎UFOの資料、写真、ネガを譲ってください。それからブルワーカー(説明書希望)をおもちの方どうか譲ってください。まずは往復ハガキで。また

本誌創刊号、№11を無料で譲ってください。1冊でも結構ですから譲ってください。譲ってくださる方は往復ハガキにそのナンバーを書いて連絡してください。
 川野栄利子(〒89) 鹿児島県鹿児島市伊敷町四二〇一七(電話0992-209317)
 ◎本誌創刊号、№11までと№13、14をどなたか適価で譲ってください。まずはハガキで連絡を。
 半田雅人(〒189) 東京都東村山市諏訪町一三六一二)
 ◎本誌創刊号、№6の落書き、折れ目、切り抜きなどのない良品を譲ってください。何冊でもOK。適価でお願います。往復ハガキに値段を書いて連絡してください。電話は午後6〜7時頃。
 山田ヤスヒロ(〒49) 11 愛知県海部郡基目寺町大字新居屋字小舟戸一六一五(電話0560-0441-198)
 ◎本誌創刊号、№4まで4冊まとめて20000円以内で譲ってください。良品を希望。送料は当方が負担します。
 若松死化男(〒84) 福岡県北九州市戸畑区境川一四一四(電話093-861-1543)
 ◎どなたかUFOの写真をお1枚送ってください。かわりに「こっくりさんの秘密」500円「星の玉子」300円を送ります。連絡はハガキで。
 青木 繁(〒73) 高知県須崎市古市町二七七〇)
 ◎UFO、宇宙人、古代遺跡などの本を安価で譲ってください。UFOを写真におさめた方、どうかその写真を譲ってください。白黒、カラーのどちらでも可。ただしトリックは不可。適価を書いてハガキで連絡してください。
 中川康之(〒53) 22 奈良県宇陀郡菟田野町宇賀志(電話0745-84-2694)
 ◎「UFOと宇宙」のどんな古いものでも、キズものでも構いませんから送ってください。また、いらなくなったUFOに關した資料をどんどん送ってください。あなたの体験も聞かせてください。お願いします。
 土本由美(〒63) 兵庫県西宮市津門貝町七七八(さつき荘)
 ◎どなたかGSのザ・スパイダースのレコードを譲ってください。くわしくは往復ハガキで連絡してください。
 長谷川雅一(〒62) 兵庫県神戸市兵庫区里山町六五四(電話078-8808)
 ◎「空飛ぶ円盤製作法」(大陸書房)をタダで。それがだめなら適価で譲ってください。
 西潟利明(〒59) 22 新潟県北蒲原郡安田町赤

◎どなたかアダムスキーに関する本、「空飛ぶ円盤同乗記」や「空飛ぶ円盤の真相」などを譲ってください。どんなに汚れていても構いません。また送料は当方で負担します。まずはハガキで連絡してください。お礼は必ずします。
 早川秀代(〒52) 岐阜県岐阜市美島町四二二〇)
 ◎UFOの写真をおもちに写した方、写真を何枚でも構いませんから譲ってください。またネガをおもちの方はネガをお貸しください。責任をもってお返しします。
 小林善彦(〒56) 大阪府高槻市北昭和台町二二二二)
 ◎本誌創刊号、№13を無料で譲ってください。少々キズ、ヨゴレは構いません。1冊でも結構です。ずうずうしいお願いでごめんなさい。よろしくお願います。
 長嶋勢津子(〒42) 静岡県静岡市安東三二四二二八)
 ◎本誌創刊号、№6のうちどれでも構いません(できれば全部)。1冊8000円(送料別)で譲ってください。キズ、切り抜き、破れ、書き込み、汚れない完全保存版のみ。よろしくお願います。連絡は往復ハガキで。
 村上雅一(〒62) 兵庫県西宮市神園町八一三三)
 ◎本誌創刊号、№4、6(切り抜き、書き込み、破れ、汚れないもの)をまとめてなら3000〜5000円(送料共)で、ペラペラなら1冊5000〜10000円(送料共)で譲ってください。まとめて譲ってくださった方には、ぼくたちの研究会の会誌「UFOとESP」1、2号を差し上げます。ハガキに希望値段を書いて連絡してください。
 登藤慎五(〒93) 北海道網走市南六条東一)
 ◎本誌創刊号、№4まで、サイエンス75年1〜9月号まで、CM67、68年1〜12月号までを適価で譲っ

てくだされ。なるべくまとめてお願いします。
 大宮 稔(〒20) 千葉県松戸市大谷口一(とまわ相銀独身寮内)
 ◎各国の政府、UFO研究団体の公表した公式文書、写真をおもちの方はお貸しください。コピーをとってお返しいたします。またUFO写真をおもちの方はライターをつけて譲ってください。
 保坂欣朗(〒11) 東京都豊島区早町四一四(〇三〇七)
 ◎本誌創刊号、№14またはアダムスキー著の本をどれでもいいですから無料で譲ってください(少々汚れた、落書きなど可)。
 星 ゆかり(〒54) 北海道勇払郡鶴川町七区表)
 ◎本誌創刊号、№11まで、どれでもいいですから譲ってください。1冊1000〜3000円(送料当方負担)くらいで。少しぐらい汚れていても結構です。連絡はハガキで。
 岩谷直樹(〒50) 岐阜県大野郡井川村牧戸)
 ◎「火の鳥」COM、手塚治虫、石森章太郎の作品を適価で譲ってください。
 奥山智士(〒99) 山形県飽海郡松山町荒町八二)
 ◎本誌創刊号、№9、№13までまとめて譲ってください。お礼としてナンセンスのペン(2700円、新品同様)を差し上げます。
 梅本純司(〒54) 大阪府大阪市東区内本町橋詰町二二)
 ◎UFO資料や写真などをもっている方はいくらかの値段で譲ってください。
 吉田夏美(〒03) 青森県東津軽郡蟹田町中町)
 ◎UFOの資料を譲ってください。ネガをおもちの方は少しの間お貸しください。ネガは責任をもってお返しします。またプリントにしたものは一枚1000円まで譲ってください。
 打越俊幸(〒21) 神奈川県川崎市川崎区殿町二二一九)
 ◎本誌創刊号、№6までの6冊をまとめて送料共5000円以内で譲ってください。またペラでも構いませんが、切り抜き、汚れ、落書きのない良品をお願いします。連絡はハガキで。
 仁藤明彦(99) 山形県寒河江市中央一五二二)
 ◎本誌創刊号、№10まで、あなたの希望の値段で譲ってください。なるべく5000円以内の低価をお願いします。1冊でも結構です。どうぞお願いします。

す。まずは往復ハガキで連絡を。
 萩原志子(〒47) 静岡県島田市稲荷町三五二二)
 ◎どなたかUFOの写真をもっている方はどうかばか譲ってください(トリック不可)。おれは3000〜4000円です。連絡はハガキで。
 佐々木徹(〒99) 宮城県栗原郡瀬峰町下藤沢(長者原七二)
 ◎本誌創刊号、№10を15000円くらいで譲ってください。№7まででも結構です。キズ、破れ、切り抜き、書き込みのない良品です。送料はこちらで負担してください。まずは往復ハガキで。
 蛭子雅史(〒03) 青森県八戸市中居林字外中居七二一五)
 ◎どなたか本誌創刊号、№15までのうち、どれでもよいですからタダで譲ってくださいませんか。それからUFOに関する資料(切り抜き、体験談など)やUFO写真も譲ってください。写真はトリックでもよいですが、必ず撮影方法などを書き添えて送ってください。
 佐原健一(〒53) 大阪府枚方市曙町三三二二)
 ◎本誌創刊号、№4を適価で譲ってください。
 岸田康則(〒53) 21 岐阜県不破郡垂井町二一八二)
 ◎UFOにこっている小6のぼくと、UFOの資料をタダで譲ってください。またスライカマラ(定価1000円、フィルム6本付)を5000円で譲ります。
 山田 洋(〒73) 06 広島県大竹市東栄一六一二)
 ◎UFOに関する資料(写真、切り抜き、体験談など)を譲ってください。またネガをおもちの方は、ぜひ少しの間お貸しください。責任をもってお返しします。全員の方々にお願いします。
 土橋慶太郎(〒73) 広島県三次市三次町大工町一二八六)
 ◎本誌創刊号、№7までの7冊(4切り抜き、落書き汚れないもの)を各定価で譲ってください。7冊全部おもちの方は4000円以内で譲ってください。連絡はハガキでお願います。
 森広琢之(〒718) 岡山県津山市院庄三四〇)
 ◎UFO探知器をおもちの方は、2000〜3000円以内でぜひ譲ってください。なるべく保証書かUFOを探知した物。それからUFOの写真や写された方は焼き増しを一枚お譲りください。連絡は電話で(夜にお願いします)。
 山崎 勉(〒35) 埼玉県川越市大袋新田七八五(電話0492-43-3130)
 ◎UFOの資料、写真、ネガを譲ってください。それからブルワーカー(説明書希望)をおもちの方どうか譲ってください。まずは往復ハガキで。また

本誌創刊号、№11を無料で譲ってください。1冊でも結構ですから譲ってください。譲ってくださる方は往復ハガキにそのナンバーを書いて連絡してください。
 川野栄利子(〒89) 鹿児島県鹿児島市伊敷町四二〇一七(電話0992-209317)
 ◎本誌創刊号、№11までと№13、14をどなたか適価で譲ってください。まずはハガキで連絡を。
 半田雅人(〒189) 東京都東村山市諏訪町一三六一二)
 ◎本誌創刊号、№6の落書き、折れ目、切り抜きなどのない良品を譲ってください。何冊でもOK。適価でお願います。往復ハガキに値段を書いて連絡してください。電話は午後6〜7時頃。
 山田ヤスヒロ(〒49) 11 愛知県海部郡基目寺町大字新居屋字小舟戸一六一五(電話0560-0441-198)
 ◎本誌創刊号、№4まで4冊まとめて20000円以内で譲ってください。良品を希望。送料は当方が負担します。
 若松死化男(〒84) 福岡県北九州市戸畑区境川一四一四(電話093-861-1543)
 ◎どなたかUFOの写真をお1枚送ってください。かわりに「こっくりさんの秘密」500円「星の玉子」300円を送ります。連絡はハガキで。
 青木 繁(〒73) 高知県須崎市古市町二七七〇)
 ◎UFO、宇宙人、古代遺跡などの本を安価で譲ってください。UFOを写真におさめた方、どうかその写真を譲ってください。白黒、カラーのどちらでも可。ただしトリックは不可。適価を書いてハガキで連絡してください。
 中川康之(〒53) 22 奈良県宇陀郡菟田野町宇賀志(電話0745-84-2694)
 ◎「UFOと宇宙」のどんな古いものでも、キズものでも構いませんから送ってください。また、いらなくなったUFOに關した資料をどんどん送ってください。あなたの体験も聞かせてください。お願いします。
 土本由美(〒63) 兵庫県西宮市津門貝町七七八(さつき荘)
 ◎どなたかGSのザ・スパイダースのレコードを譲ってください。くわしくは往復ハガキで連絡してください。
 長谷川雅一(〒62) 兵庫県神戸市兵庫区里山町六五四(電話078-8808)
 ◎「空飛ぶ円盤製作法」(大陸書房)をタダで。それがだめなら適価で譲ってください。
 西潟利明(〒59) 22 新潟県北蒲原郡安田町赤

◎本誌創刊号№4までと№6を譲ってください。1冊でも可。ただし良品のみ希望します。価格を書いてハガキで連絡してください。

◎本誌創刊号№3まで譲ってください。あなたの希望の値段に応じます。ハガキまたはTELで。(P.6以降)

◎本誌創刊号№6までをなるべく安く譲ってください。切り抜きのないものをお願いします。送料は当方負担。ハガキを待っています。

◎本誌創刊号№4と№6を1冊5000円または5冊まとめて30000円で譲ってください。読むことができればポロポロでも構いません。

◎「水晶の中の未来」を適価で譲ってください。ハガキで連絡してください。

◎「水品の中の未来」を適価で譲ってください。ハガキで連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて30000円40000円で譲ってください(美品で)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

◎CBA(宇宙友好協会)発行の刊行物を適価で譲ってください。まずはハガキで連絡。

◎最近UFOの写真を写した方、またもっている方、ぜひ送ってください。ネガでも結構ですが、共に責任をもってお返し致します。写真の解説をくわしく付け加えてお送りください。トリック不可。

◎本誌№5、14を適価(送料別)で譲ってください。くわしくは往復ハガキで。

◎本誌創刊号№13までをタダで譲ってください。バラバラで構いませんからお願いします。切り抜きがなければ、どんなものでも可。

◎本誌創刊号№6までをタダか適価でお願いします。切り抜き不可。美品希望。

◎映画「ジョーズ」とUFOに関する本、写真、切り抜きなど。またアントニオ猪木の写真画報、燃える闘魂アントニオ猪木をタダで譲ってください。

◎本誌創刊号№7まで40000円50000円くらいで譲ってください。切り抜きなしの良品を希望します。送料は当方で負担します。ハガキで連絡してください。

◎山形県鶴岡市家中新町二二二

◎本誌創刊号№8、本誌別冊「UFO写真集①」で見える空飛ぶ円盤・宇宙人200集、「写真で見る空飛ぶ円盤200集」、「空飛ぶ円盤同乗記」を適価で譲ってください。バラでも結構です。またUFOの写真を取られた方、写真を譲ってください。

◎本誌創刊号№4までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№6までを25000円30000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

◎本誌創刊号№7(切り抜きのない良品)をマンガ単行本「侍ジャイアンツ」11、16巻、「バビル2世」11、11巻、その他13冊の計40冊と雑誌10冊を合わせた50冊(1万2千円相当)と交換してください。まずは往復ハガキで連絡を。手渡しができるば最高ですが。

◎本誌創刊号№3と「空飛ぶ円盤発見記」高文社刊があります。どなたか本好きの私に平塚氏の古い単行本(S30/40年代)、または雑誌の付録と交換していただけませんか。まずは往復ハガキでコンタクトを。

◎あなたの持っている「写真で見える空飛ぶ円盤・宇宙人200集」(少々のキズ可)をわが家の「ノラ公」(トイレット博士)、「男一匹ガキ大将」(円盤大凶鑑)、「空飛ぶ円盤」(レコード宇宙戦艦ヤマト)、「怪談」と交換してください。まずはハガキで。

◎本誌創刊号をおもちの方、「空飛ぶ円盤のすべて」(カバなし)と交換してください。また「UFO写真集」をおもちの方、「ノストラダムス大予言原典」(諸世紀)と交換してください。少々のキズ、汚れ可。

◎本誌創刊号№4までを江戸川乱歩シリーズ①と交換してください。1290円相当のものです。良品を希望します。またタロットカードを希望価格で買います。カードの種類、枚数、大きさを発行所も書いて価格をお知らせください。なるべく往復ハガキをお願いします。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌№2、本誌別冊「UFO写真集①」をほかの「タロット占いの秘密」(300円エジプト風タロットカード付)、「これが空飛ぶ円盤だ」(300円)とそれぞれ交換してください。まずはハガキで連絡を。誠意のある方、お願いします。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

◎本誌創刊号№2(説明書つき中古なら可)をもっている方、日本沈没、上、下、「一万年後、上」ノストラダムスの大予言、「五〇〇〇円交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪購入日を書いて送ってください。

●西元 朗(画) 大阪府豊中市



◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

◎本誌創刊号№6までを、ほかのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。相談による変更も可能です。TELはP.3/5時まで。

「UFOと宇宙」モニター当選発表

五〇名の
方々が
選ばれました

「UFOと宇宙」編集部では新たに読者によるモニター制度を設けることにし、19号誌上においてモニター希望者の募集を行いました。申込み締切り日の八月十五日までに約三百名の方々から本誌に対するご意見と共にお申し込みをいただきました。編集部では申込者の中からここに紹介する五〇名の方々に選び、今後一年間にわたってモニターをお願いすることになりました。

今回、残念ながら選に洩れた方々には次の機会にご協力をお願いいたします。

お寄せいただきました本誌に対する貴重なご意見は今後の誌面作りに反映させていく所存です。

編集部



海外の研究の実態も紹介して。

(新潟県) 五十嵐 博



UFOを否定する人の意見も。

(仙台市) 神倉 功



外国の情報は、現地取材してほしい。

(仙台市) 小林正一



校正ミスに、気をつけて下さい。

(北海道) 八重樫尚



言いたい放題言わせて下さい。

(札幌市) 三上憲明



年に一回位増刊号を出して。

(八王子市) 伊東浩一



読めば読むほど頭が混乱。

(東京都) 高田幸弘



SF的要素も包含する方向で。

(東村山市) 横須賀達雄



誰でも信用できるようにしてほしい。

(武蔵野市) 津金 新



「UFO教」「宇宙教」にならないように。

(東京都) 星 佳伸



重力の説明など少々むづかしい。

(保谷市) 須永千恵子



UFO関係出版物の紹介も。

(東京都) 百瀬直也



知識の少ないものでも読める。

(十和田市) 升沢優子



人を納得させる論理を

(東京都) 金指哲郎



宇宙の神秘を科学的に

(東京都) 林田勢津子



たまには否定的意見をのせて。

(所沢市) 五十嵐啓二



異端学説の系譜を連載したら。

(船橋市) 竹中 弦



情報収集の活発化を。

(川崎市) 佐々木裕一



史実、史書に残された関連記事を。

(横浜市) 瀬戸山英嗣



大体において満足している。

(横浜市) 田村淳裕

写真をお送りください。編集部

UFO写真には、編集部の見解を。

(名古屋市) 大島雅文



質問の欄を設けて下さい。

(太田市) 小林智利



「隔月刊」なんて待ちきれない。

(茨城県) 浅田暁子



目撃談は、読者の科学を発展させない。

(札幌市) 山口孝和



年少者向きの記事をもっと。

(越谷市) 江口正憲



紙質が変わってなじめるようになった。

(大宮市) 小島隆夫



物とお金の交換だけの人、残念です。

(三次市) 土橋慶太郎



月刊にして新鮮な情報を。

(広島市) 猪足健二



反対意見を知って話したい。

(芦屋市) 松岡毅



19号の表紙写真は、おもしろくない。

(富田林市) 中西哲也



清家新一氏の近況報告を。

(大阪市) 吉田武



思弁的傾向のつよいものは不満。

(名古屋市) 村瀬嗣雄



中間的、否定的意見も入れたら。

(仙台市) 小林泰晴



情報の収集と選択が重大な使命。

(筑後市) 井上政和



「蚤の市」に出る旧号が不当に高い。

(北九州市) 宮地基嗣



実験記事が実に少ない。

(筑紫野市) 幸田敏記



本誌でかなり勉強させてもらった。

(川之江市) 星川直樹



米ソ宇宙開発の最新情報を。

(鳴門市) 宝積宣至



宇宙関係にもっとページを。

(蕨市) 竹川章浩



表紙はUFO写真で。

(彦根市) 西村康生



地球だけの生命を信ずるのは、古代思想。

(北九州市) 満村淳子



初心者から専門家まで広く読める。

(岡山市) 三村勝則



火星のカラー写真を2、3枚のせて。

(防府市) 藤本妙子



宇宙開発に関するものを。

(神戸市) 葉谷 収



もう少し説明を簡単にして。

(指宿市) 下柳田伸二



天文についての科学記事も入れて。

(大州市) 玉井久史



人に宇宙の視野を開かせる。

(高知市) 多田宜正



英語が出てきても読めません。

(大阪市) 西野和子



何回投稿しても載せてもらえない。

(呉市) 森田洋子



UFOの写真の特集をやって。

(遠野市) 佐藤精一

本誌バックナンバー

★1,2,3,4,5,6,7号は売切れ、8号は残部僅少

送料 1冊 ¥160 2~3冊 ¥200 4~6冊 ¥240

第8号 (1974年9月発売) ¥330

マンデル大尉の悲劇荒井欣一/イタリアの不思議な小人出現事件C・コンティ/千葉県に出現した大型円盤/ノース湖における悪魔ばらいの儀式とUFOの着陸F・W・ホリデイ/天体オラと宇宙電界の謎内田秀男/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)L・クランプ/科学トピックス 国内UFO目撃報告/読者の声 その他

第9号 (1974年11月発売) ¥400 特大号

UFOによる米空軍機追尾事件翼薄/スペインに出現した円盤と乗員J・マシス アベル・バリソン/ジョージ・アダム・G・クレイトン/月世界の謎の現象を探る京都大学花山天文台台長・理学博士・宮本正太郎/NASAの活動と、その未来誌先新聞科学部・中村政雄/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)L・クランプ/科学トピックス 国内UFO目撃報告/読者の声 その他

第10号 (1975年1月発売) ¥360

銀色の服を着た宇宙人高梨純一/科学を曲げる男ユリ・ゲラー・G・クレイトン/月世界の謎の現象を探る京都大学花山天文台台長・理学博士・宮本正太郎/NASAの活動と、その未来誌先新聞科学部・中村政雄/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)L・クランプ/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第11号 (1975年3月発売) ¥360

月面は円盤の中継基地か重沢潤一郎/ニューヨーク州の着陸事件T・フリーチャー/1960年代の謎の現象を探る京都大学花山天文台台長・理学博士・宮本正太郎/NASAの活動と、その未来誌先新聞科学部・中村政雄/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(6)L・クランプ/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第12号 (1975年5月発売) ¥360

甲府市にUFO着陸/オーストリアの光るカクツムリ状物体E・ベルガー/古代の天空人E・F・デンケン/長野県に落下した小型円盤/重力波とは何か千葉二朗/原子・銀河系・理解(2)D・フライ/中学生にもわかる微分積分(1)シベリアの謎の大爆発/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第13号 (1975年7月発売) ¥360

千葉市にアダムスキー型円盤出現/円盤に乗った宇宙人を見た/宇宙文庫のためのテレパシー通信市村俊彦/原子・銀河系・理解D・フライ/中学生にもわかる微分積分(1)三好要市/くすの連環のUFO現象(2)ルーマニアのUFO出現事件/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第14号 (1975年9月発売) ¥390

円盤をよく見る人/1977年の謎の飛行船/私は金星文字を解読した/マルセル・オム教授の不思議な発見物/大気圏外生命体のコックピット/原子・銀河系・理解(4)実在する超感覚と念力関英男/中学生にもわかる微分積分(2)くすの連環のUFO現象(3)ユーゴスラビアのUFO出現騒動 その他

第15号 (1975年11月発売) ¥390

ステラ・ランシング夫人の不思議な写真B・シュワルツ/ドラギニヤンの怪事件/ワルヌトンの奇怪なロケットG・クレイトン/聖書の予言とスペース・プログラム(1)C・A・ハニー/原子・銀河系・理解(完)/中学生にもわかる微分積分(3)くすの連環のUFO現象(完)(続)ルーマニアのUFO出現事件 その他

第16号 (1976年1月発売) ¥390

〈本誌特別取材〉三原市の驚異コンタクト事件/テレポータージョンとテレパシー 平野敏馬雄/名古屋上空に円盤大挙出現/聖書の予言とスペース・プログラム(完)C・A・ハニー/中学生にもわかる微分積分(完)X博士の怪UFO事件A・ミシエル/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第17号 (1976年3月発売) ¥390

口絵・月面の謎アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開/巨大円盤、横須賀に出現/UFOは地球の救済に来るのかオットー・B・ワインダー/奇跡を起こす方法テッド・オーウェン/ピーター・フルコスの驚異的大発見/B・アン・スレート/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第18号 (1976年5月発売) ¥390

森林伐採工トラビス・ウォルトンのUFO同乗事件高梨純一/UFOは地球の救済に来るのか(完)くすの連環のUFO現象(3)私はUFOを見た 岡崎玄紀さんの巻/私は宇宙人のクビをすげかえた/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第19号 (1976年7月発売) ¥390

横尾忠則私はUFOを何度も見た/チャールズ・ムーディ軍曹砂漠で円盤に誘拐される/UFOのスポークスマン?/世界の12の「魔の墓場」/大地震は予知できるか内田秀男/火星生物発見の旅宮本正太郎/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

本誌保存用

特製バインダー

本誌を破損・紛失しないためにバインダーをご利用ください。この特製バインダーは極厚手表紙・布装で表面と背に誌名を金文字で押印してあり、1年分6冊をとり込むことができます。

¥400

荷造送料 1~2個 ¥350
3~4個 ¥700

UFO写真集

カラー写真21点、白黒写真33点 A4判のワイド画面からくる迫力/極上アート紙使用・美麗カバー付き豪華本

戦後世界各地で目撃され、日本にもひんぱんに出現して話題を呼んでいる未確認飛行物体の正体は? 全国UFOファンの熱望にこたえて全世界で記録された貴重な写真を集大成。UFO研究界の第一人者・久保田八郎が和英両文で解説を加えた。

¥1300 円300

■当社出版物が書店にない場合は、振替・現金書留・小為替・低額小切手などで当社宛直接注文ください。代金も払いの注文はおことわりします。■最近、住所不明で返送される郵便物が増えています。ご注文の際は必ず郵便番号・注文品名・号数・冊数を明記してください。

ユニバース出版社

読者の投稿を歓迎します

UFO(未確認飛行物体)に関する原稿、目撃レポート、写真(できればネガも)などを広く募集します。原稿はなるべく原稿用紙(たて書き)をご使用ください。目撃レポートの場合は左記の各項目を参考にし、なるべく正確・詳細にお書きください。なお投稿された原稿は一切お返ししませんので必要場合はあらかじめコピーをおとりください。ただし写真のネガはご希望により返送しますが、この場合は返送用封筒に切手をはって同封してください。

採用分には当社規定の原稿料をさしあげます。

UFO目撃レポート参考事項

- (1)目撃者 住所・氏名・年齢・職業(在学中の方は学校名・学年)、電話番号、同時目撃者の有無、その他(匿名希望の場合はその旨明記)
 - (2)目撃地点 地名、付近略図、時刻、天候、目撃継続時間、その他。
 - (3)物体 飛行物体の形(スケッチを添えること)、大きさ、色、その他。
 - (4)飛行物体 仰角、方向、飛行中の形態の変化、飛行中の色、形態、光度の変化、推定速度および高度、その他。
 - (5)観測機器 使用の場合はその機器名、性能その他。
 - (6)撮影用具 カメラ使用の場合はカメラ名、使用フィルム、レンズ名、絞り、シャッタースピード、その他のデータ。
- 注意 スケッチは厚めの白い紙にインクか黒ボールペンを使用して描いてください。(ケイの入った便箋は不可)

原稿あて先

ユニバース出版社UFOと宇宙編集部 (目撃レポートの場合は「UFO資料調査部」と明記してください)。

Across the Editor's Desk

★本誌より増頁断行! 表紙題字の型も変えて体裁内容とも一新しました。トランプ・ウォルトン事件の詳細な現地報告その他の貴重な記事は読者の重要な資料となるでしょう。★前号発表のモニター制応募者は約三百名。厳選の結果五十名様に通知状を発送しました。ご協力に感謝します。

★本誌16号の本欄に「今年アツと驚くような企画の実現化を……」とあるとおり、本誌姉妹誌としていよいよ新雑誌を刊行します。それは「ノンフィクション」世界のミステリーと驚異「専門誌」Mysteries(エンigma)です! UFO以外のあらゆる神秘と謎の現象を追求し、天空と大地の測り知れない不可思議な驚異的事物に向けて人間の意識を限りなく拡張しようとするもので、興味本位の怪奇趣味とは異なり、斬新なスタイルのもとにフレッシュな科学的記事と珍しい写真を満載します。本誌とあわせてご愛読ください。創刊号は十一月一日全国書店で一斉発売、隔月刊(来春月刊に切り替える予定) B5判 128頁、430円。Remember Entairen(K)

UFOと宇宙 一九七六年十月号 第20号

編集発行人 久保田八郎
発行所 株式会社ユニバース出版社
〒110 東京都台東区上野五丁目一六
電話(832)1341144 ヤマトビル
振替・東京1119478
印刷所 三晃印刷株式会社
昭和五十一年十月一日発行
(隔月刊・奇数月二十日発売)
定価四三〇円・送料共三三〇円
年ごめ購読料・送料共三三〇円
(書店で入手できない場合は本社へ直接注文下さい)

●本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。
●海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

驚異と魅惑の科学の世界—いまその扉を開く!

Life Science Library

LIFE 人間と科学シリーズ

生命の誕生から宇宙の神秘まで
科学のすべてを身近に捉えた画期的シリーズ!!

★地球以外に生物の存在する星は? ☆人間の命には、なぜ終わりがあるのか? ☆地震の予知の方法は? ☆男と女は産み分けられるか? ☆時間の流れを逆行させたらどうなるか? ☆ガンは征服できるか? ☆ダイヤモンドの輝きの秘密は? ……………

私たちの身の回りに起こる、さまざまな疑問に答えてくれるのが、このライフ/人間と科学シリーズです。写真やカラーイラストを豊富に使い、科学に関するあらゆる知識と情報を、だれにでも理解できるよう次々と解説し、あなたを知らず知らずのうちに興味深い科学の世界へと導きます。

本シリーズは「数の世界」、「宇宙への挑戦」、「飛行の原理」、「時間の測定」、「惑星の天文学」、「気象のしくみ」……………と興味ある各巻がつづきます。

いずれも、科学のあらゆるテーマをとりあげ、それぞれの分野の専門家によって執筆され、親しみやすい図例とやさしい解説文ながら、最高の学問的水準を保つ、権威ある科学の百科全集といえましょう。

試読
無料

■体裁
A4判変型
各巻平均200頁
美観ケース入り
各巻定価3,180円
(1,590円×2回払い)

第1巻「数の世界」が

10日間、ご自宅でゆっくり、ご試読できます—

このすばらしい「ライフ/人間と科学シリーズ」をあなた自身の目で確かめていただくため、このシリーズの第1巻「数の世界」を10日間、無料でご覧になってみてください。

この「数の世界」は、難解な数式を一切使わず、図版やエピソードをまじえながら、数の発見からコンピューターの理論まで、数学のすべてをやさしく解いた名著です。

今、お申込みになりますと、無料で10日間、ご自宅でゆっくり手にとってご覧になります。もちろん、第2巻以降の各巻についてもその都度無料で試読できます。ご購入になるかどうかはその後でお決めください。“試読無料”ですからもし、お気に召さなかった場合は、ご返却くださればお支払の義務はありません。今すぐ、右のハガキでお気軽にお申込みください。

もれなくプレゼント!!

いま、無料試読をお申込みの方全員に、'7年連用カレンダー付万能計算尺」をプレゼントします。万一、第1巻「数の世界」をご返本になられてもプレゼントは、そのままお手もに。

TIME
LIFE
BOOKS

タイム/ライフブックス

東京・千代田・大手町 タイムライフビル
業務部：東京都文京区小石川5-6-9 フミ小石川ビル
〈千112〉 電話(03)947-4151

いますぐ、右の
ハガキをポストへ!!

本邦初の異端文化総合研究誌
地球ロマン 10月号
 MVNDVS MYSTICVS 850円

総特集＝天空人嗜好

- 神々の誕生……………山本佳人
 - 来るべき宇宙の暁…高坂剋魅
 - 天王星紀行……………鷺友善山
- 現代の神話—空飛ぶ円盤……………C.ユンク
 古典SFに描かれた日本人の宇宙像…横田順彌

座談会＝日本円盤運動の光と影

資料＝空飛ぶ円盤史

- I. 空飛ぶ円盤のパイオニアたち
- II. CBA(宇宙友好協会)の全貌
- その他 年表・団体リスト・参考文献

発行**絃映社** 東京・千代田・猿楽町2-4-2
 小黑ビル ☎03(292)8780

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機!

現在200台が全国で活躍中!!
 既にUFO探知成功13件!!



左からT-5・T-3a・T-3b型

- T-5型……¥ 9,000
- T-3a型……¥18,000
- T-3b型……¥19,000

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

宇宙文明の提唱

最新刊絶賛発売中!!

実践オカルティズム

宇宙哲学 新版 上製
 地球人類より数万年も進化した他惑星人から伝えられた宇宙の真実 アダムスキ
 一著 久保田八郎訳 七五〇円 千一六〇
UFOは二の黒船だ
 宇宙的ルネッサンスと逆産業革命によつて、公害、戦争、大変動の危機を回避する。 坂元ツトム著 六八〇円 千二二〇

あなたにもできる
大地震予知法
 木越保光著 890円 千160円

宇宙人とのテレパシー対話一〇〇問答
 高橋田一著 950円 千160円

思念力百科
 セルフコントロールやテレパシーをエジプト秘術から現代心理学などあらゆる超能力開発法で新方式図解 佐々木浩一著 九五〇円 千一六〇
超能力クロアゼ
 捜査官
 世紀の千里眼能力者の記録。迷宮入犯罪の解決、古代遺跡の過去透視、大学での未来予知実験等 Jポラック著 山下仁訳 九五〇円 千一六〇

ソ連圏の四次元科学

80億円の国家予算でUFOテレパシー、念力の研究を軍事や宇宙開発に応用しようとする共産圏アカデミー 上巻(ソ連前編) 下巻(ソ後ブルガリア・チェコ編) オストランダー他著 照洲みのる訳 各巻1150円 千200

エドガー・ケイシー秘密シリーズ

夢予知の秘密 夢であなたの未来を知る / 一三〇〇円 千一六〇
転生の秘密 二五〇〇の生まれ変わり例 / 一三〇〇円 千一六〇
超能力の秘密 超能力開発の原理と実践法 / 一二〇〇円 千一六〇

高性能精密器均 10ヵ月払 初回金1/10で ニコルス等 おてもとへ

たしかな品質 / 合理的良心価格
ご不満のときは交換・解約・返金自由

マニア向け
屈折赤道儀式の
決定版!

注文番号82-702

ニコルスRK-7012

実用と機能本位の設計
口径76.2mm・焦点距離1,250mm

筒ブレを排除 / 最高級マウント使用

【定格】

対物レンズ76.2mm (有効径)アクロマート、焦点距離1,250mm、集光力118倍、分離能1.5秒、極限等級11.2等星、鏡筒径76mm、アルミ使用、全長1,270mm、歯数114枚

【付属品】

接眼レンズOR4mm (312倍)、HM6mm (208倍)、H20mm (62倍)、ファイナダー6×30mm、天頂プリズム、サングラス、ムーングラス、フレキシブルハンドル2個、ウェイト1個、二段式木脚、カメラ雲台、木製格納箱

初回金6,500円 下2,000円
分割払金(月)6,500円×9回
分割払価格65,000円
現金払価格62,000円

口径80mm
焦点距離1200
(対物光軸修正付)

注文番号82-802

ニコルスRK-8012

大口徑屈折式の最高級機!

光軸修正付
大口徑対物
レンズ使用

【定格】

対物レンズ80mmアクロマート(セミコート)焦点距離1,200mm、集光力131倍(肉眼)、分離能1.45秒、極限等級11.3等星、赤道儀歯数140枚目盛付、鏡筒径85mm、全長1,220(1,250)mm、(接眼レンズ除く)

【付属品】

接眼レンズHM6mm (200倍)、HM12.5mm (96倍)、HM20mm (60倍)、写真雲台、天頂プリズム、ファイナダー8×30mm、サングラス、ムーングラス、木脚(2段式)、ウェイト2個、フレキシブルハンドル(長短2個)

初回金8,950円 下1,500円
分割払金(月)8,950円×9回
分割払価格89,500円
現金払価格79,500円

●カメラアタッチメントF型



上下微動装置

●60mm屈折用赤道儀(モータードライブ取付可)



赤径赤緯目盛付、歯数138枚、使用鏡筒63mm、(60mm屈折標準口径)、バランスウェイト2個、フレキシブルハンドル2個(長短)付

初回金1,950円
分割払金(月)1,950円×9回
分割払価格19,500円
現金払価格17,000円
送料800円

●2倍パローレンズ(アクロマート)

簡単に使用倍率を2倍にすることができます。特に短焦点の望遠鏡には便利です。



現金払価格1,900円
送料150円

●地上用正立プリズム

天体望遠鏡を地上用として使用する場合ご利用下さい。像が正立になります。



普及型
現金払価格2,000円
送料150円

広角型
現金払価格3,600円
送料150円

社団法人 日本割賦協会正会

ヤングライフを演出するニコー
Nicoh
ニ光通販(株)技研事業部
東京都江戸川区南小岩6-31-25
TEL03(672)9094(内線33)

高性能精密器ニコルス お求めやすい均等/分割クレジット

たしかな品質・合理的良心価格

初心者向きの 決定版！経緯台式の 最高級機

注文番号82-615

ニコルスRS-6091A

【定 格】

対物レンズ60mmアロマート
(セミコート)焦点距離900mm、
集光力73倍(肉眼)、分解能
1.93秒、極限等級10.7等
星、鏡筒径63mm、全長
890mm(接眼レンズ
除く)

【付属品】

接眼レンズHM6mm(150倍)
HM12.5mm(72倍)、ファイ
ンダー5×24mm、天頂プリ
ズム、サングラス、木脚(2
段式)フレキシブル
ハンドル

初回金2,300円 円900円
分割払金(円)2,300円×9回
分割払価格23,000円
現金払価格20,000円

二段ド
ロチュー
ブ使用

天体の連続 観測用高級赤道儀式

注文番号82-617

ニコルスRK-6091A

【定 格】

対物レンズ60mmアロマート
(セミコート)、焦点距離900mm、
集光力73倍(肉眼)、分解能
1.93秒、極限等級10
.7等星、鏡筒径63mm、
全長890mm(接眼
部を除く)、赤
道儀歯数138
枚、赤緯と赤
経目盛付

【付属品】

接眼レンズHM
6mm(150倍)HM12
.5mm(72倍)HM20
mm(45倍)、写真雲台、ム
ーングラス、ファインダー5
×24mm、サングラス、木脚(2段
式)天頂プリズム、フレキシブルハンドル
(長短2個)、バランスウエイト(0.5kg2個)

赤経・赤緯
目盛環付
赤道儀

初回金4,500円 円1,000円
分割払金(円)4,500円×9回
分割払価格45,000円
現金払価格39,500円

高倍率225倍 天体・地上両用望遠鏡

注文番号82-613

ニコルスRJ-6092A

【定 格】

対物レンズ60mmアロマート
(セミコート)、焦点距離900mm、
集光力73倍、分解能1.93秒、
極限等級10.7等星、鏡筒径
63mm、全長890mm

【付属品】

接眼レンズSR4mm
(225倍)HM12.5mm(72
倍)、ファインダー5×
24mm、天頂プリズム、サ
ングラス、木脚(2段式)、
上下微動棒

初回金1,950円 円900円
分割払金(円)1,950円×9回
分割払価格19,500円
現金払価格16,500円

注文番号82-606

ニコルスRK-6050

【定 格】

対物レンズ60mmアロマート
(セミコート)、焦点距離500
mm、集光力73倍(肉眼)、分
解能1.93秒、極限等級
10.7等級、鏡筒径63
mm、全長490mm(接
眼レンズ除く)

【付属品】

接眼レンズHM6mm(83倍)H
M12.5mm(40倍)、MH20
mm(25倍)、写真雲台、サング
ラス、ファインダー5×24mm、
ムーングラス、フレキシブル
ハンドル2個(長短)、ウエ
イト2個、木脚(2段式)

初回金4,400円 円1,000円
分割払金(円)4,400円×9回
分割払価格44,000円
現金払価格38,800円

カタログ及び注方文法は
次のページにあります……

●本書はユニバース出版国内独占販売のため一般書店ではお求めできません。ご購入の場合は、代金を現金書留または振替で直接当社業務部までお送り下さい。なお5日間無料で本書をご覧になれる方法もあります。ご希望の方は当社業務部まで資料(無料)をご請求下さい。

国内総販売元

株式会社 **ユニバース出版**社

〒110東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル 振替東京1-119478



最大の冒険

ADVENTURE

BRM SELAH 社版

月面と宇宙

アポロ計画 大写真集

●世紀の大偉業“アポロ計画”の全貌公開。アメリカ航空宇宙局(NASA)提供による驚異のカラー写真119点、モノクロ写真11点があなたを未知の大宇宙へご案内します。

●本書(BRMセラー社版)は横25.5cm、タテ34.3cmの特大版で本文極上アート紙使用、極厚手表紙・カバーつき、総頁数128の豪華写真集です。詳細な英文解説に別冊日本語版(全訳)がつきます。

●科学研究者・天文ファン、学校・図書館等の公共施設はもちろん、ご家庭の教養図書としてもぜひ一冊おそなえ下さい。

定価11,000円(梱包送料600円)

米国直輸入

MAN'S
超豪華版
GREATEST



◆MOP高性能天体望遠鏡 (通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡 (通産省光学検査合格品)

ビックリ価格
11月20日まで

全商品大特価セール 5年間品質保証書付

UFOをとらえるのはこれだ!

究観測用高級機 100%反射型赤道儀式

MOP M109型

規格・性能 焦点距離
900mm 主鏡レンズ有
効径100mm(主鏡アルミ
ナイズメッキ)分解能
1.16秒 極限等級11.8
等星 集光力204倍

装置 直進ヘリコイド
式繰出(接眼レンズ口
径24.5mm用)赤道儀兼
経緯台 微動装置ウォ
ームギヤー使用 赤経
・赤緯目盛環付

付属品付き

ビックリ価格35,000円
(送料2,000円)



チャンス!

規格・性能 焦点距離
1,000mm 有効径60mm
(アクロマートレンズ
使用)分解能1.9秒 極
限等級10.7等星 集光
力73倍

付属品 サングラス
6×30mmファイナター
ズ頂プリズムHM6mm
HM12.5mm K20mm
バランスウェイト2 フ
レキシブルハンドル2
木製2段伸縮三脚

MOP 610型

研究観測用高級機
60%屈折赤道儀式

チャンス!

ビックリ価格
34,000円
(送料2,000円)



MOP双眼鏡8×30

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径30mm
射出瞳径3.8mm 明るさ
14.1 実視界7.5度 1000
m先の視野131m 高さ
11.5cm 重さ550g

チャンス!

ビックリ価格7,500円
(送料800円)



●ミクロンシリーズ

MOPミクロン10×40

規格・性能 倍率10倍
対物レンズ有効径40mm
射出瞳径4mm 明るさ
16 実視界7度 1000m
先の視野123m 高さ12
.3cm 重さ490g

チャンス!

10×40

付属品ハードケース

ビックリ価格
13,000円
(送料800円)



MOP双眼鏡20×50

規格・性能 倍率20倍
対物レンズ有効径50mm
実視界3度 ひとみ径
2.5mm 重さ1,050g

全機種特価

6×30 8,700円
8×30 9,000円
7×35 9,500円
7×50 10,700円
10×50 11,200円
12×50 11,500円
16×50 11,700円
20×50 12,800円
(送料800円)

高倍率

付属品 ハードケース
保証書 使用説明書

20×50
ビックリ価格 9,800円
(送料800円)



チャンス!

●ミクロンシリーズ

MOPミクロン8×20

ポケットにピッタリ!

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径20mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界5度 1000m
先の視野88m 高さ7.1
cm 重さ185g

チャンス!

8×20

付属品ソフトケース

ビックリ価格
10,500円
(送料800円)



ご注文方法

広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

あて先

〒193東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426-25-7941(代表)
(株)インテル 光学事業部UFO係

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告につ
いてのお問い合わせは当社調査室(TEL0426-25-7941)までお電話でお願い致します。

カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタ
ログを無料で差し上げま
す。切手100円を同封し
下の請求券をはって
お申し込み下さい

カタログ請求券
UFO20

High S型赤道儀シリーズ Low



グレートビクトリー 700MD 60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F700%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM 6% HM12.5%
倍率 117× 56×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥47,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥35,800 送料¥1,500



No. ST 1000MD 60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F1000%
接眼鏡 フルコート
HM 6% HM12.5% K25%
倍率 167× 80× 40×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥52,500 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥40,500 送料¥1,500

安定性の低い小型赤道儀の時代は終わった。そしてガバナー制御のモータードライブ付大型赤道儀の時代が始った!!



グレートビクトリー-100 MD 100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D100% F800%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM 6% HM12.5%
倍率 133× 64×
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
付属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥49,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥37,800 送料¥1,500

(モータードライブは後日購入も出来ます。)



No. SH 900MD 100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D114% F900%
接眼鏡 フルコート
HM 5% HM 8% K25%
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
付属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥54,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥42,800 送料¥1,500

S型赤道儀は一クラス上の大型赤道儀………小型赤道儀は微振動が多い為、観測しにくく写真撮影も思う様に出来ません。従来の赤道儀の欠点を補って新設計されたS型赤道儀は微振動が少なくて安心です。

S型赤道儀は上下角微調節ネジ付………今迄は10万円クラスの高級品にしか採用されていませんでした。

S型赤道儀は移動するロールバランスウェイト軸………今迄は15万円以上の高級機専用でした。

S型赤道儀のモータードライブは二電源方式のガバナー（電圧安定装置）制御のDCサーボマイクロギヤードモーターですので精度の良い回転が得られ、単3乾電池4本(6V)又家庭用100V電源の両方が使用出来ます。

S型赤道儀シリーズはコストパフォーマンス（価格に比した品質と性能）が最高で他の及ぶ所では有りません。

●写真撮影用カメラアダプター（35%一眼レフ専用 屈折望遠鏡接眼鏡36%専用） ●地上用ズーム接眼鏡

天体写真、地上写真のどちらにも使用出来ます。直接撮影方式で望遠鏡が超望遠カメラ用交換レンズと同じ事に成りますので、他の方式に比べてもっとも鮮明に写せます。

¥3,000 送料¥300

＜使用出来る35%一眼レフカメラ＞ ペンタックス(S及Kシリーズ)
フジカ、マミヤ、リコー、ヤシカ、ニコン、キャノン、ミノルタ、オリンパスOM、
コニカ(新)、ミランダ(注文時カメラ名お知らせ下さい。接眼鏡24.5%径は使用不可)

正立像 6%~15%ズーム
天体望遠鏡がズーム式地上望遠鏡に使えます。¥4,500



ご注文は代金、送料を送金下されば送品致します。又ご来社下さい。

株式会社 **スリービーチ** 光学部UFO係 光学部TEL 東京03
〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号 振替口座 東京7-103033
(850) 6110

総合カタログ・切手300円同封の上お申込み下さい。

(広告有効期間・本誌月号の月末迄)

神秘と怪奇への挑戦シリーズ

原題 A New Library of the Supernatural



現代科学では解明し得ない世界が確かに存在する—この不思議な世界へ誘う衝撃シリーズ 11月より発売予定

●各巻144ページ ●オールカラー版 ●四六倍版 ●並製

● 卷構成 各巻予価**980円**

- 1 驚異の超能力者たち
- 2 恐怖の吸血鬼と怪人
- 3 謎の怪物たちの世界
- 4 生きている死者
- 5 予言の怪と謎
- 6 闇に躍る幽霊
- 7 衝撃のミステリーゾーン
- 8 魔術と占いのミステリー
- 9 宇宙よりの来訪者たち
- 10 神秘と怪奇

＝以下続刊＝

監修：コリン・ウィルソン
クリストファー・エバンズ
ユーリー・ゲラー



● 発行 学研<学習研究社>
〒145 東京都大田区上池台4-40-5
☎(03)720-1111(大代表)

学研